

CS+ V8.12.00

統合開発環境

ユーザズマニュアル メッセージ編

対象デバイス

RL78 ファミリ

RX ファミリ

RH850 ファミリ

本資料に記載の全ての情報は発行時点のものであり、ルネサス エレクトロニクスは、予告なしに、本資料に記載した製品または仕様を変更することがあります。ルネサス エレクトロニクスのホームページなどにより公開される最新情報をご確認ください。

ご注意書き

1. 本資料に記載された回路、ソフトウェアおよびこれらに関連する情報は、半導体製品の動作例、応用例を説明するものです。回路、ソフトウェアおよびこれらに関連する情報を使用する場合、お客様の責任において、お客様の機器・システムを設計ください。これらの使用に起因して生じた損害（お客様または第三者いずれに生じた損害も含みます。以下同じです。）に関し、当社は、一切その責任を負いません。
2. 当社製品または本資料に記載された製品データ、図、表、プログラム、アルゴリズム、応用回路例等の情報の使用に起因して発生した第三者の特許権、著作権その他の知的財産権に対する侵害またはこれらに関する紛争について、当社は、何らの保証を行うものではなく、また責任を負うものではありません。
3. 当社は、本資料に基づき当社または第三者の特許権、著作権その他の知的財産権を何ら許諾するものではありません。
4. 当社製品を組み込んだ製品の輸出入、製造、販売、利用、配布その他の行為を行うにあたり、第三者保有の技術の利用に関するライセンスが必要となる場合、当該ライセンス取得の判断および取得はお客様の責任において行ってください。
5. 当社製品を、全部または一部を問わず、改造、改変、複製、リパースエンジニアリング等、その他、不適切に使用しないでください。かかる改造、改変、複製、リパースエンジニアリング等により生じた損害に関し、当社は、一切その責任を負いません。
6. 当社は、当社製品の品質水準を「標準水準」および「高品質水準」に分類しており、各品質水準は、以下に示す用途に製品が使用されることを意図しております。

標準水準： コンピュータ、OA 機器、通信機器、計測機器、AV 機器、家電、工作機械、パーソナル機器、産業用ロボット等

高品質水準：輸送機器（自動車、電車、船舶等）、交通制御（信号）、大規模通信機器、金融端末基幹システム、各種安全制御装置等

当社製品は、データシート等により高信頼性、Harsh environment 向け製品と定義しているものを除き、直接生命・身体に危害を及ぼす可能性のある機器・システム（生命維持装置、人体に埋め込み使用するもの等）、もしくは多大な物的損害を発生させるおそれのある機器・システム（宇宙機器と、海底中継器、原子力制御システム、航空機制御システム、プラント基幹システム、軍事機器等）に使用されることを意図しておらず、これらの用途に使用することは想定していません。たとえ、当社が想定していない用途に当社製品を使用したことにより損害が生じても、当社は一切その責任を負いません。

7. あらゆる半導体製品は、外部攻撃からの安全性を 100%保証されているわけではありません。当社ハードウェア/ソフトウェア製品にはセキュリティ対策が組み込まれているものもありますが、これによって、当社は、セキュリティ脆弱性または侵害（当社製品または当社製品が使用されているシステムに対する不正アクセス・不正使用を含みますが、これに限りません。）から生じる責任を負うものではありません。当社は、当社製品または当社製品が使用されたあらゆるシステムが、不正な改変、攻撃、ウイルス、干渉、ハッキング、データの破壊または窃盗その他の不正な侵入行為（「脆弱性問題」といいます。）によって影響を受けないことを保証しません。当社は、脆弱性問題に起因したまたはこれに関連して生じた損害について、一切責任を負いません。また、法令において認められる限りにおいて、本資料および当社ハードウェア/ソフトウェア製品について、商品性および特定目的との合致に関する保証ならびに第三者の権利を侵害しないことの保証を含め、明示または黙示のいかなる保証も行いません。
8. 当社製品をご使用の際は、最新の製品情報（データシート、ユーザーズマニュアル、アプリケーションノート、信頼性ハンドブックに記載の「半導体デバイスの使用上の一般的な注意事項」等）をご確認の上、当社が指定する最大定格、動作電源電圧範囲、放熱特性、実装条件その他指定条件の範囲内でご使用ください。指定条件の範囲を超えて当社製品をご使用された場合の故障、誤動作の不具合および事故につきましては、当社は、一切その責任を負いません。
9. 当社は、当社製品の品質および信頼性の向上に努めていますが、半導体製品はある確率で故障が発生したり、使用条件によっては誤動作したりする場合があります。また、当社製品は、データシート等において高信頼性、Harsh environment 向け製品と定義しているものを除き、耐放射線設計を行っておりません。仮に当社製品の故障または誤動作が生じた場合であっても、人身事故、火災事故その他社会的損害等を生じさせないよう、お客様の責任において、冗長設計、延焼対策設計、誤動作防止設計等の安全設計およびエージング処理等、お客様の機器・システムとしての出荷保証を行ってください。特に、マイコンソフトウェアは、単独での検証は困難なため、お客様の機器・システムとしての安全検証をお客様の責任で行ってください。
10. 当社製品の環境適合性等の詳細につきましては、製品個別に必ず当社営業窓口までお問合せください。ご使用に際しては、特定の物質の含有・使用を規制する RoHS 指令等、適用される環境関連法令を十分調査のうえ、かかる法令に適合するようご使用ください。かかる法令を遵守しないことにより生じた損害に関して、当社は、一切その責任を負いません。
11. 当社製品および技術を国内外の法令および規則により製造・使用・販売を禁止されている機器・システムに使用することはできません。当社製品および技術を輸出、販売または移転等する場合は、「外国為替及び外国貿易法」その他日本国および適用される外国の輸出管理関連法規を遵守し、それらの定めるところに従い必要な手続きを行ってください。
12. お客様が当社製品を第三者に転売等される場合には、事前に当該第三者に対して、本ご注意書き記載の諸条件を通知する責任を負うものいたします。
13. 本資料の全部または一部を当社の文書による事前の承諾を得ることなく転載または複製することを禁じます。
14. 本資料に記載されている内容または当社製品についてご不明な点がございましたら、当社の営業担当者までお問合せください。

注 1. 本資料において使用されている「当社」とは、ルネサス エレクトロニクス株式会社およびルネサス エレクトロニクス株式会社が直接的、間接的に支配する会社をいいます。

注 2. 本資料において使用されている「当社製品」とは、注 1 において定義された当社の開発、製造製品をいいます。

(Rev.5.0-1 2020.10)

本社所在地

〒135-0061 東京都江東区豊洲 3-2-24（豊洲フォレスト）

www.renesas.com

お問合せ窓口

弊社の製品や技術、ドキュメントの最新情報、最寄の営業お問合せ窓口に関する情報などは、弊社ウェブサイトをご覧ください。

www.renesas.com/contact/

商標について

ルネサスおよびルネサスロゴはルネサス エレクトロニクス株式会社の商標です。すべての商標および登録商標は、それぞれの所有者に帰属します。

目次

| | | |
|-----|----------------|-------|
| 1. | 概 説..... | 5 |
| 2. | 出力形式..... | 6 |
| 3. | メッセージ種別 | 7 |
| 4. | コンポーネント番号..... | 8 |
| 5. | メッセージ..... | 9 |
| 5.1 | 内部エラー..... | 10 |
| 5.2 | フェイタル・エラー..... | 13 |
| 5.3 | インフォメーション..... | 138 |
| 5.4 | 選 択..... | 150 |
| 5.5 | ワーニング..... | 178 |
| | 改訂記録 | C - 1 |

1. 概 説

このドキュメントでは、CS+ が出力する内部エラー・メッセージ、フェイタル・エラー・メッセージ、インフォメーション・メッセージ、選択メッセージ、ワーニング・メッセージについて説明します。
メッセージは、出力パネル、またはメッセージダイアログなどに出力されます。

注意 E2 エミュレータ（略称：E2）を使用する場合は、本マニュアル中で「E1」と記載のある部分を「E2」と読み替えてください。
E2 エミュレータ Lite（略称：E2 Lite）を使用する場合は、本マニュアル中で「E1」と記載のある部分を「E2 Lite」と読み替えてください。
IE850A を使用する場合は、本マニュアル中で「E1」と記載のある部分を「IE850A」と読み替えてください。

2. 出力形式

この章では、メッセージの出力形式について説明します。

CS+ 操作時における出力形式は、次のとおりです。

- (1) ファイル名と行番号を含む場合

```
ファイル名 ( 行番号 ) : メッセージ種別 コンポーネント番号 メッセージ番号 : メッセージ
```

- (2) ファイル名と行番号を含まない場合

```
メッセージ種別 コンポーネント番号 メッセージ番号 : メッセージ
```

備考 下記内容が連続した文字列として出力されます。

メッセージ種別 : 1文字の英字

コンポーネント番号 : 2桁の数値

メッセージ番号 : 5桁の数値

3. メッセージ種別

この章では、CS+ が出力するメッセージ種別について説明します。

CS+ 操作時におけるメッセージ種別（1文字の英字）は、次のように分類されています。

表 3.1 メッセージ種別

| メッセージ種別 | | 説明 |
|---------|-----------|--|
| C | 内部エラー | 内部エラーが発生したため、処理を終了（中断）します。 |
| E | フェイタル・エラー | フェイタル・エラーが発生したため、処理を終了（中断）します。 |
| M | インフォメーション | 情報を通知します。メッセージを確認後、処理を継続します。 |
| Q | 選択 | 次の操作に対して何らかの選択が必要な場合に出力し、選択した処理を実行します。 |
| W | ワーニング | 警告を通知します。メッセージを確認後、処理を継続します。 |

4. コンポーネント番号

この章では、CS+ が出力するコンポーネント番号について説明します。

CS+ 操作時におけるコンポーネント番号（2桁の数値）は、次のように分類されています。

表 4.1 コンポーネント番号

| コンポーネント番号 | 説明 |
|-----------|-----------------------------------|
| 00 | 共通処理 |
| 01 | アップデート・マネージャ/インストール関連/ライセンス・マネージャ |
| 02 | 統合開発環境フレームワーク |
| 03 | 設計ツール（端子配置） |
| 04 | 設計ツール（コード生成） |
| 06 | デバッグ・ツール（エミュレータ/シミュレータ） |
| 08 | 解析ツール |
| 12 | デバッグ・ツール（エミュレータ/シミュレータ） |
| 13 | デバッグ・ツール（シミュレータ） |
| 17 | コンソール |
| 18 | デバッグ・ツール |
| 20 | エディタ |
| 22 | I/O ヘッダ生成ツール |
| 23 | ソリューション |
| 24 | デバッグ・ツール（エミュレータ） |
| 25 | 設計ツール（スマート・コンフィグレータ） |

5. メッセージ

この章では、CS+ が出力するメッセージについて説明します。

5.1 内部エラー

表 5.1 内部エラー

| | | |
|----------|---------|--|
| C0100001 | [メッセージ] | xxx が空です。 |
| C0100002 | [メッセージ] | xxx が大きすぎます。 |
| C0100003 | [メッセージ] | 予期しない xxx が指定されました。 |
| C0149999 | [メッセージ] | Internal Error : Exceeds check_folder limit (1024). |
| | [説明] | 起動プロセス・チェックの対象が上限値 (1024) を越えたときに表示されます。 |
| | [メッセージ] | Internal Error : VIA_ENV_SETUP is not correct. |
| | [説明] | インストールが必要な環境のインストーラから統合インストーラを起動する際、統合インストーラが正しく起動できなかったときに表示されます。 |
| C0171000 | [メッセージ] | 内部エラーが発生したためライセンスの取得に失敗しました。 xxx |
| C0171001 | [メッセージ] | 内部エラーが発生したためライセンス要求の送信に失敗しました。 xxx |
| C0171002 | [メッセージ] | 内部エラーが発生したためライセンス要求の送信に失敗しました。 |
| C0190000 | [メッセージ] | デバイスの指定が不正です。 |
| C0190001 | [メッセージ] | xxx が空です。 |
| C0190002 | [メッセージ] | xxx が大きすぎます。 |
| C0190003 | [メッセージ] | xxx が小さすぎます |
| C0600000 | [メッセージ] | 内部エラーです。 |
| C0600001 | [メッセージ] | 引数が正しくありません。(xxx=yyy) |
| C0600002 | [メッセージ] | 引数が正しくありません。(xxx=nullptr) |
| C0600003 | [メッセージ] | すでに登録済みです。 |
| C0600004 | [メッセージ] | 登録されていません。 |
| C0602000 | [メッセージ] | すでに接続済みです。 |
| C0602001 | [メッセージ] | すでに切断済みです。 |
| C0602002 | [メッセージ] | デバイスファイルは未設定です。 |
| C0602003 | [メッセージ] | 未ハンドルの例外が発生しました。 |
| C0602100 | [メッセージ] | ターゲットとの接続を確認してください。 |
| C0602101 | [メッセージ] | ターゲットとの接続を確認し、ターゲットの電源を入れてください。 |
| C0602103 | [メッセージ] | ターゲットを外してください。 |
| C0602104 | [メッセージ] | ターゲットの電源を切り、ターゲットを外してください。 |
| C0602200 | [メッセージ] | ID コードが間違っています。フラッシュメモリを消去しました。 |
| C0602201 | [メッセージ] | ID コードが無効になっています。フラッシュメモリを消去しました。 |

| | | |
|----------|---------|--|
| C0602202 | [メッセージ] | ID コードが間違っています。 |
| | [説明] | フラッシュ・メモリに書き込まれているセキュリティ ID とデバッグ・ツールで指定しているセキュリティ ID が一致しなかった場合に、本メッセージが表示されません。 |
| | [対処方法] | <p>フラッシュメモリ、およびデバッグ・ツールでのセキュリティ ID の設定値が同じになっているか以下を参考に確認してください。</p> <p>【RL78】</p> <ul style="list-style-type: none"> - フラッシュメモリに書き込まれているセキュリティ ID <ul style="list-style-type: none"> (a) ユーザプログラム上で設定されている場合 0xC4 ~ 0xCD 番地に指定している値がセキュリティ ID となります。 (b) ビルド・ツール共通オプションで設定されている場合 ビルド・ツールのプロパティの [共通オプション] タブ内の [デバイス] の項目での [セキュリティ ID] で指定している値 (a) および (b) 両方設定されている場合、(b) での設定が優先されます。 <p>- デバッグ・ツールで指定しているセキュリティ ID デバッグ・ツールのプロパティの [接続用設定] タブ内の [フラッシュ] カテゴリ [セキュリティ ID] プロパティで指定している値 なお、セキュリティ ID を忘れてしまった場合は、フラッシュメモリを一旦消去し、セキュリティ ID を設定しなおしてください。 フラッシュメモリを消去した後のセキュリティ ID はオール 0 になります。</p> <p>フラッシュメモリ、およびデバッグ・ツールでのセキュリティ ID の詳細については「E1/E20/E2 エミュレータ、E2 エミュレータ Lite ユーザーズマニュアル別冊 (RL78 接続時の注意事項)」の "セキュリティ ID の設定" を参照してください。</p> <p>【RH850】</p> <ul style="list-style-type: none"> - フラッシュメモリに書き込まれているセキュリティ ID ID コードは、拡張領域に格納されており、フラッシュプログラミングツールで設定します。 詳細はご使用のフラッシュプログラミングツールのドキュメントを参照ください。 - デバッグ・ツールで指定しているセキュリティ ID デバッグ・ツールのプロパティの [接続用設定] タブ内の [フラッシュ] カテゴリで指定している値 なお、セキュリティ ID を忘れてしまった場合は、フラッシュメモリを一旦消去し、セキュリティ ID を設定しなおしてください。 フラッシュメモリを消去した後のセキュリティ ID はオール F になります。 |
| C1700000 | [メッセージ] | Callback イベント (ID = xxx) の実行に失敗しました。 |
| | [対処方法] | CS+ を再起動してください。 |
| C1700001 | [メッセージ] | Hook イベント (ID = xxx) の実行に失敗しました。 |
| | [対処方法] | CS+ を再起動してください。 |
| C1700002 | [メッセージ] | 関数実行に失敗しました。 |
| | [対処方法] | CS+ を再起動してください。 |
| C1700003 | [メッセージ] | スクリプト実行に失敗しました。 |
| | [対処方法] | CS+ を再起動してください。 |
| C1700004 | [メッセージ] | 文字列の表示に失敗しました。 [直接原因] |
| | [対処方法] | CS+ を再起動してください。 |

| | | |
|----------|---------|--|
| C1710000 | [メッセージ] | 指定された名前が不正です。 |
| | [対処方法] | CS+ を再起動してください。改善されない場合は再インストールしてください。 |
| C1710001 | [メッセージ] | 指定された名前は既に使用されています。 |
| | [対処方法] | CS+ を再起動してください。改善されない場合は再インストールしてください。 |
| C1710002 | [メッセージ] | 必要な DLL の取得に失敗しました。 |
| | [対処方法] | CS+ を再起動してください。改善されない場合は再インストールしてください。 |
| C1710003 | [メッセージ] | 指定された名前が見つかりませんでした。 |
| | [対処方法] | CS+ を再起動してください。改善されない場合は再インストールしてください。 |
| C1710004 | [メッセージ] | 指定された GUID が不正です。 |
| | [説明] | アクセス用の GUID が不正な場合に表示されます。 |
| | [対処方法] | 正しい GUID を指定してください。 |
| C1720000 | [メッセージ] | 指定された GUID が不正です。 |
| | [説明] | Bip 機能実行用インスタンスのアクセスに失敗した場合に表示されます。 |
| C1720001 | [メッセージ] | 指定された名前が見つかりませんでした。 |
| | [説明] | Bip 機能実行用インスタンスのアクセスに失敗した場合に表示されます。 |
| C1720100 | [メッセージ] | 指定された GUID が不正です。 |
| | [説明] | Pip 機能実行用インスタンスのアクセスに失敗した場合に表示されます。 |
| C1720101 | [メッセージ] | 指定された名前が見つかりませんでした。 |
| | [説明] | Pip 機能実行用インスタンスのアクセスに失敗した場合に表示されます。 |
| C1813701 | [メッセージ] | 内部エラー (FFWERR_BEXE_LEVEL0)。 |
| C1813702 | [メッセージ] | 内部エラー (FFWERR_EML_ENDCODE)。 |
| C1813703 | [メッセージ] | 内部エラー (FFWERR_FDT_ENDCODE)。 |
| C1813704 | [メッセージ] | 内部エラー (FFWERR_EML_TO_FDT)。 |
| C1813705 | [メッセージ] | 内部エラー (FFWERR_FDT_TO_EML)。 |
| C1813706 | [メッセージ] | 内部エラー (FFWERR_MONP_ILLEGALEML)。 |

5.2 フェイタル・エラー

表 5.2 フェイタル・エラー

| | | |
|----------|---------|--|
| E0020001 | [メッセージ] | 製品一覧ファイル (xxxx) が見つかりません。 |
| E0020002 | [メッセージ] | このデバイスには対応していません。 |
| E0020003 | [メッセージ] | ファイルの読み込みエラーが発生しました。 |
| E0021001 | [メッセージ] | 製品ファイル (xxxx) が見つかりません。 |
| E0021002 | [メッセージ] | このデバイスには対応していません。 |
| E0021003 | [メッセージ] | ファイルの読み込みエラーが発生しました。 |
| E0021004 | [メッセージ] | デバイス依存情報のアップデートに失敗しました。 |
| E0022001 | [メッセージ] | このデバイスには対応していません。 |
| E0022002 | [メッセージ] | 端子情報ファイル (xxxx) が見つかりません。 |
| E0022003 | [メッセージ] | ファイルの読み込みエラーが発生しました。 |
| E0023001 | [メッセージ] | このデバイスには対応していません。 |
| E0023002 | [メッセージ] | デバイスファイル (xxxx) が見つかりません。 |
| E0023003 | [メッセージ] | デバイス拡張情報ファイル (xxxx) が見つかりません。 |
| E0023004 | [メッセージ] | ファイルの読み込みエラーが発生しました。 |
| E0023005 | [メッセージ] | xxxx は、デバイスファイルではありません。 |
| E0023006 | [メッセージ] | V850 マイクロコントローラは、未サポート。 |
| E0023007 | [メッセージ] | 78K マイクロコントローラは、未サポート。 |
| E0023008 | [メッセージ] | 78K0/78K0S、V850 マイクロコントローラは、未サポート。 |
| E0023009 | [メッセージ] | RL78 ファミリ、78K0R マイクロコントローラは、未サポートです。 |
| E0023010 | [メッセージ] | RL78 ファミリ、78K0R、V850 マイクロコントローラは、未サポートです。 |
| E0023011 | [メッセージ] | カテゴリ名 (xxxx) が見つかりません。 |
| E0023012 | [メッセージ] | V850E2 マイクロコントローラは、未サポートです。 |
| E0023013 | [メッセージ] | 78K0/78K0S マイクロコントローラは、未サポートです。 |
| E0023014 | [メッセージ] | 78K0 マイクロコントローラは、未サポートです。 |
| E0023015 | [メッセージ] | 同じデバイス依存情報ファイルが複数存在します。Device_Custom フォルダから削除してください。 デバイス依存情報ファイルを Device_Custom フォルダ : aaaa bbbb (Device_Custom フォルダのデバイス依存情報ファイルと一覧ファイルの両方を削除してください。) |
| E0023017 | [メッセージ] | RX マイクロコントローラは、未サポートです。 |
| E0023018 | [メッセージ] | RH850 マイクロコントローラは、未サポートです。 |
| E0024001 | [メッセージ] | このデバイスには対応していません。 |
| E0024002 | [メッセージ] | デバイス拡張情報ファイル (xxxx) が見つかりません。 |
| E0024003 | [メッセージ] | ファイルの読み込みエラーが発生しました。 |
| E0025001 | [メッセージ] | このデバイスには対応していません。 |
| E0025002 | [メッセージ] | デバイスファイル (xxxx) が見つかりません。 |

| | | |
|----------|---------|---|
| E0025003 | [メッセージ] | 端子情報ファイル (xxxx) が見つかりません。 |
| E0025004 | [メッセージ] | デバイス拡張情報ファイル (xxxx) が見つかりません。 |
| E0025005 | [メッセージ] | ファイルの読み込みエラーが発生しました。 |
| E0040100 | [メッセージ] | デバイス依存情報 (製品情報) が取得できません。 |
| E0040101 | [メッセージ] | デバイス依存情報 (愛称) が取得できません。 |
| E0040102 | [メッセージ] | QE 情報のバージョンのフォーマットが不正です。 |
| E0040103 | [メッセージ] | 同じバージョンの QE 情報ファイルが複数存在します。 |
| E0040104 | [メッセージ] | QE 情報の初期化に失敗しました。 |
| E0100000 | [メッセージ] | CS+ アップデート・マネージャの起動に失敗しました。 CS+ を再インストールしてください。 |
| E0100003 | [メッセージ] | "xxx" の起動に失敗しました。 "yyy" の読み込みに失敗しました。 |
| | [対処方法] | CS+ を再インストールしてください。 それでも解決しない場合は、メッセージに記載されたファイルのあるフォルダの ファイルをすべて削除してから再インストールしてください。 |
| E0100004 | [メッセージ] | "xxx" の書き込みに失敗しました。 |
| | [対処方法] | CS+ を再インストールしてください。 それでも解決しない場合は、メッセージに記載されたファイルのあるフォルダの ファイルをすべて削除してから再インストールしてください。 |
| E0100005 | [メッセージ] | "xxx" の起動に失敗しました。 |
| | [対処方法] | インストーラならアップデートをやり直してください。 インストール済みのツールなら再インストールしてください。 |
| E0100006 | [メッセージ] | "xxx" の再起動に失敗しました。 |
| | [対処方法] | 手動で起動してください。 |
| E0100007 | [メッセージ] | CS+ アップデート・マネージャがインストールされていません。 |
| | [対処方法] | CS+ アップデート・マネージャをインストールしてください。 |
| E0100008 | [メッセージ] | この CS+ アップデート・マネージャはインストールしたフォルダから移動されて いるため起動できません。 |
| | [対処方法] | [スタート] メニューから起動してください。 |
| E0100009 | [メッセージ] | "xxx" の読み込みに失敗しました。 |
| | [対処方法] | CS+ を再インストールしてください。 それでも解決しない場合は、メッセージに記載されたファイルのあるフォルダの ファイルをすべて削除してから再インストールしてください。 |
| E0100010 | [メッセージ] | "xxx" の起動に失敗しました。 "yyy" の書き込みに失敗しました。 |
| | [対処方法] | CS+ を再インストールしてください。 それでも解決しない場合は、メッセージに記載されたファイルのあるフォルダの ファイルをすべて削除してから再インストールしてください。 |
| E0100014 | [メッセージ] | 一時ファイルの書き込みに失敗しました。 |
| | [説明] | ユーザが環境変数 TEMP にファイルを書き込めないパスを指定した場合や、その フォルダに一時ファイルが 65535 個以上存在する場合に表示されます。 |
| | [対処方法] | 環境変数 TMP に指定されたフォルダにファイルを書き込めることを確認してくだ さい。 |

| | | |
|----------|---------|---|
| E0100019 | [メッセージ] | 一時ファイルの読み込みに失敗しました。 再度実行してください。 |
| | [説明] | アップデート・マネージャが作成した一時ファイルに対して、アップデート・マネージャ以外から削除などの操作が行われた可能性があります。 |
| E0110004 | [メッセージ] | アップデート情報の取得に失敗しました。 サーバの応答が正しくありません。 時間を空けてから再確認してください。 |
| | [説明] | サーバ側のアップデート情報に誤りがある場合に表示されます。 |
| | [対処方法] | しばらく時間を空けてから再度確認してください。 同じエラーが出続ける場合は、特約店、または当社までご連絡ください。 |
| E0110010 | [メッセージ] | インストール情報の読み込みに失敗しました。 以下の理由により、"xxx" のバージョンを取得できません。 yyy |
| | [対処方法] | 特約店、または当社までご連絡ください。 |
| E0110011 | [メッセージ] | アップデート条件の読み込みに失敗しました。 サーバの応答が正しくありません。 時間を空けてから再確認してください。 |
| | [説明] | サーバ側のアップデート情報に誤りがある場合に表示されます。 |
| | [対処方法] | しばらく時間を空けてから再度確認してください。 同じエラーが出続ける場合は、特約店、または当社までご連絡ください。 |
| E0110012 | [メッセージ] | アップデート条件の読み込みに失敗しました。 サーバの応答が正しくありません。 時間を空けてから再確認してください。 |
| | [説明] | サーバ側のアップデート情報に誤りがある場合に表示されます。 |
| | [対処方法] | しばらく時間を空けてから再度確認してください。 同じエラーが出続ける場合は、特約店、または当社までご連絡ください。 |
| E0110013 | [メッセージ] | アップデート条件の読み込みに失敗しました。 サーバの応答が正しくありません。 時間を空けてから再確認してください。 |
| | [説明] | サーバ側のアップデート情報に誤りがある場合に表示されます。 |
| | [対処方法] | しばらく時間を空けてから再度確認してください。 同じエラーが出続ける場合は、特約店、または当社までご連絡ください。 |
| E0111000 | [メッセージ] | サーバのアクセス先を取得できませんでした サーバの応答が正しくありません。 時間を空けてから再度実行してください。 |
| | [説明] | サーバ側のアップデート情報に誤りがある場合に表示されます。 |
| | [対処方法] | しばらく時間を空けてから再度確認してください。 同じエラーが出続ける場合は、特約店、または当社までご連絡ください。 |
| E0111001 | [メッセージ] | アップデート・マネージャに内部エラーが発生したため、ダウンロードするファイルの書き込みに失敗しました。 |
| | [対処方法] | 特約店、または当社までご連絡ください。 |
| E0111002 | [メッセージ] | アップデート・マネージャに内部エラーが発生したため、ダウンロードに失敗しました。 |
| | [対処方法] | 特約店、または当社までご連絡ください。 |

| | | |
|----------|---------|--|
| E0111003 | [メッセージ] | サーバのアクセス先が不正です。 サーバの応答が正しくありません。 時間を空けてから再度実行してください。 |
| | [説明] | サーバ側のアップデート情報に誤りがある場合に表示されます。 |
| | [対処方法] | しばらく時間を空けてから再度確認してください。 同じエラーが出続ける場合は、特約店、または当社までご連絡ください。 |
| E0111004 | [メッセージ] | ダウンロードするファイルの書き込みに失敗しました。 サーバの応答が正しくありません。 時間を空けてから再度実行してください。 |
| | [説明] | サーバ側のアップデート情報に誤りがある場合に表示されます。 |
| | [対処方法] | しばらく時間を空けてから再度確認してください。 同じエラーが出続ける場合は、特約店、または当社までご連絡ください。 |
| E0111005 | [メッセージ] | ダウンロードするファイルの書き込みに失敗しました。 ダウンロードを中止します。 |
| | [対処方法] | 特約店、または当社までご連絡ください。 |
| E0111006 | [メッセージ] | ダウンロードするファイルの書き込みに失敗しました。 サーバの応答が正しくありません。 時間を空けてから再度実行してください。 |
| | [説明] | サーバ側のアップデート情報に誤りがある場合に表示されます。 |
| | [対処方法] | しばらく時間を空けてから再度確認してください。 同じエラーが出続ける場合は、特約店、または当社までご連絡ください。 |
| E0111007 | [メッセージ] | ダウンロードするファイル (xxx) の書き込みに失敗しました。 ダウンロードを中止します。 |
| | [対処方法] | メッセージで示されたパスにファイルを書込めるかどうかを確認してください。 原因が特定できない場合は、特約店、または当社までご連絡ください。 |
| E0111008 | [メッセージ] | ダウンロードするファイル (xxx) の書き込みが拒否されました。 ダウンロードを中止します。 |
| | [対処方法] | メッセージで示されたパスにファイルを書込めるかどうかを確認してください。 原因が特定できない場合は、特約店、または当社までご連絡ください。 |
| E0111009 | [メッセージ] | サーバの応答が正しくありません。 時間を空けてから再度実行してください。 |
| | [説明] | サーバ側のアップデート情報に誤りがある場合に表示されます。 |
| | [対処方法] | しばらく時間を空けてから再度確認してください。 同じエラーが出続ける場合は、特約店、または当社までご連絡ください。 |
| E0111010 | [メッセージ] | サーバの応答が正しくありません。 時間を空けてから再度実行してください。 |
| | [説明] | サーバ側のアップデート情報に誤りがある場合に表示されます。 |
| | [対処方法] | しばらく時間を空けてから再度確認してください。 同じエラーが出続ける場合は、特約店、または当社までご連絡ください。 |
| E0111011 | [メッセージ] | ダウンロードの再開に失敗しました。 再度実行してください。 |
| | [対処方法] | 同じエラーが出続ける場合は、特約店、または当社までご連絡ください。 |

| | | |
|----------|---------|--|
| E0111012 | [メッセージ] | ダウンロードするファイル (xxx) の書き込みに失敗しました。 ダウンロードを中止します。 |
| | [対処方法] | ディスクの空き容量を確認してください。 問題ない場合は、メッセージで示されたパスにファイルを書き込めるかどうかを確認してください。 原因が特定できない場合は、特約店、または当社までご連絡ください。 |
| E0111013 | [メッセージ] | ダウンロードするファイル (xxx) の書き込みに失敗しました。 再度実行してください。 |
| | [対処方法] | 同じエラーが出続ける場合は、特約店、または当社までご連絡ください。 |
| E0111100 | [メッセージ] | 内部情報の保存に失敗しました。 ダウンロードを中止します。 |
| | [対処方法] | 特約店、または当社までご連絡ください。 |
| E0111101 | [メッセージ] | 内部情報の保存先が存在しないため、保存に失敗しました。 ダウンロードを中止します。 |
| | [対処方法] | 特約店、または当社までご連絡ください。 |
| E0111102 | [メッセージ] | 内部情報の保存に失敗しました。 ダウンロードを中止します。 |
| | [対処方法] | 特約店、または当社までご連絡ください。 |
| E0111103 | [メッセージ] | 内部情報の書き込みが拒否されたため、設定の保存に失敗しました。 ダウンロードを中止します。 |
| | [対処方法] | 特約店、または当社までご連絡ください。 |
| E0111104 | [メッセージ] | ダウンロード中に I/O エラーが発生しました。 |
| | [対処方法] | 特約店、または当社までご連絡ください。 |
| E0112000 | [メッセージ] | サーバがエラーコード (xxx) を返しました。 時間を空けてから再度実行してください。 |
| | [対処方法] | 同じエラーが出続ける場合は、特約店、または当社までご連絡ください。 |
| E0112200 | [メッセージ] | サーバがエラーを返しました。 時間を空けてから再度実行してください。 |
| | [対処方法] | 同じエラーが出続ける場合は、特約店、または当社までご連絡ください。 |
| E0112300 | [メッセージ] | サーバの応答が正しくありません。 時間を空けてから再度実行してください。 |
| | [対処方法] | 同じエラーが出続ける場合は、特約店、または当社までご連絡ください。 |
| E0112406 | [メッセージ] | プロキシ・サーバ (xxx) との認証に失敗しました。 |
| | [対処方法] | プロキシ認証 ダイアログでユーザ名とパスワードを入力してください。 不明な場合はネットワーク管理者に問い合わせてください。 |
| E0112503 | [メッセージ] | サーバが一時的に利用できなくなっています。 時間を空けてから再度実行してください。 |
| | [対処方法] | 同じエラーが出続ける場合は、特約店、または当社までご連絡ください。 |
| E0112996 | [メッセージ] | プロキシ・サーバとの認証に失敗しました。 |
| | [対処方法] | プロキシ認証 ダイアログでユーザ名とパスワードを入力してください。 不明な場合はネットワーク管理者に問い合わせてください。 |

| | | |
|----------|---------|--|
| E0112997 | [メッセージ] | プロキシ・サーバ (xxx) との認証に失敗しました。 サーバが要求する認証方法 (yyy) を認識できません。 |
| | [対処方法] | 特約店, または当社までご連絡ください。 |
| E0112998 | [メッセージ] | サーバに接続できませんでした。 |
| | [対処方法] | 特約店, または当社までご連絡ください。 |
| E0112999 | [メッセージ] | サーバがエラーを返しました。 時間を空けてから再度実行してください。 |
| | [対処方法] | 特約店, または当社までご連絡ください。 |
| E0113000 | [メッセージ] | サーバに接続できませんでした。 サーバが見つからないか、DNS エラーです。 |
| | [対処方法] | Internet Explorer で、インターネット上のサイトが表示できるかどうかを確認してください。 表示できない場合は、ネットワーク管理者に問い合わせてください。 表示できる場合は、サーバ側に一時的な問題が発生している可能性が高いので、時間を空けてから再度実行してください。 |
| E0113001 | [メッセージ] | サーバに接続できませんでした。 |
| | [対処方法] | Internet Explorer で、インターネット上のセキュリティで保護された (https:// から始まる) サイトが表示できるかどうかを確認してください。 表示できない場合は、ネットワーク管理者に問い合わせてください。 表示できる場合は、サーバ側に一時的な問題が発生している可能性が高いので、時間を空けてから再度実行してください。 |
| E0113002 | [メッセージ] | サーバからの受信に失敗しました。 サーバに問題が発生している可能性があります。 時間を空けてから再度実行してください。 |
| | [対処方法] | 同じエラーが出続ける場合は、特約店, または当社までご連絡ください。 |
| E0113003 | [メッセージ] | アップデート・マネージャに内部エラーが発生したため、ダウンロードに失敗しました。 |
| | [対処方法] | 特約店, または当社までご連絡ください。 |
| E0113004 | [メッセージ] | アップデート・マネージャに内部エラーが発生したため、ダウンロードに失敗しました。 |
| | [対処方法] | 特約店, または当社までご連絡ください。 |
| E0113005 | [メッセージ] | アップデート・マネージャに内部エラーが発生したため、ダウンロードに失敗しました。 |
| | [対処方法] | 特約店, または当社までご連絡ください。 |
| E0113006 | [メッセージ] | サーバとの接続の安全性が確認できませんでした。 安全に接続する証明書の信頼性を検証できません。 時間を空けてから再度実行してください。 |
| | [対処方法] | 同じエラーが出続ける場合は、特約店, または当社までご連絡ください。 |
| E0113007 | [メッセージ] | サーバとの安全な接続に失敗しました。 時間を空けてから再度実行してください。 |
| | [対処方法] | Internet Explorer で、インターネット上のセキュリティで保護された (https:// から始まる) サイトが表示できるかどうかを確認してください。 表示できない場合は、ネットワーク管理者に問い合わせてください。 表示できる場合は、サーバ側に一時的な問題が発生している可能性が高いので、時間を空けてから再度実行してください。 |

| | | |
|----------|---------|---|
| E0113008 | [メッセージ] | サーバの応答が正しくありません。 時間を空けてから再度実行してください。 |
| | [対処方法] | 同じエラーが出続ける場合は、特約店、または当社までご連絡ください。 |
| E0113009 | [メッセージ] | アップデート・マネージャに内部エラーが発生したため、ダウンロードに失敗しました。 |
| | [対処方法] | 特約店、または当社までご連絡ください。 |
| E0113010 | [メッセージ] | アップデート・マネージャに内部エラーが発生したため、ダウンロードに失敗しました。 |
| | [対処方法] | 特約店、または当社までご連絡ください。 |
| E0113011 | [メッセージ] | プロキシサーバに接続できませんでした。 サーバが見つからないか、DNS エラーです。 |
| | [対処方法] | Internet Explorer で、インターネット上のサイト、およびセキュリティで保護された (https:// から始まる) サイトが表示できるかどうかを確認してください。 表示できない場合は、ネットワーク管理者に問い合わせてください。 |
| E0113012 | [メッセージ] | サーバの応答が正しくありません。 時間を空けてから再度実行してください。 |
| | [対処方法] | 同じエラーが出続ける場合は、特約店、または当社までご連絡ください。 |
| E0113013 | [メッセージ] | アップデート・マネージャに内部エラーが発生したため、ダウンロードに失敗しました。 |
| | [対処方法] | 特約店、または当社までご連絡ください。 |
| E0113014 | [メッセージ] | アップデート・マネージャに内部エラーが発生したため、ダウンロードに失敗しました。 |
| | [対処方法] | 特約店、または当社までご連絡ください。 |
| E0113015 | [メッセージ] | プロキシサーバに接続を拒否されました。 ネットワーク管理者に問い合わせてください。 |
| | [対処方法] | Internet Explorer で、インターネット上のサイト、およびセキュリティで保護された (https:// から始まる) サイトが表示できるかどうかを確認してください。 表示できない場合は、ネットワーク管理者に問い合わせてください。 |
| E0113098 | [メッセージ] | アップデート・マネージャに内部エラーが発生したため、ダウンロードに失敗しました。 |
| | [対処方法] | 特約店、または当社までご連絡ください。 |
| E0113099 | [メッセージ] | アップデート・マネージャに内部エラーが発生したため、ダウンロードに失敗しました。 |
| | [対処方法] | 特約店、または当社までご連絡ください。 |
| E0114000 | [メッセージ] | サーバとの通信がタイムアウトしました。 |
| | [対処方法] | Internet Explorer で、インターネット上のサイト、およびセキュリティで保護された (https:// から始まる) サイトが表示できるかどうかを確認してください。 表示できない場合は、ネットワーク管理者に問い合わせてください。 表示できる場合は、パーソナルファイアウォールなどのセキュリティソフトにブロックされている可能性があります。アップデート・マネージャの http/https 通信を許可してください。 許可が必要な実行ファイルのパスは以下の通りです。 <インストール先>%CS+%UpdateManager.exe |
| E0115000 | [メッセージ] | ダウンロードはキャンセルされました。 |

| | | |
|----------|---------|---|
| E0115001 | [メッセージ] | アップデート・マネージャに内部エラーが発生したため、ダウンロードに失敗しました。 |
| | [対処方法] | 特約店、または当社までご連絡ください。 |
| E0119999 | [メッセージ] | アップデート・マネージャに内部エラーが発生したため、ダウンロードに失敗しました。 |
| | [対処方法] | 特約店、または当社までご連絡ください。 |
| E0120001 | [メッセージ] | ダウンロードに失敗しました。 xxx |
| E0120002 | [メッセージ] | ダウンロードは中止されました。 |
| E0120003 | [メッセージ] | 依存するアップデートのダウンロードに失敗したため、インストールできませんでした。 |
| E0120004 | [メッセージ] | インストールは中止されました。 |
| E0120005 | [メッセージ] | インストールに失敗しました。(エラーコード:xxx) |
| E0120006 | [メッセージ] | 別のプログラムによってアップデートが実行されています。完了後に再度実行してください。 |
| | [対処方法] | 管理者権限の取得に失敗しました。 |
| E0120007 | [メッセージ] | 管理者権限の取得に失敗しました。 |
| | [対処方法] | 管理者でないユーザを指定した場合はやり直してください。 |
| E0120008 | [メッセージ] | 依存するアップデートのインストールに失敗したため、インストールできませんでした。 |
| E0120009 | [メッセージ] | インストーラが見つかりません。 |
| | [対処方法] | アップデートをやり直してください。 |
| E0120010 | [メッセージ] | ダウンロードしたファイルが壊れています。 再度実行してください。 |
| | [対処方法] | 同じエラーが出続ける場合は、特約店、または当社までご連絡ください。 |
| E0130000 | [メッセージ] | コピーする対象が選択されていません。 |
| E0130001 | [メッセージ] | 削除する対象が選択されていません。 |
| E0130002 | [メッセージ] | 表示を復元する対象が選択されていません。 |
| E0130003 | [メッセージ] | "xxx" の削除に失敗しました。 |
| E0140001 | [メッセージ] | Windows xxx は、本製品の動作保証対象外の OS です。 本製品をインストールすることはできません。 インストールを中止します。 |
| | [説明] | 保証対象以外の Windows で統合インストーラを起動したときに表示されます。 |
| E0140002 | [メッセージ] | インストール情報を書き込む権限がありません。 インストールには、管理者権限が必要です。 インストールを中止します。 |
| | [説明] | 管理者権限のないユーザで起動したときに表示されます。 |
| E0140005 | [メッセージ] | ファイル (xxx) が参照できません。 本製品のインストールに必要なファイルが壊れている可能性があります。 インストールを中止します。 |
| | [説明] | 構成不足、または情報ファイルが壊れているときに表示されます。 |

| | | |
|----------|---------|---|
| E0140008 | [メッセージ] | 本製品のインストールに必要なファイルを操作できませんでした。 インストールを中止します。 |
| | [説明] | 販売拠点情報のファイルをホスト・マシンにコピーできなかったときに表示されます。 |
| E0140009 | [メッセージ] | 本製品のインストールに必要なファイル (xxx) をコピーできません。 コピー先に同名のファイルが存在します。 インストールを中止します。 |
| | [説明] | 販売拠点情報のファイルをホスト・マシンにコピーできなかったときに表示されます。 |
| E0140010 | [メッセージ] | インストールに必要な情報が取得できません。 xxx |
| | [説明] | 本製品のインストールに必要な情報が設定されていないときに表示されます。 ファイルが壊れている可能性があります。 |
| E0140012 | [メッセージ] | 使用許諾ファイルが参照できません。 本製品のインストールに必要なファイルが揃っていないか。壊れている可能性があります。 インストールを中止します。 |
| E0140013 | [メッセージ] | 使用許諾が表示できません。 ファイルが壊れている可能性があります。 インストールを中止します。 |
| E0140014 | [メッセージ] | 前回のインストール先フォルダ情報が取得できません。 インストールを中止します。 |
| | [説明] | 前回のインストール先を記録した情報ファイルが存在するのに、情報を読み込めなかったときに表示されます。 |
| E0140015 | [メッセージ] | インストール先に指定されたドライブは存在しないか、ネットワーク上にあるディスクです。 ローカル・ディスクのドライブを指定してください。 |
| | [説明] | インストール先フォルダに、存在しないドライブを指定したとき、不正な文字を指定したとき、またはローカル・ディスクでないドライブを指定したときに表示されます。 |
| E0140016 | [メッセージ] | インストール先フォルダの指定が正しくありません。 |
| | [説明] | インストール先フォルダに、フォルダとして使用できない文字が指定されたときに表示されます。 |
| E0140017 | [メッセージ] | ディスクの空き容量が不足しています。 インストール先のディスク容量を確保してください。 |
| | [説明] | ディスクの空き容量が足りないときに表示されます。 |
| E0140019 | [メッセージ] | インストールに失敗しました。 OS を再起動してください。 |
| | [説明] | 一部ツールのインストールに失敗したが、成功したインストールで再起動の必要があるときに表示されます。 |
| E0140020 | [メッセージ] | インストールに失敗しました。 インストール完了前に中断されました。 OS の再起動が必要です。 |
| | [説明] | インストールを中断して、完了した部分（中断前）の一部ツールのインストールに失敗したが、成功したインストールで再起動の必要があるときに表示されます。 |

| | | |
|----------|---------|--|
| E0140021 | [メッセージ] | 失敗したインストールがあります。 指定したツールのインストールが完了していません。 |
| | [説明] | 失敗したインストールがあったときに表示されます。 |
| E0140023 | [メッセージ] | インストールに失敗しました。 インストール完了前に中断されました。 |
| | [説明] | インストールを途中で中断し、完了した部分（中断前）のインストールで失敗があったときに表示されます。 |
| E0140024 | [メッセージ] | 本製品のインストールに必要なフォルダが作成できませんでした。 インストールを中止します。 |
| | [説明] | 他ツールとの連携用情報を配置するフォルダが作成できなかったときに表示されます。 |
| E0140026 | [メッセージ] | xxx が起動できませんでした。 |
| | [説明] | セットアップ完了 ウィンドウで [アップデート・マネージャを起動] にチェックがあるときに、アップデート・マネージャの起動に失敗したとき、またはインストールが必要な環境をインストールするインストール ウィンドウで [次へ] ボタンをクリックしたときに、統合インストーラの起動に失敗したときに表示されます。 |
| E0140027 | [メッセージ] | インストール状況の確認ができませんでした。 インストールを中止します。 |
| | [説明] | ツールがインストールされているかどうかをチェックする状況で、レジストリが参照できなかったときに表示されます。 |
| E0140028 | [メッセージ] | 「CS+ Utilities」がインストールされています。 インストールを開始する前に、 「プログラムと機能」で 「CS+ Utilities」を削除してください。 インストールを中止します。 |
| | [説明] | 統合インストーラ起動時、CS+ 関連ツールとして「CS+ Utilities」だけがインストールされている状態を検出したときに表示されます。 インストールフォルダを変更する場合は、いったんすべての CS+ 関連ツールをアンインストールする必要があります。 インストールを開始する前に「CS+ Utilities」を削除してください。 |
| | [対処方法] | 「CS+ Utilities」をアンインストールしてから、統合インストーラを起動してください。 |
| E0140030 | [メッセージ] | インストール準備用画面 (xxx) を開けませんでした。 インストールを中止します。 |
| | [説明] | フリー・ツール用の自己解凍形式ファイルを実行する際、インストール準備画面を表示できなかったとき、本エラーが表示されます。 |
| E0140034 | [メッセージ] | 本製品のアンインストールに必要なファイルを操作できませんでした。 アンインストールを中止します。 |
| | [説明] | 統合アンインストーラが「CS+ Utilities」をアンインストールするための情報を取得できなかったときに表示されます。 |
| | [対処方法] | 全ての CS+ 関連製品をアンインストールするには、Windows の機能から手動で「CS+ Utilities」を削除してください。 |
| E0140036 | [メッセージ] | インストールに必要な情報が取得できません。 インストールを中止します。 |
| | [説明] | OS から取得するべき情報が得られず、インストールを継続するのが適切でないと判断したときに表示されます。 |

| | | |
|----------|---------|---|
| E0140038 | [メッセージ] | 以下の製品のインストールに失敗しました。 - xxx インストールを終了します。 |
| | [説明] | インストールが必要な環境のインストールでインストールに失敗したときに表示されます。 |
| E0140039 | [メッセージ] | 以下の製品のインストールに失敗しました。 - xxx 以下の製品のインストールの完了には再起動が必要です。 Windows を再起動してください。 - xxx : この製品用の最新の Service Pack および セキュリティ更新プログラムを Windows Update および Microsoft Update を使用してインストールしてください。 インストールを終了します。 |
| | [説明] | インストールが必要な環境のインストールでインストールに失敗したが、成功したインストールでは再起動の必要があるときに表示されます。 |
| E0140040 | [メッセージ] | 以下の製品のインストールに失敗しました。 - xxx 以下の製品のインストールは成功しました。 - xxx : この製品用の最新の Service Pack および セキュリティ更新プログラムを Windows Update および Microsoft Update を使用してインストールしてください。 インストールを終了します。 |
| | [説明] | インストールが必要な環境のインストールでインストールに失敗したが、それ以外のインストールは成功したときに表示されます。 |
| E0140041 | [メッセージ] | 以下の製品のインストールに失敗しました。 - xxx 以下の製品のインストールの完了には再起動が必要です。 Windows を再起動してください。 - xxx 以下の製品のインストールは成功しました。 - xxx この製品用の最新の Service Pack および セキュリティ更新プログラムを Windows Update および Microsoft Update を使用してインストールしてください。 インストールを終了します。 |
| | [説明] | インストールが必要な環境のインストールでインストールに失敗したが、成功したインストールでは再起動の必要があるときに表示されます。 |
| E0172000 | [メッセージ] | ライセンスの取得がタイムアウトしました。 |
| E0172001 | [メッセージ] | コマンドライン・オプションが不正です。 |
| E0172002 | [メッセージ] | ライセンス・ファイルの読み込みに失敗しました。 |
| E0172003 | [メッセージ] | オプション・ファイルの読み込みに失敗しました。 xxx |

| | | |
|----------|---------|---|
| E0172004 | [メッセージ] | オプション・ファイルの読み込みに失敗しました。 xxx |
| E0172005 | [メッセージ] | オプション・ファイルの保存に失敗しました。 xxx |
| E0172006 | [メッセージ] | オプション・ファイルの保存に失敗しました。 xxx |
| E0172007 | [メッセージ] | ライセンス情報の読み込みに失敗しました。 xxx |
| E0172008 | [メッセージ] | サーバ・アドレスまたはポートの設定が不正です。 xxx |
| E0172009 | [メッセージ] | ライセンス情報の保存に失敗しました。 xxx |
| E0172010 | [メッセージ] | サーバ・アドレスまたはポートの設定が不正です。 xxx |
| | [対処方法] | オプションで指定したサーバ・アドレスとポート番号に間違いがないか確認してください。 |
| E0172011 | [メッセージ] | サーバ・アドレスまたはポートの設定が不正です。 xxx |
| | [対処方法] | オプションで指定したサーバ・アドレスとポート番号に間違いがないか確認してください。 |
| E0172020 | [メッセージ] | ライセンス・サーバからの応答が不正です。 |
| | [対処方法] | オプションで指定したサーバ・アドレスとポート番号に間違いがないか確認してください。 |
| E0172021 | [メッセージ] | ライセンス・サーバからの応答が不正です。 |
| | [対処方法] | オプションで指定したサーバ・アドレスとポート番号に間違いがないか確認してください。 |
| E0172022 | [メッセージ] | ライセンス・サーバにライセンスの空きがありません。 |
| E0172023 | [メッセージ] | ライセンス・サーバにライセンスの空きがありません。 上位のライセンスに空きがあります。 |
| E0172024 | [メッセージ] | ライセンス・サーバが、不正なサーバへの接続と応答を返しました。 |
| | [対処方法] | [オプション] でフローティング・ライセンスを無効にし、再度有効にしてください。 |
| E0172025 | [メッセージ] | ライセンス・サーバが、不明なクライアントからの接続と応答を返しました。 |
| | [対処方法] | [オプション] でフローティング・ライセンスを無効にし、再度有効にしてください。 |
| E0172026 | [メッセージ] | ライセンス・サーバの時刻との差が大きすぎます。 |
| | [対処方法] | PCの時刻を確認してください。問題がない場合は、ライセンス・サーバ管理者にサーバの時刻に問題がないか確認してください。 |
| E0172027 | [メッセージ] | ライセンス・サーバが不明なライセンスと応答を返しました。 |
| | [対処方法] | ライセンス・サーバのバージョンが古い可能性があります。ライセンス・サーバ管理者に確認してください。 |
| E0172028 | [メッセージ] | ライセンスは有効期限切れです。 |
| E0172040 | [メッセージ] | ライセンス・サーバへの接続に失敗しました。 xxx |

| | | |
|----------|---------|---|
| E0172041 | [メッセージ] | ライセンス・サーバへの接続がタイムアウトしました。 |
| | [対処方法] | <ul style="list-style-type: none"> - オプションで指定したサーバ・アドレスとポート番号に間違いがないか確認してください。 ライセンス・サーバ管理者に、フローティング・ライセンスが有効になっているか確認してください。 - ライセンス・サーバ上のファイアウォールで通信がブロックされている可能性があります。ライセンス・サーバ管理者に、クライアントからの通信を許可しているかどうか確認してください。 - クライアント上のパーソナルファイアウォールなどのセキュリティソフトにブロックされている可能性があります。オプションで指定したポートへの通信を許可してください。 |
| E0172042 | [メッセージ] | ライセンス・サーバへの接続に失敗しました。 サーバが見つからないか、DNS エラーです。 |
| | [対処方法] | オプションで指定したサーバ・アドレスに間違いがないか確認してください。解決しない場合は、IP アドレスで指定してください。 |
| E0172043 | [メッセージ] | ライセンス・サーバへの接続に失敗しました。 |
| | [対処方法] | オプションで指定したサーバ・アドレスとポート番号に間違いがないか確認してください。 ライセンス・サーバ管理者に、フローティング・ライセンスが有効になっているか確認してください。 |
| E0172044 | [メッセージ] | ライセンス・サーバが接続を拒否しました。 |
| | [対処方法] | オプションで指定したサーバ・アドレスとポート番号に間違いがないか確認してください。 |
| E0172045 | [メッセージ] | ライセンス・サーバがエラーコード (xxx) を返しました。 |
| | [対処方法] | オプションで指定したサーバ・アドレスとポート番号に間違いがないか確認してください。 |
| E0172046 | [メッセージ] | プロキシサーバへの接続に失敗しました。 サーバが見つからないか、DNS エラーです。 |
| | [対処方法] | コントロール・パネルの [インターネット オプション] で、プロキシサーバを経由しないように設定してください。設定内容は、ネットワーク管理者に問い合わせてください。 |
| E0172047 | [メッセージ] | プロキシサーバへの接続に失敗しました。 |
| | [対処方法] | コントロール・パネルの [インターネット オプション] で、プロキシサーバを経由しないように設定してください。設定内容は、ネットワーク管理者に問い合わせてください。 |
| E0180000 | [メッセージ] | 無効なライセンス・キーです。 |
| E0180001 | [メッセージ] | "xxxxxx" このライセンス・キーはすでに登録されています。 |
| E0180010 | [メッセージ] | 以下のライセンスを追加できませんでした。 アップグレード (バージョン) ライセンスを追加するためには、アップグレード元ライセンスの登録が必要です。 xxx |
| E0180011 | [メッセージ] | ライセンスの削除に失敗しました。 アップグレード (バージョン) ライセンスを削除する前にアップグレード元ライセンスを削除することはできません。 |
| E0182000 | [メッセージ] | ライセンス情報を "xxx" に書き込めませんでした。 |

| | | |
|----------|---------|--|
| E0190000 | [メッセージ] | ライセンス・マネージャの起動に失敗しました。 |
| | [対処方法] | CS+ を再インストールしてください。 |
| E0190001 | [メッセージ] | ライセンス・マネージャの起動に失敗しました。 ライセンス情報を保存するフォルダが見つかりません。 |
| | [対処方法] | CS+ を再インストールしてください。 |
| E0190002 | [メッセージ] | フローティング・ライセンス・サーバの管理には管理者権限が必要です。 |
| E0200001 | [メッセージ] | 致命的なエラーが発生しました。 |
| | [説明] | 致命的なエラーが発生したときに表示されます。 |
| | [対処方法] | [エラーの直接原因] が「キーが見つかりませんでした。」の場合は、C:\Users< ログイン名 >\AppData\Local\Renesas Electronics CS+ フォルダにある c1_user.mtput のファイル名を変更（例：c1_user_bkup.mtput）してお試しください。 上記以外の場合、 本製品をアップデートしてください。 Microsoft Visual C++ 2015 Update 3 ランタイム・ライブラリ（x86）をインストールしてください。 サポートに問い合わせてください。 |
| E0200002 | [メッセージ] | プログラム（プログラム名）の起動に失敗しました。 |
| | [説明] | IDE から Windows のプログラムを実行しようとして失敗したときに表示されます。 |
| | [対処方法] | プログラムが存在するか確認してください。 実行可能なアプリケーションを指定したか確認してください。 |
| E0200003 | [メッセージ] | エクスプローラで開けませんでした。 |
| | [説明] | 何らかの理由で開けなかったときに表示されます。 |
| | [対処方法] | エクスプローラへのパスを確認してください。 |
| E0200004 | [メッセージ] | 指定したアプリケーションで開けませんでした。 |
| | [説明] | プロジェクト・ツリーで選択したファイルを、指定したアプリケーションで開けなかった場合に表示されます。 |
| | [対処方法] | 実行可能なアプリケーションを指定したかどうかを確認してください。 |
| E0200005 | [メッセージ] | クリップボードの設定に失敗しました。 |
| | [説明] | クリップボードにデータを設定できなかったときに表示されます。 |
| | [対処方法] | メモリが足りない場合があります。 |
| E0200006 | [メッセージ] | ヘルプを開けませんでした。 |
| | [説明] | ヘルプを開けなかったときに表示されます。 |
| | [対処方法] | 本製品をアップデートしてください。 サポートに問い合わせてください。 |
| E0200007 | [メッセージ] | 対象アイテムが移動先アイテムと同列にないため移動できません。 |
| | [説明] | プロジェクト・ツリー上にてサブ・アイテムの同階層への移動に失敗したときに表示されます。 |
| E0200008 | [メッセージ] | 本製品の再起動に失敗しました。 再起動に必要な権限がない可能性があります。 |
| | [説明] | IDE の再起動に失敗したときに表示されます。 |
| | [対処方法] | 本製品の再起動に必要な権限が存在するか確認してください。ネットワーク経由で IDE をダウンロードした場合、またはアカウントに権限がない場合などが考えられます。 |

| | | |
|----------|---------|--|
| E0200009 | [メッセージ] | 本製品の起動に失敗しました。 |
| | [説明] | IDE の起動に失敗したときに表示されます。 |
| | [対処方法] | - 本製品が正しくインストールされているか確認してください。 - プロジェクト・ファイルが壊れていないか確認してください。 |
| E0200010 | [メッセージ] | 本製品の起動に失敗しました。 お使いの PC に Microsoft .NET Framework 4.6.2 以上をインストールしてください。 |
| | [説明] | PC に .NET Framework 4.6.2 以上がインストールされていないときに表示されます。 |
| | [対処方法] | PC に .NET Framework 4.6.2 以上をインストールしてください。 |
| E0200011 | [メッセージ] | WebView2 ランタイムがインストールされていません。[スマート・ブラウザ / スマート・マニュアル / 仮想ボード]には WebView2 ランタイムが必要です。 |
| | [説明] | PC に WebView2 ランタイムがインストールされていないときに表示されます。 |
| | [対処方法] | PC に WebView2 ランタイムをインストールしてください。 |
| E0201001 | [メッセージ] | 名前の変更に失敗しました。 |
| | [説明] | 名前の変更に失敗したときに表示されます。 |
| | [対処方法] | ファイル名を変更する場合は、ファイルへのアクセス権を確認してください。 |
| E0201002 | [メッセージ] | ファイルまたはフォルダが読み取り専用設定されていないか確認してください。 |
| | [説明] | プロジェクト情報の保存に失敗したときに表示されます。 |
| | [対処方法] | フォルダ、またはファイルが読み取り専用になっていないか確認してください。 |
| E0201003 | [メッセージ] | ファイルが見つかりません。 |
| | [説明] | ビルドに必要なファイル（ソース・ファイルなど）が見つからないことを表します。 |
| E0201004 | [メッセージ] | フォルダが見つかりません。 |
| | [説明] | バック時に、コピー先フォルダが見つからないことを表します。 |
| | [対処方法] | バック先のフォルダが読み取り専用になっていないか確認してください。 |
| E0201005 | [メッセージ] | フォルダの作成に失敗しました。 |
| | [説明] | フォルダの作成に失敗したときに表示されます。 |
| | [対処方法] | ファイルへのアクセス権を確認してください。 |
| E0201006 | [メッセージ] | xxx の読み込みに失敗しました。 |
| | [説明] | ファイルの読み込みに失敗したときに表示されます。 |
| | [対処方法] | ファイルへのアクセス権を確認してください。 |
| E0201007 | [メッセージ] | xxx の書き込みに失敗しました。 |
| | [説明] | ファイルへの書き込みに失敗したときに表示されます。 |
| | [対処方法] | ファイルへのアクセス権を確認してください。 |
| E0201008 | [メッセージ] | ファイル xxx の yyy への移動に失敗しました。 |
| | [説明] | ファイルの移動に失敗したときに表示されます。 |
| | [対処方法] | ファイルへのアクセス権を確認してください。 |

| | | |
|----------|---------|---|
| E0201009 | [メッセージ] | 一時ファイルの作成に失敗しました。 |
| | [説明] | 一時ファイルを作成できなかったときに表示されます。 |
| | [対処方法] | ファイルへのアクセス権を確認してください。 |
| E0201010 | [メッセージ] | 一時ファイルの削除に失敗しました。 |
| | [説明] | 一時ファイルを削除できなかったときに表示されます。 |
| | [対処方法] | ファイルへのアクセス権を確認してください。 |
| E0201011 | [メッセージ] | xxx の保存に失敗しました。 |
| | [説明] | ファイルの保存に失敗しました。 |
| | [対処方法] | 表示されているメッセージを元に対処してください。 |
| E0201012 | [メッセージ] | コピーできませんでした。 |
| | [説明] | コピー先にすでにファイルが存在するなど、何らかの理由でコピーに失敗した場合に表示されます。 |
| E0201013 | [メッセージ] | ファイル xxx の作成に失敗しました。 |
| | [説明] | ファイルを作成できなかったときに表示されます。 |
| | [対処方法] | ファイルへのアクセス権を確認してください。 |
| E0201015 | [メッセージ] | ファイル xxx の保存設定に失敗しました。 |
| | [説明] | ファイルの保存設定に失敗しました。 |
| | [対処方法] | ファイル内容が不正の可能性があります。 |
| E0201016 | [メッセージ] | フォルダ xxx の作成に失敗しました。 |
| | [説明] | フォルダを作成できなかったときに表示されます。 |
| | [対処方法] | フォルダへのアクセス権を確認してください。 |
| E0202001 | [メッセージ] | プロジェクトの作成に失敗しました。 |
| | [説明] | プロジェクトの作成に失敗したことを表します。 |
| | [対処方法] | 表示されているメッセージを元に対処してください。 |

| | | |
|----------|---------|--|
| E0202002 | [メッセージ] | プロジェクトの読み込みに失敗しました。 |
| | [説明] | プロジェクトの読み込みに失敗したことを表します。 |
| | [対処方法] | <p>表示されているメッセージを元に対処してください。</p> <p>(1)[エラーの直接原因]が「製品一覧ファイル(X:\...\Yyyy_ProductList.xml)が見つかりません。」の場合は、CS+のインストーラの開発ツール選択画面でYyyyに該当するマイクロコントローラファミリ用ツールにチェックを入れてインストールしてください。</p> <p>(2)CS+環境でビルドを実行して発生した場合 Windowsが生成するテンポラリファイルが多すぎるためにエラーが発生している可能性があります。 ご使用されているWindowsのテンポラリフォルダ(デフォルトはC:\Users\<ユーザー名>\AppData\Local\Temp)から古い日付のものなど不要のtmpファイルを削除してビルドを実行してみてください。</p> <p>(3)コマンドラインで実行して発生した場合 メイン・ウィンドウを表示せずに、コマンドラインでCS+の起動、プラグインの読み込み、ビルドの実行をした場合にパートナーOS対応デバッグプラグインが有効になっているため発生している可能性があります。 一度CS+のGUIを起動してCS+のメニューより“ツール”->“プラグインの管理”を選択、起動したプラグインの管理のダイアログでパートナーOS対応デバッグプラグインを外したのち、再度コマンドラインで実行してみてください。 上記で解決しない場合は、起動オプションに"/np InCarTools"を追加して確認をお願いします。(プロジェクト名は最後に指定します)</p> <p>変更前： CubeSuite+.exe /bcb "プロジェクトファイルパス" 変更後： CubeSuite+.exe /bcb /np InCarTools "プロジェクトファイルパス"</p> |
| E0202003 | [メッセージ] | プロジェクトの保存に失敗しました。 |
| | [説明] | プロジェクトの保存に失敗したことを表します。 |
| | [対処方法] | <p>表示されているメッセージを元に対処してください。</p> <p>拡張子が大文字の.Cのソースファイルに対して、個別オプションの設定をしている際に、このエラーが発生する場合があります。 カテゴリに対して個別オプションを指定した場合には、そのカテゴリ内のソースファイルの拡張子が大文字の.Cの場合に同様にエラーとなります。 拡張子を小文字の.cに変更して、プロジェクトに再登録をお願いいたします。</p> |
| E0202004 | [メッセージ] | プロジェクトのパックに失敗しました。 |
| | [説明] | プロジェクトのパックに失敗したことを表します。 |
| | [対処方法] | パック先のフォルダに不正なパスを指定していないか、またはパック先のフォルダが読み取り専用になっていないか確認してください。 |
| E0202005 | [メッセージ] | プロジェクト・ファイルが壊れています。 |
| | [説明] | ファイルの解析に失敗した場合に表示されます。 |
| | [対処方法] | 開く対象は、本製品で扱えるプロジェクト・ファイルを指定してください。 |
| E0202006 | [メッセージ] | 変換が可能なプロジェクト・ファイルではありません。 |
| | [説明] | 本製品で扱えるプロジェクト・ファイル以外を開こうとした場合に表示されます。 |
| | [対処方法] | 開く対象は、本製品で扱えるプロジェクト・ファイルを指定してください。 |

| | | |
|----------|---------|---|
| E0202007 | [メッセージ] | プロジェクト情報を復元できません。 |
| | [説明] | プロジェクト情報の復元, または変換に失敗した場合には表示されます。また, 流用元プロジェクトの構成抽出に失敗した場合には表示されます。 |
| | [対処方法] | 開く対象は, 本製品で扱えるプロジェクト・ファイルを指定してください。 |
| E0202008 | [メッセージ] | 有効なプロジェクト・ファイルではありません。 |
| | [説明] | プロジェクト情報の復元に失敗した場合には表示されます。 |
| | [対処方法] | 開く対象は, 本製品で扱えるプロジェクト・ファイルを指定してください。 |
| E0202009 | [メッセージ] | 指定した項目をプロジェクトから外せませんでした。 |
| | [説明] | 削除に失敗したときに表示されます。 |
| | [対処方法] | 削除できない項目です。 |
| E0202010 | [メッセージ] | サブプロジェクトの追加に失敗しました。 |
| | [説明] | 追加に失敗したときに表示されます。 |
| | [対処方法] | ファイルが存在するか, またはファイルが破壊されていないか確認してください。 |
| E0202011 | [メッセージ] | プロジェクト情報が無効です。 |
| | [説明] | ファイルの解析に失敗した場合には表示されます。 |
| | [対処方法] | 開く対象は, 本製品で扱えるプロジェクト・ファイルを指定してください。 |
| E0202012 | [メッセージ] | 有効なプロジェクト情報がありません。 |
| | [説明] | プロジェクト情報の復元, または変換に失敗した場合には表示されます。また, 流用元プロジェクトの構成抽出に失敗した場合には表示されます。 |
| | [対処方法] | 開く対象は, 本製品で扱えるプロジェクト・ファイルを指定してください。 |
| E0202013 | [メッセージ] | アイテム情報を復元できません。 |
| | [説明] | プロジェクト情報の復元, または変換に失敗した場合には表示されます。また, 流用元プロジェクトの構成抽出に失敗した場合には表示されます。 |
| | [対処方法] | 開く対象は, 本製品で扱えるプロジェクト・ファイルを指定してください。 |
| E0202014 | [メッセージ] | ファイル情報を復元できません。 |
| | [説明] | プロジェクト情報の復元, または変換に失敗した場合には表示されます。また, 流用元プロジェクトの構成抽出に失敗した場合には表示されます。 |
| | [対処方法] | 開く対象は, 本製品で扱えるプロジェクト・ファイルを指定してください。 |
| E0202015 | [メッセージ] | カテゴリ情報を復元できません。 |
| | [説明] | プロジェクト情報の復元, または変換に失敗した場合には表示されます。また, 流用元プロジェクトの構成抽出に失敗した場合には表示されます。 |
| | [対処方法] | 開く対象は, 本製品で扱えるプロジェクト・ファイルを指定してください。 |
| E0202016 | [メッセージ] | 同一 ID を持つサブプロジェクトがすでに登録されています。 |
| | [説明] | 同一 ID であるサブプロジェクトを追加しようとした場合に表示されます。 |
| | [対処方法] | 同一 ID のサブプロジェクトは追加できません。追加したいサブプロジェクト・ファイルを流用元として, 新規サブプロジェクトの追加を行ってください。 |
| E0202017 | [メッセージ] | ビルド・オプションの保存に失敗しました。 |
| | [説明] | プロジェクト・ファイルへのビルド・オプションの保存に失敗しました。 |
| | [対処方法] | プロジェクト・ファイルのバージョンを確認してください。 |

| | | |
|----------|---------|--|
| E0202018 | [メッセージ] | ビルド・オプションの復元に失敗しました。 |
| | [説明] | プロジェクト・ファイルからのビルド・オプションの復元に失敗しました。 |
| | [対処方法] | プロジェクト・ファイルのバージョンを確認してください。 |
| E0202019 | [メッセージ] | 共通オプションの保存に失敗しました。 |
| | [説明] | プロジェクト・ファイルへの共通オプションの保存に失敗しました。 |
| | [対処方法] | プロジェクト・ファイルのバージョンを確認してください。 |
| E0202020 | [メッセージ] | 共通オプションの復元に失敗しました。 |
| | [説明] | プロジェクト・ファイルからの共通オプションの復元に失敗しました。 |
| | [対処方法] | プロジェクト・ファイルのバージョンを確認してください。 |
| E0202021 | [メッセージ] | コンパイル・オプションの保存に失敗しました。 |
| | [説明] | プロジェクト・ファイルへのコンパイル・オプションの保存に失敗しました。 |
| | [対処方法] | プロジェクト・ファイルのバージョンを確認してください。 |
| E0202022 | [メッセージ] | コンパイル・オプションの復元に失敗しました。 |
| | [説明] | プロジェクト・ファイルからのコンパイル・オプションの復元に失敗しました。 |
| | [対処方法] | プロジェクト・ファイルのバージョンを確認してください。 |
| E0202023 | [メッセージ] | アセンブル・オプションの保存に失敗しました。 |
| | [説明] | プロジェクト・ファイルへのアセンブル・オプションの保存に失敗しました。 |
| | [対処方法] | プロジェクト・ファイルのバージョンを確認してください。 |
| E0202024 | [メッセージ] | アセンブル・オプションの復元に失敗しました。 |
| | [説明] | プロジェクト・ファイルからのアセンブル・オプションの復元に失敗しました。 |
| | [対処方法] | プロジェクト・ファイルのバージョンを確認してください。 |
| E0202025 | [メッセージ] | リンク・オプションの保存に失敗しました。 |
| | [説明] | プロジェクト・ファイルへのリンク・オプションの保存に失敗しました。 |
| | [対処方法] | プロジェクト・ファイルのバージョンを確認してください。 |
| E0202026 | [メッセージ] | リンク・オプションの復元に失敗しました。 |
| | [説明] | プロジェクト・ファイルからのリンク・オプションの復元に失敗しました。 |
| | [対処方法] | プロジェクト・ファイルのバージョンを確認してください。 |
| E0202027 | [メッセージ] | ライブラリ・オプションの保存に失敗しました。 |
| | [説明] | プロジェクト・ファイルへのライブラリ・オプションの保存に失敗しました。 |
| | [対処方法] | プロジェクト・ファイルのバージョンを確認してください。 |
| E0202028 | [メッセージ] | ライブラリ・オプションの復元に失敗しました。 |
| | [説明] | プロジェクト・ファイルからのライブラリ・オプションの復元に失敗しました。 |
| | [対処方法] | プロジェクト・ファイルのバージョンを確認してください。 |
| E0202029 | [メッセージ] | オブジェクト・コンバート・オプションの保存に失敗しました。 |
| | [説明] | プロジェクト・ファイルへのオブジェクト・コンバート・オプションの保存に失敗しました。 |
| | [対処方法] | プロジェクト・ファイルのバージョンを確認してください。 |

| | | |
|----------|---------|---|
| E0202030 | [メッセージ] | オブジェクト・コンバート・オプションの復元に失敗しました。 |
| | [説明] | プロジェクト・ファイルからのオブジェクト・コンバート・オプションの復元に失敗しました。 |
| | [対処方法] | プロジェクト・ファイルのバージョンを確認してください。 |
| E0202031 | [メッセージ] | コンパイル・ビルド設定オプションの保存に失敗しました。 |
| | [説明] | プロジェクト・ファイルへのコンパイル・ビルド設定オプションの保存に失敗しました。 |
| | [対処方法] | プロジェクト・ファイルのバージョンを確認してください。 |
| E0202032 | [メッセージ] | コンパイル・ビルド設定オプションの復元に失敗しました。 |
| | [説明] | プロジェクト・ファイルからのコンパイル・ビルド設定オプションの復元に失敗しました。 |
| | [対処方法] | プロジェクト・ファイルのバージョンを確認してください。 |
| E0202033 | [メッセージ] | アセンブル・ビルド設定オプションの保存に失敗しました。 |
| | [説明] | プロジェクト・ファイルへのアセンブル・ビルド設定オプションの保存に失敗しました。 |
| | [対処方法] | プロジェクト・ファイルのバージョンを確認してください。 |
| E0202034 | [メッセージ] | アセンブル・ビルド設定オプションの復元に失敗しました。 |
| | [説明] | プロジェクト・ファイルからのアセンブル・ビルド設定オプションの復元に失敗しました。 |
| | [対処方法] | プロジェクト・ファイルのバージョンを確認してください。 |
| E0202035 | [メッセージ] | 個別コンパイル・オプションの保存に失敗しました。 |
| | [説明] | プロジェクト・ファイルへの個別コンパイル・オプションの保存に失敗しました。 |
| | [対処方法] | プロジェクト・ファイルのバージョンを確認してください。 |
| E0202036 | [メッセージ] | 個別コンパイル・オプションの復元に失敗しました。 |
| | [説明] | プロジェクト・ファイルからの個別コンパイル・オプションの復元に失敗しました。 |
| | [対処方法] | プロジェクト・ファイルのバージョンを確認してください。 |
| E0202037 | [メッセージ] | 個別アセンブル・オプションの保存に失敗しました。 |
| | [説明] | プロジェクト・ファイルへの個別アセンブル・オプションの保存に失敗しました。 |
| | [対処方法] | プロジェクト・ファイルのバージョンを確認してください。 |
| E0202038 | [メッセージ] | 個別アセンブル・オプションの復元に失敗しました。 |
| | [説明] | プロジェクト・ファイルからの個別アセンブル・オプションの復元に失敗しました。 |
| | [対処方法] | プロジェクト・ファイルのバージョンを確認してください。 |
| E0202039 | [メッセージ] | プロジェクトの操作が禁止されています。 |
| | [説明] | プロジェクトの操作禁止中（ビルド中）にプロジェクトの構成を変更しようとしたときに表示されます。 |
| | [対処方法] | 現在の処理が終了するまでお待ちください。 |

| | | |
|----------|---------|---|
| E0202040 | [メッセージ] | プロジェクトの操作を許可できませんでした。 |
| | [説明] | プロジェクトの操作禁止を解除失敗時に表示されます。 |
| | [対処方法] | 現在の処理が終了するまでお待ちください。 |
| E0202041 | [メッセージ] | ビルド中はプロジェクトを閉じたり、ウインドウを閉じたりすることはできません。 |
| | [説明] | プロジェクトのクローズに失敗したときに表示されます。 |
| | [対処方法] | ビルド中はプロジェクトを閉じることができません。 |
| E0202042 | [メッセージ] | 検索中はプロジェクトを閉じたり、ウインドウを閉じたりすることはできません。 |
| | [説明] | プロジェクトのクローズに失敗したときに表示されます。 |
| | [対処方法] | 検索中はプロジェクトを閉じることができません。 |
| E0202044 | [メッセージ] | オブジェクト・オプションの復元に失敗しました。 |
| | [説明] | プロジェクト・ファイルからのオブジェクト・オプションの復元に失敗しました。 |
| | [対処方法] | プロジェクト・ファイルのバージョンを確認してください。 |
| E0202045 | [メッセージ] | ROM 化プロセス・オプションの保存に失敗しました。 |
| | [説明] | プロジェクト・ファイルへの ROM 化プロセス・オプションの保存に失敗しました。 |
| | [対処方法] | プロジェクト・ファイルのバージョンを確認してください。 |
| E0202046 | [メッセージ] | ROM 化プロセス・オプションの復元に失敗しました。 |
| | [説明] | プロジェクト・ファイルからの ROM 化プロセス・オプションの復元に失敗しました。 |
| | [対処方法] | プロジェクト・ファイルのバージョンを確認してください。 |
| E0202047 | [メッセージ] | アーカイブ・オプションの保存に失敗しました。 |
| | [説明] | プロジェクト・ファイルへのアーカイブ・オプションの保存に失敗しました。 |
| | [対処方法] | プロジェクト・ファイルのバージョンを確認してください。 |
| E0202048 | [メッセージ] | アーカイブ・オプションの復元に失敗しました。 |
| | [説明] | プロジェクト・ファイルからのアーカイブ・オプションの復元に失敗しました。 |
| | [対処方法] | プロジェクト・ファイルのバージョンを確認してください。 |
| E0202049 | [メッセージ] | 変換が可能な PM+ 用プロジェクト・ファイルではありません。 |
| | [説明] | V6.00 より古い PM+ 用プロジェクト (*.prj) を開こうとした場合に表示されます。CS+ で扱うことができるのは、PM+ プロジェクト・フォーマット V6.00 以上です。 |
| | [対処方法] | 開く対象は、本製品で扱えるプロジェクト・ファイルを指定してください。 |
| E0202050 | [メッセージ] | 保存先に指定した場所が不正です。プロジェクト・フォルダ以外のフォルダを指定してください。 |
| | [説明] | 作成場所として指定したパスが不正です。 |
| | [対処方法] | 作成場所を指定し直してください。 |
| E0202051 | [メッセージ] | セクション・ファイル・ジェネレート・オプションの保存に失敗しました。 |
| | [説明] | プロジェクト・ファイルへのセクション・ファイル・ジェネレート・オプションの保存に失敗しました。 |
| | [対処方法] | プロジェクト・ファイルのバージョンを確認してください。 |

| | | |
|----------|---------|--|
| E0202052 | [メッセージ] | セクション・ファイル・ジェネレート・オプションの復元に失敗しました。 |
| | [説明] | プロジェクト・ファイルからのセクション・ファイル・ジェネレート・オプションの復元に失敗しました。 |
| | [対処方法] | プロジェクト・ファイルのバージョンを確認してください。 |
| E0202053 | [メッセージ] | クロス・リファレンス・オプションの保存に失敗しました。 |
| | [説明] | プロジェクト・ファイルへのクロス・リファレンス・オプションの保存に失敗しました。 |
| | [対処方法] | プロジェクト・ファイルのバージョンを確認してください。 |
| E0202054 | [メッセージ] | クロス・リファレンス・オプションの復元に失敗しました。 |
| | [説明] | プロジェクト・ファイルからのクロス・リファレンス・オプションの復元に失敗しました。 |
| | [対処方法] | プロジェクト・ファイルのバージョンを確認してください。 |
| E0202055 | [メッセージ] | メモリ・レイアウト視覚化オプションの保存に失敗しました。 |
| | [説明] | プロジェクト・ファイルへのメモリ・レイアウト視覚化オプションの保存に失敗しました。 |
| | [対処方法] | プロジェクト・ファイルのバージョンを確認してください。 |
| E0202056 | [メッセージ] | メモリ・レイアウト視覚化オプションの復元に失敗しました。 |
| | [説明] | プロジェクト・ファイルからのメモリ・レイアウト視覚化オプションの復元に失敗しました。 |
| | [対処方法] | プロジェクト・ファイルのバージョンを確認してください。 |
| E0202057 | [メッセージ] | ダンプ・オプションの保存に失敗しました。 |
| | [説明] | プロジェクト・ファイルへのダンプ・オプションの保存に失敗しました。 |
| | [対処方法] | プロジェクト・ファイルのバージョンを確認してください。 |
| E0202058 | [メッセージ] | ダンプ・オプションの復元に失敗しました。 |
| | [説明] | プロジェクト・ファイルからのダンプ・オプションの復元に失敗しました。 |
| | [対処方法] | プロジェクト・ファイルのバージョンを確認してください。 |
| E0202059 | [メッセージ] | メモリ・バンク配置オプションの保存に失敗しました。 |
| | [説明] | プロジェクト・ファイルへのメモリ・バンク配置オプションの保存に失敗しました。 |
| | [対処方法] | プロジェクト・ファイルのバージョンを確認してください。 |
| E0202060 | [メッセージ] | メモリ・バンク配置オプションの復元に失敗しました。 |
| | [説明] | プロジェクト・ファイルからのメモリ・バンク配置オプションの復元に失敗しました。 |
| | [対処方法] | プロジェクト・ファイルのバージョンを確認してください。 |
| E0202061 | [メッセージ] | 変数／関数情報オプションの保存に失敗しました。 |
| | [説明] | プロジェクト・ファイルへの変数／関数情報オプションの保存に失敗しました。 |
| | [対処方法] | プロジェクト・ファイルのバージョンを確認してください。 |

| | | |
|----------|---------|---|
| E0202062 | [メッセージ] | 変数/関数情報オプションの復元に失敗しました。 |
| | [説明] | プロジェクト・ファイルからの変数/関数情報オプションの復元に失敗しました。 |
| | [対処方法] | プロジェクト・ファイルのバージョンを確認してください。 |
| E0202063 | [メッセージ] | リンク・ディレクティブ設定情報の保存に失敗しました。 |
| | [説明] | プロジェクト・ファイルへのリンク・ディレクティブ設定データの保存に失敗しました。 |
| | [対処方法] | プロジェクト・ファイルのバージョンを確認してください。 |
| E0202064 | [メッセージ] | リンク・ディレクティブ設定情報の復元に失敗しました。 |
| | [説明] | プロジェクト・ファイルからのリンク・ディレクティブ設定データの復元に失敗しました。 |
| | [対処方法] | プロジェクト・ファイルのバージョンを確認してください。 |
| E0202065 | [メッセージ] | プロジェクトに登録可能なファイル数の上限 (xxx 個) を越えました。 |
| | [説明] | プロジェクトにファイルを追加中に、登録可能なファイルの上限数を越えました。 |
| | [対処方法] | 不要なファイルをプロジェクトから外して、登録ファイル数を減らしてください。 |
| E0202066 | [メッセージ] | 使用しているツール・バージョンでは扱えないプロジェクト・ファイルです。 |
| | [説明] | 互換性のないプロジェクト・ファイルを読み込もうとしました。 |
| | [対処方法] | 指定されたプロジェクト・ファイルを作成したツール・バージョンと同一か確認してください。必要であれば、統合開発環境フレームワークとプラグインをアップデートしてください。 |
| E0202067 | [メッセージ] | ヘキサ出力オプションの保存に失敗しました。 |
| | [説明] | プロジェクト・ファイルへのヘキサ出力オプションの保存に失敗しました。 |
| | [対処方法] | プロジェクト・ファイルのバージョンを確認してください。 |
| E0202068 | [メッセージ] | ヘキサ出力オプションの復元に失敗しました。 |
| | [説明] | プロジェクト・ファイルからのヘキサ出力オプションの復元に失敗しました。 |
| | [対処方法] | プロジェクト・ファイルのバージョンを確認してください。 |
| E0202069 | [メッセージ] | ビルド・オプションのインポートに失敗しました。 |
| | [説明] | ビルド・オプションのインポートに失敗した場合に表示されます。 |
| | [対処方法] | インポートに指定したプロジェクト・ファイルが壊れていないか、インポートできないプロジェクトではないか確認してください。 |
| E0202070 | [メッセージ] | 指定したプロジェクト・ファイルは、このビルド・ツールに対応していません。 |
| | [説明] | ビルド・オプションのインポートで指定されたプロジェクト・ファイルには対応していません。 |
| | [対処方法] | ビルド・ツールが異なっていないか、またはプロジェクトの種類が異なっていないかを確認してください。 |
| E0202071 | [メッセージ] | プロジェクトに登録可能なサブプロジェクト数の上限 (xxx 個) を越えました。 |
| | [説明] | プロジェクトにサブプロジェクトを追加中に、登録可能なサブプロジェクトの上限数を越えた場合に表示されます。 |
| | [対処方法] | 不要なサブプロジェクトをプロジェクトから外して、登録サブプロジェクト数を減らしてください。 |

| | | |
|----------|---------|---|
| E0202072 | [メッセージ] | 変換が可能な e ² studio プロジェクト・ファイルではありません。 |
| | [説明] | 対応していないバージョン, または対応していない生成元の rpc ファイルを変換しようとした場合に表示されます。 |
| | [対処方法] | 変換する対象には, 本製品で扱えるプロジェクト・ファイルを指定してください。 |
| E0202073 | [メッセージ] | 前回終了時のプロジェクトが見つかりませんでした。xxx |
| | [説明] | 製品起動時に, 該当プロジェクトが見つからなかった場合に表示されます (前回終了時のプロジェクトを自動で読み込む設定の場合)。 |
| | [対処方法] | 手動で目的のプロジェクトを開いてください。 |
| E0202074 | [メッセージ] | 本製品の設定がファイル (xxx) から復帰できませんでした。 ファイルが他のプロセスによって使用されているか破損している可能性があります。 [中止]: 本製品の起動を中止する。 [再試行]: 設定を復帰できるか再度確認する。 [無視]: 設定を初期化して起動する。 |
| | [説明] | PC のユーザ毎の情報の読み込みに失敗した場合に, xxx に対象ファイルのフルパスを出力します。 読み込めない原因としては, 以下のことが考えられます。 - 他のアプリケーション (ウイルスチェック) などがファイルをロックしている - CS+ を終了している最中にもう 1 つの CS+ を起動した |
| | [対処方法] | 他のプロセス (CS+, エディタなど) で開いていないか, ファイルへの読み書きが可能かどうかを確認してください。 他のプロセスで開いておらず, [再試行] を試しても同じメッセージが表示される場合は, [無視] を選択してみてください。 ただし, CS+ の色設定等を保存していた場合は, 初期化されます。 |
| E0202075 | [メッセージ] | 本製品の設定をファイル (xxx) へ保存できませんでした。 ファイルが他のプロセスによって使用されているか書き込み権限がない可能性があります。 [再試行]: 設定を保存できるか再度確認する。 [キャンセル]: 設定を保存せず本製品を終了します。 |
| | [説明] | PC のユーザ毎の情報の保存に失敗した場合に, xxx に対象ファイルのフルパスを出力します。 |
| | [対処方法] | 他のプロセス (CS+, エディタなど) で開いていないか, ファイルへの読み書きが可能かどうかを確認してください。 |
| E0202076 | [メッセージ] | 本製品の設定をファイル (xxx) へ保存できませんでした。 ファイルが他のプロセスによって使用されているか書き込み権限がない可能性があります。 [再試行]: 設定を保存できるか再度確認する。 [キャンセル]: 設定を保存しないで作業を続ける。 |
| | [説明] | PC のユーザ毎の情報の保存に失敗した場合に, xxx に対象ファイルのフルパスを出力します。 |
| | [対処方法] | 他のプロセス (CS+, エディタなど) で開いていないか, ファイルへの読み書きが可能かどうかを確認してください。 |

| | | |
|----------|---------|--|
| E0203001 | [メッセージ] | ビルド中にエラーが発生しました。 |
| | [説明] | ビルド中にエラーが発生したことを表します。 |
| | [対処方法] | 表示されているメッセージを元に対処してください。 [エラーの直接原因]が「指定されたファイルが見つかりません。」で、エラーの詳細情報に「プログラム (Bin¥Xxxxx.exe) の起動に失敗しました (E0200002)」と表示される場合は、ビルド・ツールのプロパティの [共通オプション] タブの [バージョン選択] カテゴリの [使用するコンパイラ・パッケージのバージョン] を確認し、そのバージョンのコンパイラがインストールされていることを確認してください。 |
| E0203002 | [メッセージ] | リビルド中にエラーが発生しました。 |
| | [説明] | リビルド中にエラーが発生したことを表します。 |
| | [対処方法] | 表示されているメッセージを元に対処してください。 |
| E0203003 | [メッセージ] | クリーン中にエラーが発生しました。 |
| | [説明] | クリーン中にエラーが発生したことを表します。 |
| | [対処方法] | 表示されているメッセージを元に対処してください。 |
| E0203004 | [メッセージ] | ビルドの停止でエラーが発生しました。 |
| | [説明] | ビルドの停止でエラーが発生したことを表します。 |
| | [対処方法] | 表示されているメッセージを元に対処してください。 |
| E0203005 | [メッセージ] | バッチ・ビルドに失敗しました。 |
| | [説明] | バッチ・ビルド ダイアログから、バッチ・ビルドを実行したときに、例外（ビルド・エラー以外）が発生したときに表示されます。 |
| | [対処方法] | ビルド・ツールが存在するか確認してください。 |
| E0203006 | [メッセージ] | バッチ・リビルドに失敗しました。 |
| | [説明] | バッチ・ビルド ダイアログから、バッチ・リビルドを実行したときに、例外（ビルド・エラー以外）が発生したときに表示されます。 |
| | [対処方法] | ビルド・ツールが存在するか確認してください。 |
| E0203007 | [メッセージ] | バッチ・クリーンに失敗しました。 |
| | [説明] | バッチ・ビルド ダイアログから、バッチ・クリーンを実行したときに、例外（ビルド・エラー以外）が発生したときに表示されます。 |
| | [対処方法] | ビルド・ツールが存在するか確認してください。 |
| E0203008 | [メッセージ] | ビルド・モードの設定に失敗しました。 |
| | [説明] | ビルド・モード設定 ダイアログでエラー時に表示されます。 |
| | [対処方法] | 入力値が正しいことを確認してください。 |
| E0203009 | [メッセージ] | ビルド・オプション一覧の表示に失敗しました。 |
| | [説明] | ビルド・オプション一覧の表示に失敗したときに表示されます。 |
| | [対処方法] | ビルド・ツールのインストールを確認してください。 |
| E0203010 | [メッセージ] | 依存関係の更新に失敗しました。 |
| | [説明] | ファイルの依存関係の更新に失敗したときに表示されます。 |
| | [対処方法] | ファイルへのアクセス権、または C ソース中に不正なパスが入力されていないことを確認してください。 |

| | | |
|----------|---------|--|
| E0203011 | [メッセージ] | リンク順設定に失敗しました。 |
| | [説明] | リンク順設定に失敗したときに表示されます。 |
| | [対処方法] | リンク順の指定が間違っていないか確認してください。 |
| E0203012 | [メッセージ] | アセンブルに失敗しました。 |
| | [説明] | コマンドを実行できなかった場合に表示されます。 |
| | [対処方法] | 表示されているメッセージを元に対処してください。 |
| E0203013 | [メッセージ] | コンパイルに失敗しました。 |
| | [説明] | コマンドを実行できなかった場合に表示されます。 |
| | [対処方法] | 表示されているメッセージを元に対処してください。 |
| E0203014 | [メッセージ] | プロジェクトにビルダが設定されていません。 |
| | [対処方法] | ビルド・ツールが正しくインストールされているか、確認してください。 |
| E0203015 | [メッセージ] | ビルド・モードの追加に失敗しました。 |
| | [説明] | ビルド・モード設定 ダイアログで追加の失敗時に表示されます。 |
| | [対処方法] | 入力値が正しいことを確認してください。 |
| E0203016 | [メッセージ] | ビルド・モード名の変更に失敗しました。 |
| | [説明] | 不正なビルド・モード名の入力時に表示されます。 |
| | [対処方法] | 入力値が正しいことを確認してください。 |
| E0203017 | [メッセージ] | 現在のビルド・モードの変更に失敗しました。 |
| | [説明] | 存在しないビルド・モードが指定されました |
| | [対処方法] | 入力値が正しいことを確認してください。 |
| E0203018 | [メッセージ] | ビルド・モードの複製に失敗しました。 |
| | [説明] | 存在しないビルド・モードが指定されました |
| | [対処方法] | 入力値が正しいことを確認してください。 |
| E0203019 | [メッセージ] | ビルド・モードの削除に失敗しました。 |
| | [説明] | 存在しないビルド・モードが指定されました。 |
| | [対処方法] | 入力値が正しいことを確認してください。 |
| E0203021 | [メッセージ] | 同名のビルド・モードがすでに存在します。 |
| | [説明] | 同名のビルド・モードがすでに存在するときに表示されます。 |
| | [対処方法] | 入力値が正しいことを確認してください。 |
| E0203023 | [メッセージ] | ビルド中です。 |
| | [説明] | ビルド中にビルドを行おうとしたときに表示されます。 |
| | [対処方法] | ビルドが完了するまでお待ちください。 |
| E0203025 | [メッセージ] | インクルード・パスの設定数が上限 (xxx) を越えました。 |
| | [説明] | インクルードパスの設定数がビルド開始時に上限を越えていたときに表示され ます。 |
| | [対処方法] | 追加のインクルードパスを減らしてください。 |

| | | |
|----------|---------|---|
| E0203026 | [メッセージ] | ライブラリ・パスの設定数が上限 (xxx) を越えました。 |
| | [説明] | ライブラリパスの設定数がビルド開始時に上限を越えていたときに表示されます。 |
| | [対処方法] | 追加のインクルードパスを減らしてください。 |
| E0203027 | [メッセージ] | ライブラリ・ファイルの設定数が上限 (xxx) を越えました。 |
| | [説明] | ライブラリの設定数がビルド開始時に上限を越えていたときに表示されます。 |
| | [対処方法] | 使用するライブラリ・ファイルを減らしてください。 |
| E0203028 | [メッセージ] | プロジェクトで使用するコンパイラ・パッケージ (xxx) が1つもインストールされていません。 |
| | [説明] | コンパイラ・パッケージが1つもインストールされていないときに表示されます。 |
| | [対処方法] | ビルド・ツールが正しくインストールされているか、確認してください。 |
| E0203029 | [メッセージ] | IronPython コンソール・プラグインがインストールされていません。 |
| | [説明] | IronPython コンソール・プラグインが利用できない場合に表示されます。 |
| | [対処方法] | IronPython コンソール・プラグインがインストールされ有効になっているか、[ツール]メニュー→[プラグインの管理...]で確認してください。 |
| E0203030 | [メッセージ] | ビルド・モード xxx へのオプションの反映が失敗しました。 |
| | [説明] | ビルド・モードへのオプションの反映が失敗した場合に表示されます。 |
| | [対処方法] | 設定値が正しいか確認してください。 |
| E0203031 | [メッセージ] | 大文字 / 小文字のみ異なる同名のビルド・モードがすでに存在します。 |
| | [説明] | 大文字 / 小文字のみ異なる同名のビルド・モードがすでに存在するときに表示されます。 |
| | [対処方法] | 入力値が正しい事を確認してください。 |
| E0203032 | [メッセージ] | ビルド・ツールのプロパティで「(ビルド, コンパイル等) 前に実行するコマンド」 / 「(ビルド, コンパイル等) 後に実行するコマンド」の #!python の記述に誤りがあります。 |
| | [説明] | ビルド・ツールのプロパティで [(ビルド, コンパイル等) 前に実行するコマンド] / [(ビルド, コンパイル等) 後に実行するコマンド] プロパティの #!python の記述に誤りがあるときに表示されます。 |
| | [対処方法] | ビルド・ツールのプロパティで [(ビルド, コンパイル等) 前に実行するコマンド] / [(ビルド, コンパイル等) 後に実行するコマンド] プロパティの #!python の記載を確認してください。#!の後に指定できるのは python のみです。 |
| E0204001 | [メッセージ] | ダウンロードに失敗しました。 |
| | [説明] | ダウンロード実行中にエラーが発生した場合に表示されます。 |
| | [対処方法] | デバッグ・ツールに接続できているか、またはメモリマッピングを確認してください。 |
| E0205002 | [メッセージ] | 編集できませんでした。 |
| | [説明] | 何らかの理由で編集できなかった場合に表示されます。 |
| E0205003 | [メッセージ] | 検索または置換に失敗しました。 |
| | [説明] | 何らかの理由で検索または置換に失敗した場合に表示されます。 |
| | [対処方法] | メモリが不足している場合があります。 |

| | | |
|----------|---------|--|
| E0205004 | [メッセージ] | xxx の検索または置換に失敗しました。 |
| | [説明] | 何らかの理由で検索または置換に失敗した場合に表示されます。 |
| | [対処方法] | メモリが不足している場合があります。 |
| E0206001 | [メッセージ] | 現在検索中です。検索が完了するまで次の検索は実行できません。 |
| | [説明] | 検索中に検索しようとした場合に表示されます。 |
| | [対処方法] | 検索を中断するか、完了するまでお待ちください。 |
| E0207001 | [メッセージ] | メモリへの書き込みに失敗しました。 |
| | [説明] | メモリにデータを書き込むときに、デバッグ・ツールのエラーが発生しました。 |
| | [対処方法] | デバッグ・ツールに接続できているか確認してください。 |
| E0207002 | [メッセージ] | 指定した範囲は、書き込みできないメモリ領域を含んでいます。 |
| | [説明] | メモリ初期化 ダイアログにて、[OK] ボタンを押下したときに表示されます。 |
| | [対処方法] | 指定した範囲に、書き込みできないメモリ領域を含んでいないかを確認してください。 |
| E0207003 | [メッセージ] | フラッシュ・オプションの書き込みに失敗しました。 |
| | [説明] | [フラッシュ・オプション設定] ダイアログにて、[書き込み] ボタンを押下したときに表示されます。 |
| | [対処方法] | デバッグ・ツールの接続、および設定に問題がないか確認してください。 |
| E0207004 | [メッセージ] | フラッシュ・オプションの読み込みに失敗しました。 |
| | [説明] | [フラッシュ・オプション設定] ダイアログにて、[読み込み] ボタンを押下したときに表示されます。 |
| | [対処方法] | デバッグ・ツールの接続および設定に問題がないか確認してください。 |
| E0208001 | [メッセージ] | ブレーク・イベントを削除できませんでした。 |
| | [説明] | エディタ パネル、および逆アセンブル パネルでブレークポイントを削除できなかったときに表示されます。 |
| | [対処方法] | デバッグ・ツールと接続できているか確認してください。 |
| E0208002 | [メッセージ] | ブレーク・イベントを設定できませんでした。 |
| | [説明] | エディタ パネル、および逆アセンブル パネルでブレークポイントを設定できなかったときに表示されます。 |
| | [対処方法] | 設定値が不正の可能性があります。 デバッグ・ツールと接続できているか確認してください。 |
| E0208003 | [メッセージ] | ダウンロード後にファイル (xxx) が変更されているため、このパネルからのイベント設定や PC 位置の変更など、行番号に依存する設定はできません。 |
| | [説明] | ダウンロード後にファイルが変更されているときに表示されます。 |
| | [対処方法] | ビルドされた新しいモジュールをダウンロードしてください。 |
| E0208004 | [メッセージ] | アクション・イベントの設定に失敗しました。 |
| | [説明] | アクション・イベントの設定に失敗した場合に表示されます。 |

| | | |
|----------|---------|---|
| E0208005 | [メッセージ] | トレース・イベントを設定できませんでした。 |
| | [説明] | エディタ パネル, および逆アセンブル パネルでトレースイベントを設定できなかったときに表示されます。 |
| | [対処方法] | 設定値が不正の可能性があります。 デバッグ・ツールと接続できているか確認してください。 |
| E0208006 | [メッセージ] | タイマ・イベントを設定できませんでした。 |
| | [説明] | エディタ パネル, および逆アセンブル パネルでタイマ・イベントを設定できなかったときに表示されます。 |
| | [対処方法] | 設定値が不正の可能性があります。 デバッグ・ツールと接続できているか確認してください。 |
| E0208009 | [メッセージ] | 指定した場所にイベントの設定はできません。 |
| | [説明] | [イベント設定] メニューで表示されます。 |
| | [対処方法] | シンボル情報がない場合に表示されます。 |
| E0208010 | [メッセージ] | イベントを無効にできませんでした。 |
| | [説明] | [イベント設定] メニューで表示されます。 シンボル情報がない場合に表示されます。 |
| E0208011 | [メッセージ] | イベントを削除できませんでした。 |
| | [説明] | [イベント設定] メニューで表示されます。 シンボル情報がない場合に表示されます。 |
| E0208012 | [メッセージ] | イベントを有効にできませんでした。 |
| | [説明] | [イベント設定] メニューで表示されます。 シンボル情報がない場合に表示されます。 |
| | [対処方法] | |
| E0208013 | [メッセージ] | アクション・イベントは xxx 個まで設定可能です。 |
| | [説明] | 提示されている数までアクション・イベントを登録できます。 |
| | [対処方法] | 不要なアクション・イベントは削除してください。 |
| E0209001 | [メッセージ] | プログラムのリセットで失敗しました。 |
| | [説明] | [リセット] メニュー実行時に例外が発生したときに表示されます。 |
| | [対処方法] | デバッグ・ツールに接続できているか確認してください。 |
| E0209002 | [メッセージ] | プログラムの実行に失敗しました。 |
| | [説明] | [実行] メニュー実行時に例外が発生したときに表示されます。 |
| | [対処方法] | デバッグ・ツールに接続できているか確認してください。 |
| E0209003 | [メッセージ] | プログラムの停止に失敗しました。 |
| | [説明] | [停止] メニュー実行時に例外が発生したときに表示されます。 |
| | [対処方法] | デバッグ・ツールに接続できているか確認してください。 |
| E0209004 | [メッセージ] | ステップ・インの実行に失敗しました。 |
| | [説明] | [ステップ・イン] メニュー実行時に例外が発生したときに表示されます。 |
| | [対処方法] | デバッグ・ツールに接続できているか確認してください。 |

| | | |
|----------|---------|--|
| E0209005 | [メッセージ] | ステップ・オーバの実行に失敗しました。 |
| | [説明] | [ステップ・オーバ] メニュー実行時に例外が発生したときに表示されます。 |
| | [対処方法] | デバッグ・ツールに接続できているか確認してください。 |
| E0209006 | [メッセージ] | リターン・アウトに失敗しました。 |
| | [説明] | [リターン・アウト] メニュー実行時に例外が発生したときに表示されます。 |
| | [対処方法] | デバッグ・ツールに接続できているか確認してください。 |
| E0209007 | [メッセージ] | PC 値の設定に失敗しました。 |
| | [説明] | [PC をここに設定] メニュー実行時に例外が発生したときに表示されます。 |
| | [対処方法] | デバッグ・ツールに接続できているか確認してください。 |
| E0209008 | [メッセージ] | ここまで実行の実行に失敗しました。 |
| | [説明] | ここまで [実行] メニュー実行時に例外が発生したときに表示されます。 |
| | [対処方法] | デバッグ・ツールに接続できているか確認してください。 |
| E0209009 | [メッセージ] | リスタートに失敗しました。 |
| | [説明] | [リスタート] メニュー実行時に例外が発生したときに表示されます。 |
| | [対処方法] | デバッグ・ツールに接続できているか確認してください。 |
| E0209010 | [メッセージ] | ここまでリターンに失敗しました。 |
| | [対処方法] | デバッグ・ツールに接続できているか確認してください。 |
| E0209011 | [メッセージ] | フック処理の実行に失敗しました (xxx:yyy)。 |
| | [説明] | フック処理に失敗したときに表示されます。 |
| | [対処方法] | フック処理の記述に間違いがないか確認してください。 |
| E0210001 | [メッセージ] | デバッグ・ツールの終了に失敗しました。 |
| | [説明] | [デバッグ・ツールから切断] メニュー実行時に例外が発生したときに表示されま す。 |
| | [対処方法] | 表示されているメッセージを元に対処してください。 |
| E0210002 | [メッセージ] | デバッグ・ツールの開始に失敗しました。 |
| | [説明] | [デバッグ・ツールへの接続] メニュー実行時に例外が発生したときに表示されま す。 |
| | [対処方法] | デバッグ・ツールに接続できているか確認してください。 |
| E0210003 | [メッセージ] | デバッグ・ツールとの接続が切断されたためデバッグを中止します。 |
| | [説明] | USB 接続または ICE の電源が切れたときに表示されます。 |
| | [対処方法] | エミュレータの電源を確認してください。 USB ケーブルが切断されていないか確認してください。 【RL78】 マイコンへの供給電圧と電源検出回路の検出電圧を確認してください。 |
| E0210004 | [メッセージ] | カバレッジ結果の再利用情報の保存に失敗しました。 [再試行] : もう一度保存し直します。 [キャンセル] : 切断処理を続けます。 |
| | [説明] | カバレッジ結果の保存に失敗したときに表示されます。 |
| | [対処方法] | ファイルへのアクセス権を確認してください。 |

| | | |
|----------|---------|--|
| E0210005 | [メッセージ] | カバレッジ結果の再利用に失敗しました。 [再試行]：もう一度読み込み直します。 [キャンセル]：接続処理を続けます。 |
| | [説明] | カバレッジ結果の読み込みに失敗したときに表示されます。 |
| | [対処方法] | ファイルへのアクセス権を確認してください。 |
| E0210006 | [メッセージ] | デバッグ・ツールとの通信でタイム・アウトが発生したため、デバッグ・ツールから切断します。 |
| | [説明] | デバッグ・ツールとの通信でタイム・アウトが発生したときに表示されます。 |
| | [対処方法] | (1) エミュレータの電源を確認してください。 (2) USB ケーブルが切断されていないか確認してください。 |
| E0210007 | [メッセージ] | デバッグ・ツールへのデータ設定に失敗しました |
| | [説明] | デバッグ・ツールへの、データの設定に失敗したときに表示されます。 |
| | [対処方法] | (1) 表示されているメッセージを元に対処してください。 (2) エミュレータの電源を確認してください。 (3) USB ケーブルが切断されていないか確認してください。 |
| E0210008 | [メッセージ] | ホット・プラグインに失敗しました。 |
| | [説明] | ホット・プラグインに失敗したときに表示されます。 |
| | [対処方法] | (1) エミュレータの電源を確認してください。 (2) USB ケーブルが切断されていないか確認してください。 |
| E0210009 | [メッセージ] | ダウンロードに失敗しました |
| | [説明] | ダウンロードに失敗したときに表示されます。 |
| | [対処方法] | (1) エミュレータの電源を確認してください。 (2) USB ケーブルが切断されていないか確認してください。 (3) ダウンロードするファイルに問題がないか確認してください。 |
| E0210010 | [メッセージ] | 現在、デバッグ・ツールから切断することができないため、操作はキャンセルされました。 プログラムを実行中の場合は停止してください。 |
| | [説明] | デバッグ・ツールが切断できないときに切断処理が行われた場合に表示されます。 |
| | [対処方法] | プログラムを実行中の場合は停止してください。 |
| E0210011 | [メッセージ] | 実行しようとした状態保存機能は現在の製品ライセンスでは使用できないため、キャンセルされました。 |
| | [説明] | 状態保存・復元時、および状態保存に関する追加のライセンスがない時に発生します。 |
| | [対処方法] | 状態保存機能が使用可能なライセンスに切り替えてください。 |
| E0210012 | [メッセージ] | RAM またはレジスタの値の読み込みに失敗しました。 |
| | [説明] | RAM, またはレジスタの値の読み込みに失敗した時に発生します。 |
| | [対処方法] | (1) エミュレータの電源を確認してください。 (2) USB ケーブルが切断されていないか確認してください。 (3) 表示されているメッセージを元に対処してください。 |

| | | |
|----------|---------|--|
| E0210013 | [メッセージ] | RAM またはレジスタの値の保存に失敗しました。 |
| | [説明] | RAM, またはレジスタの値の保存に失敗した時に発生します。 |
| | [対処方法] | (1) エミュレータの電源を確認してください。 (2) USB ケーブルが切断されていないか確認してください。 (3) 表示されているメッセージを元に対処してください。 |
| E0210014 | [メッセージ] | ファイル (xxx) への RAM またはレジスタの値の保存に失敗しました。 |
| | [説明] | RAM, またはレジスタの値の保存に失敗した時に発生します。 |
| | [対処方法] | (1) エミュレータの電源を確認してください。 (2) USB ケーブルが切断されていないか確認してください。 (3) 表示されているメッセージを元に対処してください。 |
| E0210015 | [メッセージ] | ファイル (xxx) から RAM またはレジスタの値の復元に失敗しました。 |
| | [説明] | RAM, またはレジスタの値の復元に失敗した時に発生します。 |
| | [対処方法] | (1) エミュレータの電源を確認してください。 (2) USB ケーブルが切断されていないか確認してください。 (3) 表示されているメッセージを元に対処してください。 |
| E0213001 | [メッセージ] | デバイス情報の初期化に失敗しました。 |
| | [説明] | インストールされていないデバイス情報を使用するプロジェクトの読み込み, または変換を行おうとした場合に表示されます。 デバイス情報関連ファイルが破損しています。 |
| | [対処方法] | カスタム・デバイスを使用したプロジェクトの場合, デバイス・ファイルが正しく配置されているか確認してください。 |
| E0213002 | [メッセージ] | サポート対象外のマイクロコントローラです。 |
| | [説明] | インストールされていないデバイス情報を使用するプロジェクトの読み込み, または変換を行おうとした場合に表示されます。 デバイス情報関連ファイルが破損しています。 |
| | [対処方法] | カスタム・デバイスを使用したプロジェクトの場合, デバイス・ファイルが正しく配置されているか確認してください。 |
| E0213003 | [メッセージ] | マイクロコントローラ情報の取得に失敗しました。 |
| | [説明] | マイクロコントローラ情報使用時に対象の情報を取得できなかった場合に表示されます。 |
| | [対処方法] | 正しいマイクロコントローラ情報関連ファイルがインストールされているかを確認してください。 |
| E0218001 | [メッセージ] | 存在しないビルド・モードが指定されました。 |
| | [説明] | IDE をコマンド起動した場合に, 表示するエラーです。 |
| | [対処方法] | プロジェクトで定義されているビルド・モードを指定してください。 |
| E0218002 | [メッセージ] | 不正なコマンドライン・オプションが指定されました。 |
| | [説明] | 定義されていない組み合わせのオプションが指定された場合に表示されます。 |
| | [対処方法] | 正しいオプションを指定してください。 |

| | | |
|----------|---------|---|
| E0218003 | [メッセージ] | 不明なコマンドライン・オプション xxx が指定されました。 |
| | [説明] | IDE でもプラグインでも処理されないオプションが指定された場合に表示され ます。 |
| | [対処方法] | 正しいオプションを指定してください。 |
| E0218004 | [メッセージ] | /bb,/bc,/bcb,/br は同時に指定できません。 |
| | [説明] | /bb, /bc, /bcb, /br オプションが同時に指定された場合に表示されます。 |
| | [対処方法] | /bb, /bc, /bcb, /br オプションを同時に指定しないでください。 |
| E0218005 | [メッセージ] | xxx オプションは、パラメータを yyy 個までしか指定できません。 |
| | [説明] | オプションに指定可能な個数以上のパラメータが指定された場合に表示されま す。 |
| | [対処方法] | 指定可能な数のパラメータを指定してください。 |
| E0218006 | [メッセージ] | 有効なプロジェクト・ファイルを指定してください。 |
| | [説明] | コマンド・ラインからの起動時にプロジェクト・ファイルが指定されていない場合 に表示されます。 |
| | [対処方法] | 有効なプロジェクト・ファイルを指定してください。 |
| E0218007 | [メッセージ] | xxx オプションは、yyy には指定できません。 |
| | [説明] | コマンド・ラインから GUI モードで起動時に GUI モードで使用できないオプシ ョンが指定された場合に表示されます。 |
| | [対処方法] | コマンド・ラインから GUI モードで起動時に無効なオプションを指定しないでく ださい。 |
| E0218008 | [メッセージ] | 指定されたプロジェクト・ファイルが存在しない、または読み込みに失敗しまし た。 |
| | [対処方法] | プロジェクト・ファイルが存在するか確認してください。 ファイルへのアクセス権を確認してください。 |
| E0218009 | [メッセージ] | 指定されたプロジェクトのサブプロジェクト・ファイルが存在しない、または読み 込みに失敗しました。 |
| | [対処方法] | サブプロジェクト・ファイルが存在するか確認してください。 ファイルへのアクセス権を確認してください。 |
| E0218010 | [メッセージ] | 指定されたプロジェクト・ファイルまたはそのサブプロジェクト・ファイルの フォーマットが不正です。 |
| | [対処方法] | 有効なプロジェクト・ファイルを指定してください。 |
| E0218011 | [メッセージ] | 指定されたプロジェクトが、CA78K0 のプロジェクトでも CA78K0R のプロジェ クトでもありません。 |
| | [対処方法] | CA78K0 または CA78K0R のプロジェクト・ファイルを指定してください。 |
| E0218012 | [メッセージ] | 指定されたプロジェクトまたはそのサブプロジェクトのデバイスがありません。 |
| E0218013 | [メッセージ] | xxx はすでに存在します。 |
| | [説明] | 変換先のファイルがすでに存在する場合表示します。 xxx には変換先ファイル名（指定されたプロジェクト・ファイルの拡張子を .rcpe に変えたもの）が入ります。 |
| | [対処方法] | 既存のファイルをそのまま使う、または既存のファイルをリネーム／削除してから 変換を実行してください。 |
| E0218014 | [メッセージ] | プロジェクト変換でエラーが発生しました。 |

| | | |
|----------|---------|--|
| E0218015 | [メッセージ] | /bb,/bc,/bcb,/br,/bol,/odp と /cve は同時に指定できません。 |
| | [対処方法] | /bb,/bc,/bcb,/br,/bol,/odp オプションと /cve オプションを同時に指定しないでください。 |
| E0219001 | [メッセージ] | 外部ツールの実行に失敗しました。 |
| | [説明] | [ツール] メニュー, [< ツール名 >] メニューで外部ツールを実行したときに、ファイルがないなどで実行できなかった場合に表示されます。 |
| | [対処方法] | 指定されたコマンドのパスが正しいことを確認してください。 |
| E0220001 | [メッセージ] | ソースヘジャンプに失敗しました。 |
| | [説明] | [ソースヘジャンプ] メニュー実行時に何かしらの例外が発生したときに表示されます。 |
| | [対処方法] | 指定された位置にソース情報がない可能性があります。その場合、ここからはジャンプできません。 対象のソース・ファイルが存在するかどうか確認してください。 デバッグ・ツールに接続できているか確認してください。 |
| E0220002 | [メッセージ] | 逆アセンブルヘジャンプに失敗しました。 |
| | [説明] | [逆アセンブルヘジャンプ] メニュー実行時になにかしらの例外が発生したときに表示されます。 |
| | [対処方法] | 指定された位置からジャンプ先アドレスを取得できなかった可能性があります。その場合、ここからはジャンプできません。 デバッグ・ツールに接続できているか確認してください。 |
| E0220003 | [メッセージ] | メモリヘジャンプに失敗しました。 |
| | [説明] | [メモリヘジャンプ] メニュー実行時に何かしらの例外が発生したときに表示されます。 |
| | [対処方法] | 指定された位置からジャンプ先アドレスを取得できなかった可能性があります。その場合、ここからはジャンプできません。 デバッグ・ツールに接続できているか確認してください。 |
| E0220004 | [メッセージ] | このときのローカル変数を表示に失敗しました。 |
| | [説明] | このときの [ローカル変数を表示] メニューの実行時に何かしらのエラーが発生したときに表示されます。 |
| | [対処方法] | デバッグ・ツールに接続できているか確認してください。 |
| E0220005 | [メッセージ] | 移動できませんでした。 |
| | [説明] | 逆アセンブル パネルの移動コマンドで失敗したときに表示されます。 移動先のアドレスの解決に失敗したときに表示されます。 |
| E0220006 | [メッセージ] | 削除に失敗しました。 |
| | [説明] | 削除に失敗したときに表示されます。 |
| | [対処方法] | ファイルの削除の場合、ファイルへのアクセス権限を確認してください。 |
| E0220007 | [メッセージ] | クリアに失敗しました。 |
| | [説明] | クリアに失敗したときに表示されます。 |
| | [対処方法] | 表示されているメッセージを元に対処してください。 |
| E0220008 | [メッセージ] | xxx の実行に失敗しました。 |
| | [説明] | 実行に失敗したときに表示されます。 |
| | [対処方法] | 表示されているメッセージを元に対処してください。 |

| | | |
|----------|---------|--|
| E0222001 | [メッセージ] | プロジェクトの作成場所が存在しません。 |
| | [説明] | プロジェクトの作成場所に指定したフォルダが存在しないことを表します。 |
| | [対処方法] | 存在するフォルダを指定してください。 |
| E0222002 | [メッセージ] | プロジェクト名が不正です。ファイル名として使用できる文字を入力してください。 |
| | [説明] | プロジェクト名にファイル名として使用できない文字が使われています。 |
| | [対処方法] | プロジェクト名を指定し直してください。 |
| E0222003 | [メッセージ] | プロジェクトの作成場所が不正です。パス名として使用できる文字を入力してください。 |
| | [説明] | 作成場所として指定したパスが不正です。 |
| | [対処方法] | 作成場所を指定し直してください。 |
| E0222005 | [メッセージ] | プロジェクト・フォルダ xxx の作成に失敗しました。 |
| | [説明] | 指定されたフォルダの作成に失敗しました。 |
| | [対処方法] | 表示されているメッセージを元に対処してください。 |
| E0222006 | [メッセージ] | 流用元のプロジェクトが存在しません。 |
| | [説明] | 指定されたプロジェクトが見つかりません。 |
| | [対処方法] | プロジェクトを指定し直してください。 |
| E0222007 | [メッセージ] | 流用元のプロジェクト名が不正です。ファイル名として使用できる文字を入力してください。 |
| | [説明] | 指定されたプロジェクトのプロジェクト名が不正です。 |
| | [対処方法] | プロジェクトを指定し直してください。 |
| E0222009 | [メッセージ] | 現在開いているプロジェクトは流用元に指定できません。 |
| | [説明] | 指定されたプロジェクトが開かれています。 |
| | [対処方法] | プロジェクトを指定し直してください。 |
| E0222010 | [メッセージ] | 流用元プロジェクトとしてプロジェクト・ファイルが指定されていません。 |
| | [説明] | 指定されたファイルが不正です。 |
| | [対処方法] | プロジェクトを指定し直してください。 |
| E0222011 | [メッセージ] | パスを含むファイル名が長すぎます。xxx 文字以内になしてください。 |
| | [説明] | プロジェクト名および作成場所として指定したパスが長すぎます。 |
| | [対処方法] | プロジェクト名、または作成場所を指定し直してください。 |
| E0222012 | [メッセージ] | サブプロジェクト名が不正です。メイン・プロジェクトと同じ場所に、同名のサブプロジェクトは作成できません。 |
| | [説明] | 指定された作成場所に、同名（拡張子を除く）のメイン・プロジェクトが存在しています。 |
| | [対処方法] | プロジェクト名、または作成場所を指定し直してください。 |
| E0222013 | [メッセージ] | 作成可能なマイクロコントローラが1つも存在しません。インストールの確認をお願いします。 |
| | [説明] | マイクロコントローラが見つかりません。 |
| | [対処方法] | 製品が正しくインストールされていることを確認してください。 |

| | | |
|----------|---------|---|
| E0222014 | [メッセージ] | いくつかのファイルのコピーに失敗しました。詳細は、出力パネルの[すべてのメッセージ]タブを参照してください。 |
| | [説明] | プロジェクト流用作成時にファイルのコピーエラーがあったことを表します。 |
| | [対処方法] | 流用元プロジェクトの構成ファイルを確認して下さい。 |
| E0222015 | [メッセージ] | プロジェクトの上書き作成に失敗しました。読み取り専用になっている可能性があります。 |
| | [説明] | 既存のプロジェクト・ファイルへのプロジェクト・ファイルの上書き作成が失敗したことを表します。 |
| | [対処方法] | 作成するプロジェクト・ファイル名を指定し直して下さい。 |
| E0222016 | [メッセージ] | プロジェクト名に文字 xxxx は使えません。 |
| | [説明] | プロジェクト名にビルドするとビルド・エラーとなる文字が使われています。 |
| | [対処方法] | プロジェクト名を指定し直してください。 |
| E0222017 | [メッセージ] | プロジェクト名の先頭に文字 xxxx は使えません。 |
| | [説明] | プロジェクト名の先頭にビルドするとビルド・エラーとなる文字が使われています。 |
| | [対処方法] | プロジェクト名を指定し直してください。 |
| E0223001 | [メッセージ] | 指定したファイルを開けませんでした。 |
| | [説明] | プロジェクト・ツリー パネルでファイルを開けなかったときに表示されます。 |
| | [対処方法] | ファイルが存在するか、またはファイルが破壊されていないか確認してください。ファイルへのアクセス権限を確認してください。 |
| E0223002 | [メッセージ] | xxx の削除に失敗しました。 |
| | [説明] | ファイルなどの削除に失敗したときに表示されます。 |
| | [対処方法] | ファイルの削除の場合、ファイルへのアクセス権限を確認してください。 |
| E0223003 | [メッセージ] | 指定したファイル xxx を開けませんでした。 |
| | [説明] | エディタ パネルでファイルを開けなかったときに表示されます。 |
| | [対処方法] | ファイルが存在するか、またはファイルが破壊されていないか確認してください。ファイルへのアクセス権限を確認してください。ファイルがサポートされていない形式でないか確認してください。 |
| E0223004 | [メッセージ] | 文字コードの判別に失敗しました。 |
| | [説明] | エディタ パネルでファイルの文字コードの判別に失敗したときに表示されます。 |
| | [対処方法] | ファイルが破壊されていないか確認してください。ファイルがサポートされていない形式でないか確認してください。 |
| E0223005 | [メッセージ] | これ以上文字を入力できません。 |
| | [説明] | エディタ パネルでファイルの文字コードの判別に失敗したときに表示されます。 |
| | [対処方法] | 文字数が制限を越えています。 |
| E0223006 | [メッセージ] | プロジェクト・ツリーに登録可能なカテゴリのネスト数の上限 (xxx 個) を越えました。 |
| | [説明] | プロジェクト・ツリーにカテゴリを追加中に、登録可能なカテゴリのネスト数の上限を越えた場合に表示されます。 |
| | [対処方法] | カテゴリのネスト数の上限を越えないようにプロジェクトに登録してください。 |

| | | |
|----------|---------|--|
| E0223007 | [メッセージ] | 指定されたファイルまたはフォルダに対して Windows エクスプローラのメニューを開けませんでした。 |
| | [説明] | プロジェクト・ツリー パネルで Windows エクスプローラのメニューを表示できなかったときに表示されます。 |
| | [対処方法] | <ul style="list-style-type: none"> - 複数ノードを選択している場合に、選択されている全ノードが、同一フォルダに存在するファイル、またはフォルダであることを確認してください。 - ファイル、またはフォルダへのアクセス権限を確認してください。 - ファイル、またはフォルダが存在するか確認してください。 |
| E0223008 | [メッセージ] | 指定されたファイルおよびフォルダの情報を取得できないか、同一の親フォルダに含まれていません。 |
| | [説明] | プロジェクト・ツリー パネルで Windows のメニューを表示できなかったときに表示されます。 |
| | [対処方法] | <ul style="list-style-type: none"> - 複数ノードを選択している場合に、選択されている全ノードが、同一フォルダに存在するファイル、またはフォルダであることを確認してください。 - ファイル、またはフォルダへのアクセス権限を確認してください。 - ファイル、またはフォルダが存在するか確認してください。 |
| E0223009 | [メッセージ] | 指定されたファイルまたはフォルダに対して Windows エクスプローラのメニューを実行できませんでした。 |
| | [説明] | プロジェクト・ツリー パネルで Windows エクスプローラのメニューを実行できなかったときに表示されます。 |
| | [対処方法] | <ul style="list-style-type: none"> - 複数ノードを選択している場合に、選択されている全ノードが、同一フォルダに存在するファイル、またはフォルダであることを確認してください。 - ファイル、またはフォルダへのアクセス権限を確認してください。 - ファイル、またはフォルダが存在するか確認してください。 |
| E0223010 | [メッセージ] | マイクロコントローラの変更に失敗しました。 |
| | [説明] | プロジェクト・ツリー パネルでマイクロコントローラの変更ができなかったときに表示されます。 |
| | [対処方法] | デバイス・ファイルがインストールされているか確認してください。 |
| E0223011 | [メッセージ] | 指定可能なマイクロコントローラが1つも存在しません。 |
| | [説明] | マイクロコントローラを変更する際に、変更先として指定可能なマイクロコントローラが1つも見つからなかったときに表示されます。 |
| | [対処方法] | デバイス・ファイルがインストールされているか確認してください。 |
| E0223012 | [メッセージ] | 編集中のファイルの拡張子を変更できません。 |
| | [説明] | 編集中のファイルの拡張子を変更しようとしたときに表示されます。 |
| | [対処方法] | 編集中のファイルを閉じてから、拡張子を変更してください。 |
| E0223013 | [メッセージ] | 子ノードを持つファイルの拡張子を変更できません。 |
| | [説明] | 子ノードを持つファイルの拡張子を変更しようとしたときに表示されます。 |
| | [対処方法] | 子ノードをプロジェクトから外してください。 |
| E0233001 | [メッセージ] | これ以上新しいパネルを開けませんでした。 |
| | [説明] | 新しいエディタ パネルを開けないときに表示されます。 |
| | [対処方法] | 一度に開くことのできるエディタ パネルの上限は 100 パネルです。不要なパネルを閉じてから新しく開いてください。 |

| | | |
|----------|---------|---|
| E0233002 | [メッセージ] | バイナリファイルはサポートしていません。 |
| | [説明] | エディタでバイナリを読み込もうとしたときに表示されます。 |
| | [対処方法] | テキスト・ファイルを開いてください。 |
| E0233003 | [メッセージ] | 指定したファイルを表示できませんでした。 |
| | [説明] | OSに、ファイルの拡張子に対するアプリケーションが割り当てられていません。表示できるエディタの数を越えた場合に表示されます。外部エディタが開けない場合に表示されます。 |
| | [対処方法] | ファイルへのアクセス権を確認してください。表示しているエディタの数を減らしてください。 |
| E0233004 | [メッセージ] | 同時に開くことのできるエディタ パネルの上限を越えました。作業を継続するには、いくつかのエディタ パネルを閉じてください。 |
| | [説明] | CS+ 起動中に同時に開くことのできるエディタ パネルの上限は 100 です。上限に達した場合に表示されます。 |
| | [対処方法] | いくつかのエディタ パネルを閉じてください。 |
| E0244001 | [メッセージ] | アドレス範囲が不正です。エンディアンが異なるセクションを含むアドレス範囲は指定できません。 |
| | [説明] | 開始アドレスと終了アドレスにエンディアンの異なる領域をまたいだアドレス範囲が指定された場合に表示されます。 |
| | [対処方法] | 異なるエンディアンをまたがない値を設定してください。 |
| E0255001 | [メッセージ] | 指定されたフォントを選択できませんでした。 |
| | [説明] | フォント ダイアログで、例外が起きたときに表示されます。 |
| | [対処方法] | 利用可能なフォントを選択してください。 |
| E0261001 | [メッセージ] | リンク・ディレクティブ・ファイルの生成に失敗しました。 |
| | [説明] | リンク・ディレクティブ・ファイルの生成に失敗した際に表示されます。 |
| | [対処方法] | 正しい設定情報を入力してください。ファイルを書き込み可能な状態にしてください。プロジェクトをファイル追加/編集可能な状態にしてください。 |
| E0261002 | [メッセージ] | コピーできませんでした。この属性のセクションは、指定のセグメントに含めることができません。 |
| | [説明] | セクションのコピー時に、属性の関係により含めることができないセグメント内にコピーしようとした際に表示されます。 |
| | [対処方法] | コピー元のセクションの属性を変更してください。コピー先のセグメントの属性を変更してください。 |
| E0261003 | [メッセージ] | リンク・ディレクティブ生成 ダイアログを開けませんでした。 |
| | [説明] | リンク・ディレクティブ生成 ダイアログを開くことに失敗した場合に表示されません。 |
| | [対処方法] | 正しいマイクロコントローラ情報を設定してください。 |
| E0262001 | [メッセージ] | ソース・コンバータの起動に失敗しました。 |
| | [説明] | ソース・コンバータ起動時に必要なファイルを作れなかったときに表示されます。 |
| | [対処方法] | 作成するプロジェクトの場所を変更するなどして再試行してください。 |

| | | |
|----------|---------|---|
| E0269001 | [メッセージ] | 保存する列がありません。 |
| | [説明] | ファイル出力時に出力する列が存在しない場合に表示されます。 |
| | [対処方法] | 列の選択 ダイアログで保存したい列を表示してください。 |
| E0269002 | [メッセージ] | 保存する行がありません。 |
| | [説明] | ファイル出力時に出力する行が存在しない場合に表示されます。 |
| | [対処方法] | フィルタ設定 ダイアログで保存した行を表示してください。 |
| E0269003 | [メッセージ] | 行数が Excel の制限値を越えたため保存に失敗しました。 |
| | [説明] | 行数が Excel の制限値を越えた場合に表示されます。 |
| | [対処方法] | フィルタ設定 ダイアログで表示行を 65535 以下にしてください。 |
| E0269004 | [メッセージ] | 指定する条件が 1 つの場合は、こちらに条件を指定してください。 |
| | [説明] | [条件 1] コンボ・ボックスが空欄で、[条件 2] コンボ・ボックスが空欄でない場合に、空欄になっている [条件 1] コンボ・ボックスの右側に表示されます。 |
| | [対処方法] | [条件 1] コンボ・ボックスに値を入れてください。 |
| E0270001 | [メッセージ] | 指定したアドレス / シンボルまで実行できませんでした。 計測開始アドレス / シンボルまたは計測終了アドレス / シンボルの指定値を確認してください。 |
| | [対処方法] | [計測開始アドレス / シンボル] コンボ・ボックスと [計測終了アドレス / シンボル] コンボ・ボックスで指定されたアドレス / シンボルを確認してください。 |
| E0271001 | [メッセージ] | 品質記録用データの出力に失敗しました。 |
| | [説明] | 品質記録用データの出力に失敗したときに表示されます。 |
| | [対処方法] | 出力先のフォルダまたはファイルのアクセス権を確認してください。 |
| E0272002 | [メッセージ] | ドキュメントを表示できませんでした。 |
| | [説明] | ダウンロードに失敗した、または PDF ファイルを開けないときに表示されます。 |
| | [対処方法] | ネットワークに接続しているか、ログインが正しくできるかどうかを確認してください。 PDF を閲覧するソフトウェアが Windows にインストールされているか確認してください。 |
| E0272008 | [メッセージ] | サンプル・コードをダウンロードできませんでした。 |
| | [説明] | ダウンロードに失敗したときに表示されます。 |
| | [対処方法] | ネットワークに接続しているか、ログインが正しくできるかどうかを確認してください。 |
| E0290001 | [メッセージ] | このセクション・インフォメーション・ファイル (*.hsi) は読み込めません。 |
| | [説明] | 指定されたセクション・インフォメーション・ファイルのファイルフォーマットが不正、もしくは非サポートの場合に表示されます。 |
| | [対処方法] | テキスト・ファイルであることを確認してください。 サポートに問い合わせてください。 |
| E0291001 | [メッセージ] | このオプションは選択できません。 |
| | [説明] | 指定できないオプションを選択した場合に表示されます。 |
| | [対処方法] | 同時に指定できるオプションについては、コンパイラのユーザーズマニュアルを参照してください。 |

| | | |
|----------|---------|--|
| E0291004 | [メッセージ] | 除外設定をサポートしていないファイルの種類です。 ファイル名：xxx |
| | [説明] | 除外設定できないファイルの種類 (cfg ファイル) を除外設定した HEW プロジェクトを変換した場合は表示されます。 |
| E0291005 | [メッセージ] | xxx のバックアップに失敗しました。I/O ヘッダ・ファイルの生成を停止します。 |
| | [説明] | 既存の .bak ファイルの削除、または iodefne.h から iodefne.bak へのリネームに失敗した場合は表示されます。 |
| | [対処方法] | iodefine.bak をテキスト・エディタ等で開いている場合は閉じてください。 iodefine.bak へのアクセス権を確認してください。 上記を行ったのち、再度生成を実行してください。 |
| E0291006 | [メッセージ] | プログラム (プログラム名) の起動に失敗しました。 |
| | [説明] | IDE から Windows のプログラムを実行しようとして失敗したときに表示されます。 |
| | [対処方法] | 正しくインストールされているか確認してください。 |
| E0291007 | [メッセージ] | プロジェクトの作成に必要なファイルの読み込みに失敗しました。 xxx |
| | [説明] | プロジェクトの作成に必要なファイルの読み込みに失敗したときに表示されます。 |
| | [対処方法] | CS+ が正しくインストールされているか確認してください。 |
| E0291008 | [メッセージ] | 指定された HEW プロジェクト・ファイルのフォーマットには対応していません。 |
| | [説明] | 対応していない HEW プロジェクト・ファイルを変換しようとしたときに表示されます。 |
| | [対処方法] | 正しいプロジェクト・ファイルであるか、High-performance Embedded Workshop で開けるかを確認してください。 |
| E0291009 | [メッセージ] | 以下の出力アドレスに対して計算範囲が指定されていません。 xxxx |
| | [説明] | CRC 演算ダイアログで出力アドレスに対して計算範囲が指定されていない状態で OK ボタンがクリックされたときに表示されます。 |
| | [対処方法] | 計算範囲を入力してください。 |
| E0292001 | [メッセージ] | ワークスペースは無効です。 |
| | [説明] | ワークスペース・ファイルが不正です。 |
| | [対処方法] | 正しいワークスペース・ファイルを指定してください。 |
| E0292002 | [メッセージ] | ワークスペースには、プロジェクトが含まれていません。 |
| | [説明] | ワークスペースにプロジェクトがありません。 |
| | [対処方法] | 正しいワークスペースを指定してください。 |
| E0292003 | [メッセージ] | HEW のプロジェクトを読み込むことができませんでした。 |
| | [説明] | 不正なプロジェクトが指定されました。 |
| | [対処方法] | 正しいプロジェクトを指定してください。 |
| E0292004 | [メッセージ] | プロジェクトファイル名が無効です。 |
| | [説明] | プロジェクト・ファイルが不正です。 |
| | [対処方法] | 正しいプロジェクト・ファイルを指定してください。 |

| | | |
|----------|---------|---|
| E0292005 | [メッセージ] | プロジェクトはサポートされていないツールチェーンを使用しています : |
| | [説明] | サポートしていないツールチェーンを使用したプロジェクトを指定しました。 |
| | [対処方法] | 正しいワークスペースを指定してください。 |
| E0292006 | [メッセージ] | ファイル xxx はすでに存在します。 |
| | [説明] | 変換後のプロジェクト・ファイル名と同名のファイルが既に存在しています。 |
| | [対処方法] | フォルダ内のファイルを確認してください。 変換するフォルダを変更してください。 |
| E0292007 | [メッセージ] | プロジェクトには、デバッグが含まれていません。 |
| | [説明] | 不正なプロジェクトが指定されました。 |
| | [対処方法] | 正しいプロジェクトを指定してください。 |
| E0292008 | [メッセージ] | プロジェクトではサポートされていないターゲットを使用しています。 |
| | [説明] | 不正なプロジェクトが指定されました。 |
| | [対処方法] | 正しいプロジェクトを指定してください。 |
| E0292009 | [メッセージ] | プロジェクト xxx の変換は中止されました。 |
| | [説明] | セッションの選択 ダイアログでキャンセル・ボタンが押されました。 |
| E0292021 | [メッセージ] | プロジェクト xxx は変換できません。プロジェクトが不正です。 |
| | [説明] | プロジェクト・ファイルが不正です。 |
| | [対処方法] | 正しいプロジェクト・ファイルを指定してください。 |
| E0292022 | [メッセージ] | xxx は見つかりませんでした。 |
| | [説明] | プロジェクト・ファイルが見つかりません。 |
| | [対処方法] | 正しいプロジェクト・ファイルを指定してください。 |
| E0292023 | [メッセージ] | プロジェクト xxx は変換できません。プロジェクトは古いバージョンの HEW で作られています。4.07.00 以降の HEW でプロジェクトをオープンして、保存し、もう一度、試してください。 |
| | [説明] | プロジェクトのバージョンが HEW4.07.00 より古い場合に表示されます。 |
| | [対処方法] | 4.07.00 以降の HEW でプロジェクトをオープンして、保存し、もう一度、変換してください。 |
| E0292024 | [メッセージ] | xxx セッション 無効 |
| | [説明] | セッションが不正です。 |
| | [対処方法] | 正しいプロジェクト・ファイルを指定してください。 |
| E0292025 | [メッセージ] | xxx は見つかりませんでした。 |
| | [説明] | セッションが不正です。 |
| | [対処方法] | 正しいプロジェクト・ファイルを指定してください。 |
| E0292026 | [メッセージ] | セッション xxx は変換できません。セッションは古いバージョンの HEW で作られています。4.07.00 以降の HEW でプロジェクトをオープンして、保存し、もう一度、試してください。 |
| | [説明] | セッションのバージョンが HEW4.07.00 より古い場合に表示されます。 |
| | [対処方法] | 4.07.00 以降の HEW でプロジェクトをオープンして、保存し、もう一度、変換してください。 |

| | | |
|----------|---------|--|
| E0292027 | [メッセージ] | プロジェクト xxx は変換できません。プロジェクトが不正です。 |
| | [説明] | プロジェクト・ファイルが不正です。 |
| | [対処方法] | 正しいプロジェクトを指定してください。 |
| E0292028 | [メッセージ] | xxx は見つかりませんでした。 |
| | [説明] | ワークスペース名が不正です。 |
| | [対処方法] | 正しいワークスペースを指定してください。 |
| E0292029 | [メッセージ] | ワークスペース xxx は変換できません。ワークスペースは古いバージョンの HEW で作られています。4.07.00 以降の HEW でワークスペースをオープンして、保存し、もう一度、試してください。 |
| | [説明] | ワークスペースのバージョンが HEW4.07.00 より古い場合に表示されます。 |
| | [対処方法] | 4.07.00 以降の HEW でワークスペースをオープンして、保存し、もう一度、変換してください。 |
| E0292030 | [メッセージ] | プロジェクトプロジェクト名に含まれる全ての .hsf ファイルが存在しない、または古いバージョンの HEW で保存されています (4.07.00 以降の HEW でプロジェクトをオープンして、保存し、もう一度、試してください)。 |
| | [説明] | プロジェクトに含まれる全ての .hsf ファイルが存在しない、または古いバージョンの HEW で保存されています。 |
| | [対処方法] | .hwp ファイルを含むワークスペースを入手してください。または、4.07.00 以降の HEW でワークスペースをオープンし、該当セッションをアクティブにした後に保存し、もう一度、変換してください。 |
| E0292031 | [メッセージ] | プロジェクトプロジェクト名はツールチェーンを使用していません。(デバッグ専用プロジェクトの変換はサポートしていません) |
| | [説明] | ツールチェーンを使用しないプロジェクトを指定した場合に表示されます。 |
| | [対処方法] | 正しいプロジェクトを指定してください。 |
| E0293002 | [メッセージ] | プログラム (xxx) の起動に失敗しました。 |
| | [説明] | IDE から Windows のプログラムを実行しようとして失敗したときに表示されます。 |
| | [対処方法] | プログラムが存在するか確認してください。 実行可能なアプリケーションを指定したかどうかを確認してください。 |
| E0293003 | [メッセージ] | 構成するアプリケーション・プロジェクト (ppp) のシンボル・アドレス・ファイル (fff) が存在しません。 |
| | [説明] | ブート・ローダ・プロジェクトのビルド時に、構成するアプリケーションが出力しているはずの .fsy ファイルが存在しない場合に表示されます。 |
| E0294002 | [メッセージ] | プログラム (xxx) の起動に失敗しました。 |
| | [説明] | IDE から Windows のプログラムを実行しようとして失敗したときに表示されます。 |
| | [対処方法] | プログラムが存在するか確認してください。 実行可能なアプリケーションを指定したかどうかを確認してください。 |
| E0295003 | [メッセージ] | 出力ファイル名は lib*.a の形式で指定してください。 |
| | [説明] | 入力された出力ファイル名が規定のフォーマットに則っていない場合に表示されます。 |
| | [対処方法] | 出力ファイル名を正しい形式で入力してください。 |

| | | |
|----------|---------|---|
| E0295004 | [メッセージ] | [共通オプション]タブ-[ツールのパス]-[コンパイラ・パッケージのフォルダ]プロパティが空欄または存在しないフォルダです。 |
| | [説明] | ビルド開始時、ビルドプロパティの[コンパイラ・パッケージのフォルダ]プロパティが空欄または存在しないフォルダの場合に表示されます。 |
| | [対処方法] | [コンパイラ・パッケージのフォルダ]プロパティを確認してください。 |
| E0295005 | [メッセージ] | [ビルド・オプション]タブ-[ツールのパス]-[コンパイラ・パッケージのフォルダ]プロパティが空欄または存在しないフォルダです。 |
| | [説明] | ビルド開始時、ビルドプロパティの[コンパイラ・パッケージのフォルダ]プロパティが空欄または存在しないフォルダの場合に表示されます。 |
| | [対処方法] | [コンパイラ・パッケージのフォルダ]プロパティを確認してください。 |
| E0300001 | [メッセージ] | 端子配置に必要なファイル'ファイル名'が見つかりません。 |
| | [対処方法] | 必要なファイルがインストールされていない可能性があるため、ファイルがインストールされているか確認してください。 |
| E0300002 | [メッセージ] | 端子配置に必要なファイル'ファイル名'が読み込めませんでした。 |
| | [対処方法] | 必要なファイルが壊れている可能性があるため、正しいファイルをインストールし直してください。 |
| E0300003 | [メッセージ] | 端子配置に必要な情報が読み込めませんでした。 |
| | [対処方法] | プロジェクト・ファイルが保存されたときと同じ状態で開けないときに表示されます。CS+のインストール状態を確認してください。 |
| E0300004 | [メッセージ] | 端子番号 xxx 番の設定を変更できませんでした。 |
| | [説明] | コード生成からの機能割り当て時に、コード生成の端子情報と共通ライブラリの端子情報に差異がある場合に表示されます。 |
| | [対処方法] | 正しいファイルをインストールし直してください。 |
| E0400000 | [メッセージ] | 指定された関数名はすでに存在します。別の名前を指定してください。 |
| E0400001 | [メッセージ] | 指定されたファイル名はすでに存在します。別の名前を指定してください。 |
| E0400002 | [メッセージ] | 関数名には次の文字以外は使えません。_, a-z, A-Z, 0-9。 |
| E0400003 | [メッセージ] | ファイル名には次の文字以外は使えません。_, a-z, A-Z, 0-9。 |
| E0400004 | [メッセージ] | 生成先フォルダは無効です。[出力設定]->[ファイル生成モード]->[生成先フォルダ]を確認してください。 |
| E0400005 | [メッセージ] | xxx の保存に失敗しました |
| E0400010 | [メッセージ] | プロジェクトの生成に失敗しました。 |
| E0400011 | [メッセージ] | xxx マージに失敗しました。 |
| E0400012 | [メッセージ] | プロジェクトの保存に失敗しました。 ファイルまたはフォルダが読み取り専用設定されていないか確認してください。 |
| E0600005 | [メッセージ] | この機能は未サポートです。 |
| E0602203 | [メッセージ] | シミュレータ・コンフィギュレーション・ファイルが見つかりません。 |
| E0602204 | [メッセージ] | メイン・クロック・ソースの指定に誤りがあります。 |
| E0602205 | [メッセージ] | サブ・クロック・ソースの指定に誤りがあります。 |
| E0602206 | [メッセージ] | フラッシュ・セルフ・エミュレーションの設定が不正です。 |
| E0602207 | [メッセージ] | データフラッシュ・エミュレーションの設定が不正です。 |

| | | |
|----------|---------|--|
| E0602208 | [メッセージ] | メモリ・マッピングの設定が不正です。 |
| E0602209 | [メッセージ] | カバレッジ・ボードは搭載されていません。 |
| E0602210 | [メッセージ] | シミュレータ用のプロジェクトファイル xxx の生成ができません。 |
| E0602211 | [メッセージ] | シンボルロードはネスティングできません。 |
| E0602212 | [メッセージ] | Visual C++ 2010 SP1 ランタイムライブラリをインストールして下さい。(xxx) |
| E0602213 | [メッセージ] | デバッグ生成時と異なるスレッドから呼び出されました。 |
| E0602214 | [メッセージ] | 対応していない動作が指定されました。(xxx) |
| E0602216 | [メッセージ] | すでにユーザシステムが接続されているためホット・プラグインで起動できません。プログラムはリセットされました。 |
| E0602217 | [メッセージ] | ホット・プラグインの接続に致命的な問題が発生しました。 |
| | [対処方法] | 【RL78】 ホットプラグアダプタを使用する場合、オンチップ・デバッグ・オプション・バイトの設定やプログラムにホットプラグイン初期化関数を追加する必要があります。「RL78 ファミリ CS+ ホットプラグイン機能を用いたデバッグ方法」を参照して各設定をご確認ください。 |
| E0602218 | [メッセージ] | ホット・プラグイン後のセキュリティ認証中にタイムアウトしました。 |
| E0602219 | [メッセージ] | ID コードが間違っています。 |
| E0602220 | [メッセージ] | ホット・プラグインで起動できません。プログラムはリセットされました。 |
| E0603033 | [メッセージ] | ファイル名 "xxx" は、すでに存在します。 |
| E0603037 | [メッセージ] | デバッグ・ツールと接続中は変更できません。 |
| E0603038 | [メッセージ] | 非同期デバッグ・モードに変更できません。ソフトウェア・トレースの LPD 出力、外部トリガ入力、外部トリガ出力の設定を OFF にしてください。 |
| E0603039 | [メッセージ] | 非同期デバッグ・モードが選択されているため指定した値に変更できません。 |
| E0603040 | [メッセージ] | xxx を超える数のモジュールは指定できません。 |
| E0603041 | [メッセージ] | 無効状態のコアの設定は変更できません。 |
| E0604000 | [メッセージ] | アセンブルに失敗しました。("xxx") |
| E0607001 | [メッセージ] | 非同期デバッグモード中は本機能を使用できません。 |
| E0607002 | [メッセージ] | PC 値が最大アドレスを超えているため PC 値の取得に失敗しました。 |
| E0608000 | [メッセージ] | カバレッジ・ファイルのアクセス権が許可されていない、またはディスク容量が足りないため、"xxx" の保存に失敗しました。 |
| E0608001 | [メッセージ] | カバレッジ・ファイルが存在しない、またはアクセス権が許可されていないため、"xxx" の読み込みに失敗しました。 |
| E0608002 | [メッセージ] | カバレッジ・ファイルに異常があったため、"xxx" の読み込み中にベリファイ・エラーが発生しました。 |
| E0608003 | [メッセージ] | コードフラッシュ領域が存在しません。 |
| E0608004 | [メッセージ] | データフラッシュ領域が存在しません。 |
| E0608005 | [メッセージ] | 外部フラッシュ領域が存在しません。 |
| E0608006 | [メッセージ] | アドレスが不正で ID タグが取得できませんでした。 |
| E0608007 | [メッセージ] | アドレス範囲が不正です。エンディアンが異なるセクションを含むアドレス範囲は指定できません。 |

| | | |
|----------|---------|--|
| E0608009 | [メッセージ] | 実行中にアクセスできないメモリ領域にアクセスしました。 |
| | [説明] | プロパティ パネルの [デバッグ・ツール設定] タブの [実行中のメモリ・アクセス] カテゴリの設定を変更すると、メモリ領域により実行中にアクセスできる場合があります。 |
| E0611000 | [メッセージ] | アドレス変換に失敗しました。("xxx") |
| E0611001 | [メッセージ] | 開始アドレスが終了アドレスより大きな値です。 |
| E0613000 | [メッセージ] | 一瞬ブレークが許可されていないため、メモリの読み出しができません。 |
| E0613001 | [メッセージ] | 一瞬ブレークが許可されていないため、メモリへ書き込みができません。 |
| E0613002 | [メッセージ] | 一瞬ブレークが許可されていないため、レジスタの読み出しができません。 |
| E0613003 | [メッセージ] | 一瞬ブレークが許可されていないため、レジスタへ書き込みができません。 |
| E0613004 | [メッセージ] | 一瞬ブレークが許可されていないため、SFR の読み出しができません。 |
| E0613005 | [メッセージ] | 一瞬ブレークが許可されていないため、SFR へ書き込みができません。 |
| E0613006 | [メッセージ] | 一瞬ブレークが許可されていないため、ブレークポイントの設定ができません。 |
| E0613007 | [メッセージ] | 一瞬ブレークが許可されていないため、ブレークポイントの削除ができません。 |
| E0613010 | [メッセージ] | 1つのタイマ・イベントに複数のイベントを設定できません。 |
| E0613012 | [メッセージ] | 同名のイベントは既に存在するため、イベントを作成できません。 |
| E0613013 | [メッセージ] | そのアドレスには、すでにソフトウェア・ブレーク が設定されています。 【シミュレータ】以外 |
| E0613014 | [メッセージ] | イベントを有効にしてください。 |
| E0613015 | [メッセージ] | 1つのトレース・イベントに複数のイベントを設定できません。 【RL78-MINICUBE2】 |
| E0613016 | [メッセージ] | サイズ xxx バイトを超える変数にはイベントを設定できません。 |
| | [対処方法] | <ul style="list-style-type: none"> - 例えば 4 バイト変数へのイベント設定時に発生した場合、変数を下位 2 バイトと上位 2 バイトに分けて 2 箇所にイベントを設定してください。 - 詳細イベント機能対応時に、アドレス範囲を指定し、かつデータ範囲指定を指定無しにするなど、設定を変更してください。 |
| E0613017 | [メッセージ] | コードフラッシュ領域にブレークポイントを指定してください。 |
| E0613018 | [メッセージ] | 1つのパフォーマンス計測イベントに複数のイベントを設定できません。 |
| E0614000 | [メッセージ] | EI レベルの割り込み名が間違っています。 |
| E0614001 | [メッセージ] | xxx を超えるベクタ・アドレスは指定できません。 |
| E0614002 | [メッセージ] | xxx を超える割り込み優先順位は指定できません。 |
| E0614003 | [メッセージ] | 対応していない FE レベルの割り込みが指定されました。 |
| E0614004 | [メッセージ] | xxx を超えるチャンネルは指定できません。 |
| E0614005 | [メッセージ] | GPID は指定できません。 |
| E0614006 | [メッセージ] | GPID が指定されていません。 |
| E0614007 | [メッセージ] | ゲスト・モードは指定できません。 |
| E0614008 | [メッセージ] | xxx を超える GPID は指定できません。 |
| E0614009 | [メッセージ] | 割り込み名が間違っています。 |
| E0615000 | [メッセージ] | インポート可能なウォッチ式データのファイルではありません。 |

| | | |
|----------|---------|--|
| E0615001 | [メッセージ] | ウォッチ式データのインポートに失敗しました。 |
| | [対処方法] | インポート可能な形式のウォッチ式データ・ファイルを指定してください。 ウォッチ式/カテゴリの登録数を上限数以下にしてください。 |
| E0615002 | [メッセージ] | パフォーマンス計測イベントを設定できませんでした。 |
| | [対処方法] | 設定値が不正の可能性があります。 デバッグ・ツールと接続できているか確認してください。 |
| E0617002 | [メッセージ] | そのアドレスには、すでにソフトウェア・ブレークポイントが設定されています。 |
| | [説明] | ソフトウェア・ブレークポイントは同一アドレスに複数設定することはできません。 |
| | [対処方法] | イベントパネル等でソフトウェア・ブレークポイントの設定内容を確認してください。 |
| E0617003 | [メッセージ] | "ソフトウェア・ブレークを使用する"が"いいえ"になっています。 |
| E0617004 | [メッセージ] | 指定したイベントは登録されていません。 |
| E0617005 | [メッセージ] | その領域にソフトウェア・ブレークは設定できません。 |
| E0617006 | [メッセージ] | ソフトウェア・ブレーク条件の最大個数を超えました。 |
| E0617010 | [メッセージ] | 強制リセットを発行しました。全てのコアがブレークしました。 |
| E0617011 | [メッセージ] | Code Flash Access Password が間違っています。 |
| E0617012 | [メッセージ] | Customer ID が間違っています。 |
| E0617013 | [メッセージ] | この機能は未サポートです。 |
| | [対処方法] | CS+ を再インストールしてください。 |
| E0617014 | [メッセージ] | この機能は未サポートです。 |
| | [対処方法] | CS+ を再インストールしてください。 |
| E0617015 | [メッセージ] | [E2 拡張インターフェースを使用する] プロパティにて"エミュレータからの電源供給で使用する"が選択されているため、ホット・プラグイン起動できません。 |
| | [対処方法] | ホット・プラグイン起動時に E2 拡張インターフェースを使用する場合は、[E2 拡張インターフェースを使用する] プロパティにて"ターゲット電源で使用する"を選択してください。 |
| E0617016 | [メッセージ] | E2 拡張インターフェースに電源供給されていないため、外部トリガ出力機能が使用できません。"E2 拡張インターフェースを使用する" プロパティの設定を確認してください。 |
| E0617018 | [メッセージ] | アップロードできないメモリ領域がアップロード範囲に指定されたためアップロードできません。 |
| E0617022 | [メッセージ] | 指定した転送速度は未サポートです。 |
| E0617024 | [メッセージ] | SVR パラメータを設定してください。 |
| E0617025 | [メッセージ] | ソフトウェア・ブレークは未サポートです。 |
| E0617026 | [メッセージ] | GTM をデバッグする場合、GTM を有効にして接続してください。 |
| E0617027 | [メッセージ] | 4 バイト以外のアクセス・サイズのアクセス・イベントは設定できません。 |
| E0617028 | [メッセージ] | COM Port に接続できません。通信ポートを指定してください。 |
| E0617029 | [メッセージ] | COM Port(xxx) に接続できません。 |

| | | |
|----------|----------|--|
| E0800001 | [メッセージ] | メモリ不足のため解析処理を中断します。 |
| | [説明] | 解析処理中にメモリ不足例外検出したときに表示されます。 |
| | [対処方法 f] | CS+ を再起動し、他のパネルを閉じた状態で解析結果を見たいパネルを開いてください。 |
| E0801003 | [メッセージ] | ファイルが見つかりませんでした。 |
| | [説明] | 指定されたファイルが見つからない場合に表示されます。 |
| | [対処方法] | ファイルが存在するか確認してください。 ファイルへのアクセス権を確認してください。 ファイルが壊れていないか確認してください。 |
| E0820002 | [メッセージ] | 入力された名前は登録解除できませんでした。 |
| | [対処方法] | 指定した名前が解析グラフパネルに登録されているか確認してください。 |
| E0820003 | [メッセージ] | 解析グラフに登録に失敗しました。 |
| | [説明] | 解析グラフに登録コマンドの実行に何らかの理由で失敗したときに表示されます。 |
| | [対処方法] | 解析グラフパネルに登録されている変数の数が制限を越えていないか（16個まで）確認してください。 |
| E0821001 | [メッセージ] | 保存する列がありません。 |
| | [対処方法] | 解析を実行してデータを更新してください。 フィールド選択ダイアログで保存したい列を表示してください。 |
| E0821002 | [メッセージ] | 保存する行がありません。 |
| | [対処方法] | 解析を実行してデータを更新してください。 フィルタ設定ダイアログで保存した行を表示してください。 |
| E0821003 | [メッセージ] | 行数が Excel の制限値を越えたため保存に失敗しました。 |
| | [対処方法] | フィルタ設定ダイアログで表示行を 65535 以下にしてください。 |
| E0821004 | [メッセージ] | ソースヘジャンプに失敗しました。 |
| | [対処方法] | ファイルが存在するか確認してください。 ファイルへのアクセス権を確認してください。 ファイルが壊れていないか確認してください。 ファイルを開くアプリケーションが関連付けられているか確認してください。 |
| E0821005 | [メッセージ] | 割り込み制御レジスタヘジャンプに失敗しました。 |
| | [説明] | 関数一覧パネルから割り込み制御レジスタへのジャンプコマンドに失敗したときに表示されます。 |
| | [対処方法] | SFR/IOR パネルを開くことができるか確認してください。 SFR が存在するか確認してください。 |
| E0822001 | [メッセージ] | 関数の先頭にブレークを設定できませんでした。 |
| | [対処方法] | デバッグ・ツールのリソースが不足している可能性があります。設定可能なブレーク数を確認してください。 |
| E0822002 | [メッセージ] | 関数一覧ヘジャンプに失敗しました。 |
| | [説明] | 関数一覧パネルヘジャンプコマンドを実行したときに、指定位置を開けなかった場合に表示されます。 |
| | [対処方法] | 指定関数が関数一覧に表示されているか確認してください。 |

| | | |
|----------|---------|--|
| E0822003 | [メッセージ] | 変数一覧ヘジャンプに失敗しました。 |
| | [説明] | 変数一覧 パネルヘジャンプコマンドを実行したときに、指定位置を開けなかったときに表示されます。 |
| | [対処方法] | 指定変数が変数一覧に表示されているか確認してください。 |
| E0823001 | [メッセージ] | 変数にアクセス・ブレークを設定できませんでした。 |
| | [対処方法] | デバッグ・ツールのリソースが不足している可能性があります。設定可能なブレーク数を確認してください。 |
| E0825001 | [メッセージ] | 指定する条件が1つの場合は、こちらに条件を指定してください。 |
| | [説明] | [条件 1] コンボ・ボックスが空欄で、[条件 2] コンボ・ボックスが空欄ではありません。 |
| E0826001 | [メッセージ] | 画像サイズが巨大であるため、画像の保存に失敗しました。 |
| | [説明] | Microsoft .NET Framework および GDI+ の制限（メモリ上のサイズが2Gバイトを超えるイメージは作成できない）に該当しました。 |
| | [対処方法] | 「可視部のみ」保存を使用してください。 |
| E0827001 | [メッセージ] | プログラム実行中です。 |
| | [説明] | プログラム実行中に検索を実行しました。 |
| | [対処方法] | 検索は、プログラム停止中に行ってください。 |
| E1200002 | [メッセージ] | この機能はサポートしていません。 |
| E1200256 | [メッセージ] | エミュレータと通信できません。 |
| | [対処方法] | デバイス・ドライバが正しくインストールされているか確認してください。エミュレータの電源を確認してください。それでも解決しない場合は、ご使用のエミュレータのユーザーズマニュアルを参照してください。 |
| E1200257 | [メッセージ] | イニシャライズファイル (EXPC.INI) が見つかりません。 |
| E1200258 | [メッセージ] | ホスト名が見つかりません。 |
| E1200259 | [メッセージ] | エミュレータへの送信ができません。エミュレータの電源、ケーブルの接続、I/O アドレスの設定などを確認してください。 |
| E1200260 | [メッセージ] | エミュレータから応答がありません。エミュレータの電源、ケーブルの接続、I/O アドレスの設定などを確認してください。 |
| | [対処方法] | デバイス依存情報ファイルを正しく読みませんでした。 |
| E1200261 | [メッセージ] | デバイス・ファイルを再インストールしてください。 |
| E1200262 | [メッセージ] | 受信データに異常がありました。 |
| E1200263 | [メッセージ] | エミュレータとの通信でエラーが発生しました。 |
| | [対処方法] | <ul style="list-style-type: none"> - USB 通信に異常が起きた（パワー、ケーブルの切断など）、または IECUBE の故障の可能性があります。【IECUBE】 [デバッグ] → [デバッグ・ツールから切断] を行い、IECUBE の電源を切断し、接続を確認してから IECUBE の電源を再投入し、[デバッグ] → [デバッグ・ツールへ接続] で再接続を行ってください。 - USB 接続に異常が起きた（ケーブルの切断など）、または MINICUBE, MINICUBE2 の故障の可能性があります。【MINICUBE】【MINICUBE2】 [デバッグ] → [デバッグ・ツールから切断] を行い、接続を確認してから電源を再投入し、[デバッグ] → [デバッグ・ツールへ接続] で再接続を行ってください。 |
| E1200264 | [メッセージ] | イニシャライズ・ファイル (EXPC.INI) を正しく読みません。 |

| | | |
|----------|---------|--|
| E1200265 | [メッセージ] | エミュレータと通信できません。デバッグを終了させ、エミュレータの電源、ケーブルの接続などを確認し、デバッグとエミュレータを再起動してください。 |
| | [対処方法] | <ul style="list-style-type: none"> - USB 通信に異常が起きた (パワー、ケーブルの切断など)、または IECUBE の故障の可能性があります。【IECUBE】 [デバッグ] → [デバッグ・ツールから切断] を行い、IECUBE の電源を切断し、接続を確認してから IECUBE の電源を再投入し、[デバッグ] → [デバッグ・ツールへ接続] で再接続を行ってください。 - USB 接続に異常が起きた (ケーブルの切断など)、または MINICUBE、MINICUBE2 の故障の可能性があります。【MINICUBE】【MINICUBE2】 [デバッグ] → [デバッグ・ツールから切断] を行い、接続を確認してから電源を再投入し、[デバッグ] → [デバッグ・ツールへ接続] で再接続を行ってください。 |
| E1200266 | [メッセージ] | デバッグとユーティリティの同時起動はできません。 |
| | [対処方法] | ホスト PC でほかにエミュレータを使用しているソフトウエアがないか確認してください。 |
| E1200416 | [メッセージ] | エミュレーション CPU から応答がありません。RESET、WAIT などの信号やクロック信号に異常がないか確認してください。 |
| | [対処方法] | <p>【RL78】</p> <ol style="list-style-type: none"> (1) E1、または E20 とマイコン間の結線が推奨回路と異なっていないか確認してください。 「E1/E20 エミュレータ、E2 エミュレータ Lite ユーザーズマニュアル別冊 (RL78 接続時の注意事項)」に掲載されている推奨接続回路例を参照し、結線を確認してください。 推奨回路の結線と異なる場合、正しく通信ができない場合があります。 (2) クロックの設定が正しいか確認してください。 外部クロックを使用する場合、デバッグ・ツールの [接続用設定] タブの [クロック] カテゴリ内のプロパティで使用するクロックの設定を行う必要があります。 (3) デバッグが使用するスタック領域が確保されているか確認してください。 E1/E20 エミュレータ用に 4 バイトのスタック領域の空きが必要です。 ユーザ・プログラムが消費するスタック領域 + 4 バイト分を見積もったスタック・ポインタを設定してください。 詳細は「E1/E20 エミュレータ、E2 エミュレータ Lite ユーザーズマニュアル別冊 (RL78 接続時の注意事項)」を参照してください。 (4) オンチップ・デバッグ・オプション・バイトをオンチップ・デバッグ動作禁止に設定していないか確認してください。 オンチップ・デバッグ動作禁止にしている場合、フラッシュメモリを消去しないとデバッグ・ツール接続ができません。 以下に設定してからダウンロードしてください。 デバッグ・ツールの [接続用設定] タブの [フラッシュ] カテゴリ内 [起動時にフラッシュROM を消去する] プロパティで [はい] を選択してください。 (5) マイコンへの供給電圧が電源検出回路の検出電圧より低くないか確認してください。 デバッグ・ツールの [接続用設定] タブの [ターゲット・ボードとの接続] カテゴリ内の [供給電圧 [V]] プロパティで供給電圧を確認してください。また、ビルド・ツールの [リンク・オプション] タブの [デバイス] カテゴリ内 [ユーザ・オプション・バイト値] プロパティで検出電圧設定を確認してください。 |
| E1200418 | [メッセージ] | BK ボードが接続されていません。 |
| E1200419 | [メッセージ] | エミュレーション・ボードが接続されていません。 |

| | | |
|----------|---------|---|
| E1200420 | [メッセージ] | 選択デバイスと接続エミュレータに矛盾があります。デバッグを終了します。 |
| E1200421 | [メッセージ] | POD/EM1 ボードが接続されていません。 |
| E1200422 | [メッセージ] | イグゼキュタ起動中です。 |
| E1200424 | [メッセージ] | イニシャライズ・ファイル (EXPC.INI) を正しく読みません。 |
| E1200429 | [メッセージ] | インタフェース・ボード用のデバイス・ドライバを更新して下さい。 |
| E1200430 | [メッセージ] | イニシャライズ・ファイル (EXPC.INI) を正しく読みません。 |
| E1200431 | [メッセージ] | モニタ・コマンドの実行に失敗しました。 |
| E1200432 | [メッセージ] | モニタ・プログラムと通信できません。通信ポートが利用可能かどうか、CPU ボードの設定、ケーブルの種類などを確認してください。 |
| | [対処方法] | <ul style="list-style-type: none"> - USB 通信に異常が起きた (パワー、ケーブルの切断など)、または IECUBE の故障の可能性があります。【IECUBE】 [デバッグ] → [デバッグ・ツールから切断] を行い、IECUBE の電源を切断し、接続を確認してから IECUBE の電源を再投入し、[デバッグ] → [デバッグ・ツールへ接続] で再接続を行ってください。 - USB 接続に異常が起きた (ケーブルの切断など)、または MINICUBE、MINICUBE2 の故障の可能性があります。【MINICUBE】【MINICUBE2】 [デバッグ] → [デバッグ・ツールから切断] を行い、接続を確認してから電源を再投入し、[デバッグ] → [デバッグ・ツールへ接続] で再接続を行ってください。 |
| E1200433 | [メッセージ] | モニタ・プログラムと通信できません。デバッグを終了させ、CPU ボードの電源、ケーブルの接続などを確認し、デバッグとエミュレータを再起動してください。 |
| | [対処方法] | <ul style="list-style-type: none"> - USB 通信に異常が起きた (パワー、ケーブルの切断など)、または IECUBE の故障の可能性があります。【IECUBE】 [デバッグ] → [デバッグ・ツールから切断] を行い、IECUBE の電源を切断し、接続を確認してから IECUBE の電源を再投入し、[デバッグ] → [デバッグ・ツールへ接続] で再接続を行ってください。 - USB 接続に異常が起きた (ケーブルの切断など)、または MINICUBE、MINICUBE2 の故障の可能性があります。【MINICUBE】【MINICUBE2】 [デバッグ] → [デバッグ・ツールから切断] を行い、接続を確認してから電源を再投入し、[デバッグ] → [デバッグ・ツールへ接続] で再接続を行ってください。 |
| E1200434 | [メッセージ] | エミュレータのファームウェアのバージョンが最新ではありません。ユーティリティで最新のファームウェアに更新してください。 |
| E1200435 | [メッセージ] | 無線の通信設定が行われていません。無線ユーティリティで設定を行ってください。 |
| E1200464 | [メッセージ] | シミュレータの起動に失敗しました。 |
| E1200465 | [メッセージ] | シミュレータ起動時のメモリが不足しています。 |
| E1200466 | [メッセージ] | RBASE レジスタ値として設定された値や RBASE レジスタ値を格納するコアとして設定されたコア番号が正しくありません。 |
| E1200467 | [メッセージ] | オプション・バイト設定値が正しくありません。 |
| | [対処方法] | フラッシュ・オプションの設定 ダイアログでオプション・バイト値の設定を確認してください。 |
| E1200468 | [メッセージ] | シミュレータに接続中です。 |
| | [対処方法] | 本コマンドはシミュレータに接続する前に使用してください。 |
| E1200512 | [メッセージ] | ペリファイ・エラーが起きました。メモリに書き込みができません。 |
| E1200672 | [メッセージ] | バス・ホールド中です。 |

| | | |
|----------|---------|---|
| E1200674 | [メッセージ] | 強制ブレークはできません。 |
| E1200675 | [メッセージ] | リセットが継続中です。 |
| E1200722 | [メッセージ] | トレース・フレームのメモリが不足しています。 |
| E1200768 | [メッセージ] | ユーザ・プログラム実行中です。 |
| E1200769 | [メッセージ] | ユーザ・プログラム停止中です。 |
| E1200770 | [メッセージ] | ユーザ・プログラム・トレース中です。 |
| E1200771 | [メッセージ] | トレース測定は行われていません。 |
| E1200772 | [メッセージ] | トレーサは OFF になっています。 |
| E1200774 | [メッセージ] | トレース・ブロックはありません。 |
| E1200775 | [メッセージ] | イベント条件がありません。 |
| E1200776 | [メッセージ] | タイマ測定は行われていません。 |
| E1200777 | [メッセージ] | トリガ・フレームはありません。 |
| E1200778 | [メッセージ] | トレーサ停止中です。 |
| E1200779 | [メッセージ] | 参照・削除しようとしたスナップ・イベントが未登録です。 |
| E1200780 | [メッセージ] | 参照・削除しようとしたスタブ・イベントが未登録です。 |
| E1200781 | [メッセージ] | タイマ動作中です。 |
| E1200782 | [メッセージ] | メモリ・コピー範囲が重なっています。 |
| E1200783 | [メッセージ] | トレースはすでに ON 状態です。 |
| E1200784 | [メッセージ] | イベント条件が設定されていません。 |
| E1200785 | [メッセージ] | 有効タイマ・イベント条件が設定個数の上限を超えています。 |
| E1200786 | [メッセージ] | このタイマ・イベントは設定されていません。 |
| E1200787 | [メッセージ] | マッピング設定に誤りがあります。 |
| E1200788 | [メッセージ] | ディレイ・トリガ条件が設定されているのでトレース・ディレイ・モード以外は使用できません。 |
| E1200789 | [メッセージ] | ディレイ・トリガ条件はトレース・ディレイ・モード以外では設定できません。 |
| E1200790 | [メッセージ] | 指定可能なマッピング数を超えました。 |
| E1200928 | [メッセージ] | ターゲットの電源が OFF です。 |
| | [対処方法] | ターゲット・ボードの電源を確認してください。 |
| E1200929 | [メッセージ] | ステップ実行中です。 |
| E1200930 | [メッセージ] | タイマ、トレーサ動作中です。 |
| E1200931 | [メッセージ] | 統合イベントと実行系イベントが混在しています。 |
| E1200932 | [メッセージ] | 参照・削除しようとした DMM 番号が未登録です。 |
| E1200976 | [メッセージ] | バック・トレース実行中です。 |
| E1200977 | [メッセージ] | バック・トレース停止中です。 |
| E1200978 | [メッセージ] | バック・トレース実行停止位置がバック・トレース可能な範囲を超えました。 |
| E1200979 | [メッセージ] | 統合イベントの Phase1 以外に Register ステータス、または Memory ステータスは設定できません。 |

| | | |
|----------|---------|--|
| E1200980 | [メッセージ] | バック・トレース情報がありません。 |
| E1200981 | [メッセージ] | 最後の命令でバック・ステップが出来ません。 |
| E1200991 | [メッセージ] | 取得できる消費電流データがありません。 |
| E1200992 | [メッセージ] | 指定された疑似タイマ番号は存在しません。 |
| E1201024 | [メッセージ] | 指定した条件が不正です。 |
| E1201025 | [メッセージ] | タイマ測定結果がオーバフローしました。 |
| E1201026 | [メッセージ] | パス・カウントを設定したイベント条件の数が多すぎます。 |
| E1201027 | [メッセージ] | アドレス範囲指定条件の最大個数を超過しています。 |
| E1201028 | [メッセージ] | 同時に使用可能なイベント条件の設定個数を超過しています。 |
| E1201029 | [メッセージ] | スナップ・イベント条件の最大個数を超過しています。 |
| E1201030 | [メッセージ] | スタブ・イベント条件の最大個数を超過しています。 |
| E1201031 | [メッセージ] | 初期化データ数が初期化領域を超過しています。 |
| E1201032 | [メッセージ] | 検索データが 16 バイトを超過しています。 |
| E1201033 | [メッセージ] | 検索データのサイズが検索範囲のサイズを超過しています。 |
| E1201034 | [メッセージ] | 統合イベント設定数の最大個数を超過しました。 |
| E1201184 | [メッセージ] | ソフトウェア・ブレーク条件の最大個数を超過しました。 |
| E1201185 | [メッセージ] | エミュレーション用のメモリが足りません。 |
| E1201186 | [メッセージ] | バス・サイズの区切りが最大数を超過しました。 |
| E1201187 | [メッセージ] | 実行イベント条件の最大個数を超過しました。 |
| E1201188 | [メッセージ] | バス・イベント条件の最大個数を超過しました。 |
| E1201190 | [メッセージ] | DMM 番号の設定個数を超過しています。 |
| E1201232 | [メッセージ] | 指定したイベントは既に使用済みです。 |
| E1201233 | [メッセージ] | 割り込みのベクタアドレスが不正です。 |
| E1201234 | [メッセージ] | 割り込み優先順位が不正です。 |
| E1201235 | [メッセージ] | 疑似タイマ番号が不正です。 |
| E1201236 | [メッセージ] | 疑似タイマのインターバル時間が不正です。 |
| E1201280 | [メッセージ] | 指定したデバイスは IE850 は未サポートです。 |
| E1201281 | [メッセージ] | IE850A はこのデバイスをサポートしていません。 |
| E1201282 | [メッセージ] | このデバイスは外部トレースをサポートしていません。外部トレースは使用できません。 |
| E1201283 | [メッセージ] | デバッグ対象として、型名の末尾に "I" が付加されている MCU が選択されていますが、ターゲットデバイスが ICUM OFF 状態のため起動に失敗しました。 |
| E1201344 | [メッセージ] | 接続前に指定した電源供給モードは変更できません。 |
| E1201345 | [メッセージ] | ソフトウェア・トレースの LPD 出力中、かつユーザプログラム実行中のため本機能は使用できません。 |
| E1201346 | [メッセージ] | ソフトウェア・トレースの LPD 出力が有効です。 |
| E1201347 | [メッセージ] | ターゲットの電源が OFF です。 |

| | | |
|----------|---------|--|
| E1201348 | [メッセージ] | E2 拡張機能を使用したユーザプログラム実行中です。 |
| E1201349 | [メッセージ] | E2 拡張機能が有効なため設定できません。 |
| E1201350 | [メッセージ] | E2 拡張インタフェースが有効です。 |
| E1201351 | [メッセージ] | ユーザプログラム停止中は、エミュレータからの供給電圧値を 0V に変更できません。 |
| E1201352 | [メッセージ] | 消費電流測定中はエミュレータからの供給電圧値を変更できません。 |
| E1201354 | [メッセージ] | Cyclic 中のため、ブレーク要求を出さずに処理を中断しました。 |
| E1201355 | [メッセージ] | Cyclic 中のため同期ブレークできません。 |
| E1201356 | [メッセージ] | E2 拡張機能が有効なため本機能は使用できません。 |
| E1201357 | [メッセージ] | CAN ブートデバッグ中のため本機能は使用できません。 |
| E1201358 | [メッセージ] | エミュレーション・アダプタが接続されていません。 |
| E1201359 | [メッセージ] | IE850A エミュレータが接続されています。 |
| E1201360 | [メッセージ] | エミュレータの電源が異常です。 |
| E1201361 | [メッセージ] | デバイスのトレース電源が異常です。外部トレースは使用できません。 |
| E1201362 | [メッセージ] | デバッグ対象の CPU モードではないためアクセスできません。 |
| E1201363 | [メッセージ] | CPU が停止状態であるためコマンド実行ができません。 |
| E1201364 | [メッセージ] | CPU が停止状態であるため指定した領域にアクセスできません。 |
| E1201365 | [メッセージ] | CPU が停止状態であるためフラッシュ領域へライトできません。 |
| E1201366 | [メッセージ] | Cyclic モード中であるためフラッシュ領域へライトできません。 |
| E1201367 | [メッセージ] | IE850 エミュレータが接続されています。 |
| E1201368 | [メッセージ] | 該当するスタンバイモード中はデバッグ操作を行えないためコマンド実行ができません。デバッグを継続する場合スタンバイモードが解除された状態での操作もしくは強制リセットを行ってください。 |
| E1201369 | [メッセージ] | GTM にローカル RAM は実装されていません。 |
| E1201370 | [メッセージ] | GTM コアデバッグモードでは未サポートです。 |
| E1201371 | [メッセージ] | GTM コアでは未サポートです。 |
| E1201372 | [メッセージ] | GTM が起動していません。 |
| E1201374 | [メッセージ] | GTM コアはテンポラリブレークできません。 |
| E1201375 | [メッセージ] | GTM コアのみサポートしています。 |
| E1201376 | [メッセージ] | 設定値は排他にする必要があります。 |
| E1201377 | [メッセージ] | フラッシュメモリ以外の書き込みデータが含まれています。 |
| E1201378 | [メッセージ] | フラッシュメモリへのアクセスはサポートしていません。 |
| E1201379 | [メッセージ] | 指定したタイマ番号は別のタイマ、パフォーマンスで使用済みのため指定できません。 |
| E1201380 | [メッセージ] | 指定したパフォーマンス番号はタイマで使用済みのため使用できません。 |
| E1201381 | [メッセージ] | 指定イベントは現在スレーブで使用されています。 |
| E1201382 | [メッセージ] | 指定イベントの個数が設定可能なイベント個数を超過しています。 |

| | | |
|----------|---------|--|
| E1201383 | [メッセージ] | 指定したメモリアクセスエリアは、MCU の資源を跨ぐため、メモリアクセスを行なえません。 |
| E1201384 | [メッセージ] | 指定したコア番号は現在、無効のため選択できません。 |
| E1201385 | [メッセージ] | [メイン・クロックを搭載する] プロパティを "いいえ" に設定できません。 |
| E1201386 | [メッセージ] | [メイン・クロックを搭載する] プロパティを "いいえ" に設定できません。 |
| E1201387 | [メッセージ] | ワーク RAM 領域は Local RAM 領域の範囲を超える指定ができません。 |
| E1201388 | [メッセージ] | サポートされていないソフトウェア・トレースの機能のため設定できません。 |
| E1201389 | [メッセージ] | ソフトウェア・ブレークで使用するイベント番号は使用できません。 |
| E1201390 | [メッセージ] | ハードウェア・ブレークで使用するイベント番号は使用できません。 |
| E1201391 | [メッセージ] | 命令実行によるイベント機能で範囲イベント設定は未サポートです。 |
| E1201392 | [メッセージ] | アクセスイベントでデータ値を指定する設定は未サポートです。 |
| E1201393 | [メッセージ] | Run-Break 時間の計測は未サポートです。 |
| E1201394 | [メッセージ] | タイマ計測イベントは未サポートです。 |
| E1201395 | [メッセージ] | タイマ計測イベントは未サポートです。 |
| E1201396 | [メッセージ] | パフォーマンス計測イベントは未サポートです。 |
| E1201397 | [メッセージ] | 指定した LPD は未サポートです。 |
| E1201398 | [メッセージ] | 指定したマップ・モードとデバイスのマップ・モードが一致しません。 |
| E1201401 | [メッセージ] | 初期停止状態およびスタンバイモードのデバッグをするモードをサポートしていません。 |
| E1201402 | [メッセージ] | 内蔵トレース (ERAM) に指定できないアドレス、またはアドレス範囲が指定されました。 |
| E1201424 | [メッセージ] | トレース記録開始処理が正常に終了できませんでした。 |
| E1201425 | [メッセージ] | トレース記録停止処理が正常に終了できませんでした。 |
| E1201426 | [メッセージ] | トレース記録停止処理中に TRC 内トレースバッファに格納されているデータ取得が完了しませんでした。 |
| E1201427 | [メッセージ] | トレース機能は実装されていません。 |
| E1201428 | [メッセージ] | 選択されているトレース機能は実装されていません。 |
| E1201429 | [メッセージ] | トレース出力が無効です。 |
| E1201430 | [メッセージ] | 指定したスレーブ資源が MCU に実装されていないため、設定できません。 |
| E1201431 | [メッセージ] | 指定したパフォーマンス計測が MCU に実装されていないため、設定できませんでした。 |
| E1201432 | [メッセージ] | 周辺マクロをブレークする機能が MCU に実装されていないため、設定できません。 |
| E1201433 | [メッセージ] | 指定したスレーブ資源が TEU に実装されていないため、設定できません。 |
| E1201434 | [メッセージ] | 指定したエリアは、MAU アクセスをサポートしていないためアクセスができません。 |
| E1201435 | [メッセージ] | ID コードが間違っています。 |
| E1201444 | [メッセージ] | Local RAM が MCU に実装されていません。 |
| E1201445 | [メッセージ] | POD のトレース用 FIFO の書き込みカウント機能は未サポートです。 |

| | | |
|----------|---------|---|
| E1201446 | [メッセージ] | ソフトウェア・トレースのLPD出力機能は未サポートです。 |
| E1201447 | [メッセージ] | 選択したコアには、ソフトウェア・トレースのLPD出力機能は搭載されていません。 |
| E1201448 | [メッセージ] | トレース・メモリのオープンに失敗しました。 |
| E1201449 | [メッセージ] | ソフトウェア・トレースのLPD出力対象がすでに設定されています。 |
| E1201450 | [メッセージ] | ソフトウェア・トレース (LPD) が記録できない状態です。 ソフトウェア・トレース (LPD) の記録を有効にする場合は、デバッグを再起動してください。 |
| E1201451 | [メッセージ] | 指定された領域にセキュア領域が含まれるため選択されたコアではアクセスできません。 |
| E1201452 | [メッセージ] | 指定したクラスタ番号のクラスタは選択できません。 |
| E1201454 | [メッセージ] | 指定したトレース・メモリ・サイズは未サポートです。 |
| E1201455 | [メッセージ] | アクセスできないコードフラッシュ配置に設定されています。 |
| E1201457 | [メッセージ] | シングル・マップ・モードのみのデバイスです。 |
| E1201458 | [メッセージ] | 選択したマップモードはサポートしていません。 |
| E1201459 | [メッセージ] | 読み込み専用レジスタのため書き込みできません。 |
| E1201536 | [メッセージ] | デバッグ・ツールを起動させるためのメモリを確保できませんでした。 |
| | [対処方法] | ホスト PC で動作しているソフトウェアを終了させてください。 |
| E1201537 | [メッセージ] | オペレーティングシステムのリソースが不足しています。 |
| E1202819 | [メッセージ] | 使用エミュレータとデバイス・ファイルの組合せは適切ではありません。 |
| E1202820 | [メッセージ] | 指定した動作電源とターゲット電源の整合がとれていません。 |
| | [対処方法] | エミュレータから電源を供給する設定になっていますが、すでにターゲットに電源が供給されています。デバッグ・ツールの [接続用設定] タブの [エミュレータから電源供給をする (最大 200mA)] プロパティの設定を確認してください。 |
| E1202848 | [メッセージ] | 使用できないイベントを使用しました。 |
| E1202854 | [メッセージ] | ホットプラグインに失敗しました。 |
| E1202855 | [メッセージ] | デバッグモニタ領域にユーザ・データが書き込まれています。起動前に、" 起動時にフラッシュ ROM を消去する " を " はい " に設定してください。 |
| E1202856 | [メッセージ] | オンチップ・デバッグ・オプション・バイト制御値が不正です。起動前に、" 起動時にフラッシュ ROM を消去する " を " はい " に設定してください。 |
| E1202857 | [メッセージ] | クロック周波数が規定の範囲外なので、フラッシュ書き込みができません。 以下の設定変更あるいは処理変更により回避できる場合があります。 ・ [メイン・クロック周波数] プロパティで外部クロック源の周波数値を選択してください。 ・ [モニタ・クロック] プロパティで [システム] を選択してください。 ・ SFR 書き換えにより、システム・クロックをメイン・クロックに切り替えてください。 |
| | [説明] | 動作クロック源がサブクロック、または デバッグ上で設定した [メイン・クロック周波数] が高過ぎるために、フラッシュ書き換えを中断した場合に表示されません。【RL78 【E1/E20】】 |
| E1202913 | [メッセージ] | セクション・トレース・イベント条件の最大個数を超えました。 |
| E1202918 | [メッセージ] | 実行前ブレークとソフトウェア・ブレークは同時に使用できません。 |
| E1202976 | [メッセージ] | FPGA データファイルが見つかりません。 |

| | | |
|----------|---------|---|
| E1202977 | [メッセージ] | FPGA データのバージョンがエミュレータのバージョンより小さいです。 |
| E1202978 | [メッセージ] | FPGA データのバージョンがエミュレータのバージョンより大きいです。 |
| E1202979 | [メッセージ] | 指定されたバージョンの FPGA データが見つかりません。 |
| E1202980 | [メッセージ] | FPGA の初期化に失敗、または FPGA データの書き込みに失敗しました。 |
| E1202981 | [メッセージ] | 使用エミュレータと転送するフラッシュファームウェアのバージョンの組み合わせが適切ではありません。 |
| E1203072 | [メッセージ] | モニタ・ファイルの読み込みに失敗しました。 |
| E1203073 | [メッセージ] | レジスタのアクセス中に CPU からの応答がなくなりました。 |
| E1203074 | [メッセージ] | メモリのアクセス中に CPU からの応答がなくなりました。 |
| E1203075 | [メッセージ] | I/O レジスタのアクセス中に CPU からの応答がなくなりました。 |
| E1203076 | [メッセージ] | フラッシュ・メモリの情報ファイルが見つかりません。または、ファイルの読み込みに失敗しました。 |
| E1203077 | [メッセージ] | モニタ・コードの更新に失敗しました。 |
| E1203101 | [メッセージ] | シリアル・プログラミング・セキュリティ ID を直接書き換えることはできません。 |
| E1203102 | [メッセージ] | フラッシュ・セルフ・エミュレーションに必要な命令コードがありません。 |
| E1203103 | [メッセージ] | セキュリティ ID コードを直接書き換えることはできません。 |
| E1203104 | [メッセージ] | ガード領域にアクセスしようとして失敗しました。 |
| | [対処方法] | <p>ダウンロード・データにガード領域のデータが含まれています。以下を確認してください。</p> <ol style="list-style-type: none"> (1) ビルド・ツールで生成されるリンク・マップ・ファイルを確認してください。 デバイスのガード領域に該当するアドレスに割り当てられているセクションが存在しないか確認してください。 (2) 該当セクションのアドレス割り付け状態を確認してください。 ビルド・ツールの [リンク・オプション] タブの [セクション情報] カテゴリ内のプロパティを確認してください。 該当セクションのアドレスがデバイスのガード領域に設定されていないか確認し、設定されている場合はセクション・アドレスの変更を行ってください。 また、セクションを指定していない場合は、自動的に空いているメモリ領域に割り付けを行います。 これにより、ガード領域に割り付けられる可能性があるため、セクション指定を行ってください。 |
| E1203105 | [メッセージ] | メモリが NO READY 状態です。 |
| E1203107 | [メッセージ] | バス・ホールドが継続中です。 |
| E1203108 | [メッセージ] | デバッグ・モードに移行できません。 |
| | [説明] | <p>ターゲット・システムとの接続に問題があることが考えられます。</p> <ol style="list-style-type: none"> (1) クロック停止、低速クロックが考えられます。 (2) リセット解除後に、モニタ・プログラムから応答がない場合に表示されます。【MINICUBE2】 |
| | [対処方法] | <p>ターゲット・マイコンとデバイス・ファイルの組み合わせが間違っている可能性があります。または、通信準備期間にマイコンが暴走している可能性があります。一旦プログラマ（Renesas Flash Programmer や PG-FP5）等でコード・フラッシュを消去してから再度接続してください。</p> |

| | | |
|----------|---------|--|
| E1203109 | [メッセージ] | フラッシュ・マクロ・サービス用 ROM をアクセスまたはステップ実行しました。 |
| E1203110 | [メッセージ] | FLMD 端子が書き込み禁止状態です。 |
| E1203111 | [メッセージ] | セキュリティ・フラグが書き込み禁止状態です。 |
| E1203112 | [メッセージ] | フラッシュ・メモリの書き込みができません。内蔵 RAM が不足しているか、内蔵フラッシュ・メモリが劣化している可能性があります。 |
| | [対処方法] | POD を交換してください。【Full-spec emulator】 チップを交換してください。【MINICUBE】【MINICUBE2】【E1/E20】 |
| E1203113 | [メッセージ] | フラッシュ・メモリのブランク・チェックに失敗しました。内蔵フラッシュ・メモリが劣化している可能性があります。 |
| | [対処方法] | POD を交換してください。【Full-spec emulator】 チップを交換してください。【MINICUBE】【MINICUBE2】【E1/E20】 |
| E1203114 | [メッセージ] | フラッシュ・メモリの消去に失敗しました。内蔵フラッシュ・メモリが劣化している可能性があります。 |
| | [対処方法] | POD を交換してください。【Full-spec emulator】 チップを交換してください。【MINICUBE】【MINICUBE2】【E1/E20】 |
| E1203115 | [メッセージ] | フラッシュ・メモリの書き込みに失敗しました。内蔵フラッシュ・メモリが劣化している可能性があります。 |
| | [対処方法] | POD を交換してください。【Full-spec emulator】 チップを交換してください。【MINICUBE】【MINICUBE2】【E1/E20】 |
| E1203116 | [メッセージ] | フラッシュ・メモリの内部ベリファイに失敗しました。内蔵フラッシュ・メモリが劣化している可能性があります。 |
| | [対処方法] | POD を交換してください。【Full-spec emulator】 チップを交換してください。【MINICUBE】【MINICUBE2】【E1/E20】 |
| E1203117 | [メッセージ] | フラッシュ・メモリの書き込みに失敗しました。 |
| | [対処方法] | 実際にデバイスに入力されているメイン・クロック周波数とデバッグ・ツールの [接続用設定] タブの [メイン・クロック周波数 [MHz]] プロパティの設定が一致しているか確認してください。 |
| E1203118 | [メッセージ] | フラッシュ・マクロ・サービスからの応答がありません。内蔵フラッシュ・メモリが劣化している可能性があります。 |
| | [対処方法] | POD を交換してください。【Full-spec emulator】 チップを交換してください。【MINICUBE】【MINICUBE2】【E1/E20】 |
| E1203119 | [メッセージ] | フラッシュ・マクロ・サービスからの応答が正しくありません。内蔵フラッシュ・メモリが劣化している可能性があります。 |
| | [対処方法] | POD を交換してください。【Full-spec emulator】 チップを交換してください。【MINICUBE】【MINICUBE2】【E1/E20】 |
| E1203120 | [メッセージ] | フラッシュ I/O レジスタ操作禁止の設定を、解除する必要があります。 |
| E1203121 | [メッセージ] | STOP モードが継続中です。強制ブレークはできません。STOP モードを解除するか、CPU リセットして下さい。 |
| E1203123 | [メッセージ] | オンチップ・デバッグを使用禁止にしようとしてしました。 |

| | | |
|----------|---------|---|
| E1203124 | [メッセージ] | オンチップ・デバッグで使用する予約領域への書き込みはできません。 |
| | [説明] | デバッグが使用する領域へユーザプログラムがダウンロードされた場合に表示されます。 |
| | [対処方法] | このメッセージの address:xxxxxxx が、エラーの原因となっているデバッグが使用する領域とユーザプログラムが重複しているアドレスですので、ユーザプログラムをダウンロードする領域を見直してください。 デバッグが使用する領域の確保は、リンカ機能で設定できます。 ビルド・ツールのプロパティの [リンク・オプション] タブの [デバイス] カテゴリの [デバッグ・モニタ領域を設定する] を [はい (-DEBUG_MONITOR)] に設定してください。 |
| E1203125 | [メッセージ] | フラッシュ書き込み用のプログラムを内蔵 RAM に書き込めません。 |
| E1203126 | [メッセージ] | 内蔵 ROM サイズがデバイスのデフォルト・サイズになっていません。 |
| E1203127 | [メッセージ] | 電圧が低すぎてフラッシュ書き込みができません。 |
| E1203128 | [メッセージ] | 拡張モニタ領域が使用中のためモニタ・コードを書き込めません。 |
| E1203129 | [メッセージ] | RRM に失敗しました。 |
| E1203130 | [メッセージ] | データフラッシュ領域の書き込みはサポートしていません。 |
| | [対処方法] | データ・フラッシュが搭載されたデバイスであるか確認してください。 |
| E1203131 | [メッセージ] | データフラッシュ以外のフラッシュ環境のため、データフラッシュ・メモリの書き込みができません。 |
| E1203132 | [メッセージ] | 外部空間にあるフラッシュ・メモリの情報が未設定です。 |
| E1203133 | [メッセージ] | 外部空間にあるフラッシュ・メモリの消去に失敗しました。 |
| E1203134 | [メッセージ] | 外部空間にあるフラッシュ・メモリの書き込みに失敗しました。 |
| E1203135 | [メッセージ] | オンチップ・デバッグで禁止されている値を書き込もうとしました。 |
| E1203136 | [メッセージ] | 有効なイベント条件のステータスは変更できません。 |
| E1203137 | [メッセージ] | カバレッジ実行中です。 |
| E1203138 | [メッセージ] | デバッグ・モードへの移行に失敗しています。CPU リセットして下さい。 |
| E1203139 | [メッセージ] | エミュレータの接続ができません。エミュレータの電源、ケーブルの接続などを確認してください。 |
| | [対処方法] | Full-spec emulator 本体と POD が切断された可能性があります。Full-spec emulator 本体と POD の接続状態を確認してください。【Full-spec emulator】IE850A 本体とチップが切断された可能性があります。IE850A 本体とチップの接続状態を確認してください。【IE850A】 |
| E1203140 | [メッセージ] | トレース・パケット・データの取りこぼしが発生しました。 |
| E1203141 | [メッセージ] | パワー OFF リセットエミュレーション中はプログラムの実行はできません。 |
| E1203142 | [メッセージ] | フラッシュ・セルフ・エミュレーション中は、内蔵 ROM サイズまたは内蔵 RAM サイズの変更と RAM モニタと DMM の機能を使用できません。 |
| E1203143 | [メッセージ] | ROM コレクション・エミュレーションは既に有効です。 |
| E1203144 | [メッセージ] | デバッグ設定によりフラッシュ書き込みが禁止されています。 |
| E1203145 | [メッセージ] | パフォーマンス番号が設定されていません。 |
| E1203146 | [メッセージ] | パフォーマンス番号がすべて設定されています。 |
| E1203147 | [メッセージ] | CLK はパフォーマンスに使用されているためタイマに使用できません。 |
| E1203148 | [メッセージ] | CLK はタイマに使用されているためパフォーマンスに使用できません。 |

| | | |
|----------|---------|---|
| E1203149 | [メッセージ] | セキュリティ解除に失敗しました。 |
| | [対処方法] | デバッグ・ツールの [接続用設定] タブの [セキュリティ ID] プロパティの指定と実際のデバイスに設定されたセキュリティ ID が一致しているか確認してください。 |
| E1203152 | [メッセージ] | フラッシュ書き換えモード中 (P/E モード中) のため、フラッシュ資源の読み出しおよび、書き込みは実行できません。 |
| | [対処方法] | フラッシュ資源の読み出し、および書き込みを行う場合は、フラッシュ書き換えモード (P/E モード) を解除した状態で行ってください。 |
| E1203153 | [メッセージ] | FCU ファーム領域選択が FCU ファームウェア資源を指定しているため、読み出しおよび、書き込みは実行できません。 |
| E1203154 | [メッセージ] | 非同期デバッグモード中のため使用できません。 |
| E1203155 | [メッセージ] | 非同期デバッグモードでデバッグ非対象コアのため使用できません。 |
| E1203156 | [メッセージ] | デバッグ非対象コアが実行中のため使用できません。 |
| | [対処方法] | すべてのコアを実行停止させてから操作してください。 |
| E1203157 | [メッセージ] | 指定されたイベントは削除できません。 |
| E1203158 | [メッセージ] | 初期停止中のため、ブレーク要求を出さないで処理を中断しました。 |
| E1203159 | [メッセージ] | 初期停止中のため、同期ブレークできませんでした。 |
| E1203160 | [メッセージ] | 同期ブレークできませんでした。 |
| E1203161 | [メッセージ] | AXI クロック供給されてないため、XC 領域へのアクセスはできません。 |
| E1203162 | [メッセージ] | 非同期デバッグモードに設定できません。 |
| | [対処方法] | デバッグ・ツールの [デバッグ・ツール設定] タブの [トレース・メモリを使い切った後の動作] プロパティを [停止] 以外の設定にしてください。【E1/E20】 |
| E1203163 | [メッセージ] | 同期デバッグモード中は本機能を使用できません。 |
| E1203164 | [メッセージ] | Serial Flash にクロックが供給されていないため、Serial Flash 領域へのアクセスはできません。 |
| E1203165 | [メッセージ] | SDRAM にクロックが供給されていないため、SDRAM 領域へのアクセスはできません。 |
| E1203166 | [メッセージ] | " 接続時に RAM を初期化する " プロパティが " いいえ " のため指定した機能は実行出来ません。 |
| | [対処方法] | デバッグ・ツールを一旦切断し、デバッグ・ツールの [接続用設定] タブの [接続時に RAM を初期化する] プロパティを [はい] に変更して再接続してください。 |
| E1203167 | [メッセージ] | HyperBus/OctaBus にクロックが供給されていないため、HyperBus/OctaBus 領域へのアクセスはできません。 |
| E1203168 | [メッセージ] | 実行前イベントはブレーク条件以外に設定できません。 |
| E1203169 | [メッセージ] | ハードウェア・ブレークで使用できないイベント番号の登録はできません。 |
| E1203170 | [メッセージ] | ハードウェア・ブレークで使用するイベント番号は使用できません。 |
| E1203171 | [メッセージ] | 統合イベント条件は設定できません。 |
| E1203172 | [メッセージ] | ROM エミュレーション RAM 領域は複数設定できません。 |
| E1203175 | [メッセージ] | フラッシュ・メモリのブロック間の書き込みはできません。 |
| E1203176 | [メッセージ] | ROM コレクション・エミュレーション可能な定形コードになっていません。 |

| | | |
|----------|---------|--|
| E1203177 | [メッセージ] | データフラッシュ領域外のアドレスが指定されました。 |
| | [対処方法] | データ・フラッシュ領域の範囲を超えた指定を行っていないか確認してください。 |
| E1203178 | [メッセージ] | 外部空間にあるフラッシュ・メモリ領域外のアドレスが指定されました。 |
| E1203179 | [メッセージ] | 設定済みイベントへの疑似割り込み設定はできません。 |
| E1203180 | [メッセージ] | 選択されているトレース資源に対しては設定できません。 |
| E1203181 | [メッセージ] | 指定したイベントは別のコアのイベント番号のため処理できません。 |
| E1203182 | [メッセージ] | 指定したタイマは別のコアのタイマ番号のため処理できません。 |
| E1203183 | [メッセージ] | 指定したパフォーマンスは別の PE のパフォーマンス番号のため処理できません。 |
| E1203184 | [メッセージ] | DCU にアクセスできません。 |
| | [対処方法] | <p>接続中に、PC とエミュレータ、ターゲット・マイコン間の通信が切断された可能性があります。</p> <p>ターゲット・ボードへの電源供給を一旦停止し、ターゲット・ボード上の接続や設定が正常であるか確認してください。</p> <p>【RH850】</p> <p>(1) 内部リセットが発生している可能性 (WDT リセット等) はないか確認してください。</p> <p>RH850/F1L のフラッシュ・メモリには、さまざまな目的でユーザが指定したデータを保持する拡張領域 (オプション・バイト) があります。</p> <p>このオプション・バイトで、WDT の有効/無効やスタート・モードの設定を行うことができます。</p> <p>このため、E1/E20 エミュレータ接続時に WDT による内部リセットが発生すると、E1/E20 エミュレータの接続に失敗します。</p> <p>オプション・バイトを変更した後にツール接続ができなくなった場合、上記が原因の可能性が高いため、オプション・バイトを初期値に変更してください。</p> <p>オプション・バイトを変更していない場合は、念のため、プログラマ (Renesas Flash Programmer や PG-FP5) を使用してフラッシュ領域を初期化するか、リセット・ベクタ・アドレスで無限ループするプログラムに変更したのち、ツールの再接続を実施してください。</p> <p>(2) 既存のプログラムによるスタンバイ遷移や内部リセット等が発生していないか確認してください。</p> <p>プログラマ (Renesas Flash Programmer や PG-FP5) を使用してフラッシュ領域を初期化するか、リセット・ベクタ・アドレスで無限ループするプログラムに変更したのち、ツールの再接続を実施してください。</p> |
| E1203185 | [メッセージ] | リセットができません。 |
| E1203186 | [メッセージ] | モニタ・メモリにアクセスできません。 |
| | [対処方法] | Full-spec emulator 本体と POD が切断された可能性があります。Full-spec emulator 本体と POD の接続状態を確認してください。【Full-spec emulator】IE850A 本体とチップが切断された可能性があります。IE850A 本体とチップの接続状態を確認してください。【IE850A】 |
| E1203187 | [メッセージ] | モニタ実行できません。 |
| E1203188 | [メッセージ] | CPU レジスタにアクセスできません。 |
| E1203189 | [メッセージ] | デバッグ・モードへの移行に失敗しています。CPU リセットして下さい。 |
| E1203190 | [メッセージ] | DCU アクセス開始時の初期状態が異常です。 |
| E1203191 | [メッセージ] | DCU アクセス異常です。 |

| | | |
|----------|---------|---|
| E1203192 | [メッセージ] | トレース・データの読み込みに失敗しました。 |
| E1203193 | [メッセージ] | このデバイスではオンチップ・デバッグが禁止されています。 |
| E1203194 | [メッセージ] | クロック周波数が規定の範囲外なので、フラッシュ書き込みができません。 |
| | [対処方法] | 【RL78】 ユーザオプションバイト (000C2H) がデバイス仕様で禁止されている設定値になっている可能性があります。 ユーザオプションバイトの値をご確認いただき、仕様にあった値を設定してください。 |
| E1203195 | [メッセージ] | LPD 接続に失敗しました。 |
| | [対処方法] | デバッグ・ツールの [接続用設定] タブの [接続時に OPJTAG を LPD 接続に設定する] プロパティで [はい] を選択してください。 または、デバッグ・ツールの [接続用設定] タブの [LPD モード] プロパティの指定とデバイスのオプション・バイトの OPJTAG ビットの設定が一致しているか確認してください。 |
| E1203196 | [メッセージ] | 接続に失敗しました。セキュリティ設定を確認して下さい。 |
| | [対処方法] | デバッグ・ツールの [接続用設定] タブの [セキュリティ ID] プロパティの指定と実際のデバイスに設定されたセキュリティ ID が一致しているか確認してください。 |
| E1203216 | [メッセージ] | DCU アクセス異常です。 |
| E1203232 | [メッセージ] | エミュレータと通信できません。エミュレータの電源、ケーブルの接続、I/O アドレスの設定などを確認してください。 |
| E1203233 | [メッセージ] | モニタ・ファイルが見つかりませんでした。 |
| E1203234 | [メッセージ] | オンチップ・デバッグに対応していないデバイス・ファイルです。 |
| E1203235 | [メッセージ] | デバイス・ファイルのオンチップ・デバッグ情報に未サポートの情報が含まれています。 |
| E1203236 | [メッセージ] | IECUBE に対応していないデバイス・ファイルです。 |

| | | |
|----------|---------|--|
| E1203237 | [メッセージ] | 接続に失敗しました。エミュレータとターゲットの接続を確認して下さい。 |
| | [対処方法] | <p>【RH850】</p> <p>(1) E1/E20 とマイコン間の結線が推奨回路と異なっていないか確認してください。 「E1/E20 エミュレータ ,E2 エミュレータ ユーザーズマニュアル別冊 (RH850/xxx グループ接続時の注意事項)」に掲載されている推奨接続回路例を参照し、結線を確認してください。 xxxには、グループ名が入ります。 推奨回路の結線と異なる場合、正しく通信ができない場合があります。</p> <p>例 RESET 端子がプルアップされていない。 端子処理が間違っている。 プルアップ/プルダウン抵抗値が推奨値ではない。</p> <p>(2) E1/E20 エミュレータで使用していないデバッグ関連端子の処理に問題はないか確認してください。 E1/E20 エミュレータで使用していないデバッグ関連端子は未使用端子処理を行ってください。 未使用端子処理については、ご使用デバイスのユーザーズマニュアルを参照してください。</p> <p>(3) 下記のプロパティの接続用設定に間違いはないか確認してください。 - デバッグ・ツールの [接続用設定] タブの [メイン・クロック周波数 [MHz]] プロパティ - デバッグ・ツールの [接続用設定] タブの [LPD モード] プロパティ - デバッグ・ツールの [接続用設定] タブの [エミュレータから電源供給をする (最大 200mA)] プロパティ</p> <p>(4) デバッグ関連端子の信号品質に問題はないか確認してください。 デバッグ関連端子に安定した規定電圧が供給されているか、また、信号レベルに問題はないか確認してください。</p> <p>(5) 配線による AC スペック割れの可能性はないか確認してください。 デバッグ・ツールの [接続用設定] タブの [LPD クロック周波数 [kHz]] プロパティの接続用設定の LPD クロック周波数を下げてみてください。 プロパティの接続用設定における LPD クロック周波数の初期値は Default ですが、ご使用デバイスによって Default 周波数が異なります。 「E1/E20 エミュレータ ,E2 エミュレータ ユーザーズマニュアル別冊 (RH850/xxx グループ接続時の注意事項)」を参照してください。 xxxには、グループ名が入ります。</p> <p>(6) オプション・バイトの設定に問題はないか確認してください。 E1/E20 エミュレータを使用する場合は、オプション・バイトのデバッグ・インタフェースが“LPD”である必要があります。 デバッグ・ツールの [接続用設定] タブの [接続時に OPJTAG を LPD 接続に設定する] プロパティを [はい] に設定してみてください。</p> |
| E1203238 | [メッセージ] | オプション・バイトの操作に失敗しました。フラッシュのセキュリティ設定を確認して下さい。 |
| | [対処方法] | チップを交換してください。【E1/E20】 |
| E1203239 | [メッセージ] | オプション・バイトの操作に失敗しました。フラッシュのセキュリティ設定を確認して下さい。 |
| | [対処方法] | チップを交換してください。【E1/E20】 |

| | | |
|----------|---------|--|
| E1203240 | [メッセージ] | LPD 接続に失敗しました。LPD 接続の設定を確認して下さい。 |
| | [対処方法] | <p>実際にデバイスに入力されているメイン・クロック周波数とデバッグ・ツールの [接続用設定] タブの [メイン・クロック周波数 [MHz]] プロパティの設定が一致しているか確認してください。</p> <p>デバッグ・ツールの [接続用設定] タブの [接続時に OPJTAG を LPD 接続に設定する] プロパティで [はい] を選択してください。</p> <p>または、デバッグ・ツールの [接続用設定] タブの [LPD モード] プロパティの設定とデバイスのオプション・バイトの OPJTAG ビットの設定が一致しているか確認してください。</p> <p>PiggyBack board を使用している場合、[接続用設定] タブの [PiggyBack board を使用する] プロパティで [はい] を選択することで、接続できる場合があります。</p> |
| E1203241 | [メッセージ] | エミュレータ本体に搭載されているファームウェア (CTFW) のファームウェア種別が正しくありません。書き込みツールでアップデートしてください。 |
| E1203242 | [メッセージ] | エミュレータ本体に搭載されているファームウェア (CTFW) のバージョンが一致しません。書き込みツールでアップデートしてください。 |
| E1203243 | [メッセージ] | エミュレータ本体に搭載されている FPGA(IFPGA) の種別が正しくありません。書き込みツールでアップデートしてください。 |
| E1203244 | [メッセージ] | エミュレータ本体に搭載されている FPGA(IFPGA) のバージョンが一致しません。書き込みツールでアップデートしてください。 |
| E1203246 | [メッセージ] | ターゲット MCU と POD の組み合わせが正しくありません。書き込みツールでアップデートしてください。 |
| E1203247 | [メッセージ] | トレース・ブロックを越えた移動はできません。 |
| E1203251 | [メッセージ] | POD に搭載されている FPGA(TFPGA) のバージョンが一致しません。書き込みツールでアップデートしてください。 |
| E1203253 | [メッセージ] | ターゲットが接続されていません。 |
| E1203254 | [メッセージ] | LPD 接続に失敗しました。LPD 接続の設定を確認して下さい。 |
| E1203255 | [メッセージ] | ENV ファイルが見つかりません。 |
| | [説明] | RH850 エミュレータ製品の組み合わせを管理するための ENV ファイル (RH850Emulator.env) がオープンできない場合に表示されます。 |
| | [対処方法] | CS+ を再インストールしてください。 |
| E1203256 | [メッセージ] | ENV ファイルを正しく読めません。 |
| | [説明] | RH850 エミュレータ製品の組み合わせを管理するための ENV ファイル (RH850Emulator.env) 内の書式が正しくない場合に表示されます。 |
| | [対処方法] | CS+ を再インストールしてください。 |
| E1203257 | [メッセージ] | 接続されているエミュレータが制限台数 (4 台) を超えています。 |
| | [説明] | <p>合計 5 台以上の E1 / E20 エミュレータをホスト PC に USB 接続した状態でデバッグ接続した場合に表示されます。</p> <p>合計 5 台以上の Full-spec emulator をホスト PC に USB 接続した状態でデバッグ接続した場合に表示されます。</p> <p>合計 5 台以上の E2 エミュレータ / E2 エミュレータ Lite / IE850A をホスト PC に USB 接続した状態でデバッグ接続した場合に表示されます。</p> |
| | [対処方法] | <p>ホスト PC に接続している E1 / E20 エミュレータを 4 台以下にしてください。</p> <p>ホスト PC に接続している Full-spec emulator を 4 台以下にしてください。</p> <p>ホスト PC に接続している E2 エミュレータ / E2 エミュレータ Lite / IE850A を 4 台以下にしてください。</p> |
| E1203258 | [メッセージ] | START/STOP 時の指定ルーチン実行処理でタイムアウトエラーが発生しました。 |

| | | |
|----------|---------|---|
| E1203260 | [メッセージ] | 接続に失敗しました。オプション・バイトの設定値を確認してください。 |
| E1203261 | [メッセージ] | IE850A が冷却ファン停止を検出しました。ターゲット及び IE850A の電源を OFF してください。 |
| | [説明] | IE850A の冷却ファンが停止した場合に表示されます。 |
| | [対処方法] | 「IE850A エミュレータ ユーザーズマニュアル」を確認してください。 |
| E1203262 | [メッセージ] | エミュレータ内部でエラーが発生しました。 |
| E1203263 | [メッセージ] | IE850A が VOUT からの電源供給で過電流を検出しました。 |
| | [説明] | IE850A の故障またはターゲット電源の異常により、IE850A の VOUT から電源出力後に過電流が発生した場合に表示されます。 |
| | [対処方法] | 「IE850A エミュレータ ユーザーズマニュアル」を確認してください。 |
| E1203264 | [メッセージ] | 対応するエミュレーション・アダプタが見つかりません。 |
| E1203265 | [メッセージ] | トレース・メモリのキャリブレーションに失敗しました。外部トレースは使用できません。 |
| E1203266 | [メッセージ] | エミュレータとデバイス間の外部トレースの接続が不正です。 |
| E1203267 | [メッセージ] | デバイス側の要因により外部トレースの接続に失敗しました。外部トレースは使用できません。 |
| E1203268 | [メッセージ] | エミュレータ側の要因により外部トレースの接続に失敗しました。外部トレースは使用できません。 |
| E1203269 | [メッセージ] | エミュレータがトレース・メッセージの記録に失敗しました。 |
| E1203270 | [メッセージ] | 外部トレース接続時に USB の通信に異常が発生しました。外部トレースは使用できません。 |
| E1203271 | [メッセージ] | SWAS リカバークマン드의処理に失敗しました。 |
| E1203272 | [メッセージ] | LPD ウェイクアップコード読み出しに失敗しました。 |
| E1203273 | [メッセージ] | LPD プロテクト解除に失敗しました。 |
| E1203274 | [メッセージ] | LPD 接続に失敗時、リセット端子がアクティブになっていました。 |
| | [対処方法] | E1/E20 とマイコン間の結線が推奨回路と異なっていないか確認してください。 「E1/E20 エミュレータユーザーズマニュアル別冊 RH850/xxx 接続時の注意事項」に掲載されている推奨接続回路例を参照し、結線を確認してください。 xxx にはグループ名が入ります。 推奨回路の結線と異なる場合、正しく通信ができない場合があります。 例 RESET 端子がプルアップされていない。 |
| E1203275 | [メッセージ] | ライターモード接続時のクロック設定に失敗しました。 |
| | [対処方法] | 下記のプロパティの接続用設定に間違いはないか確認してください。 - デバッグ・ツールの [接続用設定] タブの [メイン・クロック周波数 [MHz]] プロパティ |
| E1203276 | [メッセージ] | ライターモード接続時のモードエントリーに失敗しました。 |
| | [対処方法] | E1/E20 とマイコン間の結線が推奨回路と異なっていないか確認してください。 「E1/E20 エミュレータユーザーズマニュアル別冊 RH850/xxx 接続時の注意事項」に掲載されている推奨接続回路例を参照し、結線を確認してください。 xxx にはグループ名が入ります。 推奨回路の結線と異なる場合、正しく通信ができない場合があります。 例 FLMD0 端子の接続が間違っている。 |

| | | |
|----------|---------|---|
| E1203277 | [メッセージ] | IE850A が VOUT から電源供給を開始できませんでした。 |
| | [説明] | IE850A の故障またはターゲットシステム上の VOUT 供給先において異常な電圧を検出したことにより、IE850A が VOUT からの電源供給を開始できない場合に表示されます。 |
| | [対処方法] | 「IE850A エミュレータ ユーザーズマニュアル」を確認してください。 |
| E1203278 | [メッセージ] | GTM デバッグ機能は実装されていません。 |
| E1203279 | [メッセージ] | GTM に実装されていないインスタンスが指定されました。 |
| E1203328 | [メッセージ] | GTM に実装されていないイベント検出器が指定されました。 |
| E1203329 | [メッセージ] | GTM に実装されていないサブモジュールが指定されました。 |
| E1203330 | [メッセージ] | GTM に実装されていないスロットが指定されました。 |
| E1203331 | [メッセージ] | JTAG 通信接続に失敗しました。 |
| E1203332 | [メッセージ] | リセット端子がアクティブになっているため、JTAG 接続に失敗しました。 |
| E1203333 | [メッセージ] | LPD 接続時に周波数を下げながら接続を行ないましたが失敗しました。 |
| E1203334 | [メッセージ] | JTAG 接続時に周波数を下げながら接続を行ないましたが失敗しました。 |
| E1203392 | [メッセージ] | GTM はテンポラリブレイクに失敗しました。 |
| E1203393 | [メッセージ] | GTM はステップに失敗しました。 |
| E1203394 | [メッセージ] | GTM にクロックが供給されていないため、GTM 領域にアクセスできません。 |
| E1203395 | [メッセージ] | ホットプラグイン接続後の該当するスタンバイモード中はデバッグ操作を行なえないためコマンド実行ができません。デバッグを継続する場合スタンバイモードが解除された状態で操作してください。 |
| E1203396 | [メッセージ] | イベントの設定が用途と一致していません。 |
| E1203397 | [メッセージ] | GTM のクロック供給の変更に失敗しました。 |
| E1203398 | [メッセージ] | ホットプラグイン接続後の初期停止コアがある状態でブレイクしたためコマンド実行できません。 |
| E1203399 | [メッセージ] | フラッシュ書き換えモード中 (P/E モード中) のため、ソフトウェア・ブレイクの設定変更できません。 |
| E1203400 | [メッセージ] | フラッシュ書き換えモード中 (P/E モード中) のため、実行開始アドレスのソフトウェア・ブレイクを削除できないため、実行を開始できません。 |
| E1203401 | [メッセージ] | 実行開始アドレスのソフトウェア・ブレイクを削除できないため、実行を開始できません。 |
| E1203404 | [メッセージ] | ダウンロードデータのサイズ上限を越えています。 |
| E1203405 | [メッセージ] | ダウンロードデータ格納領域のサイズが不足しています。 |
| E1203406 | [メッセージ] | 実行一時停止しての操作は禁止状態です。 |
| E1203407 | [メッセージ] | リードデータ格納領域のサイズが不足しています。 |
| E1203408 | [メッセージ] | DFP がプログラム実行状態です。 |
| E1203409 | [メッセージ] | DFP のプログラム実行要求が発行されずタイムアウトしました。 |
| E1203410 | [メッセージ] | DFP がプログラム停止していません。 |
| E1204096 | [メッセージ] | エミュレータの初期化に失敗しました。 |
| E1204097 | [メッセージ] | 指定番号のエントリが存在しません。 |
| E1204098 | [メッセージ] | 内蔵 RAM がリロケートできません。 |

| | | |
|----------|---------|--|
| E1204099 | [メッセージ] | リロケーション・アドレスが不正です。 |
| E1204100 | [メッセージ] | 指定条件が不正です。 |
| E1204101 | [メッセージ] | 属性が無効です。 |
| E1204102 | [メッセージ] | アドレスが不正です。 |
| E1204103 | [メッセージ] | エミュレータの代替メモリが不足しています。 |
| E1204104 | [メッセージ] | テーブル用のメモリが不足しています。 |
| E1204105 | [メッセージ] | すでに初期化済みです。 |
| E1204106 | [メッセージ] | まだ初期化されていません。 |
| E1204107 | [メッセージ] | ユーザ・プログラム実行中です。 |
| E1204108 | [メッセージ] | バス・サイズの異なる領域に重複設定しようとしてしました。 |
| E1204109 | [メッセージ] | バス・サイズの定義可能な最大値を超えています。 |
| E1204110 | [メッセージ] | バス・サイズの区切りが最大値を超えました。 |
| E1204112 | [メッセージ] | マップの範囲指定に誤りがあります。 |
| E1204113 | [メッセージ] | 内蔵 ROM, RAM の設定に失敗しました。 |
| E1204114 | [メッセージ] | この機能はサポートしていません。 |
| E1204115 | [メッセージ] | 端子名が存在しません。 |
| E1204117 | [メッセージ] | プログラマブル IOR がありません。 |
| E1204118 | [メッセージ] | プログラマブル IOR は移動できません。 |
| E1204119 | [メッセージ] | I/O Protect マッピングができるのはターゲット属性のみです。 |
| E1204120 | [メッセージ] | 内蔵 ROM サイズが不正です。 |
| E1204121 | [メッセージ] | 内蔵 ROM サイズまたは内蔵 RAM サイズが不正です。 |
| E1204122 | [メッセージ] | 指定したシミュレータ・コンフィギュレーション・ファイルが存在しません。 |
| E1204123 | [メッセージ] | シミュレータ・コンフィギュレーション・ファイルが指定されていません。 |
| E1204124 | [メッセージ] | シミュレータ・コンフィギュレーション・ファイルが不正です。 |
| E1204125 | [メッセージ] | データフラッシュ領域は移動できません。 |
| E1204126 | [メッセージ] | データフラッシュ領域がありません。 |
| E1204127 | [メッセージ] | ID タグ付きの指定はできません。 |
| E1204351 | [メッセージ] | 通信エラーです。エミュレータとの通信ができません。 |
| | [対処方法] | <ul style="list-style-type: none"> - USB 通信に異常が起きた (パワー、ケーブルの切断など)、または IECUBE の故障の可能性があります。【IECUBE】 [デバッグ] → [デバッグ・ツールから切断] を行い、IECUBE の電源を切断し、接続を確認してから IECUBE の電源を再投入し、[デバッグ] → [デバッグ・ツールへ接続] で再接続を行ってください。 - USB 接続に異常が起きた (ケーブルの切断など)、または MINICUBE, MINICUBE2 の故障の可能性があります。【MINICUBE】【MINICUBE2】 [デバッグ] → [デバッグ・ツールから切断] を行い、接続を確認してから電源を再投入し、[デバッグ] → [デバッグ・ツールへ接続] で再接続を行ってください。 |
| E1207614 | [メッセージ] | デバッグ内部でエラーが発生しました。 |
| E1208192 | [メッセージ] | SFR/IOR 名が不正です。 |

| | | |
|----------|---------|--|
| E1208193 | [メッセージ] | アドレスが不正です。 |
| E1208194 | [メッセージ] | ユーザ・プログラム実行中です。 |
| E1208195 | [メッセージ] | SFR/IOR 数に誤りがあります。 |
| E1208196 | [メッセージ] | ビット位置が不正です。 |
| E1208197 | [メッセージ] | Read Protect 属性の SFR/IOR が指定されました。 |
| E1208198 | [メッセージ] | 非公開の SFR/IOR が指定されました。 |
| E1208199 | [メッセージ] | 書き込み禁止または読み出し禁止の SFR/IOR が指定されました。 |
| E1208200 | [メッセージ] | 指定された SFR/IOR は存在しません。 |
| E1208201 | [メッセージ] | デバイス・ファイルが破損しているか、ファイルに誤りがあります。 |
| E1208202 | [メッセージ] | SFR/IOR に対する設定値に誤りがあります。 |
| E1208203 | [メッセージ] | コピーに失敗しました。 |
| E1208204 | [メッセージ] | メモリが足りません。 |
| E1208206 | [メッセージ] | SFR/IOR 領域にアクセスしようとしてしました。 |
| E1208207 | [メッセージ] | 指定した名前が 15 文字を超えています。 |
| E1208208 | [メッセージ] | SFR/IOR レジスタ名には、英数字、または、アンダーバー以外の文字は指定できません。 |
| E1208447 | [メッセージ] | 通信エラーです。エミュレータとの通信ができません。 |
| | [対処方法] | <ul style="list-style-type: none"> - USB 通信に異常が起きた (パワー、ケーブルの切断など)、または IECUBE の故障の可能性があります。【IECUBE】 [デバッグ] → [デバッグ・ツールから切断] を行い、IECUBE の電源を切断し、接続を確認してから IECUBE の電源を再投入し、[デバッグ] → [デバッグ・ツールへ接続] で再接続を行ってください。 - USB 接続に異常が起きた (ケーブルの切断など)、または MINICUBE, MINICUBE2 の故障の可能性があります。【MINICUBE】【MINICUBE2】 [デバッグ] → [デバッグ・ツールから切断] を行い、接続を確認してから電源を再投入し、[デバッグ] → [デバッグ・ツールへ接続] で再接続を行ってください。 |
| E1208738 | [メッセージ] | 指定条件が不正です。 |
| E1208960 | [メッセージ] | ECM 保護コマンドレジスタが見つかりません。 |
| E1208961 | [メッセージ] | ECM 疑似エラートリガレジスタが見つかりません。 |
| E1208962 | [メッセージ] | ECM エラーソースステータスレジスタが見つかりません。 |
| E1212288 | [メッセージ] | マッピングされていないアドレスにアクセスしようとしてしました。 |
| E1212289 | [メッセージ] | メモリ内容が一致しませんでした。 |
| E1212290 | [メッセージ] | 開始アドレスが不正です。 |
| E1212291 | [メッセージ] | 終了アドレスが不正です。 |
| E1212292 | [メッセージ] | 開始、終了アドレスともに不正です。 |
| E1212293 | [メッセージ] | 指定条件が不正です。 |
| E1212294 | [メッセージ] | ユーザ・プログラム実行中です。 |
| E1212295 | [メッセージ] | ペリファイ・エラーです。 |
| E1212296 | [メッセージ] | 指定条件がありません。 |

| | | |
|----------|---------|---|
| E1212297 | [メッセージ] | パラメータ・サイズがアクセス・サイズ・アライメントになっていません。 |
| E1212298 | [メッセージ] | 指定アドレスがアクセス・サイズ・アライメントになっていません。 |
| E1212299 | [メッセージ] | 指定アドレス (Source) がアクセス・サイズ・アライメントになっていません。 |
| E1212300 | [メッセージ] | 指定アドレス (Destination) がアクセス・サイズ・アライメントになっていません。 |
| E1212301 | [メッセージ] | 終了アドレスが不正です。 |
| E1212302 | [メッセージ] | 指定範囲内でアクセス・サイズが異なります。 |
| E1212303 | [メッセージ] | 指定範囲内 (Source) でアクセス・サイズが異なります。 |
| E1212304 | [メッセージ] | 指定範囲内 (Destination) でアクセス・サイズが異なります。 |
| E1212305 | [メッセージ] | 指定範囲 (Source) と指定範囲 (Destination) でアクセスサイズが異なります。 |
| E1212306 | [メッセージ] | メモリが足りません。 |
| E1212307 | [メッセージ] | DMM の書き込みに失敗しました。 |
| E1212308 | [メッセージ] | マッピング領域を超えました。 |
| E1212309 | [メッセージ] | 処理が中断されました。 |
| E1212310 | [メッセージ] | この機能はサポートしていません。 |
| E1212543 | [メッセージ] | 通信エラーです。エミュレータとの通信ができません。 |
| | [対処方法] | <ul style="list-style-type: none"> - USB 通信に異常が起きた (パワー、ケーブルの切断など)、または IECUBE の故障の可能性があります。【IECUBE】 [デバッグ] → [デバッグ・ツールから切断] を行い、IECUBE の電源を切断し、接続を確認してから IECUBE の電源を再投入し、[デバッグ] → [デバッグ・ツールへ接続] で再接続を行ってください。 - USB 接続に異常が起きた (ケーブルの切断など)、または MINICUBE、MINICUBE2 の故障の可能性があります。【MINICUBE】【MINICUBE2】 [デバッグ] → [デバッグ・ツールから切断] を行い、接続を確認してから電源を再投入し、[デバッグ] → [デバッグ・ツールへ接続] で再接続を行ってください。 |
| E1216384 | [メッセージ] | 指定されたイベントは削除できません。 |
| E1216385 | [メッセージ] | 指定したテーブル番号が不正です。 |
| E1216386 | [メッセージ] | 開始アドレスが不正です。 |
| E1216387 | [メッセージ] | 終了アドレスが不正です。 |
| E1216388 | [メッセージ] | ステータスが不正です。 |
| E1216389 | [メッセージ] | データが不正です。 |
| E1216390 | [メッセージ] | すでに使用済みのイベント番号を指定しようとしてしました。 |
| E1216391 | [メッセージ] | 同じ種類のイベント最大登録個数を超えています。 |
| E1216392 | [メッセージ] | 指定したイベントは登録されていません。 |
| E1216393 | [メッセージ] | データ・サイズが不正です。 |
| E1216394 | [メッセージ] | モードが不正です。 |
| E1216395 | [メッセージ] | 設定値が不正です。 |
| E1216396 | [メッセージ] | セクション・トレース条件に統合イベント条件は使用できません。 |
| E1216397 | [メッセージ] | 同一イベントを 32,767 個以上登録しようとしてしました。 |
| E1216398 | [メッセージ] | イベント条件の指定がありません。 |

| | | |
|----------|---------|---|
| E1216399 | [メッセージ] | 統合イベント条件が不正です。 |
| E1216400 | [メッセージ] | 指定した関数が見つかりません。 |
| E1216401 | [メッセージ] | メモリが足りません。 |
| E1216402 | [メッセージ] | タイマが無効になっています。 |
| E1216403 | [メッセージ] | アクセス・サイズとマッピングしているバス・サイズが異なります。 |
| E1216404 | [メッセージ] | ソフトウェア・ブレークが使用できません。 |
| E1216405 | [メッセージ] | アドレス範囲指定しているイベント条件は使用できません。 |
| E1216406 | [メッセージ] | イベント条件の変更ができません。 |
| E1216407 | [メッセージ] | 奇数番地のワード・アクセスはできません。 |
| E1216408 | [メッセージ] | メモリが足りません。 |
| E1216409 | [メッセージ] | この機能はサポートしていません。 |
| E1216410 | [メッセージ] | イベントがありません。 |
| E1216411 | [メッセージ] | タグイベントは使用できません。 |
| E1216413 | [メッセージ] | タイマの開始イベントと終了イベントを同じ設定には出来ません。 |
| E1216414 | [メッセージ] | トレース条件の最大個数を超えました。 |
| E1216415 | [メッセージ] | パス・カウントは設定できません。 |
| E1216416 | [メッセージ] | 実行前イベントではアドレス範囲を設定できません。 |
| E1216417 | [メッセージ] | イベント条件の最大個数を超えました。 |
| E1216418 | [メッセージ] | ソフトウェア・DMM 条件の最大個数を超えました。 |
| E1216419 | [メッセージ] | リアルタイム・コール条件の最大個数を超えました。 |
| E1216420 | [メッセージ] | ソフトウェア・ブレーク条件の最大個数を超えました。 |
| E1216421 | [メッセージ] | スナップの条件が不完全です。 |
| E1216422 | [メッセージ] | 統合イベント条件の Phase1 と Phase2 にはイベント条件を複数設定できません。 |
| E1216423 | [メッセージ] | 内蔵 ROM 領域に設定できるソフトウェア・ブレーク条件の最大個数を超えました。 |
| E1216424 | [メッセージ] | 内蔵命令 RAM 領域が無効になっている為、その領域にソフトウェア・ブレークは設定できません。 |
| E1217176 | [メッセージ] | メモリバンクの設定が不正です。 |
| E1220480 | [メッセージ] | デバイス・ファイルが不正です。 |
| E1220481 | [メッセージ] | メモリが足りません。 |
| E1220482 | [メッセージ] | デバイス・ファイルのオープンに失敗しました。 |
| E1220483 | [メッセージ] | デバイス・ファイルの読み込みに失敗しました。 |
| E1220484 | [メッセージ] | デバイス・ファイルのクローズに失敗しました。 |
| E1220485 | [メッセージ] | デバイス・ファイルの形式が違います。 |
| E1220486 | [メッセージ] | エミュレータの初期化に失敗しました。 |
| E1220487 | [メッセージ] | デバイス・ファイルが壊れているか、ファイルに誤りがあります。 |
| E1220488 | [メッセージ] | 指定したデバイス・ファイルをオープンできません。 |

| | | |
|----------|---------|---|
| E1220490 | [メッセージ] | デバイス・ファイルのバージョンが不正です。 |
| E1220491 | [メッセージ] | このデバイス・ファイルは内蔵 RAM をリロケートしません。 |
| E1220492 | [メッセージ] | イニシャライズ・ファイル (EXPC.INI) を正しく読みません。 |
| E1220493 | [メッセージ] | メモリが足りません。 |
| E1221248 | [メッセージ] | デバイス・ファイルが不正です。 |
| E1221249 | [メッセージ] | メモリが足りません。 |
| E1221250 | [メッセージ] | データベース・ファイルのオープンに失敗しました。 |
| E1221251 | [メッセージ] | データベース・ファイルの読み込みに失敗しました。 |
| E1221252 | [メッセージ] | データベース・ファイルのクローズに失敗しました。 |
| E1221253 | [メッセージ] | データベース・ファイルの形式が違います。 |
| E1221254 | [メッセージ] | データベース情報は初期化済です。 |
| E1221255 | [メッセージ] | データベース情報がありません。 |
| E1221256 | [メッセージ] | 指定したデータベース・ファイルをオープンできません。 |
| E1221257 | [メッセージ] | データベース・ファイルのバージョンが不正です。 |
| E1224576 | [メッセージ] | カレント関数が存在しません。 |
| E1224577 | [メッセージ] | シンボル名が不正です。 |
| E1224578 | [メッセージ] | 指定条件が不正です。 |
| E1224579 | [メッセージ] | 関数名が不正です。 |
| E1224580 | [メッセージ] | 出力バッファのサイズを超えています。 |
| E1224581 | [メッセージ] | 式が不正です。 |
| E1228672 | [メッセージ] | モード指定に誤りがあります。 |
| E1228673 | [メッセージ] | ユーザ・プログラム実行中です。 |
| E1228674 | [メッセージ] | ユーザ・プログラム停止中です。 |
| E1228675 | [メッセージ] | トレース実行中です。 |
| E1228676 | [メッセージ] | トレース・メモリが OFF になっています。 |
| E1228677 | [メッセージ] | 関数リターン・アドレスがありません。ステップ実行が行えません。 |
| E1228690 | [メッセージ] | メモリが足りません。 |
| E1228926 | [メッセージ] | バス・ホールド中です。 |
| E1228927 | [メッセージ] | 通信エラーです。エミュレータとの通信ができません。 |
| | [対処方法] | <ul style="list-style-type: none"> - USB 通信に異常が起きた (パワー、ケーブルの切断など)、または IECUBE の故障の可能性があります。【IECUBE】 [デバッグ] → [デバッグ・ツールから切断] を行い、IECUBE の電源を切断し、接続を確認してから IECUBE の電源を再投入し、[デバッグ] → [デバッグ・ツールへ接続] で再接続を行ってください。 - USB 接続に異常が起きた (ケーブルの切断など)、または MINICUBE、MINICUBE2 の故障の可能性があります。【MINICUBE】【MINICUBE2】 [デバッグ] → [デバッグ・ツールから切断] を行い、接続を確認してから電源を再投入し、[デバッグ] → [デバッグ・ツールへ接続] で再接続を行ってください。 |
| E1230721 | [メッセージ] | ステップ実行の終了待ち状態をキャンセルしました。 |

| | | |
|----------|---------|-------------------------------------|
| E1230722 | [メッセージ] | ステップ実行が中断しました。 |
| E1232512 | [メッセージ] | ステップ実行を強制終了しました。 |
| E1232514 | [メッセージ] | ステップ実行を中断しました。 |
| E1232515 | [メッセージ] | 実行 / ステップ実行のキャンセルに失敗しました。 |
| E1232516 | [メッセージ] | マッピングされていない領域を実行しようとしてしました。 |
| E1232517 | [メッセージ] | この機能はサポートしていません。 |
| E1232768 | [メッセージ] | 指定したファイルは見つかりませんでした。 |
| E1232769 | [メッセージ] | 行番号が不正です。 |
| E1232770 | [メッセージ] | カレント情報がセットされていません。 |
| E1232771 | [メッセージ] | アドレスが不正です。 |
| E1232772 | [メッセージ] | この機能はサポートしていません。 |
| E1236864 | [メッセージ] | 指定したレジスタ・シンボルは存在しません。 |
| E1236865 | [メッセージ] | 指定したレジスタ・シンボル ID は存在しません。 |
| E1236866 | [メッセージ] | 設定値が不正です。 |
| E1236867 | [メッセージ] | 指定条件不正です。 |
| E1236868 | [メッセージ] | レジスタのサイズが大きすぎます。 |
| E1236869 | [メッセージ] | この機能はサポートしていません。 |
| E1236870 | [メッセージ] | PSW はビット単位では変更できません。バイト単位で変更してください。 |
| E1240961 | [メッセージ] | 式が不正です。 |
| E1240962 | [メッセージ] | 開始 / 終了アドレスの指定が逆です。 |
| E1240963 | [メッセージ] | 指定したソース・パス情報が不正です。 |
| E1240964 | [メッセージ] | 式が長すぎます。 |
| E1240965 | [メッセージ] | メモリが足りません。 |
| E1240966 | [メッセージ] | 引数が不正です。 |
| E1240967 | [メッセージ] | プログラム番号が不正です。 |
| E1240968 | [メッセージ] | ソース・パスがセットされていません。 |
| E1240969 | [メッセージ] | ファイルは見つかりませんでした。 |
| E1240970 | [メッセージ] | ファイルのオープンに失敗しました。 |
| E1240971 | [メッセージ] | ファイルのクローズに失敗しました。 |
| E1240972 | [メッセージ] | ファイルの読み込みに失敗しました。 |
| E1240973 | [メッセージ] | ロード・モジュールのソース・ファイルではありません。 |
| E1240974 | [メッセージ] | 行番号が不正です。 |
| E1240975 | [メッセージ] | 変数が存在しません。 |

| | | |
|----------|---------|---|
| E1240976 | [メッセージ] | 通信エラーです。エミュレータとの通信できません。 |
| | [対処方法] | <ul style="list-style-type: none"> - USB 通信に異常が起きた (パワー、ケーブルの切断など)、または IECUBE の故障の可能性があります。【IECUBE】 [デバッグ] → [デバッグ・ツールから切断] を行い、IECUBE の電源を切断し、接続を確認してから IECUBE の電源を再投入し、[デバッグ] → [デバッグ・ツールへ接続] で再接続を行ってください。 - USB 接続に異常が起きた (ケーブルの切断など)、または MINICUBE、MINICUBE2 の故障の可能性があります。【MINICUBE】【MINICUBE2】 [デバッグ] → [デバッグ・ツールから切断] を行い、接続を確認してから電源を再投入し、[デバッグ] → [デバッグ・ツールへ接続] で再接続を行ってください。 |
| E1240977 | [メッセージ] | レジスタにアクセスできません。 |
| E1240978 | [メッセージ] | メモリ (変数) にアクセスできません。 |
| E1240979 | [メッセージ] | ファイルの読み込みに失敗しました。 |
| E1240980 | [メッセージ] | バイナリ・ファイルを開こうとしました。 |
| E1240981 | [メッセージ] | テンポラリ・パスの取得に失敗しました。 |
| E1240982 | [メッセージ] | テンポラリ・ファイルの作成に失敗しました。 |
| E1240983 | [メッセージ] | テンポラリ・ファイルの削除に失敗しました。 |
| E1240992 | [メッセージ] | この機能はサポートしていません。 |
| E1240993 | [メッセージ] | レジスタに割り当てられたシンボルは指定できません。 |
| E1240994 | [メッセージ] | フォルダに使用できない文字が含まれているか、またはフォルダが存在しません。 |
| E1245056 | [メッセージ] | コマンド行が不正です。 |
| E1245057 | [メッセージ] | ロード・モジュール・ファイルにプログラム情報がありません。 |
| E1245058 | [メッセージ] | ファイルは見つかりませんでした。 |
| E1245059 | [メッセージ] | 関数が見つかりません。 |
| E1245060 | [メッセージ] | 選択した品種 (チップ) と異なるロード・モジュールをロードしました。 |
| E1245061 | [メッセージ] | シンボルが見つかりません。 |
| E1245064 | [メッセージ] | 式が不正です。 |
| E1245065 | [メッセージ] | メモリが足りません。 |
| E1245066 | [メッセージ] | ロード・モジュール・ファイル内に不正なシンボルがあります。 |
| E1245067 | [メッセージ] | カレント・プログラムが存在しません。 |
| E1245068 | [メッセージ] | カレント・ファイルが存在しません。 |
| E1245069 | [メッセージ] | カレント関数が存在しません。 |
| E1245070 | [メッセージ] | カレント行が存在しません。 |
| E1245071 | [メッセージ] | タグが見つかりません。 |
| E1245072 | [メッセージ] | シンボル情報のロードに失敗しました。 |
| E1245073 | [メッセージ] | 行番号が不正です。 |
| E1245074 | [メッセージ] | 行番号が大きすぎます。 |
| E1245077 | [メッセージ] | ファイルの読み込みに失敗しました。 |
| E1245078 | [メッセージ] | ファイルのオープンに失敗しました。 |

| | | |
|----------|---------|---|
| E1245079 | [メッセージ] | ファイルの書き込みに失敗しました。 |
| E1245081 | [メッセージ] | ファイルの読み込みに失敗しました。 |
| E1245082 | [メッセージ] | ファイルのクローズに失敗しました。 |
| E1245083 | [メッセージ] | ロード・モジュールのファイル名が長すぎます。 |
| E1245084 | [メッセージ] | タスク種別のエントリ数が多すぎます。 |
| E1245085 | [メッセージ] | アドレスが存在しません。 |
| E1245087 | [メッセージ] | 構造体のメンバが見つかりません。 |
| E1245088 | [メッセージ] | 値が見つかりません。 |
| E1245089 | [メッセージ] | ロード・モジュール・ファイルにデバッグ情報とシンボル情報がありません。 |
| E1245090 | [メッセージ] | 行番号が不正です。 |
| E1245091 | [メッセージ] | カレント・スタック・フレームがアクティブではありません。 |
| E1245092 | [メッセージ] | セクションが違います。 |
| E1245094 | [メッセージ] | 表示する配列が4次元を超えています。 |
| E1245095 | [メッセージ] | ファイルが途中までしかありません。 |
| E1245096 | [メッセージ] | この機能はサポートしていません。 |
| E1245097 | [メッセージ] | アドレスが不正です。 |
| E1245098 | [メッセージ] | 通信エラーです。エミュレータとの通信ができません。 |
| | [対処方法] | <ul style="list-style-type: none"> - USB 通信に異常が起きた (パワー、ケーブルの切断など)、または IECUBE の故障の可能性があります。【IECUBE】 [デバッグ] → [デバッグ・ツールから切断] を行い、IECUBE の電源を切断し、接続を確認してから IECUBE の電源を再投入し、[デバッグ] → [デバッグ・ツールへ接続] で再接続を行ってください。 - USB 接続に異常が起きた (ケーブルの切断など)、または MINICUBE、MINICUBE2 の故障の可能性があります。【MINICUBE】【MINICUBE2】 [デバッグ] → [デバッグ・ツールから切断] を行い、接続を確認してから電源を再投入し、[デバッグ] → [デバッグ・ツールへ接続] で再接続を行ってください。 |
| E1245099 | [メッセージ] | 現在の PC 値では、スタック・トレースはできません。 |
| E1245100 | [メッセージ] | 1 関数内の最大ブロック数を超えています。 |
| E1245101 | [メッセージ] | 関数に渡した引数が不正です。 |
| E1245102 | [メッセージ] | 指定したファイルがソース・パスから見つかりませんでした。 |
| E1245103 | [メッセージ] | 最適化により情報が削除されました。 |
| E1245104 | [メッセージ] | モニタがタイム・アウトしました。 |
| E1245105 | [メッセージ] | すでにメモリ上に設定されています。 |
| E1245106 | [メッセージ] | スコープの範囲外です。 |
| E1245107 | [メッセージ] | LP をストアしていません。 |

| | | |
|----------|---------|--|
| E1245108 | [メッセージ] | 現在の PC 位置からのリターン実行はできません。 |
| | [対処方法] | PC がソース行の先頭アドレス以外を指している場合は、リターン実行できません (エラー表示します)。また、リターン実行の直後はソース行の先頭アドレスとならないため、続けてリターン実行はできません。一度ソース・レベルでステップ実行して PC が次の行の先頭アドレスを指すようにしてからリターン実行してください。 |
| E1245109 | [メッセージ] | 現在の PC 位置からのリターン・アウトはできません。ソース・モードでステップ実行してからリターン・アウトを実行して下さい。 |
| E1245111 | [メッセージ] | 行情報が多すぎます。 |
| E1245112 | [メッセージ] | 未対応のコンパイラバージョンのため、デバッグ情報のロードが出来ません。 |
| E1245113 | [メッセージ] | デバッグ情報のロードに失敗しました。 |
| E1245114 | [メッセージ] | セクション情報がありません。 |
| E1245120 | [メッセージ] | ロード・モジュール形式ではありません。 |
| E1245121 | [メッセージ] | ロード・モジュールに含まれるファイル数がデバッガで扱える上限値を超えました。 |
| E1245870 | [メッセージ] | 不正なポート番号です。 |
| E1245871 | [メッセージ] | 不正なポート名です。 |
| E1245872 | [メッセージ] | 指定されたポートのビット位置が不正です。 |
| E1245873 | [メッセージ] | 指定されたインクリメント数が不正です。 |
| E1245874 | [メッセージ] | メモリバンク用ポートが未設定です。 |
| E1245875 | [メッセージ] | 不正なバンク番号が指定されました。 |
| E1245876 | [メッセージ] | メモリバンク用エリアが未設定です。 |
| E1249153 | [メッセージ] | ファイルのオープンに失敗しました。 |
| | [対処方法] | ダウンロードするロード・モジュールはアクティブ・プロジェクトのロード・モジュールです。 デバッグしたいプロジェクトがアクティブになっているか確認してください。 また、未ビルドのアクティブ・プロジェクトのロード・モジュールをダウンロードしようとしていないか確認してください。 |
| E1249154 | [メッセージ] | ファイルのクローズに失敗しました。 |
| E1249155 | [メッセージ] | ファイルの読み込みに失敗しました。 |
| E1249156 | [メッセージ] | ファイルの読み込みに失敗しました。 |
| E1249157 | [メッセージ] | 不正な形式のファイルを指定しました。 |
| E1249158 | [メッセージ] | 選択した品種 (チップ) と異なるロード・モジュールをロードしました。 |
| E1249159 | [メッセージ] | ロード・モジュールの形式ではありません。 |
| E1249160 | [メッセージ] | 古いバージョンのロード・モジュール・ファイル (ELF) です。 |
| E1249161 | [メッセージ] | メモリが足りません。 |
| E1249162 | [メッセージ] | マッピングされていないアドレスにアクセスしようとしてしました。 |
| E1249163 | [メッセージ] | ロード・モジュールがロードされていません。 |
| E1249164 | [メッセージ] | 引数が不正です。 |
| E1249165 | [メッセージ] | ユーザ・プログラムを実行中です。 |

| | | |
|----------|---------|--|
| E1249166 | [メッセージ] | ユーザ・プログラムのトレース中です。 |
| E1249167 | [メッセージ] | 処理中です。 |
| E1249168 | [メッセージ] | 通信エラーです。エミュレータとの通信ができません。 |
| | [対処方法] | <ul style="list-style-type: none"> - USB 通信に異常が起きた (パワー、ケーブルの切断など)、または IECUBE の故障の可能性があります。【IECUBE】 [デバッグ] → [デバッグ・ツールから切断] を行い、IECUBE の電源を切断し、接続を確認してから IECUBE の電源を再投入し、[デバッグ] → [デバッグ・ツールへ接続] で再接続を行ってください。 - USB 接続に異常が起きた (ケーブルの切断など)、または MINICUBE、MINICUBE2 の故障の可能性があります。【MINICUBE】【MINICUBE2】 [デバッグ] → [デバッグ・ツールから切断] を行い、接続を確認してから電源を再投入し、[デバッグ] → [デバッグ・ツールへ接続] で再接続を行ってください。 |
| E1249169 | [メッセージ] | ロード・モジュール・ファイルの形式が違います。 |
| | [対処方法] | <p>CS+ のデバッグ・ツールの [ダウンロード・ファイル設定] タブの [ダウンロード] カテゴリ内 [ダウンロードするファイル] プロパティの [ファイル] サブプロパティで指定されたファイルがロード・モジュール・ファイルであるか確認してください。</p> <p>[ダウンロードするファイル] プロパティに、ロード・モジュール・ファイルが設定されている場合で、コンパイラとして、CC-RH V1.04.00、または CC-RL V1.03.00 を使用している場合には、次の方法で、0 番地に配置されたサイズが 0 であるセクションが存在するかどうかを確認し、存在する場合、そのセクションを削除してください。</p> <ol style="list-style-type: none"> (1) リンク・マップ情報で、0 番地に配置されているセクションを確認する。 (2) CS+ のビルド・ツールの [アセンブル・オプション] タブの [アセンブル・リスト] カテゴリの [アセンブル・リスト・ファイルを出力する] プロパティを [はい] にして、アセンブラ・ソース・ファイルから出力されるアセンブル・リスト・ファイル (*.prn) の中に、上記 (1) のセクションでサイズが 0 であるものを探す。 (3) アセンブラ・ソース・ファイルから上記 (2) のサイズが 0 であるセクションの定義を削除する。 <p>なお、上記 (1) のリンク・マップ情報では、複数のファイルのセクションが結合されて表示されるので、セクションのサイズが 0 ではない可能性があります。</p> |
| E1249170 | [メッセージ] | チェック・サム・エラーが発生しました。 |
| E1249171 | [メッセージ] | アップロードするアドレス範囲が 1M バイトを超えています。 |
| E1249172 | [メッセージ] | ファイルの書き込みに失敗しました。 |
| E1249173 | [メッセージ] | プログラム番号が不正です。 |
| E1249174 | [メッセージ] | ロード情報がいっぱいです。 |
| E1249176 | [メッセージ] | ロード・モジュール形式ではありません。 |
| E1249177 | [メッセージ] | メモリへの書き込みに失敗しました。 |
| E1249179 | [メッセージ] | プログラマブル IOR のアドレスがありません。 |
| E1249182 | [メッセージ] | フラッシュの消去はサポートしていません。 |
| E1249183 | [メッセージ] | この機能はサポートしていません。 |
| E1249185 | [メッセージ] | オブジェクト・ファイルに、内蔵 ROM、または内蔵 RAM 以外のコードが含まれているため、高速ダウンロードは出来ません。 |
| E1249186 | [メッセージ] | 開始アドレス、及び、領域は、4 バイト単位で指定してください。 |

| | | |
|----------|---------|---|
| E1249187 | [メッセージ] | ヘキサ・ファイル形式ではありません。 |
| E1249188 | [メッセージ] | ファイルが見つかりません。 |
| E1253248 | [メッセージ] | デバッガ内部でエラーが発生しました。 |
| E1253249 | [メッセージ] | メモリが足りません。 |
| E1253250 | [メッセージ] | イニシャライズ・ファイル (EXPC.INI) を正しく読めません。 |
| E1253251 | [メッセージ] | エミュレータにまだ接続されていません。 |
| E1253252 | [メッセージ] | ダイナミック・リンク・ライブラリが見つかりません。 |
| E1253254 | [メッセージ] | エミュレータ (...) に接続できません。 |
| | [対処方法] | エミュレータがホスト PC に接続されているか確認してください。 ホスト PC でほかにエミュレータを使用しているソフトウェアがないか確認してください。 |
| E1257344 | [メッセージ] | 引数が不正です。 |
| E1257345 | [メッセージ] | 開始アドレスが不正です。 |
| E1257346 | [メッセージ] | 終了アドレスが不正です。 |
| E1257347 | [メッセージ] | サイズが大きすぎます。 |
| E1257348 | [メッセージ] | ファイルのオープンに失敗しました。 |
| E1257349 | [メッセージ] | ファイルの読み込みに失敗しました。 |
| E1257350 | [メッセージ] | ファイルの読み込みに失敗しました。 |
| E1257351 | [メッセージ] | ファイルの書き込みに失敗しました。 |
| E1257352 | [メッセージ] | メモリが足りません。 |
| E1257353 | [メッセージ] | ファイルの形式が違います。 |
| E1257354 | [メッセージ] | ペリファイ・エラーです。 |
| E1257360 | [メッセージ] | この機能はサポートしていません。 |
| E1257361 | [メッセージ] | マッピング領域外にロードしようとしてしました。 |
| E1257856 | [メッセージ] | 外部トリガ入力の ch0 と ch1 で同じ入力時の動作は選択できません。 |
| E1257857 | [メッセージ] | ソフトウェア・トレースの LPD 出力と内蔵トレース停止は同時に使用できません。 |
| E1257858 | [メッセージ] | DBTAG 検出を測定区間終了条件に設定できません。DBTAG をソフトウェア・トレースを LPD 出力する設定になっているかどうか確認してください。 |
| E1257859 | [メッセージ] | タイマが設定されていません。 |
| E1257860 | [メッセージ] | 測定条件が設定できませんでした。 |
| E1257861 | [メッセージ] | 測定条件が設定できませんでした。トリガ条件設定のしきい値設定を確認してください。 |
| E1265535 | [メッセージ] | インタラプトされました。 |
| E1310000 | [メッセージ] | メモリを確保できません。 |
| | [説明] | 処理に必要なメモリを確保できません。 |
| | [対処方法] | 他のアプリケーションを終了するか、Windows の仮想メモリを増やしてメモリを確保してください。 |

| | | |
|----------|---------|--|
| E1310001 | [メッセージ] | ファイルをオープンできません。 |
| | [説明] | 指定したファイルをオープンすることができません。 |
| | [対処方法] | ファイルの存在およびファイルの属性を確認してください。 |
| E1310002 | [メッセージ] | ファイルのフォーマットが不正です。 |
| | [説明] | 指定したファイルのフォーマットが正しくありません。 |
| | [対処方法] | 指定ファイル属性（ファイルを開くダイアログ）が正しいか、またはファイルの内容を確認してください。 |
| E1310003 | [メッセージ] | ファイルに書き込みできません。 |
| | [説明] | 指定したファイルに書き込むことができません。 |
| | [対処方法] | ファイルの存在およびファイルの属性およびディスク容量を確認してください。 |
| E1310180 | [メッセージ] | ユーザ・モデル・ファイルが指定されていません。 |
| | [説明] | コンフィギュレーション・ファイルのユーザ・モデル組み込みにおいて、ユーザ・モデル・ファイルが指定されてません。 |
| | [対処方法] | ユーザ・モデル・ファイルを指定してください。 |
| E1310181 | [メッセージ] | ユーザ・モデル・ファイルをオープンできません。 |
| | [説明] | 指定したユーザ・モデル・ファイルをオープンすることができないか、MakeUserModel 関数が存在しません。 |
| | [対処方法] | ファイルの存在およびファイルの属性と MakeUserModel 関数の存在を確認してください。 |
| E1310200 | [メッセージ] | 端子名が正しくありません。 |
| | [説明] | 指定した端子名は正しくありません（対象デバイスに存在しません）。 |
| | [対処方法] | 対象デバイスに存在する端子名を指定してください。 |
| E1310440 | [メッセージ] | プログラム実行中です。 |
| | [説明] | タイミング・チャートにおいて、プログラム実行のため、処理を行うことができません。 |
| | [対処方法] | プログラムの実行を停止して、操作をおこなってください。 |
| E1310500 | [メッセージ] | ループの対応が正しくありません。 |
| | [説明] | 信号データ・エディタにおいて、ループ開始とループ終了の対応が正しくありません。 |
| | [対処方法] | ループ開始とループ終了の対応が正しくなるように修正してください。 |
| E1310501 | [メッセージ] | データ番号が最大値を越えました。 |
| | [説明] | 信号データ・エディタにおいて、データ番号（行番号）が最大値（1,048,576）を越えました。 |
| | [対処方法] | 最大値を越えないように編集し直してください。 |
| E1310502 | [メッセージ] | 端子名が正しくありません。 |
| | [説明] | 信号データ・エディタにおいて、指定した端子名は正しくありません（対象デバイスに存在しません）。 |
| | [対処方法] | 対象デバイスに存在する端子名を指定してください。 |

| | | |
|----------|---------|---|
| E1310503 | [メッセージ] | ループ・カウントが正しくありません。 |
| | [説明] | ループ設定 ダイアログにおいて、ループ・カウントが不正な数値、または有効範囲（0～99）外の値です。 |
| | [対処方法] | 正しい値を指定してください。 |
| E1310700 | [メッセージ] | 端子名が正しくありません。 |
| | [説明] | 入出力パネルの端子指定において、指定した端子名は正しくありません（対象デバイスに存在しません）。 |
| | [対処方法] | 対象デバイスに存在する端子名を指定してください。 |
| E1310702 | [メッセージ] | 線の太さが正しくありません。 |
| | [説明] | 入出力パネルのスタイル設定において、指定した線の太さが不正な数値、または有効範囲（1～100）外の値です。 |
| | [対処方法] | 正しい値を指定してください。 |
| E1310703 | [メッセージ] | 保有時間が正しくありません。 |
| | [説明] | 入出力パネルの入力系部品設定において、指定した保有時間が不正な数値、または有効範囲（0.001～999）外の値です。 |
| | [対処方法] | 正しい値を指定してください。 |
| E1310704 | [メッセージ] | 最大入力値が正しくありません。 |
| | [説明] | 入出力パネルのレベル・ゲージ設定において、指定した最大入力値が不正な数値、または有効範囲（1～65535）外の値です。 |
| | [対処方法] | 正しい値を指定してください。 |
| E1310710 | [メッセージ] | ビットマップのパスが指定されていません。 |
| | [説明] | 入出力パネルのビットマップ追加において、アクティブ/インアクティブ時のビットマップの一方、または両方が指定されていません。 |
| | [対処方法] | ビットマップ・ファイルを指定してください。 |
| E1310711 | [メッセージ] | ビットマップのパスが正しくありません。 |
| | [説明] | 入出力パネルのビットマップ追加において、指定ビットマップ・ファイルが正しくありません。 |
| | [対処方法] | ファイルの存在およびファイルの属性を確認してください。 |
| E1310720 | [メッセージ] | アクティブ電圧は正の整数で指定してください。 |
| | [説明] | 入出力パネルのアナログ・ボタン設定において、アクティブ電圧に数値以外の文字を入力しています。 |
| | [対処方法] | 正しい値を入力してください。 |
| E1310721 | [メッセージ] | インアクティブ電圧は正の整数で指定してください。 |
| | [説明] | 入出力パネルのアナログ・ボタン設定において、インアクティブ電圧に数値以外の文字を入力しています。 |
| | [対処方法] | 正しい値を入力してください。 |
| E1310722 | [メッセージ] | アクティブ電圧が範囲を越えています。 |
| | [説明] | 入出力パネルのアナログ・ボタン設定において、アクティブ電圧が有効範囲（0～65535）外の値です。 |
| | [対処方法] | 正しい値を入力してください。 |

| | | |
|----------|---------|--|
| E1310723 | [メッセージ] | インアクティブ電圧が範囲を越えています。 |
| | [説明] | 入出力パネルのアナログ・ボタン設定において、インアクティブ電圧が有効範囲(0～65535)外の値です。 |
| | [対処方法] | 正しい値を入力してください。 |
| E1310724 | [メッセージ] | デフォルト電圧の指定が正しくありません。 |
| | [説明] | 入出力パネルのレベル・ゲージ設定において、初期電圧が不正な数値、または有効範囲(0～最大入力値で設定した値)外の値です。 |
| | [対処方法] | 正しい値を入力してください。 |
| E1310730 | [メッセージ] | プログラム実行中にプロパティの操作はできません。 |
| | [説明] | 入出力パネルにおいて、プログラム実行中にオブジェクト・プロパティ・シートは操作できません。 |
| | [対処方法] | プログラムの実行を停止して、操作をおこなってください。 |
| E1310740 | [メッセージ] | プログラム実行中です。 |
| | [説明] | 入出力パネルにおいて、プログラム実行のため、処理を行うことができません。 |
| | [対処方法] | プログラムの実行を停止して、操作をおこなってください。 |
| E1310800 | [メッセージ] | インタフェース・アドレスの値が不正です。 |
| | [説明] | 標準ライブラリ・インタフェース・ページにおいて、設定したインタフェース・アドレスが正しくありません。 |
| | [対処方法] | 正しい値を設定してください。 |
| E1310900 | [メッセージ] | ボー・レート値が正しくありません。 |
| | [説明] | フォーマット設定ダイアログ(UART)において、指定したボー・レート値が正しい数値ではありません。 |
| | [対処方法] | デバイスのユーザーズマニュアルを参照し、適切な範囲内の整数値で指定してください。 |
| E1310901 | [メッセージ] | 転送クロック値が正しくありません。 |
| | [説明] | フォーマット設定ダイアログ(CSI)において、指定した転送クロック値が正しい数値ではありません。 |
| | [対処方法] | デバイスのユーザーズマニュアルを参照し、適切な範囲内の整数値で指定してください。 |
| E1310902 | [メッセージ] | データ・ビット長の設定が正しくありません。 |
| | [説明] | フォーマット設定ダイアログ(UART)、またはフォーマット設定ダイアログ(CSI)において、指定したデータ・ビット長の設定が有効範囲(32以下の整数値)外の値です。 |
| | [対処方法] | 有効範囲内の整数値を指定してください。 |
| E1310904 | [メッセージ] | プログラム実行中です。 |
| | [説明] | シリアル・ウインドウにおいて、プログラム実行中のため、読み込み処理を行うことができません。 |
| | [対処方法] | プログラムの実行を停止して、操作を行ってください。 |
| E1310905 | [メッセージ] | アドレスが指定されていません |
| | [説明] | フォーマット(IIC)ダイアログにおいて、アドレスが指定されていません。 |
| | [対処方法] | アドレスを指定してください。 |

| | | |
|----------|---------|--|
| E1319999 | [メッセージ] | 内部エラーが発生しました。 |
| | [説明] | 内部エラーが発生しました。 |
| | [対処方法] | 特約店、または当社までご連絡ください。 |
| E1700000 | [メッセージ] | Python コンソールの初期化に失敗しました。 |
| | [対処方法] | CS+ を再インストールしてください。 |
| E1700001 | [メッセージ] | Python コンソールに表示されている内容の保存に失敗しました。 |
| | [対処方法] | ファイルの保存先の確認を行ってください。 |
| E1700010 | [メッセージ] | Python コンソールの起動に失敗しました。 |
| | [対処方法] | CS+ を再起動をしてください。再起動しても現象が改善しなかった場合には、再インストールをしてください。 |
| E1700011 | [メッセージ] | Python コンソールのフォントと色の設定に失敗しました。 |
| | [対処方法] | CS+ を再起動してください。 |
| E1700100 | [メッセージ] | 入力された文字列の解析に失敗しました。 |
| E1700200 | [メッセージ] | 履歴の表示に失敗しました。 |
| E1700201 | [メッセージ] | 履歴の追加に失敗しました。 |
| E1700202 | [メッセージ] | 履歴の取得に失敗しました。 |
| E1700203 | [メッセージ] | 履歴のクリアに失敗しました。 |
| E1700210 | [メッセージ] | 指定された引数が不正です。引数は1つだけ指定してください。 |
| | [説明] | CUI モードの引数で指定された引数が1以外の場合に表示されます。 |
| | [対処方法] | 引数の指定を1つのみにしてください。 |
| E1700300 | [メッセージ] | スクリプトのコンパイルに失敗しました。 |
| | [説明] | スクリプト・ファイルのコンパイルに失敗した場合に表示されます。 |
| | [対処方法] | スクリプト・ファイルを修正してください。 |
| E1700301 | [メッセージ] | スクリプト・ファイルの実行に失敗しました。 [直接原因] |
| | [説明] | スクリプト・ファイルの実行に失敗した場合に表示されます。 |
| | [対処方法] | 表示されている [直接原因] を解決してください。 |
| E1700400 | [メッセージ] | 出力パネルへの書込みに失敗しました。 [直接原因] |
| | [説明] | 出力パネルへのメッセージ出力に失敗した場合に表示されます。 |
| E1700401 | [メッセージ] | 出力パネルの表示内容の取得に失敗しました。 [直接原因] |
| | [説明] | 出力パネルに表示している内容の取得に失敗した場合に表示されます。 |
| | [対処方法] | 表示されている [直接原因] を解決してください。 |
| E1700407 | [メッセージ] | 指定したパスに無効な文字が含まれています。 |
| | [対処方法] | 正しいパスを指定してください。 |
| E1700501 | [メッセージ] | サンプル・スクリプトのダウンロードに失敗しました。 |

| | | |
|----------|---------|--|
| E1700502 | [メッセージ] | サンプル・スクリプトのダウンロードに失敗しました。 デジタル署名の信頼性を検証できません。 |
| E1700510 | [メッセージ] | サンプル・スクリプトをアクティブ・プロジェクトに登録できませんでした。 [直接原因] |
| E1700513 | [メッセージ] | ファイル "xxx" のコピーに失敗しました。 |
| E1700514 | [メッセージ] | サンプル・スクリプトのダウンロードに失敗しました。 Web サーバがエラー xxx を返しました。 |
| E1700515 | [メッセージ] | サンプル・スクリプトのダウンロードに失敗しました。 Web サーバへのアクセスに失敗しました。 |
| E1700516 | [メッセージ] | ソケット通信の開始に失敗しました。 |
| E1700517 | [メッセージ] | ソケット通信の終了に失敗しました。 |
| E1700518 | [メッセージ] | ソケット通信によるクライアントへの送信に失敗しました。 |
| E1710000 | [メッセージ] | CS+ 用 Python 関数の実行で例外が発生しました。 [直接原因] |
| E1710001 | [メッセージ] | デバグが接続されていません。デバグとの接続を行ってください。 |
| | [対処方法] | デバグと接続してください。 |
| E1710007 | [メッセージ] | 指定されたアドレスに書き込めませんでした。 |
| E1710008 | [メッセージ] | 指定されたアドレスから読み込めませんでした。 |
| E1710010 | [メッセージ] | Copy に失敗しました。 |
| E1710011 | [メッセージ] | Fill に失敗しました。 |
| E1710015 | [メッセージ] | 入力されたアドレスは識別できませんでした。アドレスを確認して下さい。 |
| E1710017 | [メッセージ] | アップロード先にファイルが存在します。 |
| | [説明] | 上書きオプションが指定されておらず、アップロード先にファイルが存在する場合には表示されます。 |
| | [対処方法] | 上書きオプションを指定するか、アップロード先を変更、またはアップロード先のファイルを削除してください。 |
| E1710019 | [メッセージ] | アップロードに失敗しました。 [直接原因] |
| E1710020 | [メッセージ] | プログラムの実行に失敗しました。 [直接原因] |
| E1710021 | [メッセージ] | 指定された RunOption が不正です。 |
| E1710022 | [メッセージ] | ステップ実行に失敗しました。 [直接原因] |
| E1710023 | [メッセージ] | 指定された StepOption が不正です。 |
| E1710024 | [メッセージ] | デバッグ・ツールの実行の停止に失敗しました。 [直接原因] |
| E1710025 | [メッセージ] | スタックのバック・トレースの表示に失敗しました。 [直接原因] |
| E1710026 | [メッセージ] | PC 値の取得に失敗しました。 [直接原因] |
| E1710027 | [メッセージ] | カバレッジのクリアに失敗しました。 [直接原因] |

| | | |
|----------|---------|---|
| E1710028 | [メッセージ] | 関数名が入力されていません。関数名は必ず入力してください。 |
| E1710029 | [メッセージ] | カバレッジの取得に失敗しました。 [直接原因] |
| E1710030 | [メッセージ] | カバレッジが取得できませんでした。 |
| E1710031 | [メッセージ] | XRunBreak はシミュレータ環境以外では使用できません。 |
| E1710033 | [メッセージ] | 入力されたブレーク指定時間の単位が不正です。 |
| E1710034 | [メッセージ] | XRunBreak の設定に失敗しました。 [直接原因] |
| E1710035 | [メッセージ] | XRunBreak の参照に失敗しました。 [直接原因] |
| E1710036 | [メッセージ] | トレース・オプションのタイムタグの積算はシミュレータ環境以外では指定できません。 |
| E1710037 | [メッセージ] | トレース・オプションのタイムタグの積算は使用できません。 |
| E1710038 | [メッセージ] | トレース・オプションのトレース制御モードはシミュレータ、IECUBE 環境以外では指定できません。 |
| E1710039 | [メッセージ] | トレース・オプションのトレース制御モードは使用できません。 |
| E1710040 | [メッセージ] | トレース・オプションのトレース補完は IECUBE 環境以外では指定できません。 |
| E1710041 | [メッセージ] | トレース・オプションのトレース補完は使用できません。 |
| E1710045 | [メッセージ] | トレース・データが取得できませんでした。 [直接原因] |
| E1710046 | [メッセージ] | トレース・データがありません。 |
| E1710047 | [メッセージ] | 書き込みに失敗しました。 [直接原因] |
| E1710048 | [メッセージ] | リセットに失敗しました。 [直接原因] |
| E1710049 | [メッセージ] | プロシージャ・ステップに失敗しました。 [直接原因] |
| E1710050 | [メッセージ] | 入力されたファイルが見つかりませんでした。 |
| E1710051 | [メッセージ] | スクリプトファイル名を入力してください。 |
| E1710052 | [メッセージ] | リターン・アウトに失敗しました。 [直接原因] |
| E1710054 | [メッセージ] | 継続して実行に失敗しました。 [直接原因] |
| E1710055 | [メッセージ] | 現在のデバッグ・ツールはカバレッジ機能をサポートしていません。 |
| E1710056 | [メッセージ] | カバレッジ機能は使用できません。 |
| E1710057 | [メッセージ] | カバレッジ機能の参照でエラーが発生しました。 [直接原因] |
| E1710058 | [メッセージ] | 現在のデバッグ・ツールはファンクションをサポートしていません。 |
| E1710059 | [メッセージ] | ファンクションは使用できません。 |
| E1710060 | [メッセージ] | ファンクション機能の参照でエラーが発生しました。 [直接原因] |
| E1710061 | [メッセージ] | 現在のデバッグ・ツールはオーブンブレーク機能はサポートしていません。 |

| | | |
|----------|---------|-------------------------------------|
| E1710062 | [メッセージ] | オーブンブ레이크機能は使用できません。 |
| E1710063 | [メッセージ] | オーブンブ레이크機能の参照でエラーが発生しました。 [直接原因] |
| E1710064 | [メッセージ] | 現在のデバッグ・ツールはタイマ機能をサポートしていません。 |
| E1710065 | [メッセージ] | タイマ機能は使用できません。 |
| E1710066 | [メッセージ] | タイマ機能の参照でエラーが発生しました。 [直接原因] |
| E1710067 | [メッセージ] | 現在のデバッグ・ツールではトレース機能をサポートしていません。 |
| E1710068 | [メッセージ] | トレース機能は使用できません。 |
| E1710069 | [メッセージ] | トレース機能の参照でエラーが発生しました。 [直接原因] |
| E1710070 | [メッセージ] | カバレッジ機能の設定でエラーが発生しました。 [直接原因] |
| E1710071 | [メッセージ] | ファンクション機能の設定でエラーが発生しました。 [直接原因] |
| E1710072 | [メッセージ] | オーブンブ레이크機能の設定でエラーが発生しました。 [直接原因] |
| E1710073 | [メッセージ] | タイマ機能の設定でエラーが発生しました。 [直接原因] |
| E1710074 | [メッセージ] | トレース機能の設定でエラーが発生しました。 [直接原因] |
| E1710076 | [メッセージ] | 入力された値が不正です。文字列もしくは数字を入力してください。 |
| E1710077 | [メッセージ] | ダウンロード情報が取得できませんでした。 [直接原因] |
| E1710079 | [メッセージ] | ダウンロード・プロパティの設定に失敗しました。 |
| E1710081 | [メッセージ] | ダウンロードに失敗しました。 [直接原因] |
| E1710082 | [メッセージ] | ライン・アセンブルに失敗しました。 [直接原因] |
| E1710083 | [メッセージ] | 逆アセンブルに失敗しました。 [直接原因] |
| E1710085 | [メッセージ] | レジスタ値の取得に失敗しました。 [直接原因] |
| E1710086 | [メッセージ] | レジスタ値の設定に失敗しました。 [直接原因] |
| E1710087 | [メッセージ] | 消去に失敗しました。 [直接原因] |
| E1710088 | [メッセージ] | 指定されたオプションが不正です。 |
| E1710089 | [メッセージ] | 指定された変数が見つかりませんでした。 |
| E1710090 | [メッセージ] | 変数値の取得に失敗しました。 [直接原因] |
| E1710091 | [メッセージ] | 変数値の設定に失敗しました。 [直接原因] |

| | | |
|----------|---------|---|
| E1710092 | [メッセージ] | XRunBreak の消去に失敗しました。 [直接原因] |
| E1710093 | [メッセージ] | エディタ・パネルの表示に失敗しました。 [直接原因] |
| E1710094 | [メッセージ] | 逆アセンブル・パネルの表示に失敗しました。 [直接原因] |
| E1710095 | [メッセージ] | メモリ・パネルの表示に失敗しました。 [直接原因] |
| E1710096 | [メッセージ] | 指定された MemoryOption.HalfWord は現在のプラットフォームではサポートしていません。 |
| E1710097 | [メッセージ] | メモリ・オプションに xxx を指定する場合には 0xyyy ~ 0xzzz までを指定してください。 |
| E1710099 | [メッセージ] | メモリ・オプションの設定に失敗しました。 |
| E1710100 | [メッセージ] | IE レジスタの参照に失敗しました。 |
| E1710101 | [メッセージ] | デバッグ・ツールに接続されていません。デバッグ・ツールと接続してください。 |
| E1710102 | [メッセージ] | IE レジスタの設定に失敗しました。 |
| E1710103 | [メッセージ] | DCU レジスタの参照に失敗しました。 |
| E1710104 | [メッセージ] | DCU レジスタの設定に失敗しました。 |
| E1710105 | [メッセージ] | 指定されている MapType が不正です。 |
| E1710106 | [メッセージ] | チップ・セレクトを指定してください。 |
| E1710111 | [メッセージ] | ブレークポイントの削除に失敗しました。 [直接原因] |
| E1710112 | [メッセージ] | 指定されたブレーク・イベント番号は存在しません。 |
| | [対処方法] | 存在するブレーク・イベント番号を入力してください。 |
| E1710113 | [メッセージ] | 指定されたブレーク・イベント番号のブレークポイントを有効にできませんでした。 [直接原因] |
| E1710114 | [メッセージ] | 指定されたブレーク・イベント番号のブレークポイントを無効にできませんでした。 [直接原因] |
| E1710115 | [メッセージ] | アドレス条件が設定されていません。 |
| E1710116 | [メッセージ] | ブレークポイントの設定に失敗しました。 [直接原因] |
| E1710117 | [メッセージ] | 指定されたブレーク・イベント・タイプが不正です。 [直接原因] |
| | [対処方法] | 正しいブレーク・イベント・タイプを指定してください。 |
| E1710118 | [メッセージ] | デバッグの切断処理に失敗しました。 [直接原因] |
| E1710119 | [メッセージ] | デバッグの接続処理に失敗しました。 [直接原因] |
| E1710120 | [メッセージ] | 指定されたレジスタが見つかりませんでした。 |
| | [対処方法] | 存在するレジスタ名を指定してください。 |

| | | |
|----------|---------|--|
| E1710121 | [メッセージ] | 不正なデバッグ・ツールが指定されています。 |
| | [対処方法] | シミュレータ, MINICUBE, MINICUBE2, IECUBE のいずれかを使用してください。 |
| E1710122 | [メッセージ] | 入力されたチップ・セレクトが不正です。 |
| | [対処方法] | cs0 ~ cs7 までの値を入力してください。 |
| E1710123 | [メッセージ] | 指定されたデバッグ・ツールには変更できません。 |
| | [対処方法] | 変更が可能なデバッグ・ツールを指定してください。 |
| E1710124 | [メッセージ] | デバッグ・ツールと接続されていないため、ダウンロードが出来ません。 |
| | [対処方法] | 接続した状態でダウンロードを行ってください。 |
| E1710125 | [メッセージ] | 指定されたマップタイプは指定できません。 |
| E1710126 | [メッセージ] | デバッグ・ツールと接続されていないため、関数が実行できません。 |
| | [対処方法] | 接続した状態で実行してください。 |
| E1710128 | [メッセージ] | シミュレータ以外ではカバレッジ・データのアップロードは出来ません。 |
| | [対処方法] | シミュレータでアップロードを行ってください。 |
| E1710129 | [メッセージ] | カバレッジ・データのアップロードは使用できません。 |
| | [対処方法] | サポートしているプラットフォームでカバレッジのアップロードを行ってください。 |
| E1710130 | [メッセージ] | カバレッジ・データの再利用設定が No に設定されています。 |
| | [対処方法] | カバレッジの再利用設定を Yes にしてからアップロードを行ってください。 |
| E1710132 | [メッセージ] | 読み込まれているプラットフォームはサポートしていません。 |
| E1710133 | [メッセージ] | ブレイク要因の取得に失敗しました。 [直接原因] |
| E1710134 | [メッセージ] | 指定された引数が不正です。 |
| | [説明] | 引数に None を指定した場合、または引数を指定しなかった場合に表示されます。 |
| E1710135 | [メッセージ] | カバレッジデータの再利用設定機能は使用できません。 |
| | [説明] | カバレッジデータの再利用設定をサポートしていないプラットフォーム、またはデバッグ・ツールでカバレッジデータの再利用設定を行おうとした場合に表示されます。 |
| | [対処方法] | サポートしているプラットフォーム、またはデバッグ・ツールに変更してください。 |
| E1710136 | [メッセージ] | 選択しているデバッグツールでは IE レジスタは使用できません。 |
| | [説明] | 選択されているデバッグ・ツールが IE レジスタに対応していない場合に表示されます。 |
| | [対処方法] | 対応しているデバッグ・ツールに変更してください。 |
| E1710137 | [メッセージ] | CPU ステータスの取得に失敗しました。 [直接原因] |
| | [説明] | CPU ステータスの取得に失敗した場合に表示されます。 |
| E1710138 | [メッセージ] | IE ステータスの取得に失敗しました。 [直接原因] |
| | [説明] | IE ステータスの取得に失敗した場合に表示されます。 |

| | | |
|----------|---------|---|
| E1710139 | [メッセージ] | 指定されたアドレスはエンディアンの境界を跨っています。 |
| | [説明] | エンディアンの境界をまたがって指定した場合に表示されます。 |
| | [対処方法] | アドレスの指定を修正してください。 |
| E1710140 | [メッセージ] | この機能はサポートしていません。 |
| | [説明] | マルチコア未対応製品でのプロジェクトで ProcessorElement の取得/設定コマンドを呼び出した場合に表示されます。 |
| | [対処方法] | マルチコア未対応製品では使用しないでください。 |
| E1710141 | [メッセージ] | デバッグと接続されていません。 変更する場合にはデバッグと接続して下さい。 |
| | [説明] | デバッグと接続されていない状態でプロセッサ番号の変更コマンドを呼び出した場合に表示されます。 |
| | [対処方法] | デバッグと接続してください。 |
| E1710142 | [メッセージ] | 指定されたプロセッサ・エレメントと現在使用しているプロセッサ・エレメントが同じです。 |
| | [説明] | 指定されたプロセッサ番号と現在使用しているプロセッサ番号が同じ場合に表示されます。 |
| | [対処方法] | 現在使用しているプロセッサ番号とは異なる番号を指定してください。 |
| E1710143 | [メッセージ] | プロセッサ・エレメントの取得に失敗しました。 [直接原因] |
| | [説明] | IDE からプロセッサ番号の取得に失敗した場合に表示されます。 |
| E1710144 | [メッセージ] | プロセッサ・エレメントの設定に失敗しました。 [直接原因] |
| | [説明] | IDE からプロセッサ番号の設定に失敗した場合に表示されます。 |
| E1710145 | [メッセージ] | この機能はサポートされていません。 |
| | [説明] | CS+ 起動時に特定のユーザ追加情報が存在しない場合に表示されます。 |
| | [対処方法] | ユーザ追加情報を追加して再起動してください。 |
| E1710146 | [メッセージ] | データ収集実行機能の参照に失敗しました。 [直接原因] |
| | [説明] | データ収集実行機能の参照に失敗した場合に表示されます。 |
| E1710147 | [メッセージ] | データ収集実行機能の設定に失敗しました。 [直接原因] |
| | [説明] | データ収集実行機能の設定に失敗した場合に表示されます。 |
| E1710148 | [メッセージ] | データ収集実行機能はサポートされていません。 |
| | [説明] | データ収集実行機能がサポートされていない場合に表示されます。 |
| E1710149 | [メッセージ] | トレースの開始に失敗しました。 [直接原因] |
| | [説明] | 実行中のトレース開始に失敗した場合に表示されます。 |
| E1710150 | [メッセージ] | トレースを開始できません。 |
| | [説明] | 実行中のトレースを開始できない場合に表示されます。 |

| | | |
|----------|---------|---|
| E1710151 | [メッセージ] | トレースの停止に失敗しました。 [直接原因] |
| | [説明] | 実行中のトレース停止に失敗した場合に表示されます。 |
| E1710152 | [メッセージ] | トレースを停止できません。 |
| | [説明] | 実行中のトレースが停止できない場合に表示されます。 |
| E1710153 | [メッセージ] | 実行状態の取得に失敗しました。 |
| | [対処方法] | デバッグ・ツールへ接続してください。 |
| E1710154 | [メッセージ] | 接続状態の取得に失敗しました。 |
| | [対処方法] | デバッグ・ツールへ接続してください。 |
| E1710155 | [メッセージ] | タイマ・イベントの削除に失敗しました。 [直接原因] |
| | [説明] | タイマ・イベントの削除に失敗した場合に表示されます。 |
| | [対処方法] | [直接原因]に表示される内容に従って対処してください。 |
| E1710156 | [メッセージ] | 指定されたタイマ・イベント番号は存在しません。 |
| | [説明] | 指定したタイマ・イベント番号が存在しない場合に表示されます。 |
| | [対処方法] | 存在するタイマ・イベント番号を指定してください。 |
| E1710157 | [メッセージ] | 指定されたタイマ・イベント番号のタイマ・イベントは有効にできませんでした。 [直接原因] |
| | [説明] | タイマ・イベントを有効にする際にデバッグ・ツールでエラーが発生した場合に表示されます。 |
| | [対処方法] | [直接原因]に表示される内容に従って対処してください。 |
| E1710158 | [メッセージ] | 指定されたタイマ・イベント番号のタイマ・イベントは無効にできませんでした。 [直接原因] |
| | [説明] | タイマ・イベントを無効にする際にデバッグ・ツールでエラーが発生した場合に表示されます。 |
| | [対処方法] | [直接原因]に表示される内容に従って対処してください。 |
| E1710159 | [メッセージ] | アドレス条件が設定されていません。 |
| | [説明] | タイマ・イベントのアドレス条件が設定されていない場合に表示されます。 |
| | [対処方法] | アドレスを指定してください。 |
| E1710160 | [メッセージ] | タイマ・イベントの設定に失敗しました。 [直接原因] |
| | [説明] | タイマ・イベントを設定する際にデバッグ・ツールでエラーが発生した場合に表示されます。 |
| | [対処方法] | [直接原因]に表示される内容に従って対処してください。 |
| E1710161 | [メッセージ] | 指定されたタイマ・イベントのタイプが不正です。 [直接原因] |
| | [説明] | タイマ・イベントのタイプ条件が不正な場合に表示されます。 |
| | [対処方法] | 正しいタイプを指定してください。 |

| | | |
|----------|---------|---|
| E1710162 | [メッセージ] | 指定されたタイマ・イベント番号のタイマ・イベントを削除できませんでした。 [直接原因] |
| | [説明] | デバッグでタイマ・イベントを削除できなかった場合に表示されます。 |
| | [対処方法] | [直接原因]に表示される内容に従って対処してください。 |
| E1710163 | [メッセージ] | タイマ・イベントを有効にできませんでした。 [直接原因] |
| | [説明] | デバッグでタイマ・イベントを有効にできなかった場合に表示されます。 |
| | [対処方法] | [直接原因]に表示される内容に従って対処してください。 |
| E1710164 | [メッセージ] | タイマ・イベントを無効にできませんでした。 [直接原因] |
| | [説明] | デバッグでタイマ・イベントを無効にできなかった場合に表示されます。 |
| | [対処方法] | [直接原因]に表示される内容に従って対処してください。 |
| E1710165 | [メッセージ] | 指定されたブレークポイント番号のブレークポイントを削除できませんでした。 [直接原因] |
| | [説明] | デバッグでタイマ・イベントを削除できなかった場合に表示されます。 |
| | [対処方法] | [直接原因]に表示される内容に従って対処してください。 |
| E1710166 | [メッセージ] | ブレークポイントを有効にできませんでした。 [直接原因] |
| | [説明] | デバッグでブレークポイントを有効にできなかった場合に表示されます。 |
| | [対処方法] | [直接原因]に表示される内容に従って対処してください。 |
| E1710167 | [メッセージ] | ブレークポイントを無効にできませんでした。 [直接原因] |
| | [説明] | デバッグでブレークポイントを無効にできなかった場合に表示されます。 |
| | [対処方法] | [直接原因]に表示される内容に従って対処してください。 |
| E1710168 | [メッセージ] | トレース・イベントの削除に失敗しました。 [直接原因] |
| | [説明] | デバッグでトレース・イベントを削除できなかった場合に表示されます。 |
| | [対処方法] | [直接原因]に表示される内容に従って対処してください。 |
| E1710169 | [メッセージ] | 指定されたトレース・イベント番号は存在しません。 |
| | [説明] | 指定したトレース・イベント番号が存在しない場合に表示されます。 |
| | [対処方法] | 存在するトレース・イベント番号を指定してください。 |
| E1710170 | [メッセージ] | 指定されたトレース・イベント番号のトレース・イベントは有効にできませんでした。 [直接原因] |
| | [説明] | デバッグでトレース・イベントを有効にできなかった場合に表示されます。 |
| | [対処方法] | [直接原因]に表示される内容に従って対処してください。 |
| E1710171 | [メッセージ] | 指定されたトレース・イベント番号のトレース・イベントは無効にできませんでした。 [直接原因] |
| | [説明] | デバッグでトレース・イベントを無効にできなかった場合に表示されます。 |
| | [対処方法] | [直接原因]に表示される内容に従って対処してください。 |

| | | |
|----------|---------|---|
| E1710172 | [メッセージ] | アドレス条件が設定されていません。 |
| | [説明] | アドレス条件が指定されていない場合に表示されます。 |
| | [対処方法] | アドレス条件を指定してください。 |
| E1710173 | [メッセージ] | トレース・イベントの設定に失敗しました。 [直接原因] |
| | [説明] | デバッグでトレース・イベントを設定できなかった場合に表示されます。 |
| | [対処方法] | [直接原因]に表示される内容に従って対処してください。 |
| E1710174 | [メッセージ] | 指定されたトレース・イベントのタイプが不正です。 [直接原因] |
| | [説明] | トレース・イベントのタイプ条件が不正な場合に表示されます。 |
| | [対処方法] | [直接原因]に表示される内容に従って対処してください。 |
| E1710175 | [メッセージ] | 指定されたトレース・イベント番号のトレース・イベントを削除できませんでした。 [直接原因] |
| | [説明] | デバッグでトレース・イベントを削除できなかった場合に表示されます。 |
| | [対処方法] | [直接原因]に表示される内容に従って対処してください。 |
| E1710176 | [メッセージ] | トレース・イベントを有効にできませんでした。 [直接原因] |
| | [説明] | デバッグでトレース・イベントを有効にできなかった場合に表示されます。 |
| | [対処方法] | [直接原因]に表示される内容に従って対処してください。 |
| E1710177 | [メッセージ] | トレース・イベントを無効にできませんでした。 [直接原因] |
| | [説明] | デバッグでトレース・イベントを無効にできなかった場合に表示されます。 |
| | [対処方法] | [直接原因]に表示される内容に従って対処してください。 |
| E1710178 | [メッセージ] | トレース・イベントの開始条件の設定に失敗しました。 [直接原因] |
| | [説明] | デバッグでトレース・イベントの開始条件を設定できなかった場合に表示されます。 |
| | [対処方法] | [直接原因]に表示される内容に従って対処してください。 |
| E1710179 | [メッセージ] | トレース・イベントの終了条件の設定に失敗しました。 [直接原因] |
| | [説明] | デバッグでトレース・イベントの終了条件を設定できなかった場合に表示されます。 |
| | [対処方法] | [直接原因]に表示される内容に従って対処してください。 |
| E1710180 | [メッセージ] | 選択しているデバッグ・ツールでは条件タイマは使用できません。 |
| | [説明] | デバッグが条件タイマに対応していない場合に表示されます。 |
| E1710181 | [メッセージ] | 選択しているデバッグ・ツールではアクセス系のタイマ・イベントは指定できません。 |
| | [説明] | デバッグが条件タイマの実行系のイベントにのみ対応している場合に、アクセス系のイベントを指定した場合に表示されます。 |

| | | |
|----------|---------|--|
| E1710182 | [メッセージ] | 指定された PE 番号が不正です。 |
| | [説明] | 指定した PE 番号が不正の場合に表示します。 |
| | [対処方法] | 存在する PE 番号を指定してください。 |
| E1710183 | [メッセージ] | 組み合わせブレークはサポートしていません。 |
| | [説明] | 組み合わせブレークをサポートしていないエミュレータやシミュレータで組み合わせブレークが指定された場合に表示されます。 |
| | [対処方法] | 組み合わせブレークをサポートしているエミュレータやシミュレータで指定してください。 |
| E1710184 | [メッセージ] | アクション・イベントの設定に失敗しました。 [直接原因] |
| | [説明] | デバッグでアクション・イベントを設定できなかった場合に表示されます。 |
| | [対処方法] | [直接原因]に表示される内容に従って対処してください。 |
| E1710185 | [メッセージ] | アクション・イベントの削除に失敗しました。 [直接原因] |
| | [説明] | デバッグでアクション・イベントを削除できなかった場合に表示されます。 |
| | [対処方法] | [直接原因]に表示される内容に従って対処してください。 |
| E1710186 | [メッセージ] | 指定されたアクション・イベント番号のアクションイベントを削除できませんでした。 [直接原因] |
| | [説明] | デバッグでアクション・イベントを削除できなかった場合に表示されます。 |
| | [対処方法] | [直接原因]に表示される内容に従って対処してください。 |
| E1710187 | [メッセージ] | アクション・イベントを有効にできませんでした。 [直接原因] |
| | [説明] | デバッグでアクション・イベントを有効にできなかった場合に表示されます。 |
| | [対処方法] | [直接原因]に表示される内容に従って対処してください。 |
| E1710188 | [メッセージ] | 指定されたアクション・イベント番号のアクションイベントは有効にできませんでした。 [直接原因] |
| | [説明] | デバッグでアクション・イベントを有効にできなかった場合に表示されます。 |
| | [対処方法] | [直接原因]に表示される内容に従って対処してください。 |
| E1710189 | [メッセージ] | アクション・イベントを無効にできませんでした。 [直接原因] |
| | [説明] | デバッグでアクション・イベントを無効にできなかった場合に表示されます。 |
| | [対処方法] | [直接原因]に表示される内容に従って対処してください。 |
| E1710190 | [メッセージ] | 指定されたアクション・イベント番号のアクションイベントは無効にできませんでした。 [直接原因] |
| | [説明] | デバッグでアクション・イベントを無効にできなかった場合に表示されます。 |
| | [対処方法] | [直接原因]に表示される内容に従って対処してください。 |

| | | |
|----------|---------|--|
| E1710191 | [メッセージ] | 指定されたアクション・イベント番号が不正です。 |
| | [説明] | 指定したアクション・イベント番号が不正の場合に表示します。 |
| | [対処方法] | 存在するアクション・イベント番号を指定してください。 |
| E1710192 | [メッセージ] | アドレスまたは変数式が設定されていません。 |
| | [説明] | アドレス, または変数式が設定されていない場合に表示されます。 |
| | [対処方法] | アドレス, または変数式を設定してください。 |
| E1710193 | [メッセージ] | 実行を一瞬停止してアクセスするの設定に失敗しました。 [直接原因] |
| | [説明] | 実行を一瞬停止してアクセスするの設定に失敗した場合に表示されます。 |
| | [対処方法] | [直接原因]に表示される内容に従って対処してください。 |
| E1710194 | [メッセージ] | 実行を一瞬停止してアクセスするの参照に失敗しました。 [直接原因] |
| | [説明] | 実行を一瞬停止してアクセスするの参照に失敗した場合に表示されます。 |
| | [対処方法] | [直接原因]に表示される内容に従って対処してください。 |
| E1710195 | [メッセージ] | トレース・メモリを使い切った後の動作の設定に失敗しました。 [直接原因] |
| | [説明] | トレース・メモリを使い切った後の動作の設定に失敗した場合に表示されます。 |
| | [対処方法] | [直接原因]に表示される内容に従って対処してください。 |
| E1710196 | [メッセージ] | トレース・メモリを使い切った後の動作の参照に失敗しました。 [直接原因] |
| | [説明] | トレース・メモリを使い切った後の動作の参照に失敗した場合に表示されます。 |
| | [対処方法] | [直接原因]に表示される内容に従って対処してください。 |
| E1710197 | [メッセージ] | 指定したカテゴリは存在しません。 |
| | [説明] | 指定したカテゴリが存在しない場合に表示されます。 |
| | [対処方法] | 存在するカテゴリ名を指定してください。 |
| E1710198 | [メッセージ] | 実行を一瞬停止してアクセスするの設定または参照は使用できません。 |
| | [説明] | デバッガに実行を一瞬停止してアクセスするの設定, または参照の機能がない場合に表示されます。 |
| E1710199 | [メッセージ] | トレース・メモリを使い切った後の設定または参照は使用できません。 |
| | [説明] | デバッガにトレース・メモリを使い切った後の設定, または参照の機能がない場合に表示されます。 |
| E1710200 | [メッセージ] | 指定した出力する際に付与する文字列に一致する結果はありません。 |
| | [対処方法] | 存在する“出力する際に付与する文字列”を指定してください。 |
| E1710201 | [メッセージ] | 出力する際に付加する文字列と変数式が設定されていません。 |
| | [説明] | 出力する際に付加する文字列と変数式の両方が設定されていない場合に表示されま す。 |
| | [対処方法] | 出力する際に付加する文字列か変数式, または両方を指定してください。 |
| E1710202 | [メッセージ] | FE レベルの割り込み発生に失敗しました。 [直接原因] |
| | [対処方法] | [直接原因]に表示される内容に従って対処してください。 |

| | | |
|----------|---------|---|
| E1710203 | [メッセージ] | 通知を受ける例外要因コードの設定に失敗しました。 [直接原因] |
| | [対処方法] | [直接原因]に表示される内容に従って対処してください。 |
| E1710204 | [メッセージ] | 例外要因コードが設定されていません。 |
| | [対処方法] | 引数に例外要因コードのリストを指定してください。 |
| E1710205 | [メッセージ] | EI レベルの割り込み発生に失敗しました。 [直接原因] |
| | [対処方法] | [直接原因]に表示される内容に従って対処してください。 |
| E1710206 | [メッセージ] | 例外要因コードを取得できませんでした。 [直接原因] |
| | [対処方法] | [直接原因]に表示される内容に従って対処してください。 |
| E1710207 | [メッセージ] | 指定したパスに無効な文字が含まれています。 |
| | [説明] | 引数のパスに無効な文字が含まれている場合に表示されます。 |
| | [対処方法] | 正しいパスを指定してください。 |
| E1710208 | [メッセージ] | ファイルパスが相対パスで指定されています。 |
| | [説明] | ファイルパスが相対パスの場合に表示されます。 |
| | [対処方法] | 絶対パスを指定してください。 |
| E1710209 | [メッセージ] | デバッグ・ツールの状態を保存したファイルが存在しません。 |
| | [説明] | ファイルが存在しない場合に表示されます。 |
| | [対処方法] | 存在するファイルを指定してください。 |
| E1710210 | [メッセージ] | デバッグ・ツールの状態を保存したファイルの内容に復帰できませんでした。 [直接原因] |
| | [説明] | デバッグ・ツールの状態を保存したファイルの内容に復帰できなかった場合に表示されます。 |
| | [対処方法] | [直接原因]に表示される内容に従って対処してください。 |
| E1710211 | [メッセージ] | デバッグ・ツールの状態のファイル保存に失敗しました。 [直接原因] |
| | [説明] | デバッグ・ツールの状態のファイル保存に失敗した場合に表示されます。 |
| | [対処方法] | [直接原因]に表示される内容に従って対処してください。 |
| E1710212 | [メッセージ] | プログラムを実行中です。 |
| | [説明] | プログラム実行中の場合に表示されます。 |
| | [対処方法] | プログラムを停止してください。 |
| E1710213 | [メッセージ] | 指定されたタイマ・イベント番号の詳細情報は設定できませんでした。 [直接原因] |
| | [説明] | 指定したタイマ・イベント番号の詳細情報の設定に失敗した場合に表示されます。 |
| | [対処方法] | [直接原因]に表示される内容に従って対処してください。 |
| E1710214 | [メッセージ] | タイマ・イベントの詳細情報設定に失敗しました。 [直接原因] |
| | [説明] | タイマ・イベントの詳細情報の設定に失敗した場合に表示されます。 |
| | [対処方法] | [直接原因]に表示される内容に従って対処してください。 |

| | | |
|----------|---------|--|
| E1710215 | [メッセージ] | メモリの読み込み中にエラーが発生しました。 |
| | [説明] | 参照できないメモリ領域を指定している場合に表示されます。 |
| | [対処方法] | 正しいアドレスを指定してください。 |
| E1710216 | [メッセージ] | ソフトウェア・トレースは対応していません。 |
| | [説明] | ソフトウェア・トレースに対応していない場合に表示されます。 |
| E1710217 | [メッセージ] | 選択しているデバッグツールは、ソフトウェア・トレースに対応していません。 |
| | [説明] | ソフトウェア・トレースに対応していないデバッグ・ツールを選択している場合に表示されます。 |
| E1710218 | [メッセージ] | ソフトウェア・トレースの設定に失敗しました。 [直接原因] |
| | [説明] | ソフトウェア・トレースの設定に失敗した場合に表示されます。 |
| | [対処方法] | [直接原因]に表示される内容に従って対処してください。 |
| E1710219 | [メッセージ] | ソフトウェア・トレースの削除に失敗しました。 [直接原因] |
| | [説明] | ソフトウェア・トレースの削除に失敗した場合に表示されます。 |
| | [対処方法] | [直接原因]に表示される内容に従って対処してください。 |
| E1710220 | [メッセージ] | ソフトウェア・トレースの有効に失敗しました。 [直接原因] |
| | [説明] | ソフトウェア・トレースの有効に失敗した場合に表示されます。 |
| | [対処方法] | [直接原因]に表示される内容に従って対処してください。 |
| E1710221 | [メッセージ] | ソフトウェア・トレースの無効に失敗しました。 [直接原因] |
| | [説明] | ソフトウェア・トレースの有効に失敗した場合に表示されます。 |
| | [対処方法] | [直接原因]に表示される内容に従って対処してください。 |
| E1710222 | [メッセージ] | ソフトウェア・トレース・データの参照に失敗しました。 [直接原因] |
| | [説明] | ソフトウェア・トレース・データの参照に失敗した場合に表示されます。 |
| | [対処方法] | [直接原因]に表示される内容に従って対処してください。 |
| E1710223 | [メッセージ] | ソフトウェア・トレース情報の取得に失敗しました。 [直接原因] |
| | [説明] | ソフトウェア・トレース情報の取得に失敗した場合に表示します。 |
| | [対処方法] | [直接原因]に表示される内容に従って対処してください。 |
| E1710224 | [メッセージ] | ソフトウェア・トレース・データのファイル出力に失敗しました。 [直接原因] |
| | [説明] | ソフトウェア・トレース・データのファイル出力に失敗した場合に表示されます。 |
| | [対処方法] | [直接原因]に表示される内容に従って対処してください。 |
| E1710225 | [メッセージ] | 指定したパスに無効な文字が含まれています。 |
| | [説明] | 指定したパスに無効な文字が含まれている場合に表示されます。 |
| | [対処方法] | 正しいパスを指定してください。 |

| | | |
|----------|---------|--|
| E1710226 | [メッセージ] | 指定したパスはファイルではありません。 |
| | [説明] | 指定したパスがファイルでない場合に表示されます。 |
| | [対処方法] | ファイルを指定してください。 |
| E1710227 | [メッセージ] | 疑似エラーは対応していません。 |
| | [説明] | 疑似エラーに対応していないデバイスの場合に表示されます。 |
| E1710228 | [メッセージ] | 指定しているデバッグツールは、疑似エラーに対応していません。 |
| | [説明] | 疑似エラーに対応していないデバッグ・ツールを選択している場合に表示されます。 |
| E1710229 | [メッセージ] | 疑似エラーの設定に失敗しました。 [直接原因] |
| | [説明] | 疑似エラーの設定に失敗した場合に表示されます。 |
| | [対処方法] | [直接原因]に表示される内容に従って対処してください。 |
| E1710230 | [メッセージ] | ECM エラー情報の参照に失敗しました。 [直接原因] |
| | [説明] | ECM エラー情報の参照に失敗した場合に表示されます。 |
| | [対処方法] | [直接原因]に表示される内容に従って対処してください。 |
| E1710231 | [メッセージ] | ソフトウェア・トレース・データがありません。 |
| | [説明] | ソフトウェア・トレース・データが存在しない場合に表示されます。 |
| E1710232 | [メッセージ] | パフォーマンス計測は対応していません。 |
| | [説明] | パフォーマンス計測に対応していないデバイスの場合に表示されます。 |
| E1710233 | [メッセージ] | 指定しているデバッグ・ツールは、パフォーマンス計測に対応していません。 |
| | [説明] | パフォーマンス計測に対応していないデバッグ・ツールを選択している場合に表示されます。 |
| E1710234 | [メッセージ] | アドレス条件が設定されていません。 |
| | [説明] | パフォーマンス計測の条件でアドレスが指定されていない場合に表示されます。 |
| | [対処方法] | アドレス条件を指定してください。 |
| E1710235 | [メッセージ] | パフォーマンス計測の設定に失敗しました。 [直接原因] |
| | [説明] | パフォーマンス計測の設定に失敗した場合に表示されます。 |
| | [対処方法] | [直接原因]に表示される内容に従って対処してください。 |
| E1710236 | [メッセージ] | 指定されたパフォーマンス計測のタイプが不正です。 [直接原因] |
| | [説明] | パフォーマンス計測のタイプが不正だった場合に表示されます。 |
| | [対処方法] | [直接原因]に表示される内容に従って対処してください。 |
| E1710237 | [メッセージ] | 指定されたパフォーマンス計測イベント番号は存在しません。 |
| | [説明] | パフォーマンス計測のイベント番号が不正だった場合に表示されます。 |
| | [対処方法] | 存在するパフォーマンス計測イベント番号を指定してください。 |

| | | |
|----------|---------|-----------------------------------|
| E1710238 | [メッセージ] | パフォーマンス計測の削除に失敗しました。 [直接原因] |
| | [説明] | パフォーマンス計測の削除に失敗した場合に表示されます。 |
| | [対処方法] | [直接原因]に表示される内容に従って対処してください。 |
| E1710239 | [メッセージ] | パフォーマンス計測の有効に失敗しました。 [直接原因] |
| | [説明] | パフォーマンス計測の有効に失敗した場合に表示されます。 |
| | [対処方法] | [直接原因]に表示される内容に従って対処してください。 |
| E1710240 | [メッセージ] | パフォーマンス計測の無効に失敗しました。 [直接原因] |
| | [説明] | パフォーマンス計測の無効に失敗した場合に表示されます。 |
| | [対処方法] | [直接原因]に表示される内容に従って対処してください。 |
| E1710241 | [メッセージ] | パフォーマンス計測情報の取得に失敗しました。 [直接原因] |
| | [説明] | パフォーマンス計測情報の取得に失敗した場合に表示されます。 |
| | [対処方法] | [直接原因]に表示される内容に従って対処してください。 |
| E1710242 | [メッセージ] | パフォーマンス計測データの取得に失敗しました。 [直接原因] |
| | [説明] | パフォーマンス計測データの取得に失敗した場合に表示されます。 |
| | [対処方法] | [直接原因]に表示される内容に従って対処してください。 |
| E1710243 | [メッセージ] | 疑似エラーの結果のクリアに失敗しました。 [直接原因] |
| | [説明] | 疑似エラーの結果のクリアに失敗した場合に表示されます。 |
| | [対処方法] | [直接原因]に表示される内容に従って対処してください。 |
| E1710244 | [メッセージ] | 消費電流データの保存に失敗しました。 [直接原因] |
| | [説明] | 消費電流データのファイル保存に失敗した場合に表示されます。 |
| | [対処方法] | [直接原因]に表示される内容に従って対処してください。 |
| E1710245 | [メッセージ] | メイン・クロック周波数の参照に失敗しました。 [直接原因] |
| | [説明] | メイン・クロック周波数の参照に失敗した場合に表示されます。 |
| | [対処方法] | [直接原因]に表示される内容に従って対処してください。 |
| E1710246 | [メッセージ] | メイン・クロック周波数の設定に失敗しました。 [直接原因] |
| | [説明] | メイン・クロック周波数の設定に失敗した場合に表示されます。 |
| | [対処方法] | [直接原因]に表示される内容に従って対処してください。 |
| E1710247 | [メッセージ] | 実行中のメモリ・アクセスの参照に失敗しました。 [直接原因] |
| | [説明] | 実行中のメモリ・アクセスの参照に失敗した場合に表示されます。 |
| | [対処方法] | [直接原因]に表示される内容に従って対処してください。 |

| | | |
|----------|---------|---|
| E1710248 | [メッセージ] | 実行中のメモリ・アクセスの設定に失敗しました。 [直接原因] |
| | [説明] | 実行中のメモリ・アクセスの設定に失敗した場合に表示されます。 |
| | [対処方法] | [直接原因]に表示される内容に従って対処してください。 |
| E1710249 | [メッセージ] | トレースの取得対象の参照に失敗しました。 [直接原因] |
| | [説明] | トレース取得対象の参照に失敗した場合に表示されます。 |
| | [対処方法] | [直接原因]に表示される内容に従って対処してください。 |
| E1710250 | [メッセージ] | トレースの取得対処の設定に失敗しました。 [直接原因] |
| | [説明] | トレース取得対象の設定に失敗した場合に表示されます。 |
| | [対処方法] | [直接原因]に表示される内容に従って対処してください。 |
| E1710251 | [メッセージ] | トレース・データ取得時の優先度の参照に失敗しました。 [直接原因] |
| | [説明] | トレース・データ取得時の優先度の参照に失敗した場合に表示されます。 |
| | [対処方法] | [直接原因]に表示される内容に従って対処してください。 |
| E1710252 | [メッセージ] | トレース・データ取得時の優先度の設定に失敗しました。 [直接原因] |
| | [説明] | トレース・データ取得時の優先度の設定に失敗した場合に表示されます。 |
| | [対処方法] | [直接原因]に表示される内容に従って対処してください。 |
| E1710253 | [メッセージ] | 消費電流データの参照に失敗しました。 [直接原因] |
| | [説明] | 消費電流データの参照に失敗した場合に表示されます。 |
| | [対処方法] | [直接原因]に表示される内容に従って対処してください。 |
| E1710254 | [メッセージ] | 指定された値が不正です。 |
| | [説明] | メインクロック周波数に不正な値を指定した場合に表示されます。 |
| | [対処方法] | 正しい値を指定してください。 |
| E1710255 | [メッセージ] | ダウンロードに失敗しました。 |
| | [説明] | ダウンロードに失敗した場合に表示されます。 |
| | [対処方法] | 正しい引数を指定してください。 |
| E1710256 | [メッセージ] | トレース・タイム・タグを積算するかどうかの設定値の参照に失敗しました。 [直接原因] |
| | [説明] | トレース・タイム・タグを積算するかどうかの設定値の参照に失敗した場合に表示されます。 |
| | [対処方法] | [直接原因]に表示される内容に従って対処してください。 |
| E1710257 | [メッセージ] | トレース・タイム・タグを積算するかどうかの設定に失敗しました。 [直接原因] |
| | [説明] | トレース・タイム・タグを積算するかどうかの設定に失敗した場合に表示され ず。 |
| | [対処方法] | [直接原因]に表示される内容に従って対処してください。 |

| | | |
|----------|---------|---|
| E1710258 | [メッセージ] | 分岐元 / 分岐先の命令の PC 値をトレース・データとして収集するかどうかの設定値の参照に失敗しました。 [直接原因] |
| | [説明] | 分岐元 / 分岐先の命令の PC 値をトレース・データとして収集するかどうかの設定値の参照に失敗した場合に表示されます。 |
| | [対処方法] | [直接原因] に表示される内容に従って対処してください。 |
| E1710259 | [メッセージ] | 分岐元 / 分岐先の命令の PC 値をトレース・データとして収集するかどうかの設定に失敗しました。 [直接原因] |
| | [説明] | 分岐元 / 分岐先の命令の PC 値をトレース・データとして収集するかどうかの設定に失敗した場合に表示されます。 |
| | [対処方法] | [直接原因] に表示される内容に従って対処してください。 |
| E1710260 | [メッセージ] | アクセス系イベントのデータ情報をトレース・データとして収集するかどうかの設定値の参照に失敗しました。 [直接原因] |
| | [説明] | アクセス系イベントのデータ情報をトレース・データとして収集するかどうかの設定値の参照に失敗した場合に表示されます。 |
| | [対処方法] | [直接原因] に表示される内容に従って対処してください。 |
| E1710261 | [メッセージ] | アクセス系イベントのデータ情報をトレース・データとして収集するかどうかの設定に失敗しました。 [直接原因] |
| | [説明] | アクセス系イベントのデータ情報をトレース・データとして収集するかどうかの設定に失敗した場合に表示されます。 |
| | [対処方法] | [直接原因] に表示される内容に従って対処してください。 |
| E1710263 | [メッセージ] | エミュレータのシリアル番号の一覧の参照に失敗しました。 [直接原因] |
| | [説明] | エミュレータのシリアル番号の一覧の参照に失敗した場合に表示されます。 |
| | [対処方法] | [直接原因] に表示される内容に従って対処してください。 |
| E1710264 | [メッセージ] | エミュレータのシリアル番号の設定値の参照に失敗しました。 [直接原因] |
| | [説明] | エミュレータのシリアル番号の設定値の参照に失敗した場合に表示されます。 |
| | [対処方法] | [直接原因] に表示される内容に従って対処してください。 |
| E1710265 | [メッセージ] | エミュレータのシリアル番号の設定に失敗しました。 [直接原因] |
| | [説明] | エミュレータのシリアル番号の設定に失敗した場合に表示されます。 |
| | [対処方法] | [直接原因] に表示される内容に従って対処してください。 |
| E1710266 | [メッセージ] | 指定されたシリアル番号が不正です。 |
| | [説明] | シリアル番号に不正な値を指定した場合に表示されます。 |
| | [対処方法] | 正しいシリアル番号を指定してください。 |
| E1710267 | [メッセージ] | エミュレータから電源供給するかどうかの設定に失敗しました。 [直接原因] |
| | [説明] | エミュレータから電源供給するかどうかの設定に失敗した場合に表示されます。 |
| | [対処方法] | [直接原因] に表示される内容に従って対処してください。 |

| | | |
|----------|---------|---|
| E1710268 | [メッセージ] | エミュレータから供給する電圧値の設定に失敗しました。 [直接原因] |
| | [説明] | エミュレータから供給する電圧値の設定に失敗した場合に表示されます。 |
| | [対処方法] | [直接原因]に表示される内容に従って対処してください。 |
| E1710269 | [メッセージ] | 指定されたエミュレータから供給する電圧値が不正です。 |
| | [説明] | エミュレータから供給する電圧値に不正な値を指定した場合に表示されます。 |
| | [対処方法] | 正しい電圧値を指定してください。 |
| E1710270 | [メッセージ] | ソフトウェア・トレース (LPD 出力) の設定に失敗しました。 [直接原因] |
| | [説明] | ソフトウェア・トレース (LPD 出力) の設定に失敗した場合に表示されます。 |
| | [対処方法] | [直接原因]に表示される内容に従って対処してください。 |
| E1710271 | [メッセージ] | ソフトウェア・トレース (LPD 出力) の削除に失敗しました。 [直接原因] |
| | [説明] | ソフトウェア・トレース (LPD 出力) の削除に失敗した場合に表示されます。 |
| | [対処方法] | [直接原因]に表示される内容に従って対処してください。 |
| E1710272 | [メッセージ] | ソフトウェア・トレース (LPD 出力) の有効に失敗しました。 [直接原因] |
| | [説明] | ソフトウェア・トレース (LPD 出力) の有効に失敗した場合に表示されます。 |
| | [対処方法] | [直接原因]に表示される内容に従って対処してください。 |
| E1710273 | [メッセージ] | ソフトウェア・トレース (LPD 出力) の無効に失敗しました。 [直接原因] |
| | [説明] | ソフトウェア・トレース (LPD 出力) の無効に失敗した場合に表示されます。 |
| | [対処方法] | [直接原因]に表示される内容に従って対処してください。 |
| E1710274 | [メッセージ] | ソフトウェア・トレース (LPD 出力) 情報の取得に失敗しました。 [直接原因] |
| | [説明] | ソフトウェア・トレース (LPD 出力) 情報の取得に失敗した場合に表示されます。 |
| | [対処方法] | [直接原因]に表示される内容に従って対処してください。 |
| E1710275 | [メッセージ] | ソフトウェア・トレース (LPD 出力) ・データの参照に失敗しました。 [直接原因] |
| | [説明] | ソフトウェア・トレース (LPD 出力) ・データの参照に失敗した場合に表示されま す。 |
| | [対処方法] | [直接原因]に表示される内容に従って対処してください。 |
| E1710276 | [メッセージ] | ソフトウェア・トレース (LPD 出力) ・データ取得時の優先度の設定に失敗しまし た。 [直接原因] |
| | [説明] | ソフトウェア・トレース (LPD 出力) ・データ取得時の優先度の設定に失敗した場 合に表示されます。 |
| | [対処方法] | [直接原因]に表示される内容に従って対処してください。 |

| | | |
|----------|---------|--|
| E1710277 | [メッセージ] | ソフトウェア・トレース (LPD 出力) の記録メモリを使い切った後の動作の設定に失敗しました。 [直接原因] |
| | [説明] | ソフトウェア・トレース (LPD 出力) の記録メモリを使い切った後の動作の設定に失敗した場合に表示されます。 |
| | [対処方法] | [直接原因]に表示される内容に従って対処してください。 |
| E1710278 | [メッセージ] | ソフトウェア・トレース (LPD 出力) を使用可能な PE リストの参照に失敗しました。 [直接原因] |
| | [説明] | ソフトウェア・トレース (LPD 出力) を使用可能な PE リストの参照に失敗した場合に表示されます。 |
| | [対処方法] | [直接原因]に表示される内容に従って対処してください。 |
| E1710279 | [メッセージ] | ソフトウェア・トレース (LPD 出力) は対応していません。 |
| | [説明] | ソフトウェア・トレース (LPD 出力) に対応していない場合に表示されます。 |
| E1710280 | [メッセージ] | ソフトウェア・トレース (LPD 出力) ・データのファイル出力に失敗しました。 [直接原因] |
| | [説明] | ソフトウェア・トレース (LPD 出力) ・データのファイル出力に失敗した場合に表示されます。 |
| | [対処方法] | [直接原因]に表示される内容に従って対処してください。 |
| E1710281 | [メッセージ] | 指定したパスに無効な文字が含まれています。 |
| | [説明] | 指定したパスに無効な文字が含まれている場合に表示されます。 |
| | [対処方法] | 正しいパスを指定してください。 |
| E1710282 | [メッセージ] | 指定したパスはファイルではありません。 |
| | [説明] | 指定したパスがファイルでない場合に表示されます。 |
| | [対処方法] | ファイルを指定してください。 |
| E1710283 | [メッセージ] | ソフトウェア・トレース (LPD 出力) ・データがありません。 |
| | [説明] | ソフトウェア・トレース・データが存在しない場合に表示されます。 |
| E1710284 | [メッセージ] | エミュレータから電源供給するかどうかの設定値の参照に失敗しました。 [直接原因] |
| | [説明] | エミュレータから電源供給するかどうかの設定値の参照に失敗した場合に表示されます。 |
| | [対処方法] | [直接原因]に表示される内容に従って対処してください。 |
| E1710285 | [メッセージ] | エミュレータから供給する電圧値の設定値の参照に失敗しました。 [直接原因] |
| | [説明] | エミュレータから供給する電圧値の設定値の参照に失敗した場合に表示されます。 |
| | [対処方法] | [直接原因]に表示される内容に従って対処してください。 |
| E1710286 | [メッセージ] | レジスタ退避バンク情報の取得に失敗しました。 [直接原因] |
| | [対処方法] | [直接原因]に表示される内容に従って対処してください。 |
| E1710287 | [メッセージ] | Switch Area Status の復元に失敗しました。 [直接原因] |

| | | |
|----------|---------|---|
| E1710288 | [メッセージ] | 指定されたバンク番号が不正です。 |
| | [対処方法] | 正しいバンク番号を指定してください。 |
| E1710289 | [メッセージ] | カバレッジ機能を使用する設定が No に設定されています。 |
| E1710290 | [メッセージ] | EI レベルの割り込みの要求に失敗しました。 [直接原因] |
| E1710291 | [メッセージ] | FE レベルの割り込みの要求に失敗しました。 [直接原因] |
| E1710292 | [メッセージ] | NMI 割り込みの要求に失敗しました。 [直接原因] |
| E1710293 | [メッセージ] | 疑似割り込みの発生に失敗しました。 [直接原因] |
| E1710294 | [メッセージ] | 疑似タイマの設定に失敗しました。 [直接原因] |
| E1710295 | [メッセージ] | 疑似タイマの削除に失敗しました。 [直接原因] |
| E1710296 | [メッセージ] | 疑似タイマ情報の取得に失敗しました。 [直接原因] |
| E1720000 | [メッセージ] | CS+ 用 Python 関数の実行で例外が発生しました。 [直接原因] |
| | [説明] | 呼び出された関数内で予期しない例外が発生した場合に表示されます。 |
| E1720010 | [メッセージ] | 指定されたファイルがアクティブプロジェクト内から見つかりませんでした。 |
| | [説明] | 指定されたファイルがアクティブプロジェクトに存在しない場合に表示されます。 |
| E1720011 | [メッセージ] | プロジェクトのクリーンに失敗しました。 [直接原因] |
| | [説明] | プロジェクトのクリーンに失敗した場合に表示されます。 |
| E1720012 | [メッセージ] | 指定されたビルド名が空、もしくは null です。 |
| | [説明] | 引数に空文字、または null が指定された場合に表示されます。 |
| E1720013 | [メッセージ] | ビルドモードの変更に失敗しました。 [直接原因] |
| | [説明] | ビルド・モードの変更に失敗した場合に表示されます。 |
| E1720014 | [メッセージ] | ビルド中かどうかの取得に失敗しました。 [直接原因] |
| | [説明] | ビルド中かどうかのフラグの取得に失敗した場合に表示されます。 |
| E1720015 | [メッセージ] | ライブラリ・ファイルの取得に失敗しました。 [直接原因] |
| | [説明] | ライブラリ・ファイルの取得に失敗した場合に表示されます。 |
| E1720016 | [メッセージ] | ビルド・ツールが見つかりませんでした。 |
| | [説明] | ビルド・ツールが存在しない場合に表示されます。 |
| E1720017 | [メッセージ] | ビルド中の為要求された操作を実行できません。 |
| | [説明] | ビルド中にライブラリ・ファイルに対する操作要求が来た場合に表示されます。 |
| | [対処方法] | ビルドを行っていない状態で再度コマンドを実行してください。 |

| | | |
|----------|---------|---|
| E1720018 | [メッセージ] | ライブラリ・ファイルの取得に失敗しました。 [直接原因] |
| | [説明] | リンク・オプションのライブラリ・ファイルの取得に失敗した場合に表示されま す。 |
| E1720019 | [メッセージ] | ライブラリ・ファイルの設定に失敗しました。 [直接原因] |
| | [説明] | リンク・オプションのライブラリ・ファイルの設定に失敗した場合に表示されま す。 |
| E1720020 | [メッセージ] | 依存関係の更新に失敗しました。 [直接原因] |
| | [説明] | 依存関係の更新に失敗した場合に表示されます。 |
| E1720021 | [メッセージ] | 対応していないビルド・ツールが設定されています。 |
| | [説明] | Python コンソールが対応していないビルド・ツールが設定されている場合に表 示されます。 |
| E1720022 | [メッセージ] | ビルド完了イベント内で例外が発生しました。 [直接原因] |
| | [説明] | BuildCompleted に接続されているメソッド内で例外が発生した場合に表示されま す。 |
| | [対処方法] | 接続されているメソッドを修正してください。 |
| E1720023 | [メッセージ] | 追加できるビルドモードの上限を超えました。 |
| | [説明] | 存在しないビルド・モードを指定した場合、新規に追加されますが、登録可能なビ ルド・モード数の上限を越えた場合に表示されます。 |
| E1720024 | [メッセージ] | インクルード・パスの参照に失敗しました。 [直接原因] |
| | [説明] | コンパイラのプロパティの [追加のインクルード・パス] の参照に失敗した場合に 表示されます。 |
| E1720025 | [メッセージ] | インクルード・パスの設定に失敗しました。 [直接原因] |
| | [説明] | コンパイラのプロパティの [追加のインクルード・パス] への設定に失敗した場 合に表示されます。 |
| E1720026 | [メッセージ] | ビルドモード名が不正です。文字 (\, /, :, *, ?, ", <, >,) は使用できません。 |
| | [説明] | ビルド・モード名に不正な文字が含まれていた場合に表示されます。 |
| | [対処方法] | 不正な文字を含まないビルド・モード名に変更してください。 |
| E1720027 | [メッセージ] | セクションの開始アドレスの参照に失敗しました。 |
| | [説明] | 使用しているリンカがセクションの開始アドレスをサポートしていない場合に表 示されます。 |
| E1720028 | [メッセージ] | セクションの開始アドレスの設定に失敗しました。 |
| | [説明] | 使用しているリンカがセクションの開始アドレスをサポートしていない、または設 定値が不正な場合に表示されます。 |
| | [対処方法] | 設定値が不正な場合は正しい設定値を指定してください。 |
| E1720029 | [メッセージ] | セクション・アライメントの参照に失敗しました。 |
| | [説明] | 使用しているリンカがセクション・アライメントをサポートしていない場合に表 示されます。 |

| | | |
|----------|---------|--|
| E1720030 | [メッセージ] | セクション・アライメントの設定に失敗しました。 |
| | [説明] | 使用しているリンクがセクション・アライメントをサポートしていない、または設定値が不正な場合に表示されます。 |
| | [対処方法] | 設定値が不正な場合は正しい設定値を指定してください。 |
| E1720031 | [メッセージ] | ROM から RAM ヘマップするセクションの参照に失敗しました。 |
| | [説明] | 使用しているリンクが ROM から RAM ヘマップするセクションをサポートしていない場合に表示されます。 |
| E1720032 | [メッセージ] | ROM から RAM ヘマップするセクションの設定に失敗しました。 |
| | [説明] | 使用しているリンクが ROM から RAM ヘマップするセクションをサポートしていない、または設定値が不正な場合に表示されます。 |
| | [対処方法] | 設定値が不正な場合は正しい設定値を指定してください。 |
| E1720033 | [メッセージ] | 外部定義シンボルをファイル出力するセクションの参照に失敗しました。 |
| | [説明] | 使用しているリンクが、外部定義シンボルをファイル出力するセクションをサポートしていない場合に表示されます。 |
| E1720034 | [メッセージ] | 外部定義シンボルをファイル出力するセクションの設定に失敗しました。 |
| | [説明] | 使用しているリンクが、外部定義シンボルをファイル出力するセクションをサポートしていない、または設定値が不正な場合に表示されます。 |
| | [対処方法] | 設定値が不正な場合は正しい設定値を指定してください。 |
| E1720035 | [メッセージ] | ROM 化用オブジェクト・ファイルを出力するの参照に失敗しました。 |
| | [説明] | 使用している ROM 化プロセス・オプションが、[ROM 化用オブジェクト・ファイルを出力する] をサポートしていない場合に表示されます。 |
| E1720036 | [メッセージ] | ROM 化用オブジェクト・ファイルを出力するの設定に失敗しました。 |
| | [説明] | 使用している ROM 化プロセス・オプションが、[ROM 化用オブジェクト・ファイルを出力する] をサポートしていない、または設定値が不正な場合に表示されます。 |
| | [対処方法] | 設定値が不正な場合は正しい設定値を指定してください。 |
| E1720037 | [メッセージ] | 指定した文字列は不正です。 |
| | [説明] | 不正な文字列を指定した場合に表示されます。 |
| E1720038 | [メッセージ] | 指定可能な要素数 xxx を超えたため指定はできません。 |
| | [説明] | 指定可能なリストの要素数を越えた場合に表示されます。 |
| | [対処方法] | 指定可能な要素数以内で指定してください。 |
| E1720039 | [メッセージ] | コンパイラの定義マクロの参照に失敗しました。 [直接原因] |
| | [説明] | コンパイラの定義マクロの参照に失敗した場合に表示されます。 |
| | [対処方法] | [直接原因] に表示される内容に従って対処してください。 |
| E1720040 | [メッセージ] | コンパイラの定義マクロの設定に失敗しました。 [直接原因] |
| | [説明] | コンパイラの定義マクロの設定に失敗した場合に表示されます。 |
| | [対処方法] | [直接原因] に表示される内容に従って対処してください。 |

| | | |
|----------|---------|--|
| E1720041 | [メッセージ] | コンパイラ・パッケージのバージョンの参照に失敗しました。 [直接原因] |
| | [説明] | コンパイラ・パッケージのバージョンの参照に失敗した場合に表示されます。 |
| | [対処方法] | [直接原因]に表示される内容に従って対処してください。 |
| E1720042 | [メッセージ] | 指定したパスに無効な文字が含まれています。 |
| | [対処方法] | 正しいパスを指定してください。 |
| E1720044 | [メッセージ] | プロパティの参照に失敗しました。このプロパティはサポートしていません。 |
| E1720045 | [メッセージ] | プロパティの設定に失敗しました。このプロパティはサポートしていません。 |
| E1720046 | [メッセージ] | プロパティの参照に失敗しました。 [直接原因] |
| E1720047 | [メッセージ] | プロパティの設定に失敗しました。 [直接原因] |
| E1720048 | [メッセージ] | コンパイラ・パッケージのバージョンの設定に失敗しました。 [直接原因] |
| E1720049 | [メッセージ] | コンパイラ・パッケージのバージョンの設定に失敗しました。指定されたバージョンはインストールされていません。 |
| E1720050 | [メッセージ] | 選択されているコンパイラのバージョンを取得できませんでした。 このプロパティは CC-RH V1.02 以上が必要です。 |
| E1720051 | [メッセージ] | このプロパティは CC-RH V1.02 以上が必要です。 |
| E1720052 | [メッセージ] | プロパティの参照に失敗しました。 デバイスが倍精度浮動小数点処理命令 (DPFPU) をサポートし、かつ [命令セット・アーキテクチャ] で DPFPU をサポートした命令セット・アーキテクチャが選択されている必要があります。 |
| E1720053 | [メッセージ] | プロパティの設定に失敗しました。 デバイスが倍精度浮動小数点処理命令 (DPFPU) をサポートし、かつ [命令セット・アーキテクチャ] で DPFPU をサポートした命令セット・アーキテクチャが選択されている必要があります。 |
| E1720054 | [メッセージ] | プロパティの参照に失敗しました。 プロパティ "デバッグ・モニタ領域を設定する" が "はい (範囲指定)" に設定されている必要があります。 |
| E1720055 | [メッセージ] | プロパティの設定に失敗しました。 プロパティ "デバッグ・モニタ領域を設定する" が "はい (範囲指定)" に設定されている必要があります。 |
| E1720056 | [メッセージ] | プロパティの参照に失敗しました。 プロパティ "倍精度浮動小数点演算を使用する" が "いいえ" に設定されている必要があります。 |
| E1720057 | [メッセージ] | プロパティの設定に失敗しました。 プロパティ "倍精度浮動小数点演算を使用する" が "いいえ" に設定されている必要があります。 |
| E1720058 | [メッセージ] | プロパティの参照に失敗しました このプロパティは G3K コアには対応していません。 |
| E1720059 | [メッセージ] | プロパティの設定に失敗しました。 このプロパティは G3K コアには対応していません。 |
| E1720100 | [メッセージ] | CS+ 用 Python 関数の実行で例外が発生しました。 [直接原因] |
| | [説明] | 呼び出された関数内で予期しない例外が発生した場合に表示されます。 |

| | | |
|----------|---------|---|
| E1720101 | [メッセージ] | プロジェクトのクローズに失敗しました。 [直接原因] |
| | [説明] | プロジェクトのクローズに失敗した場合に表示されます。 |
| E1720102 | [メッセージ] | プロジェクトのオープンに失敗しました。 [直接原因] |
| | [説明] | プロジェクトのオープンに失敗した場合に表示されます。 |
| E1720103 | [メッセージ] | プロジェクトにファイルを追加できませんでした。 [直接原因] |
| | [説明] | プロジェクトにファイルの追加が失敗した場合に表示されます。 |
| E1720104 | [メッセージ] | プロジェクトからファイルを外せませんでした。 [直接原因] |
| | [説明] | プロジェクトからファイルを外すのに失敗した場合に表示されます。 |
| E1720105 | [メッセージ] | xxxは見つかりませんでした。 |
| | [説明] | プロジェクトに指定されたファイルが見つからなかった場合に表示されます。 |
| E1720106 | [メッセージ] | アクティブプロジェクトの変更に失敗しました。 [直接原因] |
| | [説明] | アクティブプロジェクトの変更に失敗した場合に表示されます。 |
| E1720107 | [メッセージ] | 指定されたプロジェクトが見つかりませんでした。 |
| | [説明] | 指定されたプロジェクトが見つからなかった場合に表示されます。 |
| E1720108 | [メッセージ] | 指定されたプロジェクトはアクティブプロジェクトになっています。 |
| | [説明] | 指定されたプロジェクトがアクティブプロジェクトとして設定されている場合に表示されます。 |
| E1720109 | [メッセージ] | プロジェクト情報の取得に失敗しました。 [直接原因] |
| | [説明] | プロジェクト情報の取得に失敗した場合に表示されます。 |
| E1720110 | [メッセージ] | 指定されたファイルが存在しません。 |
| | [説明] | 指定されたファイルが存在しない場合に表示されます。 |
| E1720111 | [メッセージ] | デバッグツールが接続されています。プロジェクトを変更する場合はデバッグツールから切断してください。 |
| | [説明] | デバッグ・ツールに接続された状態でアクティブプロジェクトの変更をしようとした場合に表示されます。 |
| E1720112 | [メッセージ] | プロジェクトが読み込まれていません。 |
| | [説明] | プロジェクトが読み込まれていないのにプロジェクトに対して処理を行った場合に表示されます。 |
| E1720113 | [メッセージ] | プロジェクトの保存に失敗しました。 [直接原因] |
| | [説明] | プロジェクトの保存に失敗した場合に表示されます。 |
| E1720114 | [メッセージ] | カテゴリの指定は全て文字列で入力してください。 |
| | [説明] | 指定されたカテゴリが文字列ではなかった場合に表示されます。 |

| | | |
|----------|---------|---|
| E1720115 | [メッセージ] | プロジェクトの状態取得に失敗しました。 [直接原因] |
| | [説明] | CS+ のカレント・プロジェクトの取得に失敗した場合には表示されます。 |
| E1720116 | [メッセージ] | ファイルの確認に失敗しました。 [直接原因] |
| | [説明] | プロジェクト・ファイルの確認に失敗した場合には表示されます。 |
| E1720117 | [メッセージ] | xxx は既に設定されています。 |
| | [説明] | プロジェクトに既に設定されているファイルを追加しようとする则表示されます。 |
| E1720118 | [メッセージ] | 指定されたプロジェクトが見つかりませんでした。 |
| | [説明] | 指定されたプロジェクト・パスが存在しなかった場合には表示されます。 |
| E1720119 | [メッセージ] | プロジェクトのクローズに失敗しました。 |
| | [説明] | プロジェクトのクローズに失敗した場合には表示されます。 |
| E1720120 | [メッセージ] | プロジェクトのオープンに失敗しました。 |
| | [説明] | プロジェクトのオープンに失敗した場合には表示されます。 |
| E1720121 | [メッセージ] | 指定されたプロジェクト・ファイルは開いています。 |
| | [説明] | 指定したプロジェクトが既に開いている場合には表示されます。 |
| | [対処方法] | 異なるプロジェクトを指定してください。 |
| E1720122 | [メッセージ] | ファイルの指定は全て文字列で入力してください。 |
| | [説明] | 指定したファイルが文字列でなかった場合には表示されます。 |
| E1720123 | [メッセージ] | 「ファイル」が見つかりませんでした。 |
| | [説明] | プロジェクト内に [ファイル] カテゴリが発見できなかった場合には表示されます。 |
| E1720124 | [メッセージ] | カテゴリ名は 1 ~ 200 文字内で入力してください。 |
| | [説明] | カテゴリ名が空文字, null, または 1 ~ 200 の範囲外の文字数を指定した場合には表示されます。 |
| | [対処方法] | カテゴリ名は 1 ~ 200 文字内に収めてください。 |
| E1720125 | [メッセージ] | 指定されたデバイス情報が見つかりませんでした。 [直接原因] |
| | [説明] | 指定された MicomType に指定されたデバイス情報が存在しない場合には表示されま す。 |
| | [対処方法] | 存在するデバイス情報を指定してください。 |
| E1720126 | [メッセージ] | 指定された MicomType が不正です。 |
| | [説明] | 指定された MicomType が無効だった場合には表示されます。 |
| | [対処方法] | 有効な MicomType を指定してください。 |
| E1720127 | [メッセージ] | コンパイラが未対応です。 |
| | [説明] | 指定された MicomType に対して、指定されたコンパイラが未対応、または Auto の場合で対応しているコンパイラが見つからなかった場合には表示されます。 |

| | | |
|----------|---------|---|
| E1720128 | [メッセージ] | プロジェクトの作成に失敗しました。 [直接原因] |
| | [説明] | プロジェクトの作成に失敗した場合に表示されます。 |
| | [対処方法] | 表示される直接の原因を解消してください。 |
| E1720129 | [メッセージ] | 指定されたプロジェクトは既に存在しています。 |
| | [説明] | 指定したプロジェクトが既に存在している場合に表示されます。 |
| | [対処方法] | 存在しているプロジェクトを削除するか、別のパスを指定してください。 |
| E1720130 | [メッセージ] | プログラム解析プラグインが読み込まれていません。 |
| | [説明] | プログラム解析プラグインが読み込まれていない場合に表示されます。 |
| | [対処方法] | プラグインの管理 ダイアログで、プログラム解析プラグインを有効にしてください。 |
| E1720131 | [メッセージ] | 指定したパスに無効な文字が含まれています。 |
| | [対処方法] | 正しいパスを指定してください。 |
| E1730000 | [メッセージ] | 実行中にエラーが発生しました。 |
| | [説明] | 例外発生を「True」指定し、Python のコード/スクリプト実行中に例外が発生した場合に表示されます。 |
| | [対処方法] | 正常なコード/スクリプトを実行してください。 |
| E1730001 | [メッセージ] | スクリプトのコンパイルに失敗しました。 |
| | [説明] | スクリプトのコンパイルに失敗した場合に表示されます。 |
| | [対処方法] | 正常なスクリプトを指定してください。 |
| E1730002 | [メッセージ] | コールバックの登録に失敗しました。 [直接原因] |
| | [説明] | コールバック用クラスの登録に失敗した場合に表示されます。 |
| | [対処方法] | サーバの初期化を行ってください。 |
| E1730003 | [メッセージ] | コールバックの登録解除に失敗しました。 [直接原因] |
| | [説明] | コールバック用クラスの登録解除に失敗した場合に表示されます。 |
| | [対処方法] | サーバの初期化を行ってください。 |
| E1800202 | [メッセージ] | エミュレータファームウェア格納用フラッシュ ROM のベリファイエラーが発生しました。 |
| E1810000 | [メッセージ] | 引数の指定に誤りがあります。 |
| E1810001 | [メッセージ] | 未定義のエミュレータファームウェアコマンドを受信しました。 |
| E1810002 | [メッセージ] | 対応していないバージョンのファームウェアを使用している可能性があります。 |
| | [対処方法] | ファームウェアが最新版かどうか確認してください。 |
| E1810200 | [メッセージ] | エミュレータファームウェア格納用フラッシュ ROM のイレズエラーが発生しました。 |
| E1810201 | [メッセージ] | エミュレータファームウェア格納用フラッシュ ROM の書き込みエラーが発生しました。 |
| E1810203 | [メッセージ] | FPGA コンフィグレーションエラーが発生しました。 |
| E1810205 | [メッセージ] | ニックネームがブランク状態で設定されていません。 |

| | | |
|----------|---------|--|
| E1810206 | [メッセージ] | シリアル番号の文字数が許容範囲を超えています。 |
| E1810207 | [メッセージ] | ニックネームの文字数が許容範囲を超えています。 |
| E1810306 | [メッセージ] | 内蔵フラッシュ ROM のイレズエラーが発生しました。フラッシュ ROM が劣化している可能性があります。 |
| E1810307 | [メッセージ] | 内蔵フラッシュ ROM の書き込みエラーが発生しました。フラッシュ ROM が劣化している可能性があります。 |
| E1810309 | [メッセージ] | 周辺クロック (PCLK) 指定が範囲外です。入力クロック (EXTAL) とシステムクロックコントロールレジスタ (SCKCR) の設定を確認してください。 |
| E1810316 | [メッセージ] | 内蔵フラッシュメモリ書き換え時のクロック操作が許可されていないので、内蔵フラッシュメモリを書き換えることができません。 |
| | [対処方法] | デバッグ・ツールの [接続用設定] タブの [内蔵フラッシュ・メモリ書き換え時のクロック操作を許可する] プロパティを [はい] に変更して再接続してください。 |
| E1810317 | [メッセージ] | 内蔵フラッシュメモリを書き換えることができません。EXTAL 値が最低周波数を下回っています。 |
| E1810900 | [メッセージ] | シリアル番号の文字数が許容範囲を超えています。 |
| E1811000 | [メッセージ] | エミュレータに格納されたファームウェアが、デバッグ対象 MCU に対応していません。 |
| | [対処方法] | 正しいファームウェアをダウンロードしてください。 |
| E1811001 | [メッセージ] | エミュレータに格納されたファームウェアは、対応していないバージョンです。 |
| | [対処方法] | ファームウェアが最新版かどうか確認してください。 |
| E1811002 | [メッセージ] | 内部エラー (FFWERR_TMRCTRL_OVER)。 |
| E1811104 | [メッセージ] | ID 認証コードが一致しません。 |
| | [対処方法] | デバッグ・ツールの [接続用設定] タブの [ID コード] プロパティの入力値が正しいか確認してください。入力値が正しい場合は、[ID コードの入力モード] プロパティの指定が正しいか確認してください。 |
| E1811105 | [メッセージ] | JTAG 通信エラーが発生しました。JTAG クロックを下げてお試してください。 |
| | [対処方法] | JTAG クロックを下げて接続できない場合は、ターゲット MCU とエミュレータが正しく接続されているか確認してください。 |
| E1811106 | [メッセージ] | デバイス ID コードが選択したデバイスのものと一致しません。起動時に指定したデバイス名をご確認ください。 |
| | [対処方法] | 起動時に指定したデバイス名が間違っている場合は、プロジェクト・ツリーでマイクロコントローラ・ノードを選択したのち、コンテキスト・メニュー → [マイクロコントローラを変更...] で正しいデバイスを選択してください。 |
| E1811109 | [メッセージ] | エミュレータと MCU が接続できません。MCU の端子状態もしくは MCU の動作モードが正しくない可能性があります。 |
| E1811113 | [メッセージ] | ID 認証処理が正常に行われませんでした。MCU の電源を入れ直し、再接続をお試してください。 |
| E1811114 | [メッセージ] | 内蔵フラッシュ ROM の UB コード領域に USB ブートコードが書かれているため、ユーザブートモードで起動できません。 |
| | [対処方法] | シングルチップモードで起動し、UB コード領域を消去してください。 |
| E1811125 | [メッセージ] | 接続できませんでした。MCU はエミュレータ接続禁止状態です。 |
| E1811136 | [メッセージ] | TM 機能が有効のため、MCU 内蔵フラッシュ ROM の MDE レジスタの BANKMD ビットを指定された内容に書き換えられません。 |

| | | |
|----------|---------|--|
| E1811137 | [メッセージ] | TM 機能が有効かつ FFEE0000h ~ FFEEFFFFh の TM 機能が無効のため、MCU 内蔵フラッシュ ROM の MABKSEL レジスタ BANKSWP ビットを指定された内容に書き換えられません。 |
| E1811300 | [メッセージ] | ペリファイエラーが発生しました。 |
| E1811301 | [メッセージ] | ユーザプログラム実行中に内蔵フラッシュ ROM 領域への書き込みはできません。 |
| E1811303 | [メッセージ] | 未定義の命令が見つかりました。 |
| E1811304 | [メッセージ] | ユーザプログラム実行中のためデータフラッシュ ROM 領域にアクセスできません。 |
| E1811307 | [メッセージ] | MCU 内蔵フラッシュ ROM へのアクセス違反などが発生しているため、フラッシュ書き換えが実行できません。 |
| | [対処方法] | フラッシュ領域を書き換えるプログラムを実行している場合、CS+ のデバッグ機能処理との競合によりフラッシュメモリアクセス違反が発生する可能性があります。 デバッグ・ツールの [デバッグ・ツール設定] タブの [システム] カテゴリ内から以下該当する項目を [はい] に設定してください。 - [内蔵プログラム ROM を書き換えるプログラムをデバッグする] プロパティ - [内蔵データフラッシュを書き換えるプログラムをデバッグする] プロパティ |
| E1811308 | [メッセージ] | MCU 内蔵フラッシュ ROM へのアクセス違反が発生し、フラッシュ書き換えが正常に実行できませんでした。 |
| E1811319 | [メッセージ] | MDE レジスタへのライトデータが起動時に指定されたエンディアンと一致しません。 |
| E1811320 | [メッセージ] | UB コード領域へのライトデータが起動時に指定された内容と一致しません。 |
| E1811324 | [メッセージ] | フラッシュ書き換えモード中のため、内蔵 ROM 領域にアクセスできません。 |
| E1811327 | [メッセージ] | "電圧監視リセット"が発生してデバッグできなくなる可能性があるため、書き込み処理を中断しました。OFS1 レジスタへの書き込み値をご確認ください。 |
| E1811329 | [メッセージ] | OFS1 レジスタへの "電圧監視リセット有効" 設定はできません。 |
| | [対処方法] | 起動時電圧監視 1 リセットを無効にする値を指定してください。 |
| E1811331 | [メッセージ] | 指定ルーチン実行機能用ワーク RAM 領域への書き込みはできません。 |
| | [対処方法] | ワーク RAM のアドレスを変更してください。 |
| E1811332 | [メッセージ] | OFS1 レジスタへの "電圧監視リセット有効" 設定はできません。 |
| | [対処方法] | OFS1 レジスタへの設定値を確認してください。 |
| E1811335 | [メッセージ] | Trusted Memory 領域への書き込みはできません。 |
| | [説明] | Trusted Memory 領域に書き込みを行った場合に表示されます。 |
| | [対処方法] | Trusted Memory 領域に書き込みをしないでください。 |
| E1811348 | [メッセージ] | ワーク RAM は別の用途で使用しています。 |
| E1811349 | [メッセージ] | ブレークイベントによる強制ブレークが発生したため通信エラーが発生しました。 |
| E1811401 | [メッセージ] | シーケンシャル指定イベント番号に誤りがあります。 |
| E1811402 | [メッセージ] | 実行前 PC ブレークと実行 PC 通過イベントのイベント番号が重複しています。 |
| E1811403 | [メッセージ] | 実行 PC 通過イベントとオペランドアクセスのイベント番号が重複しています。 |
| E1811406 | [メッセージ] | ユーザプログラム側でパフォーマンス計測カウンタを操作するモードです。デバッガからパフォーマンス機能の設定を変更できません。 |

| | | |
|----------|---------|--|
| E1811407 | [メッセージ] | 実行前 PC イベントとトレース開始イベントの両方に同じイベントを指定しています。 |
| E1811408 | [メッセージ] | AND/ シーケンシャルに指定したイベントを他の組み合わせには指定できません。 |
| E1811413 | [メッセージ] | 指定されたイベント機能はサポートされていません。 |
| E1811600 | [メッセージ] | ソフトウェアブレークの設定ポイントが最大設定点数 (256 点) を超えています。 |
| E1811601 | [メッセージ] | ソフトウェアブレークが設定されていません。 |
| E1811602 | [メッセージ] | 指定領域はソフトウェアブレークポイント設定不可領域です。 |
| E1811606 | [メッセージ] | ユーザプログラム実行中に内蔵フラッシュ ROM 領域へのソフトウェアブレークは設定できません。 |
| E1811608 | [メッセージ] | CPU 書き換えデバッグ中は、内蔵フラッシュ ROM 領域へのソフトウェアブレークは設定できません。 |
| E1811609 | [メッセージ] | 通過ポイントが設定されているアドレスへ S/W ブレークポイントを設定することはできません |
| E1811613 | [メッセージ] | リセット中のためブレークできませんでした。 |
| E1811700 | [メッセージ] | RAM モニタ設定領域が重複しています。 |
| E1811702 | [メッセージ] | 指定された RAM モニタブロックは動作禁止状態です。 |
| E1811703 | [メッセージ] | RAM モニタ機能は現在使用できません。 |
| E1811902 | [メッセージ] | トレース動作中です。 |
| E1811903 | [メッセージ] | トレースデータがありません。 |
| E1811910 | [メッセージ] | 指定したトレースモードは現在のピン数で設定できません。 |
| E1811911 | [メッセージ] | ROM 空間アドレスの範囲指定に誤りがあります。 |
| E1811912 | [メッセージ] | ウィンドウトレースアドレスの範囲指定に誤りがあります。 |
| E1811913 | [メッセージ] | トレース停止できませんでした。 |
| E1811914 | [メッセージ] | 現在のトレースモードでは、この機能を使用できません。 |
| E1811915 | [メッセージ] | トレース機能は動作していません。 |
| E1811916 | [メッセージ] | トレース機能は使用できません。 |
| | [対処方法] | カバレッジ機能使用時はトレース機能を使用できません。 |
| E1812100 | [メッセージ] | カバレッジ計測設定領域が重複しています。 |
| | [対処方法] | カバレッジ計測範囲は重ならないように設定してください。 |
| E1812101 | [メッセージ] | 指定されたカバレッジ計測ブロックは動作禁止状態です。 |
| | [対処方法] | カバレッジ計測範囲を確認してください。 |
| E1812102 | [メッセージ] | カバレッジデータがありません。 |
| | [対処方法] | カバレッジ計測範囲を確認してください。 |
| E1812103 | [メッセージ] | Warning: カバレッジ情報がロストした可能性があります。 |
| | [対処方法] | ロストが発生したため、カバレッジ計測結果に抜けがある可能性があります。 |
| E1812104 | [メッセージ] | Warning: リセット発生によるカバレッジ計測異常が発生した可能性があります。 |
| | [対処方法] | リセット前後のカバレッジ計測結果に抜けがある可能性があります。 |

| | | |
|----------|---------|---|
| E1812105 | [メッセージ] | Warning: リセット発生によるカバレッジ計測異常、および、カバレッジ情報のロストが発生した可能性があります。 |
| | [対処方法] | カバレッジ計測結果に抜けがある可能性があります。 |
| E1812106 | [メッセージ] | カバレッジ機能は使用できません。 |
| | [対処方法] | エミュレータと PC の接続を確認してください。 |
| E1812500 | [メッセージ] | ユーザプログラムが PPC を使用しています。 |
| E1812501 | [メッセージ] | パフォーマンスカウンタ 1 は使用できません。 |
| E1812502 | [メッセージ] | 現在 PPC 計測中です。 |
| E1812503 | [メッセージ] | 指定されたパフォーマンス機能はサポートされていません。 |
| E1812700 | [メッセージ] | 空きイベント番号がないため、プログラムブレークポイント付き実行できません。 |
| E1812701 | [メッセージ] | ステップ実行開始アドレスが Trusted Memory 領域内のため、ステップ実行できません。 |
| | [説明] | Trusted Memory 領域内のアドレスからステップ実行した場合に表示されます。Trusted Memory 領域内のアドレスからステップ実行できません。 |
| E1812800 | [メッセージ] | 外部フラッシュ ROM のイレーズエラーが発生しました。フラッシュ ROM が劣化している可能性があります。 |
| | [対処方法] | <ol style="list-style-type: none"> (1) 外部フラッシュ定義ファイル (USD ファイル) をロック機能にチェックを入れて作成し直してください。 (2) デバッグ・ツールの [接続用設定] タブの [外部フラッシュ] カテゴリ内 [ダウンロード前に外部フラッシュROM を消去する] プロパティを [いいえ] に設定してください。 |
| E1812801 | [メッセージ] | 外部フラッシュ ROM の書き込みエラーが発生しました。フラッシュ ROM が劣化している可能性があります。 |
| | [対処方法] | 外部フラッシュ定義エディタの RFD ファイル生成タブでセクタ消去時間に 32 秒を越える値を設定していないか確認してください。32 秒を越える値を設定しているとダウンロード時にこれらのエラーが表示される場合があります。 |
| E1812802 | [メッセージ] | 外部フラッシュ ROM のベリファイエラーが発生しました。フラッシュ ROM が劣化している可能性があります。 |
| | [対処方法] | <ol style="list-style-type: none"> (1) 外部フラッシュ定義ファイル (USD ファイル) をロック機能にチェックを入れて作成し直してください。 (2) デバッグ・ツールの [接続用設定] タブの [外部フラッシュ] カテゴリ内 [ダウンロード前に外部フラッシュROM を消去する] プロパティを [いいえ] に設定してください。 |
| E1812803 | [メッセージ] | データをリードできませんでした。外部領域のバス設定が正しくない可能性があります。 |
| E1812804 | [メッセージ] | 外部フラッシュ ROM のメーカー ID またはデバイス ID が一致しません ([0XXXXXXXX-0XXXXXXXX] メーカー ID=XXXX(期待値:XXXX), デバイス ID=XXXX(期待値:XXXX))。 |
| E1812805 | [メッセージ] | 外部フラッシュ ROM 用スクリプトファイルが見つかりません。 |
| E1812806 | [メッセージ] | 外部フラッシュ ROM 用書き込みプログラムダウンロード時にベリファイエラーが発生しました。 |
| E1812807 | [メッセージ] | 外部フラッシュ ROM 用書き込みプログラムダウンロード前後のバッチファイル実行内でベリファイエラーが発生しました。 |
| E1812900 | [メッセージ] | C2E バッファにデータがありません。 |

| | | |
|----------|---------|--|
| E1813000 | [メッセージ] | ユーザプログラム実行中のためコマンド処理を実行できません。 |
| E1813001 | [メッセージ] | ユーザプログラム停止中のためコマンド処理を実行できません。 |
| E1813004 | [メッセージ] | MCU との接続が未完了です。 |
| E1813100 | [メッセージ] | ユーザシステム上の MCU 供給電源が OFF 状態のためコマンド処理を実行できません。 |
| E1813101 | [メッセージ] | ユーザシステム上のリセット端子がアサート状態のためコマンド処理を実行できません。 |
| E1813104 | [メッセージ] | ユーザシステムが接続されていません。 |
| E1813105 | [メッセージ] | ユーザシステムの電源電圧は既に供給されています。 |
| E1813106 | [メッセージ] | ユーザシステム上の MD 端子が 'L' レベル状態のためコマンド処理を実行できません。 |
| E1813201 | [メッセージ] | MCU がリセット状態のためコマンド処理を実行できません。 |
| E1813203 | [メッセージ] | MCU のスタンバイモード中で内部クロックが停止状態です。 |
| E1813204 | [メッセージ] | MCU のスリープモード中で内部クロックが停止状態です。 |
| E1813207 | [メッセージ] | FFWERR_BMCU_DEEPSTANBY |
| E1813208 | [メッセージ] | MCU 内部リセットが発生したためコマンド処理を実行できません。 |
| E1813300 | [メッセージ] | MCU に命令アポートが発生しました。 |
| E1813301 | [メッセージ] | MCU にデータアポートが発生しました。 |
| E1813403 | [メッセージ] | MCU の EMLE 端子が 'H' にならないため接続できません。 |
| E1813404 | [メッセージ] | MCU の TRSTn 端子がコントロールできないため、エミュレータと MCU が接続できません。 |
| E1813405 | [メッセージ] | MCU の TMS 端子がコントロールできないため、エミュレータと MCU が接続できません。 |
| E1813406 | [メッセージ] | MCU のユーザブート指定端子をコントロールできないため、エミュレータと MCU が接続できません。 |
| E1813407 | [メッセージ] | MCU の MD 端子をコントロールできないため、エミュレータと MCU が接続できません。 |
| E1813410 | [メッセージ] | ターゲットシステム上の MCU 供給電源が OFF 状態のためコマンド処理を実行できません。 |
| E1813500 | [メッセージ] | 設定可能なボーレートより低い値が指定されました。 |
| E1813501 | [メッセージ] | 設定可能なボーレートより高い値が指定されました。 |
| E1813502 | [メッセージ] | 内部エラー (FFWERR_ASC1_COMERR)。 |
| E1813503 | [メッセージ] | 内部エラー (FFWERR_ASC1_COMOV)。 |
| E1813504 | [メッセージ] | シリアル通信でフレーミングエラーが発生しました。 |
| E1813505 | [メッセージ] | シリアル通信でオーバーランエラーが発生しました。 |
| E1813506 | [メッセージ] | シリアル通信でパリティエラーが発生しました。 |
| E1813507 | [メッセージ] | シリアルデータ送信中にタイムアウトエラーが発生しました。 |
| E1813508 | [メッセージ] | シリアルデータ受信中にタイムアウトエラーが発生しました。 |
| E1813509 | [メッセージ] | ユーザリセット解除中にタイムアウトエラーが発生しました。 |
| E1813512 | [メッセージ] | シリアルデータ送信中にタイムアウトエラーが発生しました。 |

| | | |
|----------|---------|--|
| E1813600 | [メッセージ] | シリアル通信源クロックの切り替えにより正常に通信できなくなりました。ボーレートを下げて再接続をお試しください。 |
| E1813700 | [メッセージ] | ファームウェア領域が破損しています。デバッグを再度接続してください。 |
| E1814000 | [メッセージ] | タイムアウトエラーが発生しました。MCU 供給電源が OFF 状態です。 |
| E1814001 | [メッセージ] | タイムアウトエラーが発生しました。MCU がリセット状態です。 |
| | [対処方法] | - マイコンへの供給電圧が正しいか確認してください。 - マイコンの RESET 端子が Low レベルになっていないか確認してください。 |
| E1814003 | [メッセージ] | タイムアウトエラーが発生しました。MCU のスタンバイモード中で内部クロックが停止状態です。 |
| E1814004 | [メッセージ] | タイムアウトエラーが発生しました。MCU のスリープモード中で内部クロックが停止状態です。 |
| E1814016 | [メッセージ] | タイムアウトエラーが発生しました。MCU がスリープモードに遷移しました。 |
| E1814017 | [メッセージ] | MCU とのデバッグ認証切れ状態です。 |
| E1814300 | [メッセージ] | タイムアウトエラーが発生しました。ターゲットシステムと接続されていません。 |
| E1814301 | [メッセージ] | タイムアウトエラーが発生しました。ターゲットシステム上の MCU 供給電源が OFF 状態のためコマンド処理を実行できません。 |
| E1814302 | [メッセージ] | タイムアウトエラーが発生しました。ターゲットシステム上の RESET 端子がアクティブ状態のためコマンド処理を実行できません。 |
| E1814600 | [メッセージ] | 指定されたエンディアンと不一致であるためホットプラグできません。 |
| E1814601 | [メッセージ] | 指定された UB コードと不一致であるためホットプラグできません。 |
| E1814602 | [メッセージ] | 起動モードがユーザブートモードのためホットプラグできません。 |
| E1814603 | [メッセージ] | 指定されたバンクモードが一致しないためホットプラグできません。 |
| E1814604 | [メッセージ] | 指定された起動バンクが一致しないためホットプラグできません。 |
| E1814700 | [メッセージ] | モニタプログラム処理でタイムアウトが発生しました。エラーが特定できません。 |
| E1814701 | [メッセージ] | DAP の STICKY エラーが発生しました。エラーが特定できません。 |
| E1814702 | [メッセージ] | DAP との通信で、ACK が WAIT から OK になりませんでした。 |
| E1814703 | [メッセージ] | DAP との通信で、想定外の ACK (FAULT/WAIT/OK 以外) が返ってきました。もしくはプロトコルエラーが発生しました。 |
| E1814704 | [メッセージ] | SWD の ACK で FAULT が発生しました。 |
| E1814800 | [メッセージ] | E2 拡張インタフェースの停止要求が発生しました。 |
| E1814801 | [メッセージ] | E2 拡張インタフェースのオーバーフローが発生しました。 |
| E1814903 | [メッセージ] | モニタプログラム処理でタイムアウトが発生しました。エラーが特定できません。 |
| E1814904 | [メッセージ] | BFW 処理でタイムアウトが発生しました。 |
| E1814905 | [メッセージ] | タイムアウトが発生しました。DAP の STICKY エラーが発生しています。エラーが特定できません。 |
| E1815000 | [メッセージ] | EFW 処理でタイムアウトエラーが発生しました。エラー箇所が特定できません。 |

| | | |
|----------|---------|--|
| E1815001 | [メッセージ] | エミュレータファームウェア処理でタイムアウトエラーが発生しました。 |
| | [対処方法] | <p>本エラーは、マイコンが正常に動作できない場合や、マイコンとエミュレータ間の結線に誤りがある場合に表示されます。考えられる要因はさまざまですが、以下に一例を記載します。</p> <ul style="list-style-type: none"> - マイコンとエミュレータコネクタ間の結線が正しいか見直してください。 - マイコンとエミュレータコネクタ間のケーブルを延長している場合は標準のケーブルで接続してみてください。 - マイコンとエミュレータコネクタ間にフィルタ回路などが構成されていないか確認してください。 フィルタ回路が挿入されている場合は、一時的に取り外して動作を確認してみてください。 - マイコンが動作するために必要な端子（VCC, GND, RESET 端子などの各種通信端子および電源やリセット系の端子）が正しく処理されているか確認してください。 - マイコンに接続された発振回路が正しく発振しているか確認してください。 - マイコンを IC ソケット付けで使用している場合、IC ソケット、マイコン間に接触不良がないか確認してください。 - ユーザシステム上のマイコンとデバッグ起動時に指定したマイコンの品名が一致しているか確認してください。 - マイコン動作電源電圧や動作周波数が規定内の設定になっているか確認してください。 |
| E1815002 | [メッセージ] | START/STOP 時の指定ルーチン実行処理でタイムアウトエラーが発生しました。 |
| E1815003 | [メッセージ] | 通過ポイント用モニタプログラム実行でタイムアウトエラーが発生しました。 |
| E1816000 | [メッセージ] | デバッグの処理中断要求によりファームウェア処理を中断しました。 |
| E1816100 | [メッセージ] | デバッグの処理中断要求を正常に終了することができませんでした。エミュレータファームウェアの処理を継続実行しています。 |
| E1816101 | [メッセージ] | デバッグの処理中断要求を正常に終了することができませんでした。EFW の処理を継続実行しています。 |
| E1817000 | [メッセージ] | 致命的な通信エラーが発生しました。デバッグを切断した後、ターゲット基板との接続コネクタが正しく挿入できているか確認し、エミュレータの電源を入れなおし、デバッグを再起動してください。 |
| | [説明] | ホストマシンとエミュレータ間の USB 通信に異常がある場合に表示されます。 |
| | [対処方法] | ターゲット基板との接続コネクタが正しく挿入できているか確認し、USB ケーブルを再接続してデバッグを再起動してください。 解決しない場合は、エミュレータからの電源供給ではなく外部電源での動作を試してください。 |
| E1817001 | [メッセージ] | 通信エラーが発生しました。エミュレータファームウェアから受信したスタートコードが異常です。エミュレータの電源を入れなおし、デバッグを再起動してください。 |
| E1817002 | [メッセージ] | 通信エラーが発生しました。エミュレータファームウェアから受信したコマンドコードが異常です。エミュレータの電源を入れなおし、デバッグを再起動してください。 |
| E1817003 | [メッセージ] | 通信エラーが発生しました。エミュレータファームウェアから未定義のエラーコード・処理中断コードを受信しました。又はエラーコード・処理中断コードの組み合わせが不正です。エミュレータの電源を入れなおし、デバッグを再起動してください。 |
| E1817004 | [メッセージ] | 通信エラーが発生しました。エミュレータファームウェアから受信したデータ（スタートコード、コマンドコード、エラーコード、処理中断コードを除く）が異常です。エミュレータの電源を入れなおし、デバッグを再起動してください。 |

| | | |
|----------|---------|---|
| E1817005 | [メッセージ] | 通信エラーが発生しました。エミュレータファームウェアにコマンド送信時、受信バッファにデータが残っています。前回のコマンド結果受信時、想定以上のデータを受信しました。エミュレータの電源を入れなおし、デバッグを再起動してください。 |
| E1817006 | [メッセージ] | 通信エラーが発生しました。エミュレータファームウェアとの最初のコマンド送受信時にエラーが発生しました。エミュレータの電源を入れなおし、デバッグを再起動してください。 |
| E1817007 | [メッセージ] | 通信エラーが発生しました。USB 転送サイズ変更後にエラーが発生しました。エミュレータの電源を入れなおし、デバッグを再起動してください。 |
| E1818000 | [メッセージ] | ファームウェア書き換えプログラムが見つかりません。デバッグを再インストールしてください。 |
| E1818001 | [メッセージ] | WTR(内蔵フラッシュメモリ書き込みプログラム) がロードされていません。 |
| E1818002 | [メッセージ] | サポートしていない機能が実行されました。 |
| | [説明] | 本エミュレータでは動作しない操作です。 |
| E1818003 | [メッセージ] | メモリの確保に失敗しました。 |
| | [対処方法] | 不要なパネルを閉じるなどして、メモリを確保してください。 |
| E1818004 | [メッセージ] | BFW ファイルがオープンできませんでした。 |
| E1818005 | [メッセージ] | 指定された MCU ファイルが見つかりませんでした。 |
| E1830000 | [メッセージ] | 引数の指定に誤りがあります。 |
| E1830001 | [メッセージ] | 対応していないバージョンのシミュレータを使用している可能性があります。 |
| | [対処方法] | シミュレータが最新版かどうか確認してください。 |
| E1830107 | [メッセージ] | メモリ領域の確保に失敗しました。 |
| E1830108 | [メッセージ] | メモリアクセスエラーが発生しました。 |
| E1830200 | [メッセージ] | イベントの設定ポイントが最大設定点数を超えています。 |
| E1830201 | [メッセージ] | 指定したイベントが設定されていません。 |
| E1830202 | [メッセージ] | 指定した通過回数が範囲外です。 |
| E1830203 | [メッセージ] | 指定したデータがアクセスサイズを超えています。 |
| E1830204 | [メッセージ] | 指定したデータ範囲に誤りがあります。比較データ 1 を比較データ 2 より小さくしてください。 |
| E1830205 | [メッセージ] | 指定した割り込みベクタ番号が範囲外です。 |
| E1830206 | [メッセージ] | 指定した割り込み優先順位が範囲外です。 |
| E1830700 | [メッセージ] | トレース動作中です。 |
| E1830701 | [メッセージ] | トレースデータがありません。 |
| E1830702 | [メッセージ] | 指定したフレームのトレースデータがありません。 |
| E1830800 | [メッセージ] | タイマ計測中のため本機能は使用できません。 |
| | [対処方法] | 本機能は、タイマ計測停止中に使用してください。 |
| E1830801 | [メッセージ] | 範囲外のチャンネル番号が指定されました。 |
| | [対処方法] | 設定可能な範囲のチャンネル番号を指定してください。 |
| E1830802 | [メッセージ] | 指定したチャンネル番号に計測区間が設定されていません。 |
| | [対処方法] | 計測区間が設定されているチャンネル番号を指定してください。 |

| | | |
|----------|---------|---|
| E1831301 | [メッセージ] | C2E バッファにデータがありません。 |
| E1831400 | [メッセージ] | I/O DLL のロードに失敗しました。I/O DLL 名:" ファイル名" |
| E1831500 | [メッセージ] | システムクロックの動作周波数が範囲外です。 |
| E1831501 | [メッセージ] | 周辺クロック比に誤りがあります。 |
| E1833000 | [メッセージ] | ユーザプログラム実行中のためコマンド処理を実行できません。 |
| E1833001 | [メッセージ] | ユーザプログラム停止中のためコマンド処理を実行できません。 |
| E1838002 | [メッセージ] | サポートしていない機能が実行されました。 |
| E1890001 | [メッセージ] | アドレス範囲が不正です。開始アドレスを終了アドレスより小さくしてください。 |
| E1890002 | [メッセージ] | 実行中のメモリアクセス禁止の設定が有効になっているため処理を中断しました。 |
| E1890003 | [メッセージ] | この機能は実行中に使用できないため処理を中断しました。 |
| E1890004 | [メッセージ] | 指定されたアドレスはターゲットマイコンの最大アドレスを超えています。 |
| E1890101 | [メッセージ] | 内蔵フラッシュ・メモリを書き換えるプログラムをデバッグする場合、本機能を使用できません。 |
| E1890324 | [メッセージ] | 通信エラーが発生しました。 |
| E1890400 | [メッセージ] | 設定に必要なブロック数を確保できませんでした。アドレス範囲を見直すか、他のブロックを解除してください。 |
| E1890500 | [メッセージ] | 指定したアドレス範囲はコードカバレッジ RAM の容量 (2M バイト) を超えています。 |
| E1890501 | [メッセージ] | 指定したアドレス範囲はコードカバレッジ RAM の容量 (1M バイト) を超えています。 |
| E1890502 | [メッセージ] | コードカバレッジ機能は無効です。メモリの割り当てを行うことはできません。 |
| E1890600 | [メッセージ] | 指定したアドレス範囲はデータカバレッジ RAM の容量 (512k バイト) を超えています。 |
| E1890601 | [メッセージ] | データカバレッジ機能は無効です。メモリの割り当てを行うことはできません。 |
| E1890900 | [メッセージ] | 設定に必要なブロック数を確保できませんでした。アドレス範囲を見直すか、他のブロックを解除してください。 |
| E1890901 | [メッセージ] | 指定したアドレス範囲はプロファイル RAM の容量 (1M バイト) を超えています。 |
| E1891102 | [メッセージ] | これ以上初期化抜け検出用に RAM モニタブロックを割り当てることはできません。 |
| E1891103 | [メッセージ] | セクション名が入力されていません。 |
| E1891104 | [メッセージ] | セクション名が正しくありません。 |
| E1891105 | [メッセージ] | 変数名が入力されていません。 |
| E1891106 | [メッセージ] | 変数名が正しくありません。 |
| E1891107 | [メッセージ] | 開始アドレスが入力されていません。 |
| E1891108 | [メッセージ] | 終了アドレスが入力されていません。 |
| E1891150 | [メッセージ] | 範囲外のチャンネル番号が指定されました。 |
| E1891151 | [メッセージ] | パフォーマンス計測中のため結果を取得できません。 |
| E1891152 | [メッセージ] | 動作周波数が未設定のため、カウント値を時間に変換できません。 |
| E1891200 | [メッセージ] | 解析命令数が逆アセンブリの最大行数を超えています。 |

| | | |
|----------|---------|--|
| E1891201 | [メッセージ] | トレースデータがありません。 |
| E1891202 | [メッセージ] | 指定されたサイクルのトレースデータがありません。 |
| E1891203 | [メッセージ] | 逆アセンブル解析に失敗しました。 |
| E1891204 | [メッセージ] | トレースサイクル取得に失敗しました。 |
| E1891300 | [メッセージ] | トリガケーブルが接続されていません。 |
| E1891301 | [メッセージ] | 一時ファイルの作成に失敗しました。 |
| E1891302 | [メッセージ] | エミュレータへの転送が失敗しました。 |
| E1891304 | [メッセージ] | イベント数が多すぎます。 |
| E1891308 | [メッセージ] | アドレスが範囲外です。 |
| E1891309 | [メッセージ] | アドレス値が不正です。 |
| E1891310 | [メッセージ] | アドレスが範囲外です。 |
| E1891311 | [メッセージ] | 実行中は変更出来ません。 |
| E1891312 | [メッセージ] | このイベント組み合わせ条件は、現在別のデバッグ機能に使用されています。 |
| E1891313 | [メッセージ] | 実行中はトレースフルブレーク設定を変更出来ません。 |
| E1891314 | [メッセージ] | そのアドレスには、すでにオンチップブレークポイントが設定されています。 |
| E1891315 | [メッセージ] | これ以上オンチップブレークポイントを追加することはできません。 |
| E1891316 | [メッセージ] | 対象イベントが見つかりません。 |
| E1891317 | [メッセージ] | イベント付加情報取得に失敗しました。 |
| E1891318 | [メッセージ] | マスク値が不正です。 |
| E1891319 | [メッセージ] | 比較値が不正です。 |
| E1891320 | [メッセージ] | パス・カウント値が不正です。 |
| E1891321 | [メッセージ] | パス・カウント値が範囲外です。 |
| E1891323 | [メッセージ] | 式解析できませんでした。イベントを作成できません。 |
| E1891324 | [メッセージ] | 周波数値が不正です。 |
| E1891325 | [メッセージ] | シーケンシャル組み合わせの Orderxx イベントが不正か登録上限を超えています。 |
| E1891326 | [メッセージ] | シーケンシャル組み合わせのリセットイベントが不正です。 |
| E1891327 | [メッセージ] | 共有状態のイベントの有効/無効は変更できません。 |
| E1891328 | [メッセージ] | イベントを有効にできませんでした。 |
| E1891329 | [メッセージ] | AND 組み合わせ条件と状態遷移組み合わせ条件が同時に使用されています。 |
| E1891331 | [メッセージ] | パス・カウントは1つのイベントにのみ指定可能です。 |
| E1891332 | [メッセージ] | データアクセスイベントは3番目までに使用出来ます。 |
| E1891333 | [メッセージ] | アドレス範囲を指定したイベントは1番目にのみ設定可能です。 |
| E1891334 | [メッセージ] | PC イベントの最大数を超えました。 |
| E1891335 | [メッセージ] | パス・カウントを有効にしたイベントはリセットイベントには設定できません。 |
| E1891336 | [メッセージ] | アドレス範囲指定は複数のイベントに設定できません。 |
| E1891337 | [メッセージ] | アドレス範囲指定イベントと、シーケンシャル条件の1番目へのデータアクセスイベント登録が同時に行われました。同時に指定できません。 |

| | | |
|----------|---------|---|
| E1891338 | [メッセージ] | データアクセスイベントの最大数を超えました。 |
| E1891355 | [メッセージ] | 組み合わせ条件に指定されたイベント数が最大値を超えています。 |
| E1891356 | [メッセージ] | RAM モニタ機能使用時は選択出来ません。 |
| E1891358 | [メッセージ] | データアクセスイベントはリセットイベントには設定できません。 |
| E1891359 | [メッセージ] | データアクセスイベントは2番目までに使用出来ます。 |
| E1891360 | [メッセージ] | そのアドレスには、すでに PC ブレークが設定されています。 |
| E1891361 | [メッセージ] | これ以上 PC ブレークを追加することはできません。 |
| E1891363 | [メッセージ] | 指定されたイベント番号は既に使用されています。 |
| E1891364 | [メッセージ] | 指定されたアドレス条件に誤りがあります。 |
| E1891365 | [メッセージ] | 指定されたアクセス属性に誤りがあります。 |
| E1891366 | [メッセージ] | 指定されたアクセスサイズに誤りがあります。 |
| E1891367 | [メッセージ] | チャンネル指定に誤りがあります。 |
| E1891368 | [メッセージ] | 指定された計測項目に誤りがあります。 |
| E1891369 | [メッセージ] | 指定されたイベント種別では AND/ シーケンシャル組み合わせを設定できません。 |
| E1891372 | [メッセージ] | 指定された組み合わせ条件に誤りがあります。 |
| E1891373 | [メッセージ] | 指定されたアドレス比較条件に誤りがあります。 |
| E1891374 | [メッセージ] | 指定されたデータ比較条件に誤りがあります。 |
| E1891375 | [メッセージ] | 組み合わせ条件で指定されたイベントが不正です。 |
| E1891500 | [メッセージ] | これ以上ブロックを設定することはできません。 |
| E1891501 | [メッセージ] | これ以上テーブルを設定することはできません。 |
| E1891600 | [メッセージ] | これ以上ブロックを設定することはできません。 |
| E1891601 | [メッセージ] | これ以上テーブルを設定することはできません。 |
| E1891602 | [メッセージ] | 全体の範囲が最大ブロックサイズをオーバーしています。 |
| E1891603 | [メッセージ] | タスク ID の入力値は 3FF までです。 |
| E1891604 | [メッセージ] | 開始/終了アドレスの取得が失敗しました。 |
| E1891605 | [メッセージ] | タスク ID の取得が失敗しました。 |
| E1891606 | [メッセージ] | タスク ID 値は無効です。 |
| E1891607 | [メッセージ] | 領域サイズオーバーです。 |
| E1891608 | [メッセージ] | タスク ID は既に設定されています。 |
| E1891609 | [メッセージ] | 既に範囲設定されています。 |
| E1891610 | [メッセージ] | ブロック変換に失敗しました。 |
| E1891700 | [メッセージ] | 操作がキャンセルされました。 |
| E1891701 | [メッセージ] | ユーザシステムが接続されていません。エミュレータとユーザシステムの接続を確認してください。 |
| E1891702 | [メッセージ] | ユーザシステムに電源が供給されています。エミュレータからの電源供給をしないように設定してください。 |
| E1891703 | [メッセージ] | 無効な電源電圧が指定されました。電源供給設定を確認してください。 |

| | | |
|----------|---------|--|
| E1891704 | [メッセージ] | ユーザシステムの電源を入れてください。または、エミュレータから電源供給するように設定してください。 |
| E1891705 | [メッセージ] | 不正な文字列が含まれます： |
| E1891706 | [メッセージ] | xx 文字以内で入力してください。 |
| E1891707 | [メッセージ] | ユーザシステムとエミュレータが接続されていないことを確認してください。 |
| E1891708 | [メッセージ] | ユーザシステムとエミュレータを接続してください。 |
| E1891710 | [メッセージ] | 異なる MCU 用のファームウェアがダウンロードされています。 |
| E1891711 | [メッセージ] | 供給電源電圧が低下しています。 |
| E1891712 | [メッセージ] | 本エミュレータでは電源供給できません。ユーザシステムに外部電源を接続してください。 |
| E1891713 | [メッセージ] | メイン・クロック周波数の値が正しく入力されていません。 |
| | [対処方法] | デバッグ・ツールの [接続用設定] タブの [メイン・クロック周波数 [MHz]] プロパティに正しい値を入力してください。 |
| E1891714 | [メッセージ] | ワーク RAM アドレスが正しく入力されていません。 |
| | [対処方法] | デバッグ・ツールの [接続用設定] タブの [ワーク RAM 開始アドレス] プロパティに内蔵 RAM 領域の範囲内のアドレスを指定してください。 |
| E1891715 | [メッセージ] | ワーク RAM が内蔵 RAM 領域範囲外です。 |
| | [対処方法] | デバッグ・ツールの [接続用設定] タブの [ワーク RAM 開始アドレス] プロパティに内蔵 RAM 領域の範囲内のアドレスを指定してください。 |
| E1891716 | [メッセージ] | LEVEL0 が不正値です。ファームウェアをダウンロードできません。 |
| E1891717 | [メッセージ] | LEVEL0 のバージョンが一致しません。 |
| E1891718 | [メッセージ] | 電源電圧を指定してください。 |
| E1891719 | [メッセージ] | MCU グループおよびデバイスを選択してください。 |
| E1891721 | [メッセージ] | 電源電圧が 5.9V を超えています。ユーザシステムの設定を確認してください。 |
| E1891722 | [メッセージ] | ファームウェアの更新が完了しました。[OK] ボタンを押した後に E1 の場合は USB ケーブルを挿し直して下さい。E20 の場合は、エミュレータの電源を入れ直してください。 |
| E1891723 | [メッセージ] | LEVEL EML が不正値です。ファームウェアをダウンロードできません。 |
| E1891724 | [メッセージ] | 入力クロックは xx に丸められました。 |
| E1891725 | [メッセージ] | すでにユーザシステムが接続されているためホットプラグインで起動できません。プログラムはリセットされました。 |
| | [対処方法] | ユーザ・システムからエミュレータを外した状態でホット・プラグイン起動してください。「ホット・プラグインの準備が完了しました。」とのメッセージダイアログが表示されたらユーザ・システムとエミュレータを接続し、メッセージダイアログの [OK] ボタンをクリックしてください。 |
| E1891726 | [メッセージ] | エミュレータと MCU が接続できません。ユーザシステム上の MD 端子またはユーザブート指定端子の状態を確認してください。 |
| E1891727 | [メッセージ] | 指定されたエンディアンと CPU のエンディアンが一致していません。 |
| | [対処方法] | デバッグ・ツールの [接続用設定] タブの [エンディアン] の指定が正しいか確認してください。 |
| E1891728 | [メッセージ] | ユーザ基板に供給されている Vcc 値が正しく入力されていません。 |
| | [対処方法] | Vcc 値を入力してください。 |

| | | |
|----------|---------|--|
| E1891800 | [メッセージ] | USD ファイルに定義されているエンディアンと CPU のエンディアンが一致していません。 |
| E1891801 | [メッセージ] | マイコンの外部アドレス空間以外へ割り付けることはできません。USD ファイルの内容を確認してください。 |
| E1891802 | [メッセージ] | アドレスの割付範囲が重複しています。USD ファイルの内容を確認してください。 |
| E1891803 | [メッセージ] | USD ファイルが見つかりません。 |
| E1891804 | [メッセージ] | アドレスが正しく入力されていません。 |
| E1891805 | [メッセージ] | アドレス範囲が不正です。 |
| E1891806 | [メッセージ] | ワーク RAM が RAM 領域範囲外です。 |
| E1891807 | [メッセージ] | カスタムプログラムのサイズが上限を超えています。 |
| E1891808 | [メッセージ] | CS 領域の境界を越えた割り付けはできません。USD ファイルの内容を確認してください。 |
| E1891809 | [メッセージ] | xxx のセクタ情報が前回ロード時と異なっています。xxx を使用しますか？ |
| E1891810 | [メッセージ] | シングルチップモードの場合、USD ファイル情報は登録できません。USD ファイル情報を削除しますか？ |
| E1891900 | [メッセージ] | スタート/ストップ関数を再設定してください。 |
| E1896000 | [メッセージ] | 指定されたアドレスはターゲットマイコンの最大アドレスを超えています。 |
| E1896100 | [メッセージ] | ストリーム I/O エラーが発生しました。 |
| E1896101 | [メッセージ] | 未定義命令例外が発生しました。 |
| E1896102 | [メッセージ] | 特権命令例外が発生しました。 |
| E1896103 | [メッセージ] | アクセス例外が発生しました。 |
| E1896104 | [メッセージ] | 浮動小数点例外が発生しました。 |
| E1896105 | [メッセージ] | メモリアクセスエラーが発生しました。 |
| E1896106 | [メッセージ] | 割り込み情報が不正です。 |
| E1896107 | [メッセージ] | 周辺機能へのメモリアクセスでエラーが発生しました。 |
| E1899000 | [メッセージ] | エミュレータ (xxx) に接続できません。 |
| | [対処方法] | ホスト・マシンにエミュレータを接続しているか確認して下さい。 解決しない場合は、エミュレータの USB ドライバが正しくインストールされていない可能性があります。CS+ もしくはエミュレータ USB ドライバを再インストールしてください。 |
| E1899050 | [メッセージ] | そのアドレスには、すでにソフトウェアブレイクが設定されています。 |
| E1899051 | [メッセージ] | これ以上ソフトウェアブレイクを追加することはできません。 |
| E1899100 | [メッセージ] | トレース抽出イベントにはデータアクセスイベントのみ登録可能です。 |
| E1899101 | [メッセージ] | 指定されたイベント種別には実行アドレスイベントのみ指定可能です。 |
| E1899900 | [メッセージ] | 未定義のエラーです。 |
| E1899901 | [メッセージ] | I/F 未サポートです。 |
| E1899902 | [メッセージ] | メモリの確保に失敗しました。 |
| E1899903 | [メッセージ] | MCU ファイルの読み込みに失敗しました。 |
| E1899904 | [メッセージ] | デバイスドライバが見つからないため、接続をキャンセルしました。 |

| | | |
|----------|---------|--|
| E1899905 | [メッセージ] | システムリセットを発行しました。 |
| E1899906 | [メッセージ] | ファイルのオープンに失敗しました。 |
| E1899907 | [メッセージ] | ファイルの読み込みに失敗しました。 |
| E1899908 | [メッセージ] | この機能は実行中に使用できないため処理を中断しました。 |
| E2000002 | [メッセージ] | ファイルオープンエラー: xxxxyyzzz |
| | [説明] | 指定されたファイルをオープンしようとしてエラーが発生したとき、このメッセージが表示されます。 |
| | [対処方法] | ファイルが存在するか確認してください。 ファイルへのアクセス権を確認してください。 |
| E2000003 | [メッセージ] | ファイル保存エラー: xxxxyyzzz |
| | [説明] | 指定されたファイルを保存しようとしてエラーが発生したとき、このメッセージが表示されます。 |
| | [対処方法] | ファイルが書き込み可能かどうか確認してください。 メモリ不足により保存に失敗している場合は、対象のエディタ パネル以外のパネルをすべて閉じて、再度保存してください。 |
| E2000004 | [メッセージ] | 検索または置換に失敗しました。 |
| | [説明] | 検索・置換の操作を実行しようとしてエラーが発生したとき、このメッセージが表示されます。 |
| E2000006 | [メッセージ] | 最大のメモリ使用量を超えたので、ファイルを開くことができません。 |
| | [説明] | 最大のメモリ使用量を越えるような、巨大なファイルや、非常に多くのファイルをオープンしようとしたとき、このメッセージが表示されます。 |
| | [対処方法] | 他にファイル・サイズの大きいファイルを開いている場合は、そのファイルを閉じた後、再度ファイル・オープンを実行してください。 |
| E2000007 | [メッセージ] | クリップボードに対してコピーサイズが大きすぎるため、コピーできません。 |
| | [説明] | クリップボードには、現在の OS の状態に応じてメモリの限界があります。 クリップボードより大きなサイズのデータをコピーしようとした場合に、このメッセージが表示されます。 |
| | [対処方法] | 選択範囲のサイズを小さくして、コピーを行ってください。 または、ほかにファイル・サイズの大きいファイルを開いている場合は、そのファイルを閉じた後、コピーを行ってください。 |
| E2000008 | [メッセージ] | 指定行へのジャンプダイアログの式が不正です。 |
| | [説明] | 指定行へのジャンプダイアログには、アドレスに変換可能な行番号か式のみ入力できます。 |
| E2000009 | [メッセージ] | ブックマークの数が上限値 (50) に達しました。既存のブックマークの削除を検討してください。 |
| | [説明] | 登録可能なブックマークの最大数以上にブックマークを登録しようとした場合に、表示されます。 |
| E2000010 | [メッセージ] | ブレーク・イベントを設定できませんでした。 |
| | [説明] | エディタ パネルでブレーク・ポイントを設定できなかった場合に表示されます。 |
| | [対処方法] | [エラーの直接原因] に表示されているメッセージを元に対処してください。 |
| E2000011 | [メッセージ] | ブレーク・イベントを削除できませんでした。 |
| | [説明] | エディタ パネルでブレーク・ポイントを削除できなかった場合に表示されます。 |
| | [対処方法] | [エラーの直接原因] に表示されているメッセージを元に対処してください。 |

| | | |
|----------|---------|---|
| E2000012 | [メッセージ] | 検索または置換に失敗しました。 |
| | [説明] | 検索, または置換に失敗した場合に表示されます。 |
| E2000013 | [メッセージ] | 指定したファイル xxx を開けませんでした。 |
| | [説明] | エディタ パネルでファイルを開けなかった場合に表示されます。 |
| | [対処方法] | ファイルへのアクセス権を確認してください。 |
| E2000014 | [メッセージ] | 一時ファイルの作成に失敗しました。 |
| | [説明] | ファイル保存時に作成する一時ファイルの作成に失敗した場合に表示されます。 |
| E2000017 | [メッセージ] | クリップボードへのコピーに失敗しました。 |
| | [説明] | エディタ パネルでクリップボードへのコピーに失敗したときに表示されます。 |
| E2200001 | [メッセージ] | 指定されたデバイス・ファイルが見つかりません。 |
| | [説明] | -df オプションで指定されたデバイス・ファイルが存在しない場合に表示されます。 |
| E2200002 | [メッセージ] | 指定されたデバイス・ファイルを開けません。 |
| | [説明] | -df オプションで指定されたデバイス・ファイルを開けない場合に表示されます。 |
| E2200003 | [メッセージ] | デバイス・ファイルを指定して下さい。 |
| | [説明] | -df オプションでデバイス・ファイルが指定されていない場合にに表示されます。 |
| E2200004 | [メッセージ] | 致命的なエラーが発生しました。 |
| | [説明] | 予期しない例外が発生したときに表示されます。直前に発生した例外のスタックトレースを出力します。 |
| E2200011 | [メッセージ] | I/O ヘッダ・ファイルを生成できませんでした。 |
| | [説明] | I/O ヘッダ・ファイルへの書き込みに失敗した場合に表示されます。 |
| | [対処方法] | 指定したパスが存在するか, 書き込み禁止になっていないかを確認してください。 |
| E2201001 | [メッセージ] | デバイス・ファイルを読み込みませんでした (フォーマットが不正)。 |
| | [説明] | デバイス・ファイルの読み込みに失敗しました。デバイス・ファイルではないファイルが指定されました。 |
| E2201002 | [メッセージ] | デバイス・ファイルを読み込みませんでした (未対応のフォーマット)。 |
| | [説明] | デバイス・ファイルの読み込みに失敗しました。未対応のフォーマット・バージョンのデバイス・ファイルです。 |
| E2201003 | [メッセージ] | デバイス・ファイルを読み込みませんでした (未対応のデバイス品種)。 |
| | [説明] | デバイス・ファイルの読み込みに失敗しました。未対応の品種のデバイス・ファイルです。 |
| E2201004 | [メッセージ] | デバイス・ファイルを読み込みませんでした (未対応のデバイス品種のバージョン)。 |
| | [説明] | デバイス・ファイルの読み込みに失敗しました。未対応の品種バージョンのデバイス・ファイルです。 |

| | | |
|----------|---------|---|
| E2300001 | [メッセージ] | ソースヘジャンプに失敗しました。 |
| | [説明] | [ソースヘジャンプ] メニュー実行時に何かしらの例外が発生したときに表示されます。 |
| | [対処方法] | 指定された位置にソース情報がない可能性があります。その場合、ここからはジャンプできません。 対象のソース・ファイルが存在するかどうか確認してください。 デバッグ・ツールに接続できているか確認してください。 |
| E2300003 | [メッセージ] | 検索または置換に失敗しました。 |
| | [説明] | 何らかの理由で検索または置換に失敗した場合に表示されます。 |
| | [対処方法] | メモリが不足している場合があります。 |
| E2300004 | [メッセージ] | 保存する列がありません。 |
| | [説明] | ファイル出力時に出力する列が存在しない場合に表示されます。 |
| | [対処方法] | 列の選択ダイアログで保存したい列を表示してください。 |
| E2300005 | [メッセージ] | 保存する行がありません。 |
| | [説明] | ファイル出力時に出力する行が存在しない場合に表示されます。 |
| | [対処方法] | フィルタ設定ダイアログで保存した行を表示してください。 |
| E2300006 | [メッセージ] | 行数が Excel の制限値を越えたため保存に失敗しました。 |
| | [説明] | 行数が Excel の制限値を越えた場合に表示されます。 |
| | [対処方法] | フィルタ設定 ダイアログで表示行を 65535 以下にしてください。 |
| E2300007 | [メッセージ] | 排他制御チェック・ツールの実行に失敗しました。 |
| | [説明] | 何らかの理由で排他制御漏れのチェックに失敗した場合に表示されます。 |
| | [対処方法] | 指定された条件に間違いがある可能性があります。 チェック対象のプログラムが実行可能か確認してください。 デバッグ・ツールが正しく実行できるか確認してください。 |
| E2300008 | [メッセージ] | 疑似エラー・デバッグの開始に失敗しました。 |
| E2300009 | [メッセージ] | CAN 受信デバッグの開始に失敗しました。 |
| | [対処方法] | マルチコア・デバイスのプロジェクトの場合は、同期デバッグ・モードで CAN 受信デバッグを行ってください。 未設定項目がないか確認してください。 設定反映アドレスにすでにイベント (特にソフトウェア・ブレークポイント) が設定されていないか確認してください。 |
| E2300010 | [メッセージ] | 実行中の CAN 受信デバッグの設定の反映に失敗しました。 |
| | [対処方法] | CAN 受信デバッグ パネルの設定内容が正しいことを確認してください。 |
| E2300011 | [メッセージ] | CAN 送信フレームのインポートに失敗しました。 |
| | [対処方法] | 送信フレーム・ファイルが壊れていないか確認してください。 |
| E2300012 | [メッセージ] | 消費電流測定の開始に失敗しました。 |
| | [対処方法] | 測定条件、トリガ条件、通過ポイントの各種設定に問題がないか確認してください。 |
| E2300013 | [メッセージ] | 通過ポイントの設定に失敗しました。設定可能な通過ポイント数の上限は xxx です。 |
| | [対処方法] | 設定する通過ポイント数を上限数以下にしてください。 |

| | | |
|----------|---------|---|
| E2300014 | [メッセージ] | 通過ポイントの有効化に失敗しました。有効化可能な通過ポイント数の上限は xxx です。 |
| | [対処方法] | 有効化する通過ポイント数を上限数以下にしてください。 |
| E2300015 | [メッセージ] | 電流値データファイルの読み込みに失敗しました。 |
| | [対処方法] | 読み込み可能な電流値データ・ファイルを指定してください。 |
| E2300016 | [メッセージ] | CAN 受信処理時間測定を開始に失敗しました。 |
| | [対処方法] | 測定条件、DBTAG の各種設定に問題がないか確認してください。 |
| E2300017 | [メッセージ] | DBTAG 挿入ポイントの設定に失敗しました。すでに xxx は設定されています。 |
| | [対処方法] | 同じ DBTAG は複数の箇所に挿入できません。すでに設定済みの挿入ポイントを削除してください。 |
| E2300018 | [メッセージ] | DBTAG 挿入ポイントの設定に失敗しました。すでにこの行には DBTAG 挿入ポイントが設定されています。 |
| | [対処方法] | 同じファイル行に複数の DBTAG 挿入ポイントは設定できません。別の場所に設定してください。 |
| E2400000 | [メッセージ] | エミュレータとの通信時に通信エラーが発生しました (RFWERR_COM)。デバッグを切断した後、USB ケーブルを再接続してください。その後エミュレータの電源を入れ直し、デバッグを再起動してください。 |
| E2400256 | [メッセージ] | 引数の指定に誤りがあります。 |
| E2401285 | [メッセージ] | LPD 通信でエラーが発生しました。エラーが特定できません。 |
| E2430518 | [メッセージ] | イベント本数よりも多いイベントを設定しました。 |
| E2430519 | [メッセージ] | サポートしていないイベント機能を設定しました。 |
| E2430525 | [メッセージ] | イベントがハードブレーク、トレース等に設定されています。 |
| E2430526 | [メッセージ] | 未サポートのアドレスが設定されています。 |
| E2431024 | [メッセージ] | ソフトウェアブレークポイントの設定数が最大設定点数を超えています。 |
| E2440000 | [メッセージ] | ユーザプログラム実行中のためコマンド処理を実行できません。 |
| E2440002 | [メッセージ] | MCU との接続が完了していません。 |
| E2440256 | [メッセージ] | ユーザシステム上の MCU 供給電源が OFF 状態のためコマンド処理を実行できません。 |
| E2440773 | [メッセージ] | 非同期デバッグモード中のため E2 拡張機能を有効化できません。 |
| E2440774 | [メッセージ] | E2 エミュレータ以外では E2 拡張機能は有効化できません。 |
| E2440775 | [メッセージ] | PC 上のメモリを確保できませんでした。 |
| E2441280 | [メッセージ] | E2 拡張機能が無効状態のためコマンド処理を実行できません。 |
| E2441281 | [メッセージ] | 指定の E2 拡張インターフェースは無効状態のため設定できません。 |
| E2441282 | [メッセージ] | 指定した E2 拡張インターフェースは使用されていないためコマンド処理を実行できません。 |
| E2441284 | [メッセージ] | 指定したチャンネルは使用されていないためコマンド処理を実行できません。 |
| E2441285 | [メッセージ] | 指定した E2 トリガはサポートしていません。 |
| E2441286 | [メッセージ] | 指定した E2 トリガは無効 (条件が未設定) であるため使用できません。 |
| E2441287 | [メッセージ] | E2 トリガが指定していません。 |
| E2441288 | [メッセージ] | シングル E2 トリガに複数個の要因を設定できません。 |

| | | |
|----------|---------|---|
| E2441289 | [メッセージ] | 指定したマルチ E2 トリガ・アクションはすでに使用されているため指定できません。 |
| E2441290 | [メッセージ] | E2 トリガは E2 アクションにリンクされているため消去できません。 |
| E2441291 | [メッセージ] | E2 トリガがレベル型アクションにリンクされているため変更できません。 |
| E2441292 | [メッセージ] | E2 トリガがパルス型アクションにリンクされているため変更できません。 |
| E2441293 | [メッセージ] | パルス型アクションにレベル型 E2 トリガを設定できません。 |
| E2441294 | [メッセージ] | レベル型アクションにパルス型 E2 トリガを設定できません。 |
| E2441295 | [メッセージ] | E2 拡張機能のブレークイベントは使用されていないためコマンド処理を実行できません。 |
| E2441296 | [メッセージ] | E2 拡張機能のトレース停止機能が無効状態のためコマンド処理を実行できません。 |
| E2441299 | [メッセージ] | E2 拡張機能のトレース停止は使用されていないためコマンド処理を実行できません。 |
| E2441300 | [メッセージ] | 指定した機能は端子共通のため同時に使用できません。 |
| E2441301 | [メッセージ] | 指定した機能は排他機能であるため同時に使用できません。 |
| E2441302 | [メッセージ] | 無効化しようとした機能は使用中のため変更できません。 |
| E2441303 | [メッセージ] | 消費電流測定機能が無効状態のためコマンド処理を実行できません。 |
| E2441304 | [メッセージ] | 消費電流測定は使用されていないためコマンド処理を実行できません。 |
| E2441305 | [メッセージ] | CAN モニタ機能が無効状態のためコマンド処理を実行できません。 |
| E2441306 | [メッセージ] | 指定した CAN モニタのチャネルは使用されていないためコマンドを実行できません。 |
| E2441307 | [メッセージ] | ソフトウェア・トレース (LPD) が無効状態のためコマンド処理を実行できません。 |
| E2441308 | [メッセージ] | 通過ポイントが無効状態のためコマンド処理を実行できません。 |
| E2441309 | [メッセージ] | デバッガの「フラッシュ書き換えを許可する」オプションをいいえに選択した場合、コマンドを実行できません。 |
| E2441310 | [メッセージ] | 指定したアドレスが NOP 命令ではないので、ソフトウェアブレーク方式の通過ポイントが設定できません。 |
| E2441311 | [メッセージ] | デバッグ機能のブレークポイントに設定しているアドレスに通過ポイントは設定できません。 |
| E2441312 | [メッセージ] | 他の通過ポイント条件番号に指定済みのアドレスです。 |
| E2441313 | [メッセージ] | 指定した通過ポイント条件番号が設定されていません。 |
| E2441314 | [メッセージ] | 記録ファイルがロードされていません。 |
| E2441315 | [メッセージ] | 記録ファイルがすでにロードされています。 |
| E2441316 | [メッセージ] | 記録ファイルのオープンに失敗しました。 |
| E2441317 | [メッセージ] | 記録ファイルのデータ検索に失敗しました。 |
| E2441318 | [メッセージ] | 記録ファイルの読み出しに失敗しました。 |
| E2441319 | [メッセージ] | 記録ファイルの書き込みに失敗しました。 |
| E2441320 | [メッセージ] | 記録ファイルのクローズに失敗しました。 |
| E2441321 | [メッセージ] | 記録ファイルのフォーマットが不正です。 |
| E2441322 | [メッセージ] | FPGA のフレーム異常です (スタートビット)。 |

| | | |
|----------|---------|--|
| E2441323 | [メッセージ] | FPGA のフレーム異常です (フレームタイプ)。 |
| E2441324 | [メッセージ] | FPGA のフレーム異常です (サイズ)。 |
| E2441325 | [メッセージ] | E2 エミュレータからターゲットへ電源供給していないため、消費電流測定を有効に設定できません。 |
| E2441328 | [メッセージ] | E2 拡張インターフェースに電源供給していないため、E2 拡張機能が使用できません。 |
| E2441329 | [メッセージ] | 指定した機能が無効状態のため、コマンド処理を実行できません。 |
| E2441330 | [メッセージ] | タイムスタンプがオーバーフローしたため、計測結果は返せません。 |
| E2441331 | [メッセージ] | 指定した E2 拡張機能はサポートしていません。 |
| E2441332 | [メッセージ] | 外部トリガ出力のアクティブレベルが未選択のためコマンド処理を実行できません。 |
| E2441333 | [メッセージ] | 指定した E2 トリガとの組み合わせはサポートしていません。 |
| E2441334 | [メッセージ] | FPGA の SRAM オーバーフローが発生しました。 |
| E2441335 | [メッセージ] | FPGA の SFIFO オーバーフローが発生しました。 |
| E2441336 | [メッセージ] | ソフトウェア・トレース (LPD) が記録できない状態です。 ソフトウェア・トレース (LPD) の記録を有効にする場合は、デバッグを再起動してください。 |
| E2441339 | [メッセージ] | ワーク RAM は既に別の用途で使用しています。 |

5.3 インフォメーション

表 5.3 インフォメーション

| | | |
|----------|---------|--|
| M0120001 | [メッセージ] | xxx が起動中のため、インストールは中断されました。次回ツール起動時に再開されます。 |
| M0120002 | [メッセージ] | アップデートを有効にするには、システムを再起動する必要があります。 |
| M0120003 | [メッセージ] | 依存するアップデートのインストールが中断されたため、インストールは中断されました。次回ツール起動時に再開されます。 |
| M0140033 | [メッセージ] | すべての CS+ 関連ツールがアンインストールされたので、統合アンインストーラを削除します。 |
| | [説明] | 統合アンインストーラで、表示されているすべての CS+ 関連ツールのアンインストールが完了したときに表示されます。 |
| M0140044 | [メッセージ] | 以下の製品も同時にインストールを行いました。 - xxx : この製品用の最新の Service Pack および セキュリティ更新プログラムを Windows Update および Microsoft Update を使用してインストールしてください。 |
| | [説明] | インストールが必要な環境のインストールで再起動の要求無くすべてが成功したときに、続けて実行される統合インストーラの画面をクローズするときに表示されません。 |
| M0190000 | [メッセージ] | ライセンス情報の読み込みに失敗しました。ファイルが壊れています。もう一度ライセンス・キーを入力してください。 |
| M0190010 | [メッセージ] | フローティング・ライセンス・サーバの想定より古いバージョンのライセンス・マネージャを使用しています。 ライセンス・マネージャをアップデートしてください。 |
| M0190011 | [メッセージ] | ライセンス・マネージャの想定より古いバージョンのフローティング・ライセンス・サーバに接続しています。 フローティング・ライセンス・サーバをアップデートしてください。 |
| M0191000 | [メッセージ] | Critical Error : xxx |
| M0191200 | [メッセージ] | Error : xxx |
| M0191400 | [メッセージ] | Warning : xxx |
| M0191600 | [メッセージ] | Required license : xxx |
| M0191601 | [メッセージ] | Local license found. |
| M0191602 | [メッセージ] | Needs renewal. |
| M0191603 | [メッセージ] | Expired. |
| M0191604 | [メッセージ] | Invalid. |
| M0191605 | [メッセージ] | Released. |
| M0191606 | [メッセージ] | Upper level licesne : xxx |
| M0191607 | [メッセージ] | Get new licesne : xxx |
| M0191608 | [メッセージ] | Supported : xxx licenses |
| M0191800 | [メッセージ] | Command : xxx |
| M0191801 | [メッセージ] | Getting license : xxx |
| M0191802 | [メッセージ] | Connecting : xxx |

| | | |
|----------|---------|--|
| M0191803 | [メッセージ] | Getting upper level license : xxx |
| M0191804 | [メッセージ] | Getting supported licenses : xxx |
| M0191805 | [メッセージ] | Getting license as offline mode :xxx |
| M0191806 | [メッセージ] | Releasing license : xxx |
| M0200001 | [メッセージ] | 技術問い合わせ窓口の連絡先を登録してください。 |
| M0200002 | [メッセージ] | 以下のプラグインが無効になっています。 xxxxxxxxxxxxx : 有効にするには、[プラグインの管理]ダイアログを使用します。 |
| | [説明] | 基本プラグイン、追加プラグインが無効になっていることを通知します。 |
| M0200003 | [メッセージ] | プロキシ認証の設定ダイアログを表示したくない場合は、[オプション]ダイアログの[ネットワーク]-[プロキシ認証の設定ダイアログを開かない]チェック・ボックスをチェックしてください。 |
| | [説明] | CS+ 起動後はじめてプロキシ認証の設定ダイアログを表示したときに表示され ます。 |
| M0201001 | [メッセージ] | 指定されたパスは書き込み禁止です。 |
| | [説明] | プロジェクトのコンバート、プロジェクトの流用、プロジェクトのパック機能を実 行した際に生成されるログ・ファイルの書き込みに失敗した場合に表示されます。 |
| | [対処方法] | エクスプローラなどでフォルダへの書き込みを許可してください。 |
| M0201003 | [メッセージ] | データをファイルに保存中です。 |
| | [説明] | データをファイルに保存しているときに、処理中表示 ダイアログに表示する文字 列です。 |
| M0201004 | [メッセージ] | ユーザによって処理がキャンセルされました。 |
| | [説明] | 実行していた処理が、ユーザによる操作でキャンセルされたことを示します。 |
| M0201005 | [メッセージ] | 指定されたファイルは書き込み禁止です。 |
| | [説明] | ファイルの上書き確認後に、指定されたファイルが書き込み禁止の場合に表示され ます。 |
| | [対処方法] | エクスプローラなどでフォルダへの書き込みを許可してください。 |
| M0201006 | [メッセージ] | フォルダを追加中です。 |
| | [説明] | エクスプローラからプロジェクト・ツリーへフォルダをドロップし、フォルダ内容 を追加しているときに表示されます。 |
| M0201007 | [メッセージ] | xxx を開いています。 |
| | [説明] | ファイルを開いているときに表示されます。 |
| M0201008 | [メッセージ] | xxx のエンコード (yyy) で表現できない文字を置換してから保存しました。 |
| | [説明] | エディタで開いているファイルを保存時、指定されたエンコードで正しく保存でき ない場合に表示されます。 |
| | [対処方法] | エンコードを変更してから保存してください。 |
| M0202001 | [メッセージ] | PM+ のプロジェクトを読み込んでいます。 |
| | [説明] | PM+ のプロジェクト・ファイル読み込み中に処理中表示 ダイアログに表示されま す。 |

| | | |
|----------|---------|--|
| M0202002 | [メッセージ] | プロジェクト・ファイルを作成中です。 |
| | [説明] | プロジェクト・ファイル作成中に処理中表示 ダイアログに表示されます。 |
| M0202003 | [メッセージ] | プロジェクトを読み込んでいます。 |
| | [説明] | プロジェクト・ファイル読み込み中に処理中表示 ダイアログに表示されます。 |
| M0202004 | [メッセージ] | プロジェクト・ファイルを変換中です。 |
| | [説明] | 他製品のプロジェクト・ファイルを変換中に処理中表示 ダイアログに表示されま す。 |
| M0202005 | [メッセージ] | プロジェクトをパック中です。 |
| | [説明] | 他製品のプロジェクト・ファイルを変換中に処理中表示 ダイアログに表示されま す。 |
| M0202006 | [メッセージ] | プロジェクトを読み込んでいます。 |
| | [説明] | プロジェクト・ファイル読み込み中に処理中表示 ダイアログに表示されます。 |
| M0202007 | [メッセージ] | xxx は yyy 用のプロジェクトではありません。 |
| | [説明] | 別のパッケージのプロジェクトを読み込もうとした場合に表示されます。 |
| | [対処方法] | 正しいパッケージの CS+ でプロジェクトを読み込んでください。 |
| M0202008 | [メッセージ] | ご利用の<コンパイラ名>のメジャー・バージョンが変更されました。使用する< コンパイラ名>のライセンス種別をご確認ください。 |
| | [説明] | プロジェクト読み込み時に、前回保存時のコンパイラバージョンからメジャー・ バージョンの変更がある場合に表示します。 |
| | [対処方法] | コンパイラの新バージョンのライセンス有無、種別 (Standard/Professional) がを確 認してください。または [使用するコンパイラ・パッケージのバージョン] プロパ ティを変更してください。 |
| M0204001 | [メッセージ] | ロード・モジュールを xxx へダウンロード中です。 |
| | [説明] | ダウンロード中は、ダウンロードしているファイル名がメッセージの次々行に表示 されます。 |
| M0204002 | [メッセージ] | xxx に、接続処理中です。 |
| | [説明] | 接続しているときに、処理中表示 ダイアログに表示されます。 |
| M0204003 | [メッセージ] | プロキシ認証の設定ダイアログを表示したくない場合は、[オプション]ダイアロ グの [ネットワーク][プロキシ認証の設定ダイアログを開かない] チェック・ボッ クスをチェックしてください。 |
| | [説明] | 接続しているときに、処理中表示 ダイアログに表示されます。 |
| M0204004 | [メッセージ] | ホット・プラグインの準備中です。 エミュレータ・ファームウェアの更新が必要な場合、自動的に更新を行います。 接続が完了するまでは USB および電源は切断しないでください。 |
| | [説明] | ホットプラグインの準備中に、処理中表示 ダイアログに表示されます。 |
| M0206001 | [メッセージ] | 検索中です。 |
| | [説明] | 「<現在のプロジェクト名>内」、「プロジェクト以下すべて」、「指定フォルダ以下 (<指定されたフォルダ名>)」を指定して検索中に処理中表示 ダイアログが表示さ れます。 |

| | | |
|----------|---------|--|
| M0209001 | [メッセージ] | ステップ・インは次の理由により実行できませんでした。 XXXXXXXXXXXX |
| | [説明] | ステップ・イン・メニュー実行時に例外が発生したときに表示されます。 |
| | [対処方法] | 詳細は出力された XXXXXXXXXXXX を確認してください。 |
| M0209002 | [メッセージ] | ステップ・オーバーは次の理由により実行できませんでした。 XXXXXXXXXXXX |
| | [説明] | ステップ・オーバー・メニュー実行時に例外が発生したときに表示されます。 |
| | [対処方法] | 詳細は出力された XXXXXXXXXXXX を確認してください。 |
| M0210001 | [メッセージ] | 実行しようとした状態保存機能は現在の製品ライセンスでは使用できないため、キャンセルされました。 |
| | [説明] | 状態保存・復元時、および状態保存に関する追加のライセンスがない時に発生します。 |
| | [対処方法] | 状態保存機能が使用可能なライセンスに切り替えてください。 |
| M0210002 | [メッセージ] | 巻き戻し用の RAM とレジスタの値の保存ができませんでした。 |
| | [説明] | 状態保存に失敗した場合に発生します。 |
| | [対処方法] | - ディスクの容量を確認してください。 - メモリに問題がないか確認してください。 - ターゲットとの接続を確認してください。 |
| M0210003 | [メッセージ] | ファイル (xxx) に RAM とレジスタの値が保存されました。 |
| | [説明] | 状態保存された際に表示されます。 |
| M0210004 | [メッセージ] | ファイル (xxx) から RAM とレジスタの値が復帰されました。 |
| | [説明] | 状態復帰された際に表示されます。 |
| M0223001 | [メッセージ] | デバッグ対象ソース・ファイルの追加を行いました。いくつかのファイルはプロジェクトに登録できませんでした。 |
| | [説明] | デバッグ専用プロジェクトにおいて、ダウンロード時に、ロードモジュールに含まれているソース・ファイルを自動で追加します。そのときに、プロジェクトのファイル登録数の上限を越えたためにファイルを登録できない場合に表示されます。 |
| | [対処方法] | 登録されている不要なファイルを削除してください。 |
| M0225001 | [メッセージ] | 一部のプロジェクトでスタンダード版ライセンスを使用しています。 |
| | [説明] | プロジェクトを開いたとき、スタンダード版以外のフローティング・ライセンスが取得できなかった場合に表示します。 |
| | [対処方法] | - フローティング・ライセンスの数が足りているかを確認してください。 - フローティング・ライセンスに関係するネットワークやサーバーが稼働しているかどうかを確認してください。 |
| M0225002 | [メッセージ] | サブプロジェクト (xxx) でスタンダード版ライセンスを使用しています。 |
| | [説明] | サブプロジェクトを追加したとき、スタンダード版以外のフローティング・ライセンスが取得できなかった場合に表示します。 |
| | [対処方法] | - フローティング・ライセンスの数が足りているかを確認してください。 - フローティング・ライセンスに関係するネットワークやサーバーが稼働しているかどうかを確認してください。 |

| | | |
|----------|---------|---|
| M0229001 | [メッセージ] | プロジェクトに登録されていないファイルがあります。詳細は、[出力]パネルの[すべてのメッセージ]タブを参照してください。 |
| | [説明] | リンク順設定 ダイアログにてインポートしたファイル中に、プロジェクトに登録されていないファイルが記述されている場合に表示されます。 |
| | [対処方法] | プロジェクトにファイルを登録してください。 |
| M0233001 | [メッセージ] | [エディタ]パネルを開けなかったため、[逆アセンブル]パネルで現在のPC位置を開きます。 |
| | [説明] | 実行停止時に、新しいエディタ パネルを開けないときに表示されます。 |
| | [対処方法] | - 一度に開くことのできるエディタ パネルの上限は 100 パネルです。不要なパネルを閉じてから新しく開いてください。 - ソース・ファイルを開くための権限を持っているか確認してください。 |
| M0244001 | [メッセージ] | メモリを初期化中です。 |
| | [説明] | メモリ初期化 ダイアログにて、メモリの初期化処理中に、処理中表示 ダイアログに表示する文字列です。 |
| M0249001 | [メッセージ] | ツリーの xxx に到達しましたが、指定値はありませんでした。 |
| | [説明] | SFR パネル /IOR パネルの値の検索で移動したときに、移動方向に指定した値がない場合に表示されます。 |
| M0251001 | [メッセージ] | トレース・データを取得しています。 |
| | [説明] | トレース パネルのデータ取得に時間が掛かる場合に表示されます。 |
| M0268001 | [メッセージ] | フォルダの異なる同名ソース・ファイルがあります。個別コンパイル・オプションを有効にして「出力ファイル名」プロパティに他と重複しない名前を設定してください。 |
| | [説明] | プロジェクト変換中にフォルダの異なる同名ソース・ファイルを検出した場合に表示されます。 |
| M0269001 | [メッセージ] | メモリ・マッピング情報を生成しています。 処理を中断する場合は [ESC] キーまたは [キャンセル] ボタンを押してください。 |
| | [説明] | メモリ・マッピング情報を取得しているときに表示されます。 |
| M0269002 | [メッセージ] | 処理を中断する場合は [ESC] キーを押してください。 |
| | [説明] | メモリ・マッピング情報を取得しているときに表示されます。 |
| M0270001 | [メッセージ] | パフォーマンス計測中です。(実施したオプション・パターン数 / オプション・パターン数) 処理を中断する場合は [ESC] キーまたは [キャンセル] ボタンを押してください。 |
| | [説明] | 最適化性能のデータを収集しているときに表示されます。 |
| M0271001 | [メッセージ] | 品質記録用データを出力中です。 xxx |
| | [説明] | 品質記録用データを出力しているときに表示されます。xxxには、出力している項目名が表示されます。 |
| M0273001 | [メッセージ] | マニュアル・データを更新しました。 |
| | [説明] | スマート・マニュアルのデータを更新した時に表示されます。 |
| M0291001 | [メッセージ] | xxx を生成しました。 |
| | [説明] | iodefine.h の生成に成功した場合に表示されます。 |

| | | |
|----------|---------|---|
| M0291002 | [メッセージ] | デバイスが変更されました。[I/O ヘッダ・ファイル生成] を実行してヘッダ・ファイルを更新してください。 |
| | [説明] | プロジェクトオープン時に、デバイスの変更を検出した場合に表示されます。 |
| M0291003 | [メッセージ] | デバイス・ファイルが更新されています。[I/O ヘッダ・ファイル生成] を実行してヘッダ・ファイルを更新してください。 |
| | [説明] | プロジェクトオープン時に、デバイス・ファイル・バージョンの変更を検出した場合に表示されます。 |
| M0291004 | [メッセージ] | CS+ のバージョンが古いことにより次のビルド・ツールを無効にしました。使用するには CS+ をアップデートしてください。 |
| | [説明] | プロジェクトオープン時、基準コア・メジャー・バージョンを越えるビルド・ツールを非表示にした場合に表示されます。 |
| | [対処方法] | 問題なければそのまま使用してください。または、CS+ をアップデートしてください。 |
| M0292001 | [メッセージ] | HEW のプロジェクトを読み込んでいます。 |
| | [説明] | HEW のプロジェクト・ファイル読み込み中に、処理中表示 ダイアログに表示されます。変換を伴うため、時間がかかると思われます。 |
| M0293000 | [メッセージ] | コンパイラ名 : [使用するライブラリ・ファイル] より次のライブラリを外しました。 XXXXXXXXXXXXX : |
| | [説明] | [コンパイル・オプション] タブの [最適化 (詳細)] カテゴリにある [大域最適化を行う] プロパティで [はい (レベル 3)] を選択した場合で、使用するライブラリ・ファイルを削除する場合に出力パネルに表示されます。 |
| M0293001 | [メッセージ] | マイクロコントローラが異なるため [構成するアプリケーション・プロジェクト] の設定を削除しました。 |
| | [説明] | プロジェクト読み込み時に、関連付けされたプロジェクト同士でデバイスが異なっている場合に表示されます。 |
| M0293002 | [メッセージ] | [セクションの開始アドレス] プロパティの値に "xxx" がありますが、デバイスに PEyyy コアは存在しません。[セクションの開始アドレス] プロパティを見直してください。 |
| | [説明] | ビルド時、[セクションの開始アドレス] プロパティに存在しないコアのリセット・ベクタ・アドレスのプレースホルダが設定されている場合に表示されます。 |
| | [対処方法] | [セクションの開始アドレス] プロパティに正しい値を設定してください。 |
| M0294000 | [メッセージ] | CC-RL : [使用するライブラリ・ファイル] より次のライブラリを外しました。 |
| | [説明] | [コンパイル・オプション] タブの [最適化 (詳細)] カテゴリにある [大域最適化を行う] プロパティで [はい (レベル 3)] を選択した場合で、使用するライブラリ・ファイルを削除する場合に、出力パネルに表示されます。 |
| M0294001 | [メッセージ] | ビルド・ツールのプロパティの [DSP アセンブラのフォルダ] の値を確認・設定してください。 |
| | [説明] | 対応デバイスでプロジェクト作成に成功した場合に、出力パネルに、表示されません。 |
| M0295001 | [メッセージ] | ビルド・ツールのプロパティの [コンパイラ・パッケージのフォルダ] の値を確認・設定してください。 |
| | [説明] | GHSCCRH850 のプロジェクト作成に成功した場合に表示されます。 |
| M0300001 | [メッセージ] | 端子番号 端子番号 番の設定を未使用に変更しました。 |

| | | |
|----------|---------|---|
| M0409000 | [メッセージ] | xxx を生成しました。 |
| M0409001 | [メッセージ] | ファイルを作成しません : |
| M0409002 | [メッセージ] | ファイル生成先フォルダ : xxx |
| M0409003 | [メッセージ] | ファイルの生成を完了しました。 |
| M0409004 | [メッセージ] | xxx を書き込みました。 |
| M0409005 | [メッセージ] | 端子番号 xxx 番を yyy から zzz に変更しました。 |
| M0409006 | [メッセージ] | 端子配置へ反映しません。 |
| M0409007 | [メッセージ] | 端子配置への反映が終了しました。 |
| M0409008 | [メッセージ] | 設定情報を次のファイルに出力しました : |
| M0409009 | [メッセージ] | ウォッチドッグ・タイマの設定は '使用しない' です。 |
| M0409010 | [メッセージ] | ウォッチドッグ・タイマの設定は '使用する' です。 |
| M0409011 | [メッセージ] | 電圧検出回路の設定は '使用しない' です。外部リセットを使用しない場合は、周辺機能の電源検出回路設定で '使用する' を選択し再度コード生成してください。 |
| M0409012 | [メッセージ] | 電圧検出回路の設定は '使用する' です。 |
| M0409013 | [メッセージ] | オンチップ・デバッグ機能の設定は '使用しない' です。オンチップ・デバッグ機能を使用する場合は、周辺機能の共通 / クロック発生回路 - オンチップ・デバッグ設定で '使用する' を選択し再度コード生成してください。 |
| M0409014 | [メッセージ] | オンチップ・デバッグ機能の設定は '使用する' です。 |
| M0409100 | [メッセージ] | 端子配置図を保存しました : |
| | [説明] | 端子配置図をファイルに保存しました。 |
| M0409101 | [メッセージ] | 端子配置表を保存しました : |
| | [説明] | 端子配置表をファイルに保存しました。 |
| M0607000 | [メッセージ] | デバッグ対象の動作モードがデバイスの動作モードと一致しないため、ステップ実行を中断しました。デバッグ対象の動作モードをデバイスの動作モードに変更して下さい。 |
| M0615000 | [メッセージ] | 選択したトレース行に対応するソース・ファイルを [エディタ] パネルで開けませんでした。 |
| M0810001 | [メッセージ] | クロスリファレンス情報ファイルを出力する設定を変更できませんでした。 |
| | [説明] | [静的解析を有効にする] プロパティを [はい] に設定している場合で、ビルドを行う直前にコンパイラのプロパティを操作できなかった場合に表示されます。 |
| M0810003 | [メッセージ] | クロスリファレンス情報の解析に失敗しました。 |
| | [対処方法] | [静的解析を有効にする] を [はい] にして、ビルドを実行してください。 |
| M0810006 | [メッセージ] | プログラム解析情報を生成中です。トレース・データを取得して、解析していません。 |
| | [対処方法] | 中断する場合は、[キャンセル] ボタンを押下してください。 |
| M0810007 | [メッセージ] | プログラム解析情報を生成中です。カバレッジ・データを取得して、解析していません。 |
| | [対処方法] | 中断する場合は、[キャンセル] ボタンを押下してください。 |

| | | |
|----------|---------|---|
| M0812001 | [メッセージ] | トレースのバッファが一杯になりました。解析パネルの結果が不正確になっている可能性があります。 |
| | [説明] | プログラムを実行して停止した際に、トレースのバッファが一杯になっている場合に表示されます。 |
| | [対処方法] | 解析する範囲を絞ってください。 |
| M0812002 | [メッセージ] | トレース・データの取りこぼしが発生しました。解析パネルの結果が不正確になっている可能性があります。 |
| | [説明] | トレース・データの解析中に、トレース・データの取りこぼしが発生している場合に表示されます。 |
| | [対処方法] | 解析する範囲を絞ってください。 |
| M0812003 | [メッセージ] | トレース・データに命令のトレースが含まれていませんでした。解析パネルで解析結果の一部を表示できない可能性があります。 |
| | [説明] | 解析中にトレース・データに M1/BRM1 フェッチが含まれていないときに表示されます。 |
| | [対処方法] | トレース出力の設定を確認してください。 |
| M0812004 | [メッセージ] | トレース・データにデータ・アクセスのトレースが含まれていませんでした。解析パネルで解析結果の一部を表示できない可能性があります。 |
| | [説明] | 解析中にトレース・データにリードまたはライト・データが含まれていないときに表示されます。 |
| | [対処方法] | トレース出力の設定を確認してください。 |
| M0812005 | [メッセージ] | 変数情報が見つかりませんでした (xxx)。 |
| | [説明] | トレースで値の推移解析中に変数一覧のデータ中に一致する行が見つからないときに表示されます。 |
| | [対処方法] | 存在する変数名を確認してください。 同名の変数が存在する場合は、スコープを付加して、唯一の行が識別できるように指定してください。 |
| M0820001 | [メッセージ] | 正常に解析できませんでした。詳細は、出力パネルの [プログラム解析] タブを参照してください。 |
| | [説明] | トレース解析時に問題があったことを示すメッセージを出力パネルに表示しました。 |
| M0821001 | [メッセージ] | ファイル xxx からインポートできませんでした。 |
| | [説明] | プロパティで指定しているインポート・ファイルが読み込めなかった場合に出力するメッセージです。 |
| | [対処方法] | ファイルが存在するか確認してください。 ファイルへのアクセス権を確認してください。 ファイルが壊れていないか確認してください。 |
| M0821002 | [メッセージ] | クロスリファレンス情報ファイル xxxが見つかりませんでした。 |
| | [説明] | クロス・リファレンス・ファイルが見つからない場合に出力するメッセージです (該当ファイルは解析から除外されます)。 |
| | [対処方法] | [静的解析を有効にする] を "はい" にして、ビルドを実行してください。 |

| | | |
|----------|---------|---|
| M0821003 | [メッセージ] | クロスリファレンス情報ファイル xxx にクロスリファレンス情報が出力されていません。 |
| | [説明] | RL78 のプロジェクトにおいて、アセンブル・リスト・ファイルが出力されているが、クロス・リファレンス情報が出力されていない場合に表示されます。 |
| | [対処方法] | [静的解析を有効にする] を [はい] にして、ビルドを実行してください。 |
| M0821004 | [メッセージ] | ソース・ファイルが更新されています。ビルドを行いクロスリファレンス情報ファイルを更新してください。 |
| | [説明] | 関数一覧／変数一覧 パネルの更新時に、ソース・ファイルが、クロス・リファレンス情報よりも新しいときに表示されます。 |
| | [対処方法] | [静的解析を有効にする] を [はい] にして、ビルドを実行してください。 |
| M0821005 | [メッセージ] | ロード・モジュール・ファイルが更新されていません。ビルドを行いロード・モジュール・ファイルを更新してください。 |
| | [説明] | 関数一覧／変数一覧 パネルの更新時に、ビルドをしないおすとロード・モジュールが変更される可能性があるときに表示されます。 |
| | [対処方法] | ビルドを実行してください。 |
| M0821006 | [メッセージ] | ロード・モジュール・ファイルが更新されています。ダウンロードを実行してください。 |
| | [説明] | 関数一覧／変数一覧 パネルの更新時に、ダウンロードしているロード・モジュール・ファイルよりも、現在のファイルのほうが新しい場合に表示されます。 |
| | [対処方法] | ダウンロードを実行してください。 |
| M0821007 | [メッセージ] | クロスリファレンス情報ファイル xxx の解析に失敗しました。 |
| | [説明] | クロスリファレンス情報ファイルが壊れている場合に表示されます。 クロスリファレンス情報ファイルが読み込めなかった場合に表示されます。 |
| | [対処方法] | ファイルのアクセス権を確認してください。 ファイルが壊れていないか確認してください。 |
| M0821008 | [メッセージ] | ロード・モジュール・ファイル xxx の解析に失敗しました。 |
| | [説明] | アドレス情報などの解析のためにデバッガにダウンロードできなかった場合に表示されます。 |
| | [対処方法] | ビルドを実行してください。 ファイルのアクセス権を確認してください。 ファイルが壊れていないか確認してください。 |
| M0821009 | [メッセージ] | インポート・ファイル xxx が見つかりませんでした。 |
| | [説明] | プロパティで指定しているインポート・ファイルが存在しないときに表示されます。 |
| | [対処方法] | ファイルが存在するか確認してください。 |
| M0824001 | [メッセージ] | RRM 機能が有効になっていないため、[解析グラフ] パネルの解析結果を表示できません。デバッグ・ツールの [デバッグ・ツール設定] タブの [実行中のメモリアクセス] カテゴリにあるプロパティにて、RRM 機能を使用するように設定してください。 |
| | [説明] | 解析グラフ パネルで、変数値の取得方法にリアルタイム・サンプリング方式が選択されている状態で、デバッグ・ツールの設定で、RRM 機能が有効になっていない場合に表示されます。 |
| | [対処方法] | デバッグ・ツールのプロパティで、RRM 機能を有効にしてください。 |

| | | |
|----------|---------|--|
| M0824002 | [メッセージ] | トレース機能が有効になっていないため、[解析グラフ]パネルの解析結果の一部を表示できません。デバッグ・ツールの[デバッグ・ツール設定]タブの[トレース]カテゴリにあるプロパティにて、トレース機能を使用するように設定してください。 |
| | [説明] | 解析グラフパネルで、変数値の取得方法にトレース・データ解析方式が選択されている状態で、デバッグ・ツールの設定で、トレース機能が有効になっていない場合に表示されます。 |
| | [対処方法] | デバッグ・ツールのプロパティで、トレース機能を有効にしてください。 |
| M0824003 | [メッセージ] | グラフの xxx に到達しましたが、指定値はありませんでした。 |
| | [説明] | 解析グラフの値の推移で移動したときに、移動方向に指定した値がない場合に表示されます。 xxxには、"先頭", または"最後"が表示されます。 |
| M0824005 | [メッセージ] | 実行時間情報がありません。 |
| | [説明] | デバッグ・ツールのプロパティでトレース機能が有効になっていない場合、またはトレース・データが空になっている場合に表示されます。 |
| | [対処方法] | デバッグ・ツールのプロパティで、トレース機能を有効にしてください。 |
| M0824006 | [メッセージ] | 表示範囲内に収まっていないため、チャンネル番号 xxx のグラフが表示されることはありません。プロパティの設定値を見直してください。 |
| | [説明] | データが常に表示範囲の上限/下限内に収まらない場合（始点から終点まで横スクロールしても、該当チャンネルのグラフが一度も描画されない場合）に表示されます。 xxxには、単一、または複数のチャンネル番号（カンマ区切り）が表示されます。 |
| | [対処方法] | 解析ツールのプロパティにて、[1 グリッドあたりの値 [Val/Div]], またはオフセット値を見直してください。 |
| M0824007 | [メッセージ] | データ取得中に、ロスまたはバッファのオーバーフローが発生しています。 |
| | [説明] | リアルタイム・サンプリング方式によるデータ取得中に、ロス（通常のRRM機能）、またはバッファのオーバーフロー（Smart Analog 対応デバイス用の専用のデータ収集モード）が発生した場合に表示されます。 なお、スコープの指定なしでグラフ化の対象として登録している場合、サンプリング時のPC位置によりスコープを外れると値を取得できないため、ロスとして扱います。このため、ユーザ・プログラムの構造にもよりますが、関数内スタティック変数をスコープ指定なしでグラフ化の対象として登録している場合は、ロスしやすい傾向があります。 |
| | [対処方法] | オーバーフローが頻発する場合は、CS+ 以外のアプリケーションを操作しないようにしてください。 |
| M0824008 | [メッセージ] | 自動調整の機能をオフにしました。 |
| | [説明] | 手動操作で以下のプロパティの値を変更した場合に、自動調整の機能を解除します。 - [1 グリッドあたりの時間 [Time/Div]] プロパティ - [1 グリッドあたりの値 [Val/Div] 1 ~ 16] プロパティ - [オフセット 1 ~ 16] プロパティ |
| | [対処方法] | [自動調整] プロパティの設定を見直してください。 |
| M0825001 | [メッセージ] | 連動機能をオフにしました。 |
| | [説明] | フィルタ設定 ダイアログで、フィルタ条件を設定して、[OK] ボタンを押下します。このとき、関数一覧/変数一覧 パネルのツールバーで、[プロジェクト・ツリーと連動] ボタン/ [エディタと連動] ボタン/ [デバッグ・マネージャと連動] ボタンがオンになっている場合は、自動的にオフとなります。 |

| | | |
|----------|---------|---|
| M0825002 | [メッセージ] | 現在のパネルのフィルタ設定をクリアしました。 |
| | [説明] | 関数一覧／変数一覧 パネルのツールバーで、[プロジェクト・ツリーと連動] ボタン／[エディタと連動] ボタン／[デバッグ・マネージャと連動] ボタンをオンに設定します。このとき、フィルタ設定 ダイアログで、フィルタ条件が設定されている場合は、自動的にクリアする。 |
| M0826001 | [メッセージ] | コール・グラフ全域の画像を保存しています。 |
| | [対処方法] | 中断する場合はキャンセルボタンを押下してください。 |
| M0827001 | [メッセージ] | 検索を終了しました。 |
| | [説明] | 対象関数（基点）から検索を開始し、検索条件に合う関数が1つ以上見つかり、対象関数の1つ手前に位置する関数（終点）に到達した場合に表示されます。 |
| M0827002 | [メッセージ] | 検索条件に一致する関数が見つかりませんでした。 |
| | [説明] | 全体表示にて、すべての関数を検索した結果、検索条件に指定されている関数がなかった場合に表示されます。 |
| M0827003 | [メッセージ] | 検索条件に一致する関数 / 変数が見つかりませんでした。 |
| | [説明] | 詳細表示にて、すべての関数／変数を検索した結果、検索条件に指定されている関数／変数がなかった場合に表示されます。 |
| M0828001 | [メッセージ] | ツリーの xxx に到達しましたが、指定した文字列を含むノードはありませんでした。 |
| | [説明] | クラス・ビューで移動したときに、移動方向に指定した文字列のノードがない場合に表示されます。 xxx には、"先頭", または "最後" が表示されます。 |
| M0829001 | [メッセージ] | 解析対象となるファイルが1つも存在しません。 |
| | [説明] | 解析対象のファイルを指定する際に、すべてのチェック・ボックスが外れている場合に表示されます。 |
| | [対処方法] | 解析対象のファイルを1つ以上指定してください。 |
| M1203841 | [メッセージ] | リアルタイム表示更新機能を有効にしました。ROM の 0002,0003h 番地に書き込まれた 16bit アドレスをワーク RAM として使用します。 |
| M1790000 | [メッセージ] | 既にデバッグ・ツールと接続済みです。 |
| | | デバッグ・ツールと接続されている状態で connect コマンドを実行したときに表示されます。 |
| M2000001 | [メッセージ] | 印刷用に逆アセンブル・ファイルを生成します。 ソースファイルのサイズが大きいと、時間がかかり、大量のメモリを使用する場合があります。 |
| | [説明] | 混合表示モードにおいて、印刷を実行した場合に表示されます。 |
| M2000002 | [メッセージ] | 印刷プレビュー用に逆アセンブル・ファイルを生成します。 ソースファイルのサイズが大きいと、時間がかかり、大量のメモリを使用する場合があります。 |
| | [説明] | 混合表示モードにおいて、印刷プレビューを実行した場合に表示されます。 |
| M2000003 | [メッセージ] | 印刷イメージを生成しています。しばらくお待ちください。 |
| | [説明] | 印刷、および印刷プレビューにおいて、イメージを生成するときに表示されます。 |

| | | |
|----------|---------|---|
| M2000004 | [メッセージ] | ソース・逆アセンブル混合表示を保存するために、逆アセンブル・ファイルを生成します。 ソース・ファイルのサイズが大きいと、時間がかかり、大量のメモリを使用する場合があります。 |
| | [説明] | 混合モードにおいて、混合モードを保存する場合に表示されます。 |
| M2000005 | [メッセージ] | メモリ不足のため選択を解除しました。 |
| | [説明] | エディタ パネルで文字列を選択した場合に、メモリ不足により選択を解除するときに表示されます。 |
| M2200002 | [メッセージ] | ブロックを定義している情報ファイル中に、不正な定義情報が5以上あります。 |
| | [説明] | W2200008 が5回以上出力される場合に、6回以上のメッセージ出力を省略し、代わりにこのメッセージを出力します。 |
| M2300001 | [メッセージ] | 排他制御漏れのチェック中です。 |

5.4 選 択

表 5.4 選 択

| | | |
|----------|---------|--|
| Q0120000 | [メッセージ] | 選択されたアップデートをインストールするには、以下のアップデートもインストールする必要があります。これらのアップデートを選択しますか？ |
| Q0120004 | [メッセージ] | 前回のアップデートで以下のインストールが中断されています。インストールを実行しますか？ |
| Q0120005 | [メッセージ] | 前回のアップデートで中断されたインストールがあります。以下のアプリケーションを終了してからインストールを実行してください。 アプリケーションは通知領域 (タスク・トレイ) にアイコンを表示している場合があります。 xxx |
| Q0120006 | [メッセージ] | アップデートを実行するには管理者権限が必要です。管理者権限を取得して続行しますか？「はい」を選択すると管理者権限を取得するためのダイアログが表示されます。 |
| Q0130001 | [メッセージ] | 選択されたアップデート用のファイルを削除しますか？ |
| Q0140006 | [メッセージ] | ご使用の PC に、問い合わせ用の情報 / アップデート機能で使用する情報のファイルが複数存在します。 情報ファイルは唯一である必要があります。 本製品の情報ファイルと置き換えてよろしいですか？ 「はい」を選択すると、置き換えてインストールを続行します。 「いいえ」を選択すると、ここでインストールを中止します。 |
| Q0140007 | [メッセージ] | ご使用の PC に記録されている、問い合わせ用の情報 / アップデート機能で使用する情報のファイルと、本製品の情報ファイルが異なります。 情報ファイルは唯一である必要があります。 本製品の情報ファイルと置き換えてよろしいですか？ 「はい」を選択すると、置き換えてインストールを続行します。 「いいえ」を選択すると、置き換えずにインストールを続行します。 |
| Q0140011 | [メッセージ] | インストールを中止してもよろしいですか？ |
| | [説明] | ウィザードの各画面で、[キャンセル] ボタンが押下されたときに表示されます。 |
| Q0140035 | [メッセージ] | インストール先のフォルダにある以下のアプリケーションが起動中です。 アプリケーションを終了してから、[再試行] をクリックしてください。 アプリケーションは通知領域 (タスク・トレイ) にアイコンを表示している場合があります。 - xxx - xxx - xxx |
| | [説明] | 統合インストール / 統合アンインストールの操作中に、CS+ 関連ツールが起動されている場合に表示されます。 |
| Q0140045 | [メッセージ] | インストールを中止してもよろしいですか？ 以下の製品はインストールが完了しています。 - xxx : この製品用の最新の Service Pack および セキュリティ更新プログラムを Windows Update および Microsoft Update を使用してインストールしてください。 |
| | [説明] | インストールが必要な環境のインストールで再起動の要求が無く、すべてが成功したときに、続けて実行される統合インストーラのウィザードの各画面で、[キャンセル] ボタンが押下されたときに表示されます。 |

| | | |
|----------|---------|--|
| Q0200001 | [メッセージ] | 処理を続けますか？ |
| | [説明] | 何らかの処理を続行するかどうかの確認時に表示されます。 |
| | [対処方法] | [OK] : 処理を続けます。 [キャンセル] : 処理を中止します。 |
| Q0200002 | [メッセージ] | 設定を反映するためには本製品の再起動が必要です。 今すぐ再起動しますか？ |
| | [説明] | 再起動の確認時に表示されます。 |
| | [対処方法] | [はい] : 処理を続けます。 [いいえ] : 処理を中止します。 |
| Q0200003 | [メッセージ] | 本当に閉じてもよろしいですか？ |
| | [説明] | 何らかの画面／ダイアログを閉じるときの確認時に表示されます。(閉じる場合、 表示中のデータは破棄されます) |
| | [対処方法] | [OK] : 画面／ダイアログを閉じます。 [キャンセル] : 画面／ダイアログを閉じません。 |
| Q0200004 | [メッセージ] | 本当に戻ってもよろしいですか？ |
| | [説明] | 何らかの処理から戻るときの確認時に表示されます。(戻の場合、表示中のデータ は破棄されます) |
| | [対処方法] | [OK] : 戻ります。 [キャンセル] : 戻りません。 |
| Q0201001 | [メッセージ] | xxxが変更されています。保存しますか？ |
| | [説明] | 内容が変更されたウインドウなどを閉じようとしたときに、内容を保存するかを確認するメッセージダイアログが表示されます。 xxxには、開いていた内容を表す文字列(ファイル名やパネル名)に置換して表示されます。 プロジェクトを閉じるようとした場合、xxxを""プロジェクト""に置換して表示されます。 複数の要素が変更されていた場合は、"いくつかの情報"に置換します。 |
| | [対処方法] | [はい] : 開いていた内容を保存してウインドウなどを閉じます。 [いいえ] : 開いていた内容を破棄してウインドウなどを閉じます。 [キャンセル] : ウインドウは閉じず、そのままの状態となります。 |
| Q0201002 | [メッセージ] | xxxが他のプログラムによって変更されている可能性があります。上書き保存してよろしいですか？ |
| | [説明] | ファイルを保存時、ファイルの更新日時が何らかの理由で開いたとき、または前回保存したときより新しくなっている場合に表示されます。 |
| | [対処方法] | [はい] : 上書き保存します。 [いいえ] : 処理を中止します。 |

| | | |
|----------|---------|---|
| Q0201003 | [メッセージ] | フォルダが存在しません。作成しますか？ |
| | [説明] | ファイル作成時に、指定されたパスに含まれるフォルダが存在しない場合に、ユーザにフォルダを作成してもよいかを確認するために表示されます。 |
| | [対処方法] | [はい] : フォルダを作成します。 [いいえ] : ダイアログを閉じます。 |
| Q0201004 | [メッセージ] | ファイルがすでに存在します。上書きしますか？ |
| | [説明] | 各種ダイアログにて、ファイル名を指定する欄がある場合に使用します。 |
| | [対処方法] | [はい] : ファイルを上書きします。 [いいえ] : ファイルを上書きせず、フォーカスを元のダイアログに戻します。 |
| Q0201005 | [メッセージ] | 現在、編集中のファイルをすべて保存しますか？ |
| | [説明] | 編集中のファイルを保存するかどうかユーザに問い合わせる場合に表示されます。 |
| | [対処方法] | [はい] : 編集中のファイルをすべて保存します。 [いいえ] : 処理を中止します。 |
| Q0201006 | [メッセージ] | 登録ファイルが外部ツールにより使用されている場合には、外部ツールを終了してください。処理を継続するには、OK ボタンを押してください。 |
| | [説明] | 外部ツールにて、編集中のファイルを保存するかどうかユーザに問い合わせる場合に表示されます。 |
| | [対処方法] | [はい] : 処理を継続します。 [いいえ] : 処理を中止します。 |
| Q0201007 | [メッセージ] | xxx が他のプログラムによって変更されている可能性があります。ファイルを読み込みなおしますか？ |
| | [説明] | ファイルに変更が加わった場合 (修正・削除・改名時) に表示されます。 |
| | [対処方法] | [はい] : ファイルを読み込みなおします。 [いいえ] : 処理を中止します。 |
| Q0201008 | [メッセージ] | ファイル (xxx) がすでに存在します。上書きしますか？ |
| | [説明] | 既に存在するファイルを上書きしてもよいかどうかユーザに問い合わせる場合に表示されます。 |
| | [対処方法] | [はい] : ファイルを上書きします。 [いいえ] : ファイルを上書きせず、フォーカスを元のダイアログに戻します。 |
| Q0201009 | [メッセージ] | フォルダ (xxx) がすでに存在します。上書きしますか？ |
| | [説明] | 既に存在するフォルダを上書きしてもよいかどうかユーザに問い合わせる場合に表示されます。 |
| | [対処方法] | [はい] : フォルダを上書きします。 [いいえ] : フォルダを上書きせず、フォーカスを元のダイアログに戻します。 |

| | | |
|----------|---------|--|
| Q0201010 | [メッセージ] | 拡張子を変更してもよろしいですか？ 拡張子を変更すると、変更するファイルに対する設定が消去されます。 |
| | [説明] | プロジェクト・ツリーにて、拡張子を変更しても良いかどうかを確認する場合に表示されます。 |
| | [対処方法] | [はい] : 拡張子を変更します。 [いいえ] : 処理を中止します。 |
| Q0202001 | [メッセージ] | プロジェクトの構成物を保存するのに、数分～数十分程度かかる場合があります。 処理を開始しますか？ |
| | [説明] | [プロジェクトと <製品名> をパックして保存 (K)...] メニュー選択時に表示され ます。 |
| | [対処方法] | [はい] : 処理を開始します。 [いいえ] : 処理を中止します。 |
| Q0202002 | [メッセージ] | プロジェクト・ファイルが見つかりません。お気に入りのプロジェクトから、該当 するプロジェクトを削除しますか？ |
| | [説明] | お気に入りのプロジェクトを選択したときに、プロジェクト・ファイルが存在しな かった場合に表示されます。 |
| | [対処方法] | [はい] : プロジェクトを削除します。 [いいえ] : プロジェクトを削除しません。 |
| Q0202003 | [メッセージ] | ビルド・オプションをインポートすると、現在の全体ビルド・オプションとビル ド・モードがすべて置き換わります。よろしいですか？ |
| | [説明] | [ビルド・オプションのインポート...] メニューの選択時に表示されます。 |
| | [対処方法] | [はい] : ビルド・オプションのインポートを開始します。 [いいえ] : 処理を中止します。 |
| Q0202004 | [メッセージ] | xxx は yyy 用のプロジェクトではありません。 本製品を閉じ、適切な CS+ で開きなおしますか？ [いいえ] を選んだ場合、このまま開きますがファイル構成のみ復元されビルドや デバッグはできません。 |
| | [説明] | 別のパッケージのプロジェクトを読み込もうとした場合に表示されます。 |
| | [対処方法] | [はい] : 適切な CS+ で開き直します。 [いいえ] : CS+ をこのまま開きます。 [キャンセル] : 処理を中止します。 |

| | | |
|----------|---------|---|
| Q0202005 | [メッセージ] | xxx は yyy 用のプロジェクトではありませんがこのまま開きますか？ このまま開くと、ファイルの構成は復元されますがビルドやデバッグはできません。 ビルドやデバッグを行う場合は、このプロジェクトに適した CS+ で開いてください。 |
| | [説明] | 別のパッケージのプロジェクトを読み込もうとした場合に表示されます。 |
| | [対処方法] | [OK] : プロジェクトをこのまま開きます。 [キャンセル] : 処理を中止します。 |
| Q0202006 | [メッセージ] | xxx は yyy 用のサブプロジェクトではありませんがこのまま開きますか？ このまま開くと、ファイルの構成は復元されますがビルドやデバッグはできません。 ビルドやデバッグを行う場合は、このプロジェクトに適した CS+ で開いてください。 |
| | [説明] | 別のパッケージのサブプロジェクトを追加しようとした場合に表示されます。 |
| | [対処方法] | [OK] : サブプロジェクトをこのまま追加します。 [キャンセル] : 処理を中止します。 |
| Q0202007 | [メッセージ] | xxx このプロジェクト・ファイルは他のプログラムで変更されました。メイン・プロジェクトを再度読み込みますか？ |
| | [説明] | プロジェクト・ファイルの外部での更新を検知した場合に表示されます。 |
| | [対処方法] | [はい] : メイン・プロジェクトを開き直します。 [いいえ] : 何もしません。 |
| Q0203001 | [メッセージ] | すべてのビルド・モードで、個別コンパイル・オプションに現在のコンパイル・オプションを設定しますか？ [いいえ] を選んだ場合、現在のビルド・モードに対してのみ設定します。 |
| | [説明] | 個別コンパイル・オプションを指定するときに表示されます。 |
| | [対処方法] | [はい] : すべてのビルド・モードに対して設定します。 [いいえ] : 現在のビルド・モードに対してのみ設定します。 [キャンセル] : 処理を中止します。 |
| Q0203002 | [メッセージ] | すべてのビルド・モードで、個別アセンブル・オプションに現在のアセンブル・オプションを設定しますか？ [いいえ] を選んだ場合、現在のビルド・モードに対してのみ設定します。 |
| | [説明] | 個別アセンブル・オプションを指定するときに表示されます。 |
| | [対処方法] | [はい] : すべてのビルド・モードに対して設定します。 [いいえ] : 現在のビルド・モードに対してのみ設定します。 [キャンセル] : 処理を中止します。 |

| | | |
|----------|---------|--|
| Q0203003 | [メッセージ] | すべてのビルド・モードで、コンパイル・オプションをアセンブル・オプションへコピーしますか？ [いいえ]を選んだ場合、現在のビルド・モードに対してのみコピーします。 |
| | [説明] | [共通オプション] タブの [一括ビルドを行う] プロパティが [はい] から [いいえ] になったときに表示されます。 |
| | [対処方法] | [はい] : すべてのビルド・モードに対してコピーします。 [いいえ] : 現在のビルド・モードに対してのみコピーします。 [キャンセル] : 処理を中止します。 |
| Q0203004 | [メッセージ] | 循環参照がプロジェクト間で存在するため、正常にビルドできない可能性があります。 続行しますか？ |
| | [説明] | 循環参照がプロジェクト間で存在する場合に表示されます。 |
| | [対処方法] | [はい] : ビルド/クリーンを実行します。 [キャンセル] : ビルド/クリーンを中止します。 |
| Q0203005 | [メッセージ] | すべてのビルド・モードで、個別アセンブル・オプションに現在のコンパイル・オプションを設定しますか？ [いいえ]を選んだ場合、現在のビルド・モードに対してのみ設定します。 |
| | [説明] | 個別アセンブル・オプションを指定する際に表示されます（一括ビルドが有効な場合）。 |
| | [対処方法] | [はい] : すべてのビルド・モードに対して設定します。 [いいえ] : 現在のビルド・モードに対してのみ設定します。 [キャンセル] : 処理を中止します。 |
| Q0203006 | [メッセージ] | すべてのビルド・モードに設定した値を反映しますか？ [いいえ]を選んだ場合、現在のビルド・モードのオプションのみ変更します。 |
| | [説明] | 全ビルド・モードのビルド・オプションを一括して変更する際に表示されます。 |
| Q0203007 | [メッセージ] | 指定したビルド・モード名と同名のビルド・モードがすでに存在します。 上書きしますか？ |
| | [説明] | 同名のビルド・モードがすでに存在するときに表示されます。 |
| | [対処方法] | [OK] : 上書きします。 [いいえ] : 上書きしません。 |
| Q0204001 | [メッセージ] | ホット・プラグインの準備が完了しました。 パソコンとデバッグ・ターゲットを接続し、OK ボタンを押してください。 |
| | [説明] | ホット・プラグイン接続待ち中に表示されます。 |
| | [対処方法] | [はい] : 処理を実行します。 [いいえ] : 処理を中止します。 |

| | | |
|----------|---------|---|
| Q0204002 | [メッセージ] | ロード・モジュール・ファイル xxx が変更されています。再ダウンロードしますか？ |
| | [説明] | [ダウンロードしているロード・モジュール・ファイルの変更を監視する] を有効にしているときに、ロード・モジュール・ファイルが変更されたときに表示されます。 |
| | [対処方法] | [はい] : ダウンロードを実行します。 [いいえ] : 処理を中止します。 |
| Q0206001 | [メッセージ] | 検索条件に該当するデータはありませんでした。指定範囲の xxx から検索しますか？ |
| | [説明] | メモリ検索 ダイアログ、トレース検索 ダイアログで検索を行った結果、検索条件に該当するデータが見つからなかったときに、メッセージ ダイアログに表示されます。xxx には、" 開始 ", または " 終了 " が表示されます。 |
| | [対処方法] | [はい] : メッセージ ダイアログを閉じて、再度、検索範囲の先頭から検索を行います。 [いいえ] : メッセージ ダイアログを閉じて、元のダイアログにフォーカスを移動します。 |
| Q0210001 | [メッセージ] | デバッグ・ツールから切断してデバッグを終了しますか？ |
| | [説明] | - デバッグ・ツール接続中にメイン・ウインドウを閉じようとしたときに、デバッグ・ツールを切断するかどうかを確認するメッセージ ダイアログが表示されます。 - デバッグ・ツール接続中にプロジェクトを閉じるときに表示されます。 - デバッグ・ツール接続中にプロジェクトを開くとき、新しく作成するときに表示されます。 |
| | [対処方法] | [OK] : 切断してメイン・ウインドウを閉じます。 [キャンセル] : メイン・ウインドウを閉じる処理を中止します。 |
| Q0210002 | [メッセージ] | デバッグ・ツールのセキュリティ ID も変更しますか？ |
| | [説明] | ビルド・ツールの [セキュリティ ID] プロパティを変更時に、デバッグ・ツールのセキュリティ ID も変更するかどうかを確認します。 |
| | [対処方法] | [はい] : デバッグ・ツールのセキュリティ ID も変更します。 [いいえ] : 処理を中止します。 |
| Q0210004 | [メッセージ] | デバッグ・ツールのプログラマブル I/O 領域 開始アドレスも変更しますか？ |
| | [説明] | ビルド・ツールの [プログラマブル I/O 領域 開始アドレス] プロパティを変更したときに、デバッグ・ツールのプログラマブル I/O 領域 開始アドレスも変更するかどうかを確認するために表示されます。 |
| | [対処方法] | [はい] : デバッグ・ツールのプログラマブル I/O 領域 開始アドレスも変更します。 [いいえ] : 処理を中止します。 |

| | | |
|----------|---------|---|
| Q0210005 | [メッセージ] | カバレッジ情報をすべてクリアしますがよろしいですか？ |
| | [説明] | カバレッジ情報をクリアするときに表示されます。 |
| | [対処方法] | [はい] : カバレッジ情報をすべてクリアします。 [いいえ] : 処理を中止します。 |
| Q0210006 | [メッセージ] | デバッグ・ツールのエンディアン設定も変更しますか？ |
| | [説明] | ビルド・ツールのエンディアン設定用プロパティを変更時に、デバッグ・ツール側のエンディアン設定用プロパティも変更するかどうかを確認するときに、表示されます。 |
| | [対処方法] | [はい] : デバッグ・ツールのエンディアン設定も変更します。 [いいえ] : 処理を中止します。 |
| Q0210007 | [メッセージ] | デバッグ・ツールのトレース機能も有効にしますか？ |
| | [説明] | ビルド・ツールのトレース RAM の警告設定用のプロパティ変更時に、デバッグ・ツール側のトレース有効/無効設定用のプロパティも変更するかどうかを確認するときに、表示されます。 |
| | [対処方法] | [はい] : デバッグ・ツールのトレース機能も有効にします。 [いいえ] : 処理を中止します。 |
| Q0210008 | [メッセージ] | デバッグ・ツールのトレース機能も無効にしますか？ |
| | [説明] | ビルド・ツールのトレース RAM の警告設定用のプロパティ変更時に、デバッグ・ツール側のトレース有効/無効設定用のプロパティも変更するかどうかを確認するときに、表示されます。 |
| | [対処方法] | [はい] : デバッグ・ツールのトレース機能も無効にします。 [いいえ] : 処理を中止します。 |
| Q0212001 | [メッセージ] | 指定のターゲット・メモリ領域には、I/O 保護領域が設定されています。I/O 保護領域も削除しますか？ |
| | [説明] | ターゲット・メモリ領域を削除しようとしたとき、その領域上に I/O 保護領域が設定されている場合に表示されます。 |
| | [対処方法] | [OK] : I/O 保護領域も削除します。 [キャンセル] : 処理を中止します。 |
| Q0215001 | [メッセージ] | 最近使用したファイルとプロジェクトの履歴を削除しますか？ |
| | [説明] | [ファイルとプロジェクトの履歴を削除]メニューを選択したときに表示されます。 |
| | [対処方法] | [はい] : ファイルとプロジェクトの履歴を削除します。 [いいえ] : ファイルとプロジェクトの履歴を削除しません。 |

| | | |
|----------|---------|---|
| Q0222001 | [メッセージ] | 文字 xxxx がプロジェクト名または作成場所のパスに含まれるため、ビルド・エラーが発生します。続行しますか？ |
| | [説明] | プロジェクト作成時に、プロジェクト名または作成場所のパスにビルドするとビルド・エラーとなる文字が使われている場合に表示されます。 |
| | [対処方法] | [はい]: 処理を続行します (*) [いいえ]: コマンドをキャンセルし、フォーカスを元のダイアログに戻します。 * プロジェクト作成後、プロジェクトを移動する、またはフォルダ名をリネームすることによりパスから問題の文字を除去してください。 |
| Q0225001 | [メッセージ] | このシート上のすべてのプロパティ値を既定値に戻しますがよろしいですか？ |
| | [説明] | [プロパティ] → [すべてデフォルトに戻す] コマンドを実行したときに、ユーザに確認を求めます。 |
| | [対処方法] | [はい]: プロパティ値を既定値に戻します。 [いいえ]: 処理を中止します。 |
| Q0232001 | [メッセージ] | ビルド・モード xxx を削除しますか？ |
| | [説明] | ビルド・モードを削除しようとしたときに表示されます。 |
| | [対処方法] | [OK]: ビルド・モード xxx を削除します。 [キャンセル]: 処理を中止します。 |
| Q0232002 | [メッセージ] | マイクロコントローラを変更した後に、変更前のプロジェクトに復帰できるよう、現在の状態をプロジェクトに保存します。 保存を行い、処理を続行してもよろしいですか？ |
| | [説明] | マイクロコントローラの変更を行うときに表示されます。 |
| | [対処方法] | [OK]: 保存を行い、処理を続行します。 [キャンセル]: 処理を中止します。 |
| Q0232003 | [メッセージ] | ・マイクロコントローラを変更した後に、変更前のプロジェクトに復帰できるよう、現在の状態をプロジェクトに保存します。 ・複数プロジェクトのマイクロコントローラを同時に切り替える場合は、複数プロジェクトのマイクロコントローラを選択してから切り替えてください。 保存を行い、単一選択で処理を続行してもよろしいですか？ |
| | [説明] | マイクロコントローラの変更を行う時に表示されます。 |
| | [対処方法] | [OK]: コマンドを実行します。 [キャンセル]: コマンドをキャンセルします。 |

| | | |
|----------|---------|--|
| Q0232004 | [メッセージ] | <p>・マイクロコントローラを変更した後に、変更前のプロジェクトに復帰できるよう、現在の状態をプロジェクトに保存します。</p> <p>・複数プロジェクトのマイクロコントローラを同時に切り替える場合は、複数プロジェクトのマイクロコントローラを選択してから切り替えてください。関連プロジェクトのマイクロコントローラをすべて選択しない場合、マルチコア・プロジェクトの関連付けが解除されます。</p> <p>保存を行い、単一選択で処理を続行してもよろしいですか？</p> |
| | [説明] | マイクロコントローラの変更を行う時に表示されます。 |
| | [対処方法] | <p>[OK] :</p> <p>コマンドを実行します。</p> <p>[キャンセル] :</p> <p>コマンドをキャンセルします。</p> |
| Q0261001 | [メッセージ] | 指定されたセグメントにはセクションが設定されています。セクションも削除しますか？ |
| | [説明] | セグメントを削除しようとしたときに、削除対象のセグメントがセクションを保持していた場合に表示されます。 |
| | [対処方法] | <p>[はい] :</p> <p>セクションごと削除します。</p> <p>[いいえ] :</p> <p>削除処理を中止します。</p> |
| Q0261002 | [メッセージ] | 指定されたメモリ空間にはメモリ領域が設定されています。メモリ領域およびそれらが含むセグメントも削除しますか？ |
| | [説明] | メモリ空間を削除しようとしたときに、削除対象のメモリ空間がメモリ領域を保持していた場合に表示されます。 |
| | [対処方法] | <p>[はい] :</p> <p>メモリ領域ごと削除します。</p> <p>[いいえ] :</p> <p>削除処理を中止します。</p> |
| Q0261003 | [メッセージ] | 指定されたメモリ領域にはセグメントが設定されています。セグメントも削除しますか？ |
| | [説明] | メモリ領域を削除しようとしたときに、削除対象のメモリ領域がセグメントを保持していた場合に表示されます。 |
| | [対処方法] | <p>[はい] :</p> <p>メモリ領域ごと削除します。</p> <p>[いいえ] :</p> <p>削除処理を中止します。</p> |
| Q0261004 | [メッセージ] | <p>変更したメモリ領域内に設定しているセグメントのいくつかは、アドレス範囲外になってしまいますがよろしいですか？</p> <p>(続行する場合、範囲外になるセグメントの開始アドレスは空欄になります)</p> |
| | [説明] | 変更したメモリ領域内に設定しているセグメントのいくつかは、アドレス範囲外になっているときに表示されます。 |
| | [対処方法] | <p>[はい] :</p> <p>変更を実行し、範囲外になるセグメントのアドレスを空欄にします。</p> <p>[いいえ] :</p> <p>変更を中止します。</p> |

| | | |
|----------|---------|---|
| Q0262001 | [メッセージ] | <p>本製品では、流用元プロジェクトと同じフォルダに、新しいプロジェクトを作成することを推奨しています。作成場所を変更しますか？(推奨)</p> <p>現在の作成先フォルダ：xxx 推奨の作成先フォルダ（流用元プロジェクト・フォルダ）：yyy *作成するプロジェクト・フォルダと、流用元プロジェクト・フォルダが異なっている場合、パス解決に失敗しビルド・エラーとなる可能性があります。</p> |
| | [説明] | <p>プロジェクト作成 ダイアログにて、作成先と流用元プロジェクト・フォルダが異なっていて、ソース・コンバートを行えるパターン有的时候に、作成するプロジェクト・フォルダを変更してよいか確認を求めます。</p> |
| | [対処方法] | <p>[はい]： 作成先フォルダを流用元プロジェクト・フォルダに変更し、ソース・コンバート処理へ進みます。</p> <p>[いいえ]： 作成先フォルダを変更せずに、ソース・コンバート処理へ進みます。</p> <p>[キャンセル]： ソース・コンバート処理へ進まず、プロジェクト作成 ダイアログへ戻ります。</p> |
| Q0268001 | [メッセージ] | <p>CubeSuite のプロジェクトをそのままの設定で開きますか？</p> <p>[いいえ]を選んだ場合、他のデバイスやコンパイラを選択するダイアログを開きます。</p> |
| | [説明] | <p>[プロジェクトを開く ...] で、旧 CubeSuite のプロジェクト (.cspj) が指定されたときに表示されます。</p> |
| | [対処方法] | <p>[はい]： .cspj ファイルを、そのまま .mtpj ファイルと同様に開きます。</p> <p>[いいえ]： プロジェクト変換設定 ダイアログを開き、変換先のデバイスやプロジェクト名などを設定します。</p> <p>[キャンセル]： メッセージを閉じ、CubeSuite プロジェクトを開く処理を中断します。</p> |
| Q0268002 | [メッセージ] | <p>変換先に空でないフォルダが指定されました。このまま変換すると、変換先フォルダのファイルを全てバックアップするため、コピーに時間がかかる可能性があります。プロジェクト名でフォルダを作成しますか？</p> <p>[はい]を選択するとフォルダを作成し、そこにプロジェクトを作成することにより大量のコピーを防止します。ただし、追加のインクルード・パスなどでプロジェクト・フォルダ基点のパス設定をしている場合は、変換後、設定しなおしが必要になります。</p> |
| | [説明] | <p>プロジェクト変換設定 ダイアログでプロジェクト変換時、[コンバート前のプロジェクト構成ファイルをまとめてバックアップする] チェック・ボックスをチェックし、変換元パスと変換先パスが異なり、かつ変換先に指定したフォルダが空でない場合に表示されます。</p> |
| | [対処方法] | <p>[はい]： 変換先フォルダにプロジェクト名のサブフォルダを作成し、変換を実行します。</p> <p>[いいえ]： そのまま変換を実行します。</p> <p>[キャンセル]： メッセージを閉じ、プロジェクト変換処理を中断します。</p> |

| | | |
|----------|---------|---|
| Q0269001 | [メッセージ] | 指定した名前は既にリストに存在します。指定した名前で保存してよろしいですか？ [はい]を選んだ場合、同じ名前で重複して登録されます。 |
| | [説明] | 同名の項目がすでに存在するにもかかわらず、プロフィール結果を保存する時に表示されます。 |
| | [対処方法] | [はい] : 指定した名前でプロフィール結果を保存します。 [キャンセル] : プロフィール結果を保存しません。 名前を入力するための文字列入力 ダイアログを再度オープンします。 |
| Q0269002 | [メッセージ] | 指定した名前は既にリストに存在しますが改名してよろしいですか？ [はい]を選んだ場合、同じ名前で重複して登録されます。 |
| | [説明] | 同名の項目がすでに存在するにもかかわらず、プロフィール結果を改名する時に表示されます。 |
| | [対処方法] | [はい] : 指定した名前でプロフィール結果を改名します。 [キャンセル] : プロフィール結果を改名しません。 |
| Q0271001 | [メッセージ] | 品質記録用データを上書きしますか？ |
| | [説明] | 品質記録用データを上書きするときに表示されます。 |
| | [対処方法] | [OK] : 上書きします。 [キャンセル] : 上書きせず出力しません。 |
| Q0271002 | [メッセージ] | 品質記録用データの出力先をエクスプローラで開きますか？ |
| | [説明] | 品質記録用データの出力後に表示されます。 |
| | [対処方法] | [OK] : 出力先をエクスプローラで開きます。 [キャンセル] : エクスプローラを開きません。 |
| Q0272001 | [メッセージ] | 表示を更新しますか？ |
| | [説明] | 地域を変更したときに表示されます。 |
| | [対処方法] | [OK] : 表エリアの内容を更新します。 [キャンセル] : 表エリアの内容を更新しません。 |
| Q0272002 | [メッセージ] | スマート・ブラウザーから重要なお知らせがあります。 [はい]をクリックして表示します。 |
| | [説明] | スマート・ブラウザーの [お知らせ] タブに、重要なお知らせ ([High] のマークの付いた項目) が追加されたときにこのメッセージが表示されます。 |
| | [対処方法] | [はい] : 該当項目をスマート・ブラウザーで表示します。 [いいえ] : 何もせずダイアログを閉じます。 |

| | | |
|----------|---------|---|
| Q0291001 | [メッセージ] | ファイル拡張子を変更しますか？ |
| | [説明] | 【RH850】【RX】 [リンカ・オプション] タブの [出力] カテゴリにある [出力形式] プロパティを変更することにより出力ファイルの拡張子が変わる場合に表示されます。 【RL78】 [ヘキサ出力オプション] タブの [ヘキサ・フォーマット] カテゴリにある [ヘキサ・ファイル・フォーマット] プロパティを変更することにより出力ファイルの拡張子が変わる場合に表示されます。 |
| | [対処方法] | [はい] : 出力ファイルの拡張子を変更します。 [いいえ] : 出力ファイルの拡張子を変更しません。 |
| Q0291002 | [メッセージ] | 指定フォルダにすでに以下のファイルがあります。 xxx 既存ファイルの名前を *.bak に変更しますか？ (はいの場合で、既に *.bak がある場合は *.bak が上書きされます) |
| | [説明] | プロジェクト作成時に生成するスタートアッププログラムと同名のファイルがプロジェクト作成フォルダにすでに存在している場合に表示されます。 |
| | [対処方法] | [はい] : *.bak に変更し新規作成します。 [いいえ] : ファイルを上書きします。 |
| Q0291003 | [メッセージ] | メモリ・マッピング・プロファイルに有用な以下の設定の全部または一部が有効になっていません。以下の設定を有効にしますか？ [リンク・オプション] タブの [リスト] カテゴリの、 ・ [リンケージ・リスト・ファイルを出力する] プロパティ ・ [シンボル情報を出力する] プロパティ ・ [セクションの合計サイズを表示する] プロパティ |
| | [説明] | メモリ・マッピング・プロファイルパネルで [プロファイル] ボタンをクリックして [プロファイル (収集)] ボタンが変わったとき、関連するリンクのオプションが ON でない場合に表示されます (プロジェクト・オープン後の初回のみ)。 |
| | [対処方法] | [はい] : リンクのオプションを ON に変更して、メモリ・マッピング情報を収集します。 [いいえ] : リンクのオプションを変更せずに、メモリ・マッピング情報を収集します。 |
| Q0291005 | [メッセージ] | [倍精度浮動小数点処理命令を使用する] で -dpfpu が選択されています。 [倍精度浮動小数点処理命令を使用する] を "いいえ" に変えて、-nofpu を設定しますか？ |
| | [説明] | CC-RX ビルド・プロパティにて、[単精度浮動小数点処理命令を使用する] で [いいえ] 選択時、指定できないオプションが選択されている場合に表示されます。 |

| | | |
|----------|---------|--|
| Q0291006 | [メッセージ] | [最適化方法] で [しない (-NOOptimize)] 以外が選択されました。 [コンパイル・オプション] タブ、[アセンブル・オプション] タブ、および [ライブラリ・ジェネレート・オプション] タブの [モジュール間最適化用付加情報を出力する] を [はい (-goptimize)] にしますか？ |
| | [説明] | 最適化が選択された場合、コンパイラ/アセンブラ/ライブラリ・ジェネレータの -goptimize オプションを設定するかどうかを確認するために表示されます。 |
| | [対処方法] | [はい] : [コンパイル・オプション] タブ、[アセンブル・オプション]、および [ライブラリ・ジェネレート・オプション] タブの [リンク時最適化用付加情報を出力する] プロパティを [はい (-goptimize)] にします。 [いいえ] : [コンパイル・オプション] タブ、[アセンブル・オプション]、および [ライブラリ・ジェネレート・オプション] タブの [リンク時最適化用付加情報を出力する] プロパティを変更しません。 |
| Q0291007 | [メッセージ] | [最適化方法] で [しない (-NOOptimize)] が選択されました。 [コンパイル・オプション] タブ、[アセンブル・オプション] タブ、および [ライブラリ・ジェネレート・オプション] タブの [モジュール間最適化用付加情報を出力する] を [いいえ] にしますか？ |
| | [説明] | 最適化 OFF が選択された場合、コンパイラ/アセンブラ/ライブラリ・ジェネレータの -goptimize オプションも OFF にするかどうかを確認するために表示されます。 |
| | [対処方法] | [はい] : [コンパイル・オプション] タブ、[アセンブル・オプション]、および [ライブラリ・ジェネレート・オプション] タブの [リンク時最適化用付加情報を出力する] プロパティを [いいえ] にします。 [いいえ] : [コンパイル・オプション] タブ、[アセンブル・オプション]、および [ライブラリ・ジェネレート・オプション] タブの [リンク時最適化用付加情報を出力する] プロパティを変更しません。 |
| Q0293001 | [メッセージ] | 大域最適化 (レベル 3) を設定しようとしています。 レベル 3 に設定すると安全の為、個別コンパイラ/アセンブラ・オプションは無効になり、登録したオブジェクト/ライブラリ・ファイルも一度無効になります。また [使用するライブラリ・ファイル] プロパティに登録したライブラリも外されます。外したライブラリの詳細は、出力パネルの [すべてのメッセージ] タブを参照してください。 設定を続けますか？ |
| | [説明] | ビルド・プロパティにて、大域最適化オプション (-Xwhole_program) を設定するときに表示され、本当に設定して良いか確認します。 |
| | [対処方法] | [はい] : 個別オプションをオフにし、ユーザの登録した obj/lib ファイルをプロジェクトから外し、-Xwhole_program をオンにします。 [いいえ] : -Xwhole_program を設定せず、プロパティ選択肢を元に戻します。 |

| | | |
|----------|---------|--|
| Q0293003 | [メッセージ] | すべてのビルド・モードで、個別コンパイル・オプションに現在のコンパイル・オプションを設定しますか？ [いいえ]を選んだ場合、現在のビルド・モードに対してのみ設定します |
| | [説明] | 個別コンパイル・オプションを指定する場合に表示されます。 |
| | [対処方法] | [はい] : すべてのビルド・モードに対して設定します。 [いいえ] : 現在のビルド・モードに対してのみ設定します。 [キャンセル] : 処理を中止します。 |
| Q0293004 | [メッセージ] | すべてのビルド・モードで、個別アセンブル・オプションに現在のアセンブル・オプションを設定しますか？ [いいえ]を選んだ場合、現在のビルド・モードに対してのみ設定します。 |
| | [説明] | 個別アセンブル・オプションを指定する場合に表示されます。 |
| | [対処方法] | [はい] : すべてのビルド・モードに対して設定します。 [いいえ] : 現在のビルド・モードに対してのみ設定します。 [キャンセル] : 処理を中止します。 |
| Q0293005 | [メッセージ] | すべてのビルド・モードで、コンパイル・オプションをアセンブル・オプションへコピーしますか？ [いいえ]を選んだ場合、現在のビルド・モードに対してのみコピーします。 |
| | [説明] | [共通オプション] タブの [一括ビルドを行う] プロパティが [はい] から [いいえ] になったときに表示されます。 |
| | [対処方法] | [はい] : すべてのビルド・モードに対してコピーします。 [いいえ] : 現在のビルド・モードに対してのみコピーします。 [キャンセル] : 処理を中止します。 |
| Q0293006 | [メッセージ] | すべてのビルド・モードで、個別アセンブル・オプションに現在のコンパイル・オプションを設定しますか？ [いいえ]を選んだ場合、現在のビルド・モードに対してのみ設定します。 |
| | [説明] | 個別アセンブル・オプションを指定する場合に表示されます (一括ビルドが有効な場合)。 |
| | [対処方法] | [はい] : すべてのビルド・モードに対してコピーします。 [いいえ] : 現在のビルド・モードに対してのみコピーします。 [キャンセル] : 処理を中止します。 |

| | | |
|----------|---------|---|
| Q0293007 | [メッセージ] | [出力コード][データのデフォルトセクション]で ep_disp16 または ep_disp23 が選択されています。 [データのデフォルトセクション]を"指定しない(なし)"に変えて、外部変数アクセス最適化を設定しますか？ |
| | [説明] | 外部変数アクセス最適化選択時、および同時指定できないオプションが選択されている場合に表示されます。 |
| | [対処方法] | [はい]: [データのデフォルト・セクション] プロパティを [指定しない(なし)] に変更して、外部変数アクセス最適化を設定します。 [いいえ]: 外部変数アクセス最適化を設定しません。 |
| Q0293008 | [メッセージ] | メモリ・マッピング・プロファイルに有用な以下の設定の全部または一部が有効になっていません。以下の設定を有効にしますか？ [リンク・オプション] タブの [リスト] カテゴリの、 ・ [リンク・マップ・ファイルを出力する] プロパティ ・ [シンボル情報を出力する] プロパティ ・ [セクションの合計サイズを表示する] プロパティ |
| | [説明] | メモリ・マッピング・プロファイルパネルで [プロファイル] ボタンをクリックして [プロファイル(収集)] ボタンが変わったとき、関連するリンクのオプションが ON でない場合に表示されます (プロジェクト・オープン後の初回のみ)。 |
| | [対処方法] | [はい]: リンクのオプションを ON に変更して、メモリ・マッピング情報を収集します。 [いいえ]: リンクのオプションを変更せずに、メモリ・マッピング情報を収集します。 |
| Q0293010 | [メッセージ] | [出力コード][定数のデフォルト・セクション]で zconst または zconst23 が選択されています。 [定数のデフォルトセクション]を"指定しない(なし)"に変えて、PIC および PIROD 機能を設定しますか？ |
| | [説明] | PIC および PIROD 機能選択時、同時指定できないオプションが選択されている場合に表示されます。 |
| Q0293011 | [メッセージ] | [出力コード][データのデフォルト・セクション]で r0_disp16 または r0_disp23 が選択されています。 [データのデフォルトセクション]を"指定しない(なし)"に変えて、PID 機能を設定しますか？ |
| | [説明] | PID 機能選択時、同時指定できないオプションが選択されている場合に表示されます。 |
| Q0293012 | [メッセージ] | [出力コード][定数のデフォルト・セクション]で pconst16 または pconst23 が選択されています。 [定数のデフォルトセクション]を"指定しない(なし)"に変えて、PIC および PIROD 機能を"いいえ"にしますか？ |
| | [説明] | PIC および PIROD 機能解除時、指定できないオプションが選択されている場合に表示されます。 |
| Q0293013 | [メッセージ] | [r4 レジスタの用途]で -r4=none が選択されています。 [r4 レジスタの用途]を"GP 相対のベースレジスタ(なし)"に変えて、PID 機能を設定しますか？ |
| | [説明] | PID 機能選択時、指定できないオプションが選択されている場合に表示されます。 |

| | | |
|----------|---------|---|
| Q0293014 | [メッセージ] | [最適化 (詳細)]/[外部変数アクセス最適化]で map または smap が選択されています。 [外部変数アクセス最適化]を "いいえ" に変えて、PIC および PIROD 機能を設定しますか？ |
| | [説明] | 外部変数最適化選択時、指定できないオプションが選択されている場合に表示されます。 |
| | [対処方法] | [はい] : [外部変数アクセス最適化]を "いいえ" に変えて、PIC および PIROD 機能を設定します。 [いいえ] : PIC および PIROD 機能を設定しません。 |
| Q0293015 | [メッセージ] | [最適化 (詳細)]/[外部変数アクセス最適化]で map または smap が選択されています。 [外部変数アクセス最適化]を "いいえ" に変えて、PID 機能を設定しますか？ |
| | [説明] | 外部変数最適化選択時、指定できないオプションが選択されている場合に表示されます。 |
| | [対処方法] | [はい] : [外部変数アクセス最適化]を "いいえ" に変えて、PID 機能を設定します。 [いいえ] : PID 機能を設定しません。 |
| Q0293016 | [メッセージ] | 大域最適化 (レベル3) を設定しようとしています。 レベル3に設定すると安全の為、個別コンパイラ/アセンブラ・オプションは無効になり、登録したオブジェクト/ライブラリ・ファイルも一度無効になります。また [使用するライブラリ・ファイル] プロパティに登録したライブラリも外されます。外したライブラリの詳細は、出力パネルの [すべてのメッセージ] タブを参照してください。 [共通オプション] タブ/[ビルド方法]/[一括ビルドを行う]を [はい] にします。 設定を続けますか？ |
| | [説明] | CC-RH/CC-RX ビルド・プロパティにて、一括ビルド無効時、大域最適化オプション (-whole_program または -Xwhole_program) を設定する時に表示し、本当に設定して良いか確認します。 |
| | [対処方法] | [はい] : 個別オプションを OFF にし、ユーザの登録した obj/lib ファイルをプロジェクトから外し、一括ビルドを有効にし、大域最適化 (レベル3) を設定します。 [いいえ] : 大域最適化 (レベル3) を設定せず、プロパティ選択肢を元に戻します。 |
| Q0293017 | [メッセージ] | [リンク時最適化を行う]で [すべて (-Optimize)] が選択されました。 [コンパイル・オプション] タブ、および [アセンブル・オプション] タブの [リンク時最適化用付加情報出力する]を [はい (-goptimize)] にしますか？ |
| | [説明] | リンク時最適化が選択された場合、コンパイラ/アセンブラの -goptimize オプションを設定するかどうかを確認するために表示されます。 |
| | [対処方法] | [はい] : [コンパイル・オプション] タブ、および [アセンブル・オプション] タブの [リンク時最適化用付加情報出力する] プロパティを [はい (-goptimize)] にします。 [いいえ] : [コンパイル・オプション] タブ、および [アセンブル・オプション] タブの [リンク時最適化用付加情報出力する] プロパティを変更しません。 |

| | | |
|----------|---------|--|
| Q0293018 | [メッセージ] | [リンク時最適化を行う]で[いいえ (-NOOptimize)]が選択されました。 [コンパイル・オプション]タブ、および[アセンブル・オプション]タブの[リンク時最適化用付加情報を出力する]を[いいえ]にしますか？ |
| | [説明] | リンク時最適化 OFF が選択された場合、コンパイラ/アセンブラの -goptimize オプションも OFF にするかどうかを確認するために表示されます。 |
| | [対処方法] | [はい] : [コンパイル・オプション] タブ、および [アセンブル・オプション] タブの [リンク時最適化用付加情報を出力する] プロパティを [いいえ] にします。 [いいえ] : [コンパイル・オプション] タブ、および [アセンブル・オプション] タブの [リンク時最適化用付加情報を出力する] プロパティを変更しません。 |
| Q0294001 | [メッセージ] | 大域最適化 (レベル 3) を設定しようとしています。 レベル 3 に設定すると安全のため、個別コンパイラ/アセンブラ・オプションは無効になり、登録したオブジェクト/ライブラリ・ファイルも一度無効になります。また [使用するライブラリ・ファイル] プロパティに登録したライブラリも外されます。外したライブラリの詳細は、出力パネルの [すべてのメッセージ] タブを参照してください。 設定を続けますか？ |
| | [説明] | CC-RL ビルド・プロパティにて、大域最適化オプション (-Owhole_program) を設定する時に表示し、本当に設定して良いか確認します。 |
| | [対処方法] | [はい] : 個別オプションをオフにし、ユーザの登録した obj / lib ファイルをプロジェクトからはずし、-Owhole_program をオンにします。 [いいえ] : -Owhole_program を設定せず、プロパティ選択肢を元に戻します。 |
| Q0294003 | [メッセージ] | すべてのビルド・モードで、個別コンパイル・オプションに現在のコンパイル・オプションを設定しますか？ [いいえ] を選んだ場合、現在のビルド・モードに対してのみ設定します。 |
| | [説明] | 個別コンパイルオプションを指定する際に表示されます。 |
| | [対処方法] | [はい] : コマンドを実行します。 [いいえ] : 現在のビルド・モードに対してのみ設定します。 [キャンセル] : コマンドをキャンセルします。 |
| Q0294004 | [メッセージ] | すべてのビルド・モードで、個別アセンブル・オプションに現在のアセンブル・オプションを設定しますか？ [いいえ] を選んだ場合、現在のビルド・モードに対してのみ設定します。 |
| | [説明] | 個別アセンブルオプションを指定する際に表示されます。 |
| | [対処方法] | [はい] : コマンドを実行します。 [いいえ] : 現在のビルド・モードに対してのみ設定します。 [キャンセル] : コマンドをキャンセルします。 |

| | | |
|----------|---------|---|
| Q0294005 | [メッセージ] | すべてのビルド・モードで、コンパイル・オプションをアセンブル・オプションへコピーしますか？ [いいえ]を選んだ場合、現在のビルド・モードに対してのみコピーします。 |
| | [説明] | コンパイルオプション [一括ビルドを行う] プロパティが [はい] から [いいえ] になった場合に、表示されます。 |
| | [対処方法] | [はい] : コマンドを実行します。 [いいえ] : 現在のビルド・モードに対してのみ設定します。 [キャンセル] : コマンドをキャンセルします。 |
| Q0294006 | [メッセージ] | すべてのビルド・モードで、個別アセンブル・オプションに現在のコンパイル・オプションを設定しますか？ [いいえ]を選んだ場合、現在のビルド・モードに対してのみ設定します。 |
| | [説明] | 個別アセンブルオプションを指定する際に表示されます。 (CC-RL で一括ビルドが ON の時) |
| | [対処方法] | [はい] : コマンドを実行します。 [いいえ] : 現在のビルド・モードに対してのみ設定します。 [キャンセル] : コマンドをキャンセルします。 |
| Q0294007 | [メッセージ] | メモリ・マッピング・プロファイルに有用な以下の設定の全部または一部が有効になっていません。以下の設定を有効にしますか？ [リンク・オプション] タブの [リスト] カテゴリの、 ・ [リンク・マップ・ファイルを出力する] プロパティ ・ [シンボル情報を出力する] プロパティ ・ [セクションの合計サイズを表示する] プロパティ |
| | [説明] | メモリ・マッピング・プロファイルパネルで [プロファイル] ボタンをクリックして [プロファイル (収集)] ボタンに変わったとき、関連するリンクのオプションが ON でない場合に表示されます (プロジェクト・オープン後の初回のみ)。 |
| | [対処方法] | [はい] : リンクのオプションを ON に変更して、メモリ・マッピング情報を収集します。 [いいえ] : リンクのオプションを変更せずに、メモリ・マッピング情報を収集します。 |

| | | |
|----------|---------|--|
| Q0294009 | [メッセージ] | <p>大域最適化 (レベル 3) を設定しようとしています。</p> <p>レベル 3 に設定すると安全のため、個別コンパイラ/アセンブラ・オプションは無効になり、登録したオブジェクト/ライブラリ・ファイルも一度無効になります。また [使用するライブラリ・ファイル] プロパティに登録したライブラリも外されます。外したライブラリの詳細は、出力パネルの [すべてのメッセージ] タブを参照してください。</p> <p>[共通オプション] タブ/[ビルド方法][一括ビルドを行う] を [はい] にします。</p> <p>設定を続けますか？</p> |
| | [説明] | CC-RL ビルド・プロパティにて、一括ビルド無効時、大域最適化オプション (-Owhole_program) を設定する時に表示し、本当に設定して良いか確認します。 |
| | [対処方法] | <p>[はい] : 個別オプションを OFF にし、ユーザの登録した obj/lib ファイルをプロジェクトから外し、一括ビルドを有効にし、大域最適化 (レベル 3) を設定します。</p> <p>[いいえ] : 大域最適化 (レベル 3) を設定せず、プロパティ選択肢を元に戻します。</p> |
| Q0294010 | [メッセージ] | <p>[最適化方法] で [しない (-NOOptimize)] 以外が選択されました。</p> <p>[コンパイル・オプション] タブ、および [アセンブル・オプション] タブの [モジュール間最適化用付加情報を出力する] を [はい (-goptimize)] にしますか？</p> |
| | [説明] | 最適化が選択された場合、コンパイラ/アセンブラの -goptimize オプションを設定するかどうかを確認するために表示されます。 |
| | [対処方法] | <p>[はい] : [コンパイル・オプション] タブ、および [アセンブル・オプション] タブの [モジュール間最適化用付加情報を出力する] プロパティを [はい (-goptimize)] にします。</p> <p>[いいえ] : [コンパイル・オプション] タブ、および [アセンブル・オプション] タブの [モジュール間最適化用付加情報を出力する] プロパティを変更しません。</p> |
| Q0294011 | [メッセージ] | <p>[最適化方法] で [しない (-NOOptimize)] が選択されました。</p> <p>[コンパイル・オプション] タブ、および [アセンブル・オプション] タブの [モジュール間最適化用付加情報を出力する] を [いいえ] にしますか？</p> |
| | [説明] | 最適化 OFF が選択された場合、コンパイラ/アセンブラの -goptimize オプションも OFF にするかどうかを確認するために表示されます。 |
| | [対処方法] | <p>[はい] : [コンパイル・オプション] タブ、および [アセンブル・オプション] タブの [モジュール間最適化用付加情報を出力する] プロパティを [いいえ] にします。</p> <p>[いいえ] : [コンパイル・オプション] タブ、および [アセンブル・オプション] タブの [モジュール間最適化用付加情報を出力する] プロパティを変更しません。</p> |
| Q0294012 | [メッセージ] | <p>1 つ以上の C++ ソース・ファイルが追加されました。</p> <p>リンクの [標準・数学ライブラリを使用する] を [はい (C++ 用ライブラリ)] に変更しますか？</p> |
| | [説明] | C++ ソース・ファイルがプロジェクトに追加された場合に、C++ 用の標準・数学ライブラリを使用するかどうかを質問するために表示されます。 |
| | [対処方法] | <p>[はい] : [リンク・オプション] タブ、または [ライブラリ生成オプション] タブの [標準・数学ライブラリを使用する] を [はい (C++ 用ライブラリ)] にします。</p> <p>[いいえ] : [リンク・オプション] タブ、または [ライブラリ生成オプション] タブの [標準・数学ライブラリを使用する] を変更しません。</p> |

| | | |
|----------|---------|--|
| Q0294013 | [メッセージ] | C++ ソース・ファイルが登録解除されました。 リンクの [標準・数学ライブラリを使用する] を [はい (C90 用ライブラリ)] に変更 しますか？ |
| | [説明] | C++ ソース・ファイルがプロジェクトから登録解除された場合に、C90 用の標準・ 数学ライブラリを使用するかどうかを質問するために表示されます。 |
| | [対処方法] | [はい]: [リンク・オプション] タブ、または [ライブラリ生成オプション] タブの [標準・ 数学ライブラリを使用する] を [はい (C90 用ライブラリ)] にします。 [いいえ]: [リンク・オプション] タブ、または [ライブラリ生成オプション] タブの [標準・ 数学ライブラリを使用する] を変更しません。 |
| Q0294014 | [メッセージ] | C++ ソース・ファイルが登録解除されました。 リンクの [標準・数学ライブラリを使用する] を [はい (C99 用ライブラリ)] に変更 しますか？ |
| | [説明] | C++ ソース・ファイルがプロジェクトから登録解除された場合に、C99 用の標準・ 数学ライブラリを使用するかどうかを質問するために表示されます。 |
| | [対処方法] | [はい]: [リンク・オプション] タブ、または [ライブラリ生成オプション] タブの [標準・ 数学ライブラリを使用する] を [はい (C99 用ライブラリ)] にします。 [いいえ]: [リンク・オプション] タブ、または [ライブラリ生成オプション] タブの [標準・ 数学ライブラリを使用する] を変更しません。 |
| Q0294015 | [メッセージ] | [はい (FAA メモリ領域をまたいでセクションを自動配置する)] を選択しようと しています。 [自動配置をモジュール別セクションで実施する] を使用しないように変えて、[は い (FAA メモリ領域をまたいでセクションを自動配置する)] を設定しますか？ |
| | [説明] | [はい (FAA メモリ領域をまたいでセクションを自動配置する)] 選択時、同時に指 定できないオプションが選択されている場合に表示されます。 |
| | [対処方法] | [はい]: [自動配置をモジュール別セクションで実施する] を使用しないように変えて、[は い (FAA メモリ領域をまたいでセクションを自動配置する)] を設定します。 [いいえ]: 設定を変更しません。 |
| Q0294016 | [メッセージ] | 1 つ以上の C++ ソース・ファイルが追加されました。 リンクの [標準・数学ライブラリを使用する] を [はい (C++ 用ライブラリ)] に変更 し、ライブラリ・ジェネレータの [ライブラリ・ジェネレータで C 標準ライブラリ を生成する] を [いいえ] に変更しますか？ |
| | [説明] | CC-RL V1.13.00 以上を使用するプロジェクトで、C++ ソース・ファイルがプロ ジェクトに追加された場合に、C++ 用の標準・数学ライブラリを使用するかどうか を質問するために表示されます。 |
| | [対処方法] | [はい]: [リンク・オプション] タブおよび [標準ライブラリ・ジェネレート・オプション] タブの設定を変更します。 [いいえ]: [リンク・オプション] タブ、および [標準ライブラリ・ジェネレート・オプション] タブを変更しません。 |

| | | |
|----------|---------|--|
| Q0294017 | [メッセージ] | C++ ソース・ファイルが登録解除されました。 リンクの [標準・数学ライブラリを使用する] を [いいえ] に、ライブラリ・ジェネレータの [ライブラリ・ジェネレータで C 標準ライブラリを生成する] を [はい (オプション変更時)] に変更しますか？ |
| | [説明] | CC-RL V1.13.00 以上を使用するプロジェクトで、C++ ソース・ファイルがプロジェクトから登録解除された場合に、ライブラリ・ジェネレータで C 標準ライブラリを生成するかどうかを質問するために表示されます。 |
| | [対処方法] | [はい] : [リンク・オプション] タブおよび [標準ライブラリ・ジェネレート・オプション] タブの設定を変更します。 [いいえ] : [リンク・オプション] タブ、および [標準ライブラリ・ジェネレート・オプション] タブを変更しません。 |
| Q0294019 | [メッセージ] | [最適化方法] で [しない (-NOOptimize)] 以外が選択されました。 [コンパイル・オプション] タブ、[アセンブル・オプション] タブ、および [標準ライブラリ・ジェネレート・オプション] の [モジュール間最適化用付加情報を出力する] を [はい (-goptimize)] にしますか？ |
| | [説明] | 最適化が選択された場合、コンパイラ/アセンブラ/ライブラリ・ジェネレータの -goptimize オプションを設定するかどうかを確認するために表示されます。 |
| | [対処方法] | [はい] : [コンパイル・オプション] タブ、[アセンブル・オプション]、および [標準ライブラリ・ジェネレート・オプション] タブの [モジュール間最適化用付加情報を出力する] プロパティを [はい (-goptimize)] にします。 [いいえ] : [コンパイル・オプション] タブ、[アセンブル・オプション]、および [標準ライブラリ・ジェネレート・オプション] タブの [モジュール間最適化用付加情報を出力する] プロパティを変更しません。 |
| Q0294020 | [メッセージ] | [最適化方法] で [しない (-NOOptimize)] が選択されました。 [コンパイル・オプション] タブ、[アセンブル・オプション] タブ、および [標準ライブラリ・ジェネレート・オプション] の [モジュール間最適化用付加情報を出力する] を [いいえ] にしますか？ |
| | [説明] | 最適化 OFF が選択された場合、コンパイラ/アセンブラ/ライブラリ・ジェネレータの -goptimize オプションも OFF にするかどうかを確認するために表示されます。 |
| | [対処方法] | [はい] : [コンパイル・オプション] タブ、[アセンブル・オプション]、および [標準ライブラリ・ジェネレート・オプション] タブの [モジュール間最適化用付加情報を出力する] プロパティを [いいえ] にします。 [いいえ] : [コンパイル・オプション] タブ、[アセンブル・オプション]、および [標準ライブラリ・ジェネレート・オプション] タブの [モジュール間最適化用付加情報を出力する] プロパティを変更しません。 |

| | | |
|----------|---------|---|
| Q0294021 | [メッセージ] | 1つ以上の C++ ソース・ファイルが追加されました。 以下のビルド・モードすべてでリンクの [標準・数学ライブラリを使用する] を [はい (C++ 用ライブラリ)] に変更しますか？ xxx |
| | [説明] | C++ ソース・ファイルがプロジェクトに追加された場合に、C++ 用の標準・数学ライブラリを使用するかどうかを質問するために表示されます。 |
| | [対処方法] | [はい] : 表示されたビルド・モードすべてで [リンク・オプション] タブ、または [ライブラリ生成オプション] タブの [標準・数学ライブラリを使用する] を [はい (C++ 用ライブラリ)] にします。 [いいえ] : [リンク・オプション] タブ、または [ライブラリ生成オプション] タブの [標準・数学ライブラリを使用する] を変更しません。 |
| Q0294022 | [メッセージ] | C++ ソース・ファイルが登録解除されました。 以下のビルド・モードすべてでリンクの [標準・数学ライブラリを使用する] を [はい (C90 用ライブラリ)] に変更しますか？ xxx |
| | [説明] | C++ ソース・ファイルがプロジェクトから登録解除された場合に、C90 用の標準・数学ライブラリを使用するかどうかを質問するために表示されます。 |
| | [対処方法] | [はい] : 表示されたビルド・モードすべてで [リンク・オプション] タブ、または [ライブラリ生成オプション] タブの [標準・数学ライブラリを使用する] を [はい (C90 用ライブラリ)] にします。 [いいえ] : [リンク・オプション] タブ、または [ライブラリ生成オプション] タブの [標準・数学ライブラリを使用する] を変更しません。 |
| Q0294023 | [メッセージ] | C++ ソース・ファイルが登録解除されました。 以下のビルド・モードすべてでリンクの [標準・数学ライブラリを使用する] を [はい (C99 用ライブラリ)] に変更しますか？ xxx |
| | [説明] | C++ ソース・ファイルがプロジェクトから登録解除された場合に、C99 用の標準・数学ライブラリを使用するかどうかを質問するために表示されます。 |
| | [対処方法] | [はい] : 表示されたビルド・モードすべてで [リンク・オプション] タブ、または [ライブラリ生成オプション] タブの [標準・数学ライブラリを使用する] を [はい (C99 用ライブラリ)] にします。 [いいえ] : [リンク・オプション] タブ、または [ライブラリ生成オプション] タブの [標準・数学ライブラリを使用する] を変更しません。 |
| Q0294024 | [メッセージ] | 1つ以上の C++ ソース・ファイルが追加されました。 以下のビルド・モードすべてでリンクの [標準・数学ライブラリを使用する] を [はい (C++ 用ライブラリ)] に変更し、ライブラリ・ジェネレータの [ライブラリ・ジェネレータで C 標準ライブラリを生成する] を [いいえ] に変更しますか？ xxx |
| | [説明] | CC-RL V1.13.00 以上を使用するプロジェクトにおいて、C++ ソース・ファイルがプロジェクトに追加された場合に、C++ 用の標準・数学ライブラリを使用するかどうかを質問するために表示されます。 |
| | [対処方法] | [はい] : 表示されたビルド・モードすべてで [リンク・オプション] タブおよび [ライブラリ・ジェネレート・オプション] タブの設定を変更します。 [いいえ] : [リンク・オプション] タブ、および [ライブラリ・ジェネレート・オプション] タブを変更しません。 |

| | | |
|----------|---------|--|
| Q0294025 | [メッセージ] | C++ ソース・ファイルが登録解除されました。 以下のビルド・モードすべてでリンクの [標準・数学ライブラリを使用する] を [いいえ] に、ライブラリ・ジェネレータの [ライブラリ・ジェネレータで C 標準ライブラリを生成する] を [はい (オプション変更時)] に変更しますか？ xxx |
| | [説明] | CC-RL V1.13.00 以上を使用するプロジェクトにおいて、C++ ソース・ファイルがプロジェクトから登録解除された場合に、ライブラリ・ジェネレータで C 標準ライブラリを生成するかどうかを質問するために表示されます。 |
| | [対処方法] | [はい] : 表示されたビルド・モードすべてで [リンク・オプション] タブおよび [標準ライブラリ・ジェネレート・オプション] タブの設定を変更します。 [いいえ] : [リンク・オプション] タブ、および [標準ライブラリ・ジェネレート・オプション] タブを変更しません。 |
| Q0300001 | [メッセージ] | 外部周辺 < 外部周辺名 > と接続されています。設定を変更すると、外部周辺との接続が切断されます。設定を変更しますか？ |
| | [対処方法] | [はい] : 外部周辺との接続を切断して、設定を変更します。 [いいえ] : 設定を変更せずにダイアログを閉じます。 |
| Q0300002 | [メッセージ] | 端子番号 < 端子番号 > は < マクロ機能 > で使用中です。設定を変更しますか？ |
| | [対処方法] | [はい] : 設定を変更します。 [いいえ] : 設定を変更せずにダイアログを閉じます。 |
| Q0300003 | [メッセージ] | "< 列の名前 >" 列を削除します。よろしいですか？ |
| | [対処方法] | [はい] : 列を削除します。 [いいえ] : 列を削除せずにダイアログを閉じます。 |
| Q0300004 | [メッセージ] | 外部周辺 < 外部周辺名 > を削除しますか？削除すると外部周辺に接続している端子は切断されます。 |
| | [対処方法] | [はい] : 外部周辺を削除します。接続していた端子は切断します。 [いいえ] : 設定を変更せず元の状態に戻ります。 |
| Q0300005 | [メッセージ] | パッケージを変更すると端子配置で行ったすべての設定を破棄します。パッケージを変更しますか？ |
| | [対処方法] | [はい] : パッケージを変更します。端子設定、外部周辺を初期状態に戻します。 [いいえ] : 設定を変更せず、元の状態に戻ります。 |
| Q0300006 | [メッセージ] | 端子番号 < 端子番号 > を外部周辺 < 外部周辺名 > から切断します。よろしいですか？ |
| | [対処方法] | [はい] : 端子を外部周辺から切断します。 [いいえ] : 設定を変更せず、元の状態に戻ります。 |

| | | |
|----------|---------|--|
| Q0300007 | [メッセージ] | < ファイル名 > はすでに存在します。上書きしますか？ |
| | [対処方法] | [はい] : ファイルを上書き保存します。 [いいえ] : 設定を変更せず、元の状態に戻ります。 |
| Q0300008 | [メッセージ] | 外部周辺と接続されている端子があります。設定を変更すると外部周辺との接続が切断されます。設定を変更しますか？ |
| | [対処方法] | [はい] : 外部周辺と接続されている端子を外部周辺から切断し、設定を変更します。 [いいえ] : 設定を変更せず、元の状態に戻ります。 |
| Q0300009 | [メッセージ] | 他で使用中の端子があります。すべての端子の設定を変更してもよろしいですか？ |
| | [対処方法] | [はい] : 他で使用中の端子を含め、すべての端子の設定を変更します。 [いいえ] : 設定を変更せず、元の状態に戻ります。 |
| Q0404000 | [メッセージ] | xxx が変更されています。保存しますか？ |
| Q0404001 | [メッセージ] | フォルダが存在しません。作成しますか？ |
| Q0404002 | [メッセージ] | コード生成の設定を保存しますか？「いいえ」を選択すると、再度このプロジェクトをアクティブ・プロジェクトに変更してもコード生成の設定は現在の設定に戻りません。 |
| Q0615000 | [メッセージ] | デバッグ・ツールの実行を一瞬停止してアクセスする機能も無効にしますか？ |
| Q0615001 | [メッセージ] | デバッグ・ツールの実行を一瞬停止してアクセスする機能も有効にしますか？ |
| Q0615002 | [メッセージ] | デバッグ・ツールの RAM モニタ / DMM を使用する (デバッグ DTC 方式) かどうか有効にしますか？ |
| Q0801001 | [メッセージ] | ファイルがすでに存在します。上書きしますか？ |
| | [対処方法] | [はい] : ファイルを上書きします。 [いいえ] : ファイルを上書きせず、フォーカスを元のダイアログに戻します。 |
| Q0810001 | [メッセージ] | 空きメモリを確保するために中断した解析結果を破棄して解析プラグインのパネルを閉じますか？ 空きメモリを確保するために中断した解析結果を破棄して、解析プラグインの xxx パネルを閉じますか？ |
| | [説明] | 解析中にメモリ不足になった場合に、解析結果を破棄する前に確認を行う場合に表示されます。 |
| | [対処方法] | [はい] : 解析結果を破棄してメモリを開放して解析プラグインのパネルを閉じます。 [いいえ] : 解析結果を破棄せずに処理を続けます。ただし、メモリを限界まで使っているため動作が不安定になる可能性があります。 |

| | | |
|----------|---------|---|
| Q0812001 | [メッセージ] | 複数のアドレスにブレークを設定可能です。すべてのアドレスにブレークを設定しますか？ |
| | [説明] | [関数の先頭にブレークを設定] コマンドを選択したときに、対象関数がテンプレート関数の場合、対応するすべてのアドレスにブレークを設定するかの確認を行う場合に表示されます。 |
| | [対処方法] | [はい] : テンプレート関数に対応している全てのアドレスにブレーク・イベントを設定します。 [いいえ] : テンプレート関数に対応しているアドレスのうち、最も値の小さいアドレスにのみブレーク・イベントを設定します。 |
| Q0824001 | [メッセージ] | 検索条件に該当するデータはありませんでした。xxx から検索しますか？ |
| | [説明] | 解析グラフの値の推移で検索したときに、検索方向に検索条件に一致するデータがない場合に表示されます。 xxxには、"先頭", または"最後"が表示されます。 |
| | [対処方法] | [はい] : メッセージ ダイアログを閉じて、再度、検索範囲の先頭/最後から検索を行います。 [いいえ] : メッセージ ダイアログを閉じて、元のダイアログにフォーカスを移動します。 |
| Q0824002 | [メッセージ] | チャンネルの変数名/アドレスと型/サイズをファイルから読み込む前の値に戻しますか？ |
| | [説明] | 解析ツールのプロパティ パネル→[値の推移] タブ→[解析方式] プロパティで、[ファイルから読み込み] を選んだ後、他の方式に変更したときに、プロパティの設定をファイルから読み込む前の値に復帰するかどうかの確認を行う場合に表示されます。 |
| | [対処方法] | [はい] : ファイルから読み込んだ値を破棄し、以前の値に戻します。 [いいえ] : ファイルから読み込んだ値をそのまま保持します。 |
| Q0824003 | [メッセージ] | 現在ウォッチ パネル (ウォッチ 1) に登録されているウォッチ式を、グラフ化対象として登録します。これまで登録していたグラフ化対象の情報は破棄され、表示中のグラフをクリアします。 続行しますか？ |
| | [対処方法] | [OK] : ウォッチパネルのウォッチ式をグラフ化対象として登録します。 [キャンセル] : 何もしません。 |
| Q0826001 | [メッセージ] | この形式で画像を保存すると、ファイル・サイズが巨大になる可能性があります。 |
| | [説明] | ファイル・サイズが大きくなることを警告して、本当に保存するか確認します。 |
| | [対処方法] | [OK] : 画像を保存します。 [キャンセル] : 何もしません。 |

| | | |
|----------|---------|--|
| Q1700000 | [メッセージ] | ファイル xxx は書き込み禁止のため保存できません。 名前を付けて保存しますか？または強制的に上書き保存しますか？ |
| | [説明] | 書き込み禁止のファイルに上書きしようとした場合に表示されます。 |
| | [対処方法] | [名前を付けて保存]： 別名でファイルを保存します。 [上書き]： ファイルの属性を変更して強制的に上書きします。 [キャンセル]： 処理を中止します。 |
| Q1700512 | [メッセージ] | ファイル名 "xxx" がコピー先に存在します。 このファイルを上書きしますか？ |
| Q2000001 | [メッセージ] | 現在のファイルには保存されていない変更があります。まず最初にこれらの変更を保存する必要があります。xxxyyy 変更を保存しますか？ |
| | [説明] | エディタをソース・ファイル表示からソース混合表示に切り替えるとき、このメッセージが表示されます。 ソース・ファイルに保存されていない変更があることを意味します。ソース混合表示へ移行する前に、ソース・ファイルの変更を保存しなければなりません。 |
| | [対処方法] | [OK]： ソース・ファイルの変更は保存されます。保存が成功すると、エディタの表示はソース混合表示に切り替わります。 [キャンセル]： ソース混合表示への切り替えを中止します。エディタはソース・ファイル表示のまま、保存されていない変更もそのままです。 |
| Q2000002 | [メッセージ] | xxx が変更されています。保存しますか？ |
| | [説明] | このメッセージはエディタに保存されていない変更があるときに表示されます。 エディタを閉じるか、または現在のファイルをリロードするなどの操作をすると、このメッセージが表示されます。 |
| | [対処方法] | [はい]： 指定したファイルに、保存されていない変更を保存します。 [いいえ]： エディタの保存されていない変更を破棄します。 [キャンセル]： このメッセージが表示される原因となった操作を中止します。 アプリケーションの終了時にこのメッセージが表示されている場合、[キャンセル] ボタンは無効になります。 |
| Q2000004 | [メッセージ] | ファイル xxx は書き込み禁止なので、保存できません。yyy 異なる名前で保存しますか、あるいは上書きしますか？ |
| | [説明] | ディスクの上の書き込み禁止のファイルを保存しようとしたときに、このメッセージが表示されます。 |
| | [対処方法] | [名前を付けて保存 ...]： ファイルを異なる名前で保存できるように、名前を付けて保存 ダイアログをオープンします。 [上書き]： 既存の書き込み禁止ファイルを上書きします。書き込み禁止の属性は読み出し/書き込み許可属性に変更されます。 [キャンセル]： このメッセージが表示される原因となった操作を中止します。 |

| | | |
|----------|---------|---|
| Q2000005 | [メッセージ] | xxxxxyzzz このファイルは他のプログラムで変更されました。再度読み込みますか？ |
| | [説明] | エディタで開いているソース・ファイルが別のアプリケーションで外部的に変更されたとき、このメッセージが表示されます。 |
| | [対処方法] | [はい] : ソース・ファイルをリロードします。最後に保存してから、保存していない変更点はなくなります。 [いいえ] : 外部的なファイルの変更点を無視します。エディタは現在の状態のまま変更されません。保存されていない変更もそのまま残ります。 [キャンセル] : [いいえ] ボタンを押した場合と同様です。外部的なファイルの変更を無視し、エディタは現在の状態のままとなります。 |
| Q2000006 | [メッセージ] | 印刷イメージの生成に時間がかかる場合があります。継続しますか。 |
| | [説明] | 1000 行以上のファイルで [印刷 ...] メニュー、または [印刷プレビュー] メニューを選択したときに、このメッセージが表示されます。 |
| | [対処方法] | [OK] : イメージの作成を行います。 [キャンセル] : イメージの作成を中止します。 |
| Q2000007 | [メッセージ] | xxx のファイル・サイズが 24MB を越えています。 ファイル・サイズが大きい場合は、シンタックスの色付け処理に時間がかかります。 処理を無効にしますか？ 無効にした場合、コードのアウトラインおよびスマート・エディットの機能も無効になります。 以降も 24MB 以上のファイルに対して、同じ選択を適用します。 |
| | [説明] | ファイル・サイズが大きい場合、シンタックスの色付けに時間がかかります。そのため、シンタックスの色付けを無効にするかどうかを問い合わせるときに、このメッセージが表示されます。 |
| | [対処方法] | [はい] : サイズが 24MB を越えるファイルのシンタックスの色付け／コードのアウトライン／スマート・エディットを無効にします。 [いいえ] : シンタックスの色付け／コードのアウトライン／スマート・エディットを無効にしません。 |
| Q2200001 | [メッセージ] | ファイル名は、既に存在します。上書きしますか？ [y/n] |
| | [説明] | 指定されたファイルが既に存在します。 |
| | [対処方法] | [y] : 上書きして処理を続行します。 [n] : 処理を中止します。 |
| Q2300001 | [メッセージ] | ファイルがすでに存在します。上書きしますか？ |
| | [説明] | 各種ダイアログにて、ファイル名を指定する欄がある場合に表示されます。 |
| | [対処方法] | [はい] : ファイルを上書きします。 [いいえ] : ファイルを上書きせず、フォーカスを元のダイアログに戻します。 |

5.5 ワーニング

表 5.5 ワーニング

| | | |
|----------|---------|--|
| W0023001 | [メッセージ] | タグ (xx) は、ありません。 |
| W0023002 | [メッセージ] | 有効なデータは、ありません。 |
| W0024001 | [メッセージ] | タグ (xx) は、ありません。 |
| W0024002 | [メッセージ] | 有効なデータは、ありません。 |
| W0130000 | [メッセージ] | 必要なライセンスが登録されていないため以下のアップデートは表示されません。 |
| W0140018 | [メッセージ] | インストールが成功しました。 インストールの完了には再起動が必要です。 |
| | [説明] | インストールがすべて成功し、再起動の必要があるときに表示されます。 |
| W0140022 | [メッセージ] | インストール完了前に中断されました。 |
| | [説明] | インストールを途中で中断したときに表示されます。 |
| W0140025 | [メッセージ] | インストール完了前に中断されました。 OS の再起動が必要です。 |
| | [説明] | インストールを中断して、完了した部分（中断前）のインストールで再起動の必要があるときに表示されます。 |
| W0140031 | [メッセージ] | アンインストールの完了には、OS の再起動が必要です。 |
| W0140042 | [メッセージ] | 以下の製品のインストールの完了には再起動が必要です。 Windows を再起動してください。 - xxx : この製品用の最新の Service Pack および セキュリティ更新プログラムを Windows Update および Microsoft Update を使用してインストールしてください。 インストールを終了します。 |
| | [説明] | インストールが必要な環境のインストールにすべて成功したけれど、全部再起動が必要だったときに表示されます。 |
| W0140043 | [メッセージ] | 以下の製品のインストールの完了には再起動が必要です。 Windows を再起動してください。 - xxx : 以下の製品のインストールは成功しました。 - xxx : この製品用の最新の Service Pack および セキュリティ更新プログラムを Windows Update および Microsoft Update を使用してインストールしてください。 インストールを終了します。 |
| | [説明] | インストールが必要な環境のインストールにすべて成功したけれど、再起動が必要なものと、再起動が不要なものが混在したときに表示されます。 |
| W0140047 | [メッセージ] | 言語パックのインストールに失敗しました。 一部のメッセージは英語で表示される場合があります。 |
| | [説明] | .NET Framework 言語パックのインストールに失敗したときに表示します。 |
| W0190002 | [メッセージ] | "xxx" からライセンス情報の読み込みに失敗しました。ファイルが壊れています。 |

| | | |
|----------|---------|--|
| W0190003 | [メッセージ] | ライセンス情報の読み込みに失敗しました。ファイルが壊れています。 |
| W0200001 | [メッセージ] | ご使用の PC に、問い合わせ用の情報／アップデート機能で使用する情報のファイルが複数存在しています。情報ファイルは唯一である必要があります。xxx を再インストールしてください。 |
| | [説明] | 問い合わせ用の情報／アップデート機能で使用する情報のファイルが複数存在していたときに、表示されます。 |
| | [対処方法] | 再インストールしてください。 |
| W0201003 | [メッセージ] | 書き込み許可を変更できませんでした。 |
| | [説明] | 対象ファイルの "読み取り専用" 属性の変更ができないことを表します。 |
| | [対処方法] | カレント・ユーザが属性を編集できるファイルを指定してください。 |
| W0201004 | [メッセージ] | ファイルの拡張子が不正です。拡張子が xxx のファイルを指定してください。 |
| | [説明] | ファイルの読み込み時／インポート時に、指定されたファイルの拡張子が対応していない拡張子であることを表します。 |
| | [対処方法] | 正しい拡張子のファイルを指定してください。 |
| W0201005 | [メッセージ] | ファイルのエンコードが不正です。エンコードには xxx を指定してください。 |
| | [説明] | ファイルの読み込み時／インポート時に、指定されたファイルのエンコードが対応していないエンコードであることを表します。 |
| | [対処方法] | 正しいエンコードのファイルを指定してください。 |
| W0202001 | [メッセージ] | プロジェクトの流用に失敗しました。ファイル構成やツールのプロパティは適用されていません。 |
| | [説明] | プロジェクト流用機能を用いたプロジェクトの新規作成で、流元プロジェクトの解析に失敗した場合などに表示されます。ファイル構成やツールのプロパティは適用されません。 |
| | [対処方法] | 正常に読み込めるプロジェクトを流用元に指定してください。 |
| W0202002 | [メッセージ] | プロパティの適用に失敗しました。(ツール名: xxx) |
| | [説明] | プロジェクト流用機能を用いたプロジェクトの新規作成で、ツールのプロパティを適用失敗した場合に表示されます。流元プロジェクトのファイル構成は適用されています。 |
| | [対処方法] | 正常に読み込めるプロジェクトを流用元に指定してください。 |
| W0202003 | [メッセージ] | 指定されたプロジェクト・ファイルは復元が可能ですが、上書き保存することで一部情報が失われる可能性があります。 |
| | [説明] | 互換性が完璧ではないプロジェクト・ファイルを読み込もうとしました。復帰はできませんが、上書き保存してしまうと情報が一部欠損します。 |
| | [対処方法] | 指定されたプロジェクト・ファイルを作成したツール・バージョンと同一か確認してください。必要であれば、統合開発環境フレームワークとプラグインをアップデートしてください。 |
| W0202004 | [メッセージ] | 指定されたコンパイラ・パッケージのバージョンに対応していないプラグインがあります。詳細は、出力パネルの [すべてのメッセージ] タブを参照してください。 |
| | [説明] | コンパイラ・パッケージのバージョンが変更されたことにより、プラグインの一部、またはすべての機能が動作しなくなりました。 |
| | [対処方法] | プラグインとコンパイラ・パッケージのバージョンの整合性を確保してください。 |

| | | |
|----------|---------|---|
| W0202005 | [メッセージ] | プロジェクトを前回保存した状態で、開けませんでした。詳細は、出力パネルの[すべてのメッセージ]タブを参照してください。 |
| | [説明] | ビルド時に使用するコンパイラ・パッケージのバージョンがプロジェクト・ファイル保存時とプロジェクト・ファイルオープン時に異なる場合に表示されます。 |
| | [対処方法] | 出力パネルで詳細を確認してください。 出力パネルに「CC-xx [共通オプション] - [使用するコンパイラ・パッケージのインストール・フォルダ] -> (空欄)」と表示されている場合、プロジェクトに保存されたバージョンのコンパイラ・パッケージがインストールされていません。該当バージョンのコンパイラ・パッケージをインストールするか、[使用するコンパイラ・パッケージのバージョン] プロパティを変更してください。 |
| W0202006 | [メッセージ] | プロジェクトを前回保存した状態で、インポートできませんでした。詳細は、出力パネルの[すべてのメッセージ]タブを参照してください。 |
| | [説明] | ビルド・オプションのインポート時に、前回プロジェクトを保存した状態でインポートできなかった場合に表示されます。 |
| W0202007 | [メッセージ] | 以下のファイルはプロジェクトに追加できませんでした。 |
| | [説明] | プロジェクトに既存のファイル追加時に追加できなかったファイルがあった場合に表示されます。 |
| W0202008 | [メッセージ] | 前回プロジェクトを保存したときとは異なるバージョンの <コンパイラ名> が選択されました。選択されたバージョンは、ビルド・ツールのプロパティの[共通オプション]タブの[バージョン選択]カテゴリで確認してください。 コンパイラのバージョンが変更になったことにより、オプション設定が変更/削除される場合がありますので、出力パネルの[すべてのメッセージ]タブを参照してください。 また、内容に問題がある場合はプロジェクトを保存せずに閉じてください。 |
| | [説明] | プロジェクト読み込み時に、前回プロジェクトを保存した状態で読み込むことができなかった場合、かつ前回保存時のコンパイラバージョンからバージョンに変化がある場合に表示されます。 |
| | [対処方法] | 出力パネルで詳細を確認してください。 コンパイラの新バージョンのライセンス有無、種別 (Standard / Professional) を確認してください。 |
| W0203001 | [メッセージ] | プロパティに値を設定する際、設定した値をすべてのビルド・モードに反映する機能を有効にしました。 設定した値が他のビルド・モードの値として適していない可能性があるため充分ご注意ください。 |
| | [説明] | [すべてのビルド・モードのプロパティを一括して変更する] プロパティで [[はい]] を選択した場合に表示されます。 |
| W0205001 | [メッセージ] | xxx 未満または yyy を越える文字を指定できません。 |
| | [説明] | xxx 文字以上 yyy 文字以下の文字列を指定できる領域に xxx 文字未満、または yyy 文字以上の文字列を指定した場合、メッセージダイアログに表示されます。 xxx は、指定できる文字列の最低文字数、yyy は、指定できる文字列の最大文字数です。xxx、yyy の値は、入力領域依存となります。 |
| | [対処方法] | 範囲内の値を指定してください。 |
| W0205002 | [メッセージ] | xxx 文字を越える文字を指定できません。 |
| | [説明] | テキスト編集ダイアログでダイアログ表示元に設定できる文字数を越えている行がある場合に表示されます。 |
| | [対処方法] | 指定できる文字数を越えている行の文字数を <最大文字数> 文字以下にします。 |

| | | |
|----------|---------|---|
| W0205003 | [メッセージ] | xxx 行を越える行を指定できません。 |
| | [説明] | テキスト編集 ダイアログでダイアログ表示元に設定できる行数を越えている場合に 表示されます。 |
| | [対処方法] | 行数を <最大行数> 行以下にします。 |
| W0205004 | [メッセージ] | xxx 桁の 16 進数を指定してください。 |
| | [説明] | 16 進数を指定する領域で 16 進数に指定できない文字列を含む場合、有効な桁数 を含む場合に表示されます。 |
| | [対処方法] | <有効な桁数> の 16 進数を指定します。 |
| W0205006 | [メッセージ] | 数値を指定してください。 |
| | [説明] | 数値を指定する領域で数値に指定できない文字を含む場合に表示されます。 |
| | [対処方法] | 数値として有効な文字列を指定します。 |
| W0205007 | [メッセージ] | 10 進数で指定してください。 |
| | [説明] | 10 進数で数値を指定する領域で 10 進数に指定できない文字を含む場合に表示され ます。 |
| | [対処方法] | 10 進数として有効な文字列を指定します。 |
| W0205008 | [メッセージ] | xxx 未満または yyy を越える値を指定できません。 |
| | [説明] | プロパティなどで数値を入力する領域で、指定できる値の範囲外の値を設定した場 合に表示されます。 |
| | [対処方法] | xxx から yyy までの値を指定します。 |
| W0205009 | [メッセージ] | 入力可能な文字セットは、ASCII のみです。 |
| | [説明] | 数値、または ASCII 文字を指定する領域で数値、または ACSII 文字に指定できな い文字を含む場合に表示されます。 |
| | [対処方法] | 数値として有効な文字列、または ASCII 文字として有効な文字列を指定します。 |
| W0205010 | [メッセージ] | 文字列を指定してください。 |
| | [説明] | 空欄になっています。 |
| | [対処方法] | 有効な文字列を指定します。 |
| W0205011 | [メッセージ] | パスを指定してください。 |
| | [説明] | 空欄になっています。 |
| | [対処方法] | 有効なパスを指定します。 |
| W0205012 | [メッセージ] | 指定したパスに存在しないフォルダが含まれています。 |
| | [説明] | 指定したパスに存在しないフォルダが含まれています。 |
| | [対処方法] | 有効なパスを指定します。 |
| W0205013 | [メッセージ] | ファイル名、または、パス名が不正です。文字 (* ? " < >) は使用できません。 |
| | [説明] | 不正な文字が含まれています。 |
| | [対処方法] | 有効なパスを指定してください。 |
| W0205014 | [メッセージ] | フォーマットが不正です。 |
| | [説明] | プロパティなどで文字列を入力する際にフォーマットが指定されている場合に、不正 なフォーマットが入力されたときに表示されます。 |
| | [対処方法] | 指定されているフォーマットに沿って文字列を入力します。 |

| | | |
|----------|---------|--|
| W0205015 | [メッセージ] | 16 進数で指定してください。 |
| | [説明] | 16 進数で数値を指定する領域で 16 進数に指定できない文字を含む場合に表示されます。 |
| | [対処方法] | 16 進数として有効な文字列を指定します。 |
| W0205016 | [メッセージ] | 10 進数、または、16 進数で指定してください。 |
| | [説明] | 10 進数 /16 進数で数値を指定する領域で 10 進数 /16 進数に指定できない文字を含む場合に表示されます。 |
| | [対処方法] | 10 進数 /16 進数として有効な文字列を指定します。 |
| W0205017 | [メッセージ] | 開始アドレスには、終了アドレスより小さい値を入力してください。 |
| | [説明] | アドレス /シンボルの範囲を指定する領域で開始アドレスが終了アドレスより大きな値である場合に表示されます。 |
| | [対処方法] | 開始アドレスに終了アドレス以上の値を設定してください。 |
| W0205018 | [メッセージ] | xxx から yyy の範囲で値を入力してください。 |
| | [説明] | アドレス /シンボルの範囲を指定する領域で、デバッグ・ツールのアドレス空間よりも大きな値が指定された場合に表示されます。 |
| | [対処方法] | デバッグ・ツールのアドレス空間に収まるアドレス範囲を指定してください。 |
| W0205020 | [メッセージ] | アドレスの省略はできません。 |
| | [説明] | アドレス /シンボルを指定し、かつ空欄指定を認めていない領域で空欄が指定された場合に表示されます。 |
| | [対処方法] | アドレス /シンボル /アドレス式を指定してください。 |
| W0205021 | [メッセージ] | 文字列が長すぎます。xx 文字以内の文字列を指定してください。 |
| | [説明] | 文字列を指定する領域で制限文字数以上の文字列が指定された場合に表示されます。 |
| | [対処方法] | 制限文字数以内の文字列を指定してください。 |
| W0205022 | [メッセージ] | アドレス式が不正です。シンボル、または数値を指定してください。 |
| | [説明] | アドレス式を指定する領域でアドレス式として不正な文字列が指定された場合に表示されます。 |
| | [対処方法] | アドレス式として正しい文字列を指定してください。 |
| W0205023 | [メッセージ] | 指定した値の範囲が不正です。 |
| | [説明] | プロパティなどで数値を入力する領域で、指定できる値の範囲外の値を設定した場合に表示されます。 |
| | [対処方法] | 正しい範囲の値を入れてください。 |
| W0205024 | [メッセージ] | ファイル名が不正です。文字 (¥ / : * ? " < >) は使用できません。 |
| | [説明] | 不正な文字が含まれています。 |
| | [対処方法] | 有効なファイル名を指定してください。 |
| W0205025 | [メッセージ] | xxx は指定できません。 |
| | [説明] | プロパティでの入力値が、特別に指定できない値だった場合に表示されます。 |
| | [対処方法] | 設定可能範囲内で別の値を指定してください。 |

| | | |
|----------|---------|---|
| W0205026 | [メッセージ] | 奇数アドレスは指定できません。 |
| | [説明] | プロパティなどで数値を入力する領域で、指定できる値が奇数の場合に表示されません。 |
| | [対処方法] | 偶数値を指定してください。 |
| W0205027 | [メッセージ] | 数字で始まる名前は指定できません。 |
| | [説明] | 数字から始まる名前を許していない場合に表示されます。 |
| | [対処方法] | 数字で始まらない名前を指定してください。 |
| W0205028 | [メッセージ] | 予約語 (xxx) は指定できません。 |
| | [説明] | 予約語として指定不可能な値を設定した場合に表示されます。xxxには予約語のリストが表示されます。 |
| | [対処方法] | 予約語以外の値を指定してください。 |
| W0208001 | [メッセージ] | ブレークを設定できませんでした。グローバルの変数を指定してください。 |
| | [説明] | グローバル変数に対する読み込み/書き込み/読み書き時に発生するブレーク・ポイントの設定に失敗しました。 |
| | [対処方法] | エディタ パネル, ウォッチ パネルにて, グローバルの変数を指定します。 |
| W0208002 | [メッセージ] | トレースに記録するための設定ができませんでした。グローバルの変数を指定してください。 |
| | [説明] | グローバル変数に対する読み込み/書き込み/読み書き時に, 値をトレースに記録するための設定に失敗しました。 |
| | [対処方法] | エディタ パネル, ウォッチ パネルにて, グローバルの変数を指定します。 |
| W0208003 | [メッセージ] | タイマを開始/終了するための設定ができませんでした。グローバルの変数を指定してください。 |
| | [説明] | グローバル変数に対する読み込み/書き込み/読み書き時に, タイマを制御するための設定に失敗しました。 |
| | [対処方法] | エディタ パネル, ウォッチ パネルにて, グローバルの変数を指定してください。 |
| W0209001 | [メッセージ] | プログラム実行中です。 |
| | [説明] | プログラム実行中のため, 実行した操作を行うことができません。 |
| | [対処方法] | プログラムの実行停止後に, 再度, 同じ操作を行ってください。 |
| W0210001 | [メッセージ] | デバッグへの接続が完了しましたが、以下の問題がある可能性があります。 |
| | [説明] | ターゲット・ボードの接続確認の警告が表示されます。 |
| | [対処方法] | 変換アダプタ (EA) の接続を確認してください。 ターゲットの接続をしない場合には, 変換アダプタの装着を推奨しています。 |
| W0210002 | [メッセージ] | ダウンロードが完了しましたが、以下の問題がある可能性があります。 |
| | [説明] | ダウンロード時の警告が表示されます。 |
| W0210003 | [メッセージ] | ソフトウェア・ブレークとハードウェア・ブレークが競合しました。ブレーク後の再実行で不正な命令を実行してしまう可能性があります。 |
| | [説明] | ソフトウェア・ブレークポイントとハードウェア・ブレークポイントが競合したときに表示されます。 |
| | [対処方法] | PC 値が不正な値になっている可能性があります。 CPU リセットして, 再実行してみてください。 |

| | | |
|----------|---------|---|
| W0210004 | [メッセージ] | 何らかの問題により復元できなかった RAM またはレジスタが存在します。 |
| | [説明] | RAM, またはレジスタの値の読み込みに失敗した時に発生します。 |
| | [対処方法] | (1) エミュレータの電源を確認してください。 (2) USB ケーブルが切断されていないか確認してください。 (3) 表示されているメッセージを元に対処してください。 |
| W0210005 | [メッセージ] | 何らかの問題により保存できなかった RAM またはレジスタが存在します。 |
| | [説明] | RAM, またはレジスタの値の保存に失敗した時に発生します。 |
| | [対処方法] | (1) エミュレータの電源を確認してください。 (2) USB ケーブルが切断されていないか確認してください。 (3) 表示されているメッセージを元に対処してください。 |
| W0210006 | [メッセージ] | ファイル (xxx) に RAM とレジスタの値が保存されましたが、何らかの問題により保存できなかった RAM またはレジスタが存在します。 |
| | [説明] | RAM, またはレジスタの値の保存に失敗した時に発生します。 |
| | [対処方法] | (1) エミュレータの電源を確認してください。 (2) USB ケーブルが切断されていないか確認してください。 (3) 表示されているメッセージを元に対処してください。 |
| W0212001 | [メッセージ] | xxx と重なります。 |
| | [説明] | 内部 ROM サイズのプロパティで他のマッピング領域と重なるようなサイズを設定しました。マッピング ダイアログで他のマッピング領域に重なるような設定を行いました。xxx は、, で区切った重なる領域名一覧が表示されます。 |
| | [対処方法] | 他の領域と重ならないような設定を行います。 |
| W0212002 | [メッセージ] | 指定された I/O 保護領域は、1 つのターゲット・メモリ領域内に収まっていません。 |
| | [説明] | I/O 保護領域は、設定されている 1 つのターゲット・メモリ領域に収まらないとならない。指定された領域が 1 つのターゲット・メモリ領域からはみ出る場合に表示されます。 |
| | [対処方法] | 1 つのターゲット・メモリ領域に収まるように、指定領域の範囲を修正します。 |
| W0220001 | [メッセージ] | 指定されたドッキング・レイアウトのデータに問題があったため、既定のレイアウトに戻しました。 |
| | [説明] | ドッキング・レイアウトの復元に失敗した場合に表示されます。 |
| | [対処方法] | 再度ドッキング・レイアウトを調整後、レイアウトを保存してください。 |
| W0222001 | [メッセージ] | マイクロコントローラ一覧はアップデートされていません。 |
| | [説明] | アップデート・ライブラリに例外が起こったときに表示されます (アップデートがない場合や、再起動の要求があった場合など)。 |
| | [対処方法] | メッセージに従ってください。 |
| W0223001 | [メッセージ] | デバッグ対象ソース・ファイルの追加を行いました、存在しないソース・ファイルがあります。 |
| | [説明] | デバッグ専用プロジェクトにおいて、ダウンロード時に、ロードモジュールに含まれているソース・ファイルを自動で追加します。その時に、追加したソース・ファイルのうち、1 つでもファイル・システムに存在しないものがある場合に表示されます。 |
| | [対処方法] | プロジェクト・ツリー パネル上で手動でソース・ファイルを登録してください。 |

| | | |
|----------|---------|--|
| W0231001 | [メッセージ] | ダウンロードするファイルを指定してください。 |
| | [説明] | ダウンロード・ファイル ダイアログにて、追加したダウンロード・アイテムのファイル・パスが空のまま [OK] ボタンを押下した場合に表示されます。 |
| | [対処方法] | ファイル・パスを設定してください。 |
| W0233001 | [メッセージ] | 関数の定義位置に移動できませんでした。関数を指定してください。 |
| | [説明] | エディタ パネルにて、指定された関数の定義位置への移動に失敗しました。 |
| | [対処方法] | エディタ パネルにて、関数を指定します。 |
| W0235001 | [メッセージ] | 指定した xxx は存在しません。 |
| | [説明] | 指定位置へ移動 ダイアログを SFR/IOR パネルから呼び出し、存在しない SFR/IOR 名を指定した場合に表示されます。 |
| | [対処方法] | 存在する SFR/IOR 名を指定してください。 |
| W0238001 | [メッセージ] | エラーの報告に必要な各種ファイルをデスクトップに作成しました。お問い合わせの際は、これらのファイルの添付をお願いいたします。機密上の問題がある場合は編集してください。 |
| | [説明] | エラーが発生した時に表示される [メッセージ] ダイアログの [+ お問い合わせ情報作成] ボタンを押したときに表示されます。 本ボタンを押すと、お問い合わせに必要な情報を出力します。 お問い合わせの際は、これらの出力されたファイルを添付するようお願いします。 Contact Info (xxx) というフォルダをデスクトップに作成します。 エラー発生時のウィンドウのスナップショットとエラーの情報を保存しました。 |
| W0240001 | [メッセージ] | シンボルの定義位置に移動できませんでした。シンボルを指定してください。 |
| | [説明] | 逆アセンブル パネルにて、指定されたシンボルの定義位置への移動に失敗しました。 |
| | [対処方法] | 逆アセンブル パネルにて、シンボルを指定してください。 |
| W0241001 | [メッセージ] | トレース番号の省略はできません。 |
| | [説明] | データ保存 ダイアログにてトレース・データの保存時、トレース番号の指定欄を空のまま [保存] ボタンを押下した場合に表示されます。 |
| | [対処方法] | トレース番号指定欄に値を入力してください。 |
| W0241002 | [メッセージ] | トレース番号は、10 進数の値で入力してください。 |
| | [説明] | データ保存 ダイアログにてトレース・データの保存時、トレース番号の指定欄で 10 進数以外の値を指定し [保存] ボタンを押下した場合に表示されます。 |
| | [対処方法] | トレース番号指定欄に 10 進数の値を指定してください。 |
| W0241003 | [メッセージ] | 最大トレース番号 xxx 以上のトレース番号が指定されました。 |
| | [説明] | データ保存 ダイアログにてトレース・データの保存時、トレース番号の指定欄で最大トレース番号以上の値を指定して [保存] ボタンを押下した場合に表示されま す。 |
| | [対処方法] | トレース番号指定欄に最大トレース番号以下の値を指定してください。 |
| W0242001 | [メッセージ] | ウォッチ パネルに登録可能なウォッチ式の上限 (128 個) を越えました。 |
| | [説明] | 1 つのウォッチ パネルに登録可能なウォッチ式の上限は 128 個です。 |
| | [対処方法] | 不要なウォッチ式を削除するか、別のウォッチ パネルに登録してください。 |

| | | |
|----------|---------|--|
| W0242002 | [メッセージ] | ウォッチ パネルに登録可能なカテゴリの上限 (64 個) を越えました。 |
| | [説明] | 1 つのウォッチ パネルに登録可能なカテゴリの上限は 64 個です。 |
| | [対処方法] | 不要なカテゴリを削除するか、別のウォッチ パネルに登録してください。 |
| W0243001 | [メッセージ] | 表示形式 (表示進数、ビット幅) が異なるため、貼り付けできません。 |
| | [説明] | メモリ パネルに、メモリ 値、または ASCII 文字をペーストする場合に表示されます。ペースト対象の文字列とメモリ パネルの表示形式 (表示進数、ビット幅) が異なる場合は、ペーストすることができないので、このメッセージが表示されません。 |
| | [対処方法] | メモリ パネルにて、ペースト対象の文字列にあわせて、表示形式 (表示進数、ビット幅) を変更します。 |
| W0243002 | [メッセージ] | [メモリ 値表示] エリアで扱えない文字が含まれています。 |
| | [説明] | メモリ パネルの [メモリ 値表示] エリアで扱うことのできない文字が入力、または貼り付けられました。 |
| | [対処方法] | メモリ 値として扱える文字列を指定してください。 |
| W0243003 | [メッセージ] | [文字表示] エリアに貼り付け可能な文字コードは、ASCII コードのみです。 |
| | [説明] | メモリ パネルの [文字表示] エリアは、エンコードに ASCII コードを指定しているときのみ貼り付け操作を行うことができます。 |
| | [対処方法] | ASCII コード以外の文字を貼り付ける場合は、[メモリ 値表示] エリアにて貼り付け操作を行います。 |
| W0243004 | [メッセージ] | 書き込みできない領域を含むため、貼り付けできません。 |
| | [説明] | メモリ パネルに、メモリ 値、または ASCII 文字をペーストする場合、貼り付け対象範囲に書き込みできない領域を含む場合、このメッセージが表示されます。 |
| | [対処方法] | 書き込みできない領域に貼り付けないように、コピーする文字列の長さや、貼り付け先を調節してください。 |
| W0244001 | [メッセージ] | 初期化データ数が多すぎます。指定可能数は 16 個までです。 |
| | [説明] | メモリ 初期化 ダイアログの初期化データに 17 個以上の初期化データを指定して [OK] ボタンを押下した場合に表示されます。 |
| | [対処方法] | 初期化データを 16 個以下にしてください。 |
| W0244002 | [メッセージ] | 各初期化データは、指定可能バイト数は 4 バイトまでです。 |
| | [説明] | 初期化データが 5 バイト以上のデータが指定された場合に表示されます。 |
| | [対処方法] | 初期化データのバイトサイズを 4 バイト以内にしてください。 |
| W0244003 | [メッセージ] | 初期化データを入力してください。 |
| | [説明] | メモリ 初期化 ダイアログの初期化データ入力ボックスが空欄で [OK] ボタンを押下された場合に表示されます。 |
| | [対処方法] | 初期化データ入力ボックスにデータを入力してください。 |
| W0244004 | [メッセージ] | 初期化データは、16 進数の値で入力してください。 |
| | [説明] | メモリ 初期化 ダイアログの初期化データ入力ボックスに 16 進数以外の値が入力された場合に表示されます。 |
| | [対処方法] | 初期化データ入力ボックスに 16 進数の値を入力してください。 |

| | | |
|----------|---------|--|
| W0245001 | [メッセージ] | 検索データは省略できません。 |
| | [説明] | メモリ検索 ダイアログの検索データ入力ボックスが空の状態です。[OK] ボタンが押下された場合に、エラー・サービス・プロバイダに表示されます。 |
| | [対処方法] | 検索データ入力ボックスに文字列を入力してください。 |
| W0245002 | [メッセージ] | 検索データの書式が不正です。xxx の yyy で指定してください。 |
| | [説明] | メモリ検索 ダイアログで指定されたデータの書式がメモリ パネルに表示中の表記方法、サイズと異なっていた場合に、エラー・サービス・プロバイダに表示されません。 |
| | [対処方法] | メモリ パネルに表示中のデータの書式で検索データを指定してください。 |
| W0245003 | [メッセージ] | 一度に検索できるデータは、xxx バイトまでです。 |
| | [説明] | メモリ検索 ダイアログで指定されたデータのサイズが指定バイト数を越えた場合に、エラー・サービス・プロバイダに表示されます。 |
| | [対処方法] | 指定バイト数以下のサイズのデータを指定してください。 |
| W0245004 | [メッセージ] | 不正な文字列が入力されました。xxx でエンコードできる文字列を入力してください。 |
| | [説明] | メモリ検索 ダイアログの文字列検索にて、メモリ パネルに表示中のエンコード形式で指定できない文字列が指定された場合表示されます。 |
| | [対処方法] | エンコーディング可能な文字列を指定してください。 |
| W0247001 | [メッセージ] | 指定した箇所に設置可能なアクション・イベントがありません。 |
| | [説明] | アクション・イベント ダイアログを開くときに、設定可能なアクション・イベントが存在しない場合に表示されます。 |
| | [対処方法] | 他の箇所に設定してください。 |
| W0249001 | [メッセージ] | 削除するカテゴリを空にしてください。 |
| | [説明] | SFR/IOR パネルで空でないカテゴリが選択状態のときに [削除 (EditDelete)] コマンドが選択された場合に表示されます。 |
| | [対処方法] | カテゴリを空にします。SFR/IOR パネルの場合、削除したいカテゴリ下の SFR/IOR を他のカテゴリ下に移動してから削除します。 |
| W0261001 | [メッセージ] | セグメント名が不正です。文字 (0 ~ 9 A ~ Z a ~ z _ . / ¥) を使用してください。 |
| | [説明] | リンク・ディレクティブ生成 ダイアログにて、不正な文字を使用してセグメント名を指定した場合に表示されます。 |
| | [対処方法] | 使用可能な文字で、セグメント名を指定してください。 |
| W0261002 | [メッセージ] | すでに、同名のセグメント名が存在します。 |
| | [説明] | リンク・ディレクティブ生成 ダイアログにて、すでに存在するセグメント名を指定した場合に表示されます。 |
| | [対処方法] | 存在しないセグメント名を変更してください。 |
| W0261003 | [メッセージ] | セクション名が不正です。文字 (0 ~ 9 A ~ Z a ~ z _ . / ¥) を使用してください。 |
| | [説明] | リンク・ディレクティブ生成 ダイアログにて、不正な文字を使用してセクション名を指定した場合に表示されます。 |
| | [対処方法] | 使用可能な文字で、セクション名を指定してください。 |

| | | |
|----------|---------|--|
| W0261004 | [メッセージ] | すでに、同名のセクション名が存在します。 |
| | [説明] | リンク・ディレクティブ生成 ダイアログにて、すでに存在するセクション名を指定した場合に表示されます。 |
| | [対処方法] | 存在しないセクション名を変更してください。 |
| W0261005 | [メッセージ] | シンボル名が不正です。文字 (0 ~ 9 A ~ Z a ~ z _ . / *) を使用してください。 |
| | [説明] | リンク・ディレクティブ生成 ダイアログにて、不正な文字を使用してシンボル名を指定した場合に表示されます。 |
| | [対処方法] | 使用可能な文字で、シンボル名を指定してください。 |
| W0261006 | [メッセージ] | すでに、同名のシンボル名が存在します。 |
| | [説明] | リンク・ディレクティブ生成 ダイアログにて、すでに存在するシンボル名を指定した場合に表示されます。 |
| | [対処方法] | 存在しないシンボル名を変更してください。 |
| W0261007 | [メッセージ] | セクション名が不正です。指定したセクション名は、セグメント名が固定された予約セクションです。 |
| | [説明] | リンク・ディレクティブ生成 ダイアログにて、セグメント名が固定されている予約セクションを、異なるセグメント内で指定した場合に表示されます。 |
| | [対処方法] | 予約セクション名と異なるセクション名に変更してください。 |
| W0261008 | [メッセージ] | TP シンボル名が不正です。指定した TP シンボルは存在しません。 |
| | [説明] | リンク・ディレクティブ生成 ダイアログにて、ベース TP シンボルを指定する場合に存在しない TP シンボル名を指定した場合に表示されます。 |
| | [対処方法] | 存在する TP シンボル名に変更してください。 |
| W0261009 | [メッセージ] | メモリ領域名が不正です。文字 (0 ~ 9 A ~ Z a ~ z _ ? @) を使用してください。 |
| | [説明] | リンク・ディレクティブ生成 ダイアログにて、不正な文字を使用してメモリ領域名を指定した場合に表示されます。 |
| | [対処方法] | 使用可能な文字で、メモリ領域名を指定してください。 |
| W0261010 | [メッセージ] | すでに同名のメモリ領域名が存在します。 |
| | [説明] | リンク・ディレクティブ生成 ダイアログにて、すでに存在するメモリ領域名を指定した場合に表示されます。 |
| | [対処方法] | 存在しないメモリ領域名に変更してください。 |
| W0261012 | [メッセージ] | メモリ領域範囲が不正です。他の領域と重ならないように配置してください。 |
| | [説明] | リンク・ディレクティブ生成 ダイアログにて、すでに存在するアドレス範囲に重なるようにメモリ領域のアドレス、またはサイズを指定した場合に表示されます。 |
| | [対処方法] | 重ならないメモリ領域アドレス、またはサイズに変更してください。 |
| W0261013 | [メッセージ] | セグメントの開始アドレス不正です。配置するメモリ領域内のアドレスを指定してください。 |
| | [説明] | リンク・ディレクティブ生成 ダイアログにて、配置するメモリ領域外のアドレスをセグメントに指定した時に表示されます。 |
| | [対処方法] | 配置するメモリ領域範囲内のアドレスを指定してください。 |
| W0268001 | [メッセージ] | 指定された場所は変換元プロジェクトと同じ場所です。[変換元プロジェクトと異なる場所に作成する] チェック・ボックスのチェックを外します。 |
| | [説明] | プロジェクト変換設定ダイアログの [作成場所] に変換元プロジェクトと同じフォルダが指定された場合に表示されます。 |

| | | |
|----------|---------|--|
| W0290001 | [メッセージ] | [セクション]が空です。 セクション名を入力して下さい。 |
| | [説明] | セクションが空の場合に表示されます。 |
| | [対処方法] | 有効なセクション名を入力してください。 |
| W0290002 | [メッセージ] | このフィールドには A-Z, a-z, 0-9, _, \$, * ? の表記文字のみ指定できます。 また、セクション名の最初の文字には 0 から 9 は使用できません。 |
| | [説明] | セクション名を指定する領域でセクション名として不正な文字列が指定された場合に表示されます。 |
| | [対処方法] | 有効なセクション名を入力してください。 |
| W0290003 | [メッセージ] | このフィールドには A-Z, a-z, 0-9, _, \$ の表記文字のみ指定できます。 また、シンボル名の最初の文字に 0 から 9 は使用できません。 |
| | [説明] | シンボル名を指定する領域でシンボル名として不正な文字列が指定された場合に表示されます。 |
| | [対処方法] | 有効なシンボル名を入力してください。 |
| W0290004 | [メッセージ] | 既に指定されているアドレスは、重複して指定する事はできません。 |
| | [説明] | 既に指定されているアドレスを、重複して指定した場合に表示されます。 |
| | [対処方法] | 重複しないアドレスを入力してください。 |
| W0290005 | [メッセージ] | [アドレス]が空です。 アドレスを入力して下さい。 |
| | [説明] | アドレスが空の場合に表示されます。 |
| | [対処方法] | 有効なアドレスを入力してください。 |
| W0290006 | [メッセージ] | 整数値を入力して下さい。 |
| | [説明] | 整数値を指定する領域で整数として不正な文字列が指定された場合に表示され ます。 |
| | [対処方法] | 整数として有効な文字を入力してください。 |
| W0290007 | [メッセージ] | 0 から 0xfffff の間の整数値を入力して下さい。 |
| | [説明] | アドレスを指定する領域で指定できる値の範囲外の値を設定した場合に表示され ます。 |
| | [対処方法] | 範囲内の値を入力してください。 |
| W0290008 | [メッセージ] | [外部変数アクセス最適化を行う]で [はい (モジュール間で最適化) (-map)] が選 択されています。 [リンク・オプション] タブ/[出力]/[外部シンボル割り付け情報ファイルを出力す る]を [はい] にします。 |
| | [説明] | 連携するオプションを選択した場合に表示されます。 |
| W0290009 | [メッセージ] | [外部変数アクセス最適化を行う]の [はい (モジュール間で最適化) (-map)] は選 択されていません。 [リンク・オプション] タブ/[出力]/[外部シンボル割り付け情報ファイルを出力す る]を [いいえ] にします。 |
| | [説明] | 連携するオプションを選択した場合に表示されます。 |
| W0290010 | [メッセージ] | [浮動小数点演算命令を使用する] プロパティを [マイコン種別オプションに依存す る]に変更します。 |
| | [説明] | 連携するオプションを選択した場合に表示されます。 |

| | | |
|----------|---------|---|
| W0290011 | [メッセージ] | このフィールドには A-Z, a-z, 0-9, @, _, ., ~, * の表記文字のみ指定できます。 |
| | [説明] | セクション名を指定する領域でセクション名として不正な文字列が指定された場合に表示されます。 |
| | [対処方法] | 有効なセクション名を入力してください。 |
| W0290012 | [メッセージ] | 0 から xxx の間の整数値を入力してください。 |
| | [説明] | アドレスを指定する領域で指定できる値の範囲外の値を設定した場合に表示されます。 |
| | [対処方法] | 範囲内の値を入力してください。 |
| W0290013 | [メッセージ] | このフィールドには A-Z, a-z, 0-9, @, _, ., * の表記文字のみ指定できます。 |
| | [説明] | セクション名を指定する領域でセクション名として不正な文字列が指定された場合に表示されます。 |
| | [対処方法] | 有効なセクション名を入力してください。 |
| W0290015 | [メッセージ] | [不正な間接関数呼び出しを検出する]が変更されました。 それと同期して[リンク・オプション]タブ/[出力]/[不正な間接関数呼び出し検出で用いる関数リストを生成する]を変更します。 |
| | [説明] | 連携するオプションを選択した場合に表示されます。 |
| W0291001 | [メッセージ] | セクションもしくはアドレスのフォーマットが不正です。 |
| | [説明] | [リンク・オプション] タブの [セクション] カテゴリにある [セクションの開始アドレスを指定] プロパティで文字列を入力する際に、不正なフォーマットが入力されたときに表示されます。 |
| | [対処方法] | 指定されているフォーマットに沿って文字列を入力してください。 |
| W0291002 | [メッセージ] | セクション設定ダイアログは -start オプションの括弧 "(" に対応していません。 |
| | [説明] | [リンク・オプション] タブの [セクション] カテゴリにある [セクションの開始アドレスを指定] プロパティで括弧 "(" を入力し、[...] ボタンをクリックした場合に (セクション設定ダイアログが開く代わりに) 表示されます。 |
| W0291003 | [メッセージ] | 有効なルール番号を指定してください。 |
| | [説明] | MISRA-C ルール番号を指定する領域で指定できない文字列が入力された場合に表示されます。 |
| | [対処方法] | 有効なルール番号を入力してください。 |
| W0291004 | [メッセージ] | 有効なプリデファインド・マクロを指定してください。 |
| | [説明] | [コンパイル・オプション] タブの [ソース] カテゴリにある [無効化するプリデファインド・マクロ] で、指定できないプリデファインド・マクロが指定された場合に表示されます。 |
| | [対処方法] | 有効なプリデファインド・マクロを入力してください。 |
| W0291005 | [メッセージ] | 以下のファイルは除外設定をサポートしていません。以下をプロジェクトに登録せず、変換を続行します。 xxx |
| | [説明] | 除外設定できない種類のファイル (cfg ファイル) を除外設定した HEW プロジェクトを変換した場合に表示されます。 |
| | [対処方法] | [OK] : 変換処理を続行します。 |

| | | |
|----------|---------|---|
| W0291006 | [メッセージ] | [データ・レコードのバイト数最大値] プロパティの値またはデフォルト値が上限を超えています。 値とデフォルト値を xxx に変えます。 |
| | [説明] | [ヘキサ・ファイル・フォーマット] プロパティを“モトローラ・S タイプ・ファイル(-FOrm=Stype)”に切り替えた、または“モトローラ・S タイプ・ファイル(-FOrm=Stype)”の場合に [データ・レコードのバイト数を指定する] プロパティを“はい”に切り替えた時に、[データ・レコードのバイト数最大値] プロパティのデフォルト値または値が上限を超えている場合に表示されます。 |
| W0293001 | [メッセージ] | オブジェクト・ファイルまたはライブラリ・ファイルを設定する時は注意して下さい。 設定したプロジェクトには大域最適化 (-Xwhole_program) が指定されているビルド・モードがあります。その場合登録した obj、lib ファイルにより不正なコードになる可能性があります。詳細はマニュアルを参照して下さい。 |
| | [説明] | ビルド・プロパティにて、-Xwhole_program オプションが設定されているときに、.obj、または .lib ファイルが登録されたときに表示されます。 |
| | [対処方法] | ビルド・プロパティにおいて、-Xwhole_program オプションは、外部モジュールからコンパイル対象内の変数/関数を参照していないことを確認した上で使用してください。 |
| W0293002 | [メッセージ] | [外部変数アクセス最適化を行う] で [はい (モジュール間で最適化) (-Omap)] が選択されています。 [リンク・オプション] タブ/[出力]/[外部シンボル割り付け情報ファイルを出力する] を [はい] にします。 |
| | [説明] | CC-RH ビルド・プロパティにて、コンパイル・オプションの -Omap が設定されたときに、リンカの -MAp が ON でない場合に表示されます。 警告表示後、ビルドプラグインが自動でリンカの -MAp を ON にします。 |
| W0293003 | [メッセージ] | [外部変数アクセス最適化を行う] の [はい (モジュール間で最適化) (-Omap)] が選択されていません。 [リンク・オプション] タブ/[最適化 (詳細)]/[外部シンボル割り付け情報ファイルを出力する] を [いいえ] にします。 |
| | [説明] | 連携するオプションを選択した場合に表示されます。 |
| W0293004 | [メッセージ] | ファイル名が不正です。文字 (\/:*?"<>) は使用できません。 |
| | [説明] | 不正な文字が含まれている場合に表示されます。 |
| | [対処方法] | 有効なファイル名を指定してください。 |
| W0293006 | [メッセージ] | xxx を単体デバッグ用にブート・ローダ・プロジェクトとして使用します。 |
| | [説明] | アクティブなマルチコア用アプリケーション・プロジェクトが、複数のブート・ローダ・プロジェクトの構成プロジェクトとなっており、かつ、それぞれのブート・ローダ・プロジェクトの [デバッグ時に優先する] プロパティが [はい] である場合に表示されます。 |
| W0293007 | [メッセージ] | [不正な間接関数呼び出しを検出する] が変更されました。 それと同期して [リンク・オプション] タブ/[出力コード]/[不正な間接関数呼び出し検出で用いる関数リストを生成する] を変更します。 |
| | [説明] | 連携するオプションを選択した場合に表示されます。 |
| W0293008 | [メッセージ] | 大域最適化 (レベル 2) が選択されました。 [共通オプション] タブ/[ビルド方法]/[一括ビルドを行う] を [はい] にします。 |
| | [説明] | CC-RH/CC-RX ビルド・プロパティにて、一括ビルド無効時、大域最適化オプション (-merge_files または -Xmerge_files) を設定する時に表示されます。 |
| | [対処方法] | 一括ビルドを有効にし、大域最適化 (レベル 2) をオンしてください。 |

| | | |
|----------|---------|---|
| W0294001 | [メッセージ] | オブジェクト・ファイルまたはライブラリ・ファイルを設定するときは注意してください。 設定したプロジェクトには大域最適化 (-whole_program) が指定されているビルド・モードがあります。その場合登録した obj、lib ファイルにより不正なコードになる可能性があります。詳細はマニュアルを参照してください。 |
| | [説明] | CC-RL ビルドプロパティにおいて、-Owhole_program オプションが設定されている時に、.obj または .lib ファイルが登録されたときに表示されます。 |
| | [対処方法] | CC-RL ビルドプロパティにおいて、-Owhole_program オプションは、外部モジュールからコンパイル対象内の変数/関数を参照していない事を確認した上で使用してください。 |
| W0294002 | [メッセージ] | [外部変数アクセス最適化を行う]で [はい (モジュール間で最適化) (-Omap)] が選択されています。 [リンク・オプション] タブ/[最適化 (詳細)]/[外部シンボル割り付け情報ファイルを出力する]を [はい] にします。 |
| | [説明] | 連携するオプションを選択した場合に表示されます。 |
| W0294003 | [メッセージ] | [外部変数アクセス最適化を行う]の [はい (モジュール間で最適化) (-Omap)] が選択されていません。 [リンク・オプション] タブ/[最適化 (詳細)]/[外部シンボル割り付け情報ファイルを出力する]を [いいえ] にします。 |
| | [説明] | 連携するオプションを選択した場合に表示されます。 |
| W0294004 | [メッセージ] | ファイル名が不正です。文字 (¥¥/:*?"<>) は使用できません。 |
| | [説明] | 不正な文字が含まれている場合に表示されます。 |
| | [対処方法] | 有効なファイル名を指定してください。 |
| W0294005 | [メッセージ] | 指定した値の範囲が不正です。 |
| | [説明] | プロパティなどで数値を入力する領域で、指定できる値の範囲外の値を設定した場合に表示されます。 |
| | [対処方法] | 正しい範囲の値を入れてください。 |
| W0294006 | [メッセージ] | 有効な出力内容を指定してください。 |
| | [説明] | 関数情報の出力内容を指定する領域で指定できない文字列が入力された場合に表示されます。 |
| W0294007 | [メッセージ] | [不正な間接関数呼び出しを検出する]が変更されました。 それと同期して [リンク・オプション] タブ/[出力コード]/[不正な間接関数呼び出し検出で用いる関数リストを生成する]を変更します。 |
| | [説明] | 連携するオプションを選択した場合に表示されます。 |
| W0294008 | [メッセージ] | [C ソース・ファイルの言語]が変更されました。 それと同期して [リンク・オプション] タブ/[ライブラリ]/[標準・数学ライブラリを使用する]を変更します。 |
| | [説明] | 連携するオプションを選択した場合に表示されます。 |
| W0294009 | [メッセージ] | 大域最適化 (レベル 2) が選択されました。 [共通オプション] タブ/[ビルド方法]/[一括ビルドを行う]を [はい] にします。 |
| | [説明] | CC-RL ビルド・プロパティにて、一括ビルド無効時、大域最適化オプション (-Omerge_files) を設定する時に表示されます。 |
| | [対処方法] | 一括ビルドを有効にし、-Omerge_files をオンにしてください。 |

| | | |
|----------|---------|---|
| W0294010 | [メッセージ] | [最適化レベル]が変更されました。 それと同期して[最適化(詳細)]/[関数のインライン展開を行う]を変更します。 |
| | [説明] | 連携するオプションを選択した場合には表示されます。 |
| W0295006 | [メッセージ] | CS+ のデバッガでサポートされていないオプションが指定されています。 xxx |
| | [説明] | ビルド時、CS+ のデバッガでサポートされないオプションが指定されている場合に 表示されます。 xxxには指定された非サポート・オプションが表示されます。 |
| | [対処方法] | ビルド・ツールのオプションを確認してください。 |
| W0300001 | [メッセージ] | 同じ名前の定義名が存在します。異なる名前を入力してください。 |
| | [対処方法] | 別名に変更してください。 |
| W0300002 | [メッセージ] | ユーザ定義列のみ削除できます。 |
| | [対処方法] | ユーザ定義列以外の選択を外してください。 |
| W0300003 | [メッセージ] | 同じ名前の列が存在します。異なる名前を入力してください。 |
| | [対処方法] | 名前を変更してください。 |
| W0300004 | [メッセージ] | 列の名前を入力してください。 |
| W0300005 | [メッセージ] | 削除する列を選択してください。 |
| W0300006 | [メッセージ] | 同じ名前の外部周辺が存在します。異なる名前を入力してください。 |
| | [対処方法] | 外部周辺の名前を変更してください。 |
| W0300007 | [メッセージ] | 外部周辺の名前を入力してください。 |
| W0300008 | [メッセージ] | 入力した値が列の型と一致しません。正しい値を入力してください。 |
| | [対処方法] | 値を変更してください。 |
| W0403000 | [メッセージ] | コード生成に失敗しました。 |
| W0403001 | [メッセージ] | 以下の端子と競合しています。 この機能を使用する場合は競合する機能の設定を無効にしてください。 |
| W0403002 | [メッセージ] | クロック xxx の周波数はクロック yyy のそれよりも低い。クロック発生回路で再設 定してください。 |
| | | 【RL78】 選択可能な設定値がありません。 クロック発生回路で周辺クロックを再設定してください。 |
| W0403003 | [メッセージ] | トリガを設定してください。 |
| W0403004 | [メッセージ] | 設定範囲の情報 : 0x00000000000000000000~0xffffffffffffx。 16 進数で 10 バイトを入力してください。 |
| W0403005 | [メッセージ] | 設定範囲の情報 : 16~238 偶数で設定してください。 |
| W0403006 | [メッセージ] | UART は使用できません。2 チャネル必要です。 |
| W0403007 | [メッセージ] | xxx が選択されていません。先にクロック発生回路で xxx を設定してください。 |
| W0403008 | [メッセージ] | 設定範囲の情報 : xxx~yyy |
| W0403009 | [メッセージ] | 転送元アドレスの情報 : xxx |
| W0403010 | [メッセージ] | 転送先アドレスの情報 : xxx |
| W0403011 | [メッセージ] | ビルド対象のスタートアップを“xxx”に変更しました。 |

| | | |
|----------|---------|---|
| W0403012 | [メッセージ] | ビルド対象のリンク・ディレクティブを“xxx”に変更しました。 |
| W0403013 | [メッセージ] | 設定された転送方向および転送回数では、転送時にアドレスが設定可能な範囲を越えてしまいます。 |
| W0403014 | [メッセージ] | スレーブ・チャンネルが他の目的に使用されたので、複数チャンネルでの動作を選択することができません。 |
| W0403015 | [メッセージ] | P52/SLTI/SLTO はチャンネル <i>n</i> によって使用されました。 |
| W0403016 | [メッセージ] | 先に xxx を設定してください。 |
| W0403017 | [メッセージ] | 入力した文字から始まる SFR 名が表示されます。 |
| W0403018 | [メッセージ] | 20 MHz を選択した場合、1 MHz 高速内蔵発振回路に変更することはできません。 |
| W0403019 | [メッセージ] | 以下の割り込みと競合しています。 この機能を使用する場合は競合する機能の設定を無効にしてください。 |
| W0403020 | [メッセージ] | チャンネルをまったく使用できません。アナログ入力選択を変更してください。 |
| W0403021 | [メッセージ] | xxx が変更されました。次のマクロの設定内容を更新してください: yyy |
| W0403022 | [メッセージ] | ユーザ・オプション・バイトの値をコード生成 (設計ツール) に反映できません。 値を見直すかコード生成 (設計ツール) で設定し直してください。 |
| W0403023 | [メッセージ] | ビルド・オプションの設定をコード生成 (設計ツール) に反映できません。ビルド・オプションまたはコード生成 (設計ツール) を設定し直してください。 |
| W0403028 | [メッセージ] | yyy 端子に兼用されているポート機能は、入力モード xxx で使用可能です。ただし、出力モードの使用は禁止です。 |
| W0403029 | [メッセージ] | 先に xxx を設定してください。 |
| W0403030 | [メッセージ] | xxx モジュールを使用するには、はじめに、yyy モジュールの設定を無効にしてください。 |
| W0403031 | [メッセージ] | “xxx” を設定してください。 |
| W0403032 | [メッセージ] | 以下の起動要因と競合しています。 |
| W0403033 | [メッセージ] | xxx を使用するには、はじめに、zzz モジュールで yyy の設定を無効にしてください。 |
| W0403034 | [メッセージ] | 以下の xxx と競合しています。 |
| W0403035 | [メッセージ] | スレーブ・チャンネルを 2 個以上設定してください。 |
| W0403036 | [メッセージ] | この選択を変更するには、別のチャンネルのノイズフィルタサンプリングクロックを選択解除してください。 |
| W0403037 | [メッセージ] | スレーブ・チャンネルを 1 個設定してください。 |
| W0403038 | [メッセージ] | マスタ・チャンネルが他の目的に使用されたので、複数チャンネルでの動作を選択することができません。 |
| W0403039 | [メッセージ] | 先にマスタ・チャンネルを設定してください。 |
| W0403040 | [メッセージ] | xxx が設定されているので選択できません。 |
| W0403041 | [メッセージ] | アナログ入力として設定されていない端子が含まれているので選択できません。 |
| W0403042 | [メッセージ] | xxx が変更されたので選択できません。 |
| W0403043 | [メッセージ] | クロック発生回路で高速メイン・モードに設定されていないので選択できません。 |
| W0403044 | [メッセージ] | 有効なアイテムを選んでください。 |
| W0403045 | [メッセージ] | 有効な RAM アドレスのシンボルを設定してください。 |

| | | |
|----------|---------|---|
| W0403046 | [メッセージ] | 設定項目にエラーがあるため、コード生成できません。 |
| W0403047 | [メッセージ] | 入力ソース設定は有効ではありません。 |
| W0403048 | [メッセージ] | xxxを使用するには、はじめに、yyyモジュールの設定を無効にしてください。 |
| W0403049 | [メッセージ] | コンパレータリファレンス電圧が内部基準電圧に設定されているので、A/Dコンバータで温度センサ出力をA/D変換することはできません。 |
| W0403050 | [メッセージ] | 先にクロック発生回路中の zzzとして xxx(=yyyMHz)を設定してください。 |
| W0403051 | [メッセージ] | 有効なテキストを入力してください。 |
| W0403052 | [メッセージ] | 発振停止検出は、次のいずれかの条件で使用できます。 <ul style="list-style-type: none"> - オプション・バイト (000C0H) のビット 0 (WDSTBYON)、ビット 4 (WDTON) を "1"、OSMC ジスタのビット 4 (WUTMMCK0) を "0" に設定した場合 - OSMC レジスタのビット 4 (WUTMMCK0) を "1" に設定した場合 |
| W0403053 | [メッセージ] | 先にクロック発生回路で xxx(yyyMHz)を設定してください。 |
| W0403054 | [メッセージ] | ADPC レジスタによってアナログ入力として設定されているので選択できません。 |
| W0403055 | [メッセージ] | I/O ADPC レジスタによってデジタルに設定されているので選択できません。 |
| W0403059 | [メッセージ] | クロック発生回路で低電圧メイン・モードに設定されているので選択できません。 |
| W0403060 | [メッセージ] | コンパレータ出力による遮断機能を使用しているため同時に設定できません。 |
| W0403061 | [メッセージ] | xxxの周波数が yyy または zzz の周波数未満です。クロック発生回路で周辺クロックを再設定してください。 |
| W0403062 | [メッセージ] | xxxの周波数が yyy の周波数未満です。クロック発生回路で周辺クロックを再設定してください。 |
| W0403063 | [メッセージ] | ウィンドウ A とウィンドウ B に同じチャンネルが選択されているので選択できません。 |
| W0403064 | [メッセージ] | 上位側のレベルが下位側レベルより小さいので、設定は無効です。 |
| W0403068 | [メッセージ] | コンフィギュレーションファイルをロードしました。 |
| W0403069 | [メッセージ] | xxxに関連項目がないため、設定コードは CG_CGC_Create に出力されます。 |
| W0403070 | [メッセージ] | #define xxx に有効な値を設定できませんでした。 |
| W0403071 | [メッセージ] | r_bsp_config.h が外部から変更されました。[ロード]をクリックし、クロック設定を更新してください。 |
| W0403072 | [メッセージ] | 現在のプロジェクトに /r_config/r_bsp_config.h が見つかりません。 |
| W0403073 | [メッセージ] | 現在のプロジェクトに /r_bsp folder フォルダが見つかりません。 |
| W0403074 | [メッセージ] | 先に xxx または yyy を設定してください。 |
| W0403075 | [メッセージ] | 設定は有効ではありません。xxxの選択を変更してください。 |
| W0403076 | [メッセージ] | クロック xxx の周波数はクロック yyy のそれよりも低い。システム・モジュールで再設定してください。 |
| W0403077 | [メッセージ] | TAU 入力に選択されているため、xxx を選択できません。 |
| W0403078 | [メッセージ] | クロック発生回路の [システムクロック設定] が変更されたため、設定は有効ではありません。 |
| W0403079 | [メッセージ] | この選択を変更するには、DA モジュールの 'A/D 同期設定' を選択解除してください。 |
| W0403080 | [メッセージ] | マスタモードでの少なくとも一つのチャンネルを選択してください。 |

| | | |
|----------|---------|---|
| W0403081 | [メッセージ] | 少なくとも一つスキャングループを選んでください。 |
| W0403082 | [メッセージ] | 端子の競合のため、端子グループ xxx を使用することはできません。 |
| W0403083 | [メッセージ] | 少なくとも一つ DSADC チャンネルを選んでください。 |
| W0403084 | [メッセージ] | xxx と yyy への入力を交換してください選択してください。 |
| W0403085 | [メッセージ] | 少なくとも 1 スレーブを設定してください。 |
| W0403086 | [メッセージ] | xxx チェイン転送のためのコントロールデータ (DTCDn) を設定してください。(n は 23 以外) |
| W0403087 | [メッセージ] | xxx を使用するには、はじめに yyy の設定を有効にしてください。 |
| W0403088 | [メッセージ] | RF Transceiver モジュールを使用するには、プロジェクトを作り直した後で、初めに INTP11 で P77 を指定してください。 |
| | [説明] | [端子割り当て設定] で機能 [INTP11] に "-" が設定された状態で、RF トランシーバを設定しようとする则表示されます。 |
| | [対処方法] | プロジェクトを作成し直し、[端子割り当て設定] で機能 [INTP11] に "P77" を設定してください。 |
| W0403089 | [メッセージ] | 選択しているプロジェクトをアクティブ・プロジェクトに変更してください。 |
| W0403090 | [メッセージ] | [データ・フラッシュ・ライブラリの設定]の項目を変更してください。 |
| W0602102 | [メッセージ] | 変換アダプタの接続を確認してください。 |
| W0603001 | [メッセージ] | xxx 未満または yyy を越える文字を指定できません。 |
| | [説明] | xxx 文字以上 yyy 文字以下の文字列を指定できる領域に xxx 文字未満または yyy 文字以上の文字列を指定した場合、メッセージダイアログに表示されます。 |
| | [対処方法] | xxx は、指定できる文字列の最低文字数、yyy は、指定できる文字列の最大文字数です。xxx、yyy の値は、入力領域依存です。 |
| W0603002 | [メッセージ] | xxx 文字を越える文字を指定できません。 |
| | [説明] | テキスト編集 ダイアログでダイアログ表示元に設定できる文字数を越えている行がある場合に表示されます。 |
| | [対処方法] | 指定できる文字数を越えている行の文字数を <最大文字数> 文字以下にしてください。 |
| W0603003 | [メッセージ] | xxx 行を越える行を指定できません。 |
| | [説明] | テキスト編集 ダイアログでダイアログ表示元に設定できる行数を越えている場合に表示されます。 |
| | [対処方法] | 行数を <最大行数> 行以下にしてください。 |
| W0603004 | [メッセージ] | xxx 桁の 16 進数を指定してください。 |
| | [説明] | 16 進数を指定する領域で 16 進数に指定できない文字列を含む場合、または有効な桁数でない場合に表示されます。 |
| | [対処方法] | <有効な桁数> の 16 進数を指定してください。 |
| W0603005 | [メッセージ] | アドレス式が不正です。式が正しいか、式に使用しているシンボルの綴りが正しいか確認してください。 |
| | [説明] | メモリ初期化 ダイアログの開始アドレスまたは終了アドレスに不正なアドレス式を指定した場合、エラー・サービス・プロバイダに表示されます。 |

| | | |
|----------|---------|---|
| W0603006 | [メッセージ] | 数値を指定してください。 |
| | [説明] | 数値を指定する領域で数値に指定できない文字を含む場合に表示されます。 |
| | [対処方法] | 数値として有効な文字列を指定してください。 |
| W0603007 | [メッセージ] | 10 進数で指定してください。 |
| | [説明] | 10 進数で数値を指定する領域で 10 進数に指定できない文字を含む場合に表示されます。 |
| | [対処方法] | 10 進数として有効な文字列を指定してください。 |
| W0603008 | [メッセージ] | xxx 未満または yyy を越える値を指定できません。 |
| | [説明] | プロパティなどで数値を入力する領域で、指定できる値の範囲外の値を設定した場合に表示されます。 |
| | [対処方法] | xxx から yyy までの値を指定してください。 |
| W0603009 | [メッセージ] | 入力可能な文字セットは、ASCII のみです。 |
| | [説明] | 数値または ASCII 文字を指定する領域で数値または ACSII 文字に指定できない文字を含む場合に表示されます。 |
| | [対処方法] | 数値として有効な文字列または ACSII 文字として有効な文字列を指定してください。 |
| W0603010 | [メッセージ] | 文字列を指定してください。 |
| | [説明] | 空欄になっています。 |
| | [対処方法] | 有効な文字列を指定してください。 |
| W0603011 | [メッセージ] | パスを指定してください。 |
| | [説明] | 空欄になっています。 |
| | [対処方法] | 有効なパスを指定してください。 |
| W0603012 | [メッセージ] | 指定したパスに存在しないフォルダが含まれています。 |
| | [対処方法] | 有効なパスを指定してください。 |
| | [説明] | |
| W0603013 | [メッセージ] | ファイル名、または、パス名が不正です。文字 (¥ / : * ? " < >) は使用できません。 |
| | [説明] | 不正な文字が含まれています。 |
| | [対処方法] | 有効なファイル名、またはパス名を指定してください。 |
| W0603014 | [メッセージ] | フォーマットが不正です。 |
| | [説明] | プロパティなどで文字列を入力する際にフォーマットが指定されている場合に、不正なフォーマットが入力されたときに表示されます。 |
| | [対処方法] | 指定されているフォーマットに沿って文字列を入力してください。 |
| W0603015 | [メッセージ] | 16 進数で指定してください。 |
| | [説明] | 16 進数で数値を指定する領域で 16 進数に指定できない文字を含む場合に表示されます。 |
| | [対処方法] | 16 進数として有効な文字列を指定してください。 |
| W0603016 | [メッセージ] | 10 進数、または、16 進数で指定してください。 |
| | [説明] | 10 進数 /16 進数で数値を指定する領域で 10 進数 /16 進数に指定できない文字を含む場合に表示されます。 |
| | [対処方法] | 10 進数 /16 進数として有効な文字列を指定してください。 |

| | | |
|----------|---------|--|
| W0603017 | [メッセージ] | 開始アドレスには、終了アドレスより小さい値を入力してください。 |
| | [説明] | アドレス／シンボルの範囲を指定する領域で開始アドレスが終了アドレスより大きな値である場合に表示されます。 |
| | [対処方法] | 開始アドレスに終了アドレス以下の値を設定してください。 |
| W0603018 | [メッセージ] | xxx から yyy の範囲で値を入力してください。 |
| | [説明] | アドレス／シンボルの範囲を指定する領域で、デバッグ・ツールのアドレス空間よりも大きな値が指定された場合に表示されます。 |
| | [対処方法] | デバッグ・ツールのアドレス空間に収まるアドレス範囲を指定してください。 |
| W0603019 | [メッセージ] | 指定したシンボルは存在しません。 |
| | [説明] | アドレス／シンボルの範囲を指定する領域で存在しないシンボルが指定された場合に表示されます。 |
| | [対処方法] | 存在するシンボルを指定してください。 |
| W0603020 | [メッセージ] | アドレスの省略はできません。 |
| | [説明] | アドレス／シンボルを指定し、かつ空欄指定を認めていない領域で空欄が指定された場合に表示されます。 |
| | [対処方法] | アドレス／シンボル／アドレス式を指定してください。 |
| W0603021 | [メッセージ] | 文字列が長すぎます。xxx 文字以内の文字列を指定してください。 |
| | [説明] | 文字列を指定する領域で制限文字数以上の文字列が指定された場合に表示されません。 |
| | [対処方法] | 制限文字数以内の文字列を指定してください。 |
| W0603022 | [メッセージ] | アドレス式が不正です。シンボル、または数値を指定してください。 |
| | [説明] | アドレス式を指定する領域でアドレス式として不正な文字列が指定された場合に表示されます。 |
| | [対処方法] | アドレス式として正しい文字列を指定してください。 |
| W0603025 | [メッセージ] | xxx は指定できません。 |
| W0603030 | [メッセージ] | フラッシュ・ライブラリをリンクしたロードモジュールが見つかりません。 |
| W0603032 | [メッセージ] | カバレッジ測定領域の開始アドレスには 1MB バウンダリ単位のアドレスを指定してください。 |
| W0603034 | [メッセージ] | 指定された値はすでに設定されています。 |
| W0603035 | [メッセージ] | デバッグ・モードが変更されたため、トレース取得対象を変更しました。トレース取得対象を変更したい場合、"トレース取得対象" プロパティで変更してください。 |
| W0603036 | [メッセージ] | 接続時にセキュリティ機能を有効にする設定に変更されました。一度セキュリティ機能を有効にした場合、無効に戻すことは出来ません。 |
| W0603042 | [メッセージ] | 同時に使用できない機能を無効にしました。使用不可の機能についてはマニュアルを参照してください。 |
| W0615000 | [メッセージ] | ウォッチパネルに登録可能なカテゴリの上限 (xxx 個) を越えました。 |
| | [対処方法] | 1つのウォッチパネルに登録するカテゴリの数を上限数以下にしてください。 |
| W0615001 | [メッセージ] | ウォッチパネルに登録可能なウォッチ式の上限 (xxx 個) を越えました。 |
| | [対処方法] | 1つのウォッチパネルに登録するウォッチ式の数を上限数以下にしてください。 |

| | | |
|----------|---------|---|
| W0617000 | [メッセージ] | デバッグ・ツール接続のため OPJTAG を LPD に変更しました。 |
| | [対処方法] | 接続時には必ず変更します。 [切断時に OPJTAG を JTAG 接続に設定する] プロパティを“はい”に設定することで、切断後の状態を JTAG に戻すことができます。 |
| W0617017 | [メッセージ] | xxx が間違っています。 |
| W0617019 | [メッセージ] | ダウンロードが許可されていない領域に対するメモリ書き込みは実行されません。 |
| W0617020 | [メッセージ] | デバッグ・ツールの再接続が必要な領域へのメモリ書き込みが実行されました。デバッグ・ツールを再接続してください。 |
| W0617021 | [メッセージ] | 外部トレースの転送速度の設定を変更しました。 |
| W0617023 | [メッセージ] | トレース機能はマイクロコントローラに実装されていないため使用できません。 |
| W0810001 | [メッセージ] | 指定された名前の変数またはレジスタは存在しません。 |
| W0805001 | [メッセージ] | 10 進数で指定してください。 |
| | [説明] | 10 進数で数値を指定する領域で 10 進数に指定できない文字を含む場合に表示されます。 |
| | [対処方法] | 10 進数として有効な文字列を指定してください。 |
| W0805002 | [メッセージ] | 10 進数、または、16 進数で指定してください。 |
| | [説明] | 10 進数 /16 進数で数値を指定する領域で 10 進数 /16 進数に指定できない文字を含む場合に表示されます。 |
| | [対処方法] | 10 進数 /16 進数として有効な文字列を指定してください。 |
| W0805003 | [メッセージ] | 文字列が長すぎます。xxx 文字以内の文字列を指定してください。 |
| | [説明] | 文字列を指定する領域で制限文字数以上の文字列が指定された場合に表示されます。 |
| | [対処方法] | 制限文字数以内の文字列を指定してください。 |
| W0805004 | [メッセージ] | 下限値は上限値よりも小さな値を入力してください。 |
| | [説明] | 解析グラフで、表示範囲の下限値、または有効範囲の下限値を入力するときに、上限値と下限値の大きさが逆転したときに表示されます。 |
| | [対処方法] | 下限値の入力は、上限値より小さい値で入力してください。 現在の上限値よりも大きな値を入力する場合は先に上限値を大きくしてください。 |
| W0805005 | [メッセージ] | 上限値は下限値よりも大きな値を入力してください。 |
| | [説明] | 解析グラフで、表示範囲の上限値、または有効範囲の上限値を入力するときに、上限値と下限値の大きさが逆転したときに表示されます。 |
| | [対処方法] | 上限値の入力は、下限値より大きい値で入力してください。 現在の下限値よりも小さな値を入力する場合は先に下限値を小さくしてください。 |
| W0805008 | [メッセージ] | xxx 未満または yyy を越える値を指定できません。 |
| | [説明] | プロパティなどで数値を入力する領域で、指定できる値の範囲外の値を設定した場合に表示されます。 |
| | [対処方法] | xxx から yyy までの値を指定してください。 |
| W0805009 | [メッセージ] | ファイル名、または、パス名が不正です。文字 (¥ / : * ? " < >) は使用できません。 |
| | [説明] | 不正な文字が含まれています。 |
| | [対処方法] | 有効なパスを指定してください。 |

| | | |
|----------|---------|---|
| W0820001 | [メッセージ] | ジャンプ先が不明です。 |
| | [説明] | [ソースヘジャンプ] コマンドなどで、ジャンプ先が不明である場合に表示されます。 ジャンプ先が分からないので指定箇所からのジャンプはできません。 |
| W0827001 | [メッセージ] | プレビューは利用できません。 |
| | [説明] | プロジェクトに含まれる関数が多いなどの理由で、プレビュー用イメージを生成できなかった場合に表示されます。 |
| W1200723 | [メッセージ] | 指定されたトレース・フレーム・サイズをメモリ不足のため縮小しました。 |
| W1203106 | [メッセージ] | NO READY 状態をキャンセルしました。 |
| W1203840 | [メッセージ] | フラッシュ ROM へのダウンロードは完了しましたが、Reset/Port 兼用端子の設定を Reset に変更しました。 |
| W1204111 | [メッセージ] | ターゲットの電源が OFF です。 |
| W1204116 | [メッセージ] | 値が登録されていません。 |
| W1208205 | [メッセージ] | この SFR/IOR には初期値の設定がありません。 |
| W1216412 | [メッセージ] | その領域にソフトウェア・ブレークは設定できません。 |
| W1220491 | [メッセージ] | このデバイス・ファイルは内蔵 RAM をリロケートしません。 |
| W1220494 | [メッセージ] | デバイス・ファイルに参照しようとしたタグ情報はあります。 |
| W1228688 | [メッセージ] | ソース情報はありません。 |
| W1228689 | [メッセージ] | ステップ実行結果不明。 |
| W1245086 | [メッセージ] | デバッグ情報はありません (デバッグ情報を生成する方法でコンパイルされていません)。 |
| W1245110 | [メッセージ] | 現在の PC では指定された変数は参照できません。 |
| W1245122 | [メッセージ] | SYM モジュールは初期化されていません。 |
| W1245877 | [メッセージ] | シンボルが長すぎます。 |
| W1249175 | [メッセージ] | シンボル情報が重複しています。シンボルのリセットをしてください。 |
| W1249178 | [メッセージ] | BSS 領域がマッピングされていない領域に割り当てられています。 |
| W1249180 | [メッセージ] | プログラマブル IOR のアドレスが設定と異なります。 |
| W1249181 | [メッセージ] | 選択した品種 (デバイス名) と異なるロード・モジュールをロードしました。 |
| W1700511 | [メッセージ] | ファイル "xxx" はすでにプロジェクトに登録されているため、プロジェクトへの追加はキャンセルされました。 |
| W1790000 | [メッセージ] | オーバーフローが発生しています。 |
| W1790001 | [メッセージ] | タイマ機能が未サポートです。 |
| W1810204 | [メッセージ] | USB バスパワー電圧が低くなっています。 |
| | [対処方法] | ホスト・マシンの変更を検討してください。 |
| W1811110 | [メッセージ] | Warning: 内蔵フラッシュ ROM の MDE レジスタの MDE ビットを書き換えました。 |
| W1811111 | [メッセージ] | 内蔵フラッシュ ROM の UB コードを書き換えました。 |
| W1811112 | [メッセージ] | 内蔵フラッシュ ROM の MDE レジスタと UB コードを書き換えました。 |

| | | |
|----------|---------|---|
| W1811115 | [メッセージ] | オプション設定メモリを、指定された値に書き換えずにホットプラグインで起動しました。 |
| | [対処方法] | オプション設定メモリを設定するには、通常の起動でダウンロードしてください。 |
| W1811126 | [メッセージ] | Warning: OFS1 レジスタを書き換えました。 |
| | [説明] | 本動作はデバッグ時の仕様です。データは書き換えられています。 |
| W1811127 | [メッセージ] | Warning: MDE レジスタの MDE ビットと OFS1 レジスタを書き換えました。 |
| | [説明] | 本動作はデバッグ時の仕様です。データは書き換えられています。 |
| W1811128 | [メッセージ] | Warning: MDE レジスタの BANKMD ビットを書き換えました。 |
| W1811129 | [メッセージ] | Warning: BANKSEL レジスタの BANKSWP ビットを書き換えました。 |
| W1811130 | [メッセージ] | Warning: MDE レジスタの MDE ビットと BANKMD ビットを書き換えました。 |
| W1811131 | [メッセージ] | Warning: MDE レジスタの MDE ビットと BANKMD ビット、BANKSEL レジスタの BANKSWP ビットを書き換えました。 |
| W1811132 | [メッセージ] | Warning: MDE レジスタの BANKMD ビット、BANKSEL レジスタの BANKSWP ビットを書き換えました。 |
| W1811133 | [メッセージ] | Warning: MDE レジスタの BANKMD ビットと OFS1 レジスタを書き換えました。 |
| W1811134 | [メッセージ] | Warning: MDE レジスタの MDE ビットと BANKMD ビット、BANKMD レジスタの BANKSEL ビットを書き換えました。 |
| W1811135 | [メッセージ] | Warning: MDE レジスタの MDE ビットと BANKMD ビット、OFS1 レジスタを書き換えました。 |
| W1811306 | [メッセージ] | 読み出し禁止状態のデータフラッシュ領域へのリード操作が発生しました。 |
| W1811318 | [メッセージ] | MCU 内蔵フラッシュ ROM へのアクセス違反が発生しています (ILGLERR ビットが '1')。 |
| W1811321 | [メッセージ] | MDE レジスタへのライトデータは起動時に指定されたエンディアンに変更されました。 |
| W1811322 | [メッセージ] | UB コード領域へのライトデータは起動時に指定された内容に変更されました。 |
| W1811323 | [メッセージ] | MDE レジスタ及び UB コード領域へのライトデータを、起動時に指定された内容に変更しました。 |
| W1811325 | [メッセージ] | プログラム実行中に MCU 内蔵 ROM 領域へのリードが発生しました。 |
| W1811326 | [メッセージ] | メモリアクセス中のクロック切り替えなどによる通信エラーが発生したためリカバリしました。 |
| W1811328 | [メッセージ] | Warning: OFS1 レジスタへのライトデータが、" 電圧監視リセット無効 " に変更されました。 |
| | [説明] | 本動作はデバッグ時の仕様です。データは書き換えられています。 |
| W1811330 | [メッセージ] | Warning: ユーザプログラム実行中に CPU アクセス領域へのリード操作が発生しました。 |
| | [説明] | 本動作はデバッグ時の仕様です。ユーザ・プログラム実行中に CPU アクセス領域のデバッグによるリード操作はできません。 |
| W1811333 | [メッセージ] | Warning: OFS1 レジスタへのライトデータが、" 電圧監視リセット無効 " に変更されました。 |
| | [説明] | リセット後電圧監視リセットは無効で使用する必要があります。 |
| W1811334 | [メッセージ] | Warning: オプション設定メモリへのダウンロードデータがありません。 |
| | [対処方法] | ダウンロードデータでオプション設定メモリへの設定値を指定してください。 |

| | | |
|----------|---------|--|
| W1811336 | [メッセージ] | Warning: Trusted Memory 領域にダウンロードデータが書き込めませんでした。 |
| | [説明] | ダウンロードデータに Trusted Memory 領域のデータが含まれていた場合に表示されます。 |
| | [対処方法] | ダウンロードデータには Trusted Memory 領域のデータを含めないようにしてください。 |
| W1811337 | [メッセージ] | Warning: RAM のウエイト設定を一時的に変更してコマンドを実行しました。 |
| | [説明] | メモリ・ウエイト・サイクルが適切に設定されていない場合に表示されます。 |
| | [対処方法] | メモリ・ウエイト・サイクルの設定を確認してください。 |
| W1811338 | [メッセージ] | Warning: ROM のウエイト設定を一時的に変更してコマンドを実行しました。 |
| | [説明] | メモリ・ウエイト・サイクルが適切に設定されていない場合に表示されます。 |
| | [対処方法] | メモリ・ウエイト・サイクルの設定を確認してください。 |
| W1811341 | [メッセージ] | FAW レジスタ FSPR ビットへのライトデータをプロテクトなしに変更しました。 |
| W1811342 | [メッセージ] | FAW レジスタ FSPR ビットによるプロテクトがすでに設定されています。 |
| W1811343 | [メッセージ] | Warning: MDE レジスタの BANKMD ビットへのライトデータをデバッグ起動時に指定された内容に変更しました。 |
| W1811344 | [メッセージ] | Warning: BANKSEL レジスタの BANKSWP ビットを変更しました。 |
| W1811345 | [メッセージ] | Warning: MDE レジスタまたは BANKMD レジスタへのライトデータをデバッグ起動時に指定された内容に変更しました。 |
| W1811346 | [メッセージ] | Warning: MDE レジスタの MDE ビットと BANKMD ビットへのライトデータをデバッグ起動時に指定された内容に変更しました。 |
| W1811347 | [メッセージ] | Warning: TM 機能が有効かつ FFEE0000h ~ FFEEFFFFh の TM 機能が無効のため、BANKSEL レジスタの BANKSWP ビットを指定された内容に書き換えられませんでした。 |
| W1812808 | [メッセージ] | 外部フラッシュ ROM にロックされているため書き込み / 消去ができないセクタがありました。 |
| W1812910 | [メッセージ] | Warning: E2 拡張機能動作中のエミュレータからの供給電圧変更不可です。 |
| W1891371 | [メッセージ] | シーケンシャルイベントの順序が変更されている可能性があります。設定を確認してください。 |
| | [対処方法] | 組み合わせ条件の編集で、イベントの順序を再設定してください。 |
| W1891901 | [メッセージ] | 動作周波数の値が未設定のため、初期値として 25.0MHz を設定しました。タイマ計測結果を正しく計算できない可能性があります。 |
| W1892250 | [メッセージ] | レジスタ ID が不正です。 |
| | [対処方法] | 正しいレジスタ ID を指定してください。 |
| W1892251 | [メッセージ] | 設定値が指定されたレジスタに設定できる最大値を超えています。 |
| | [対処方法] | 設定可能な範囲の値を入力してください。 |
| W2000001 | [メッセージ] | 関数 xxx が見つかりません。 |
| | [説明] | 選択した関数へ [関数または変数へジャンプ] で移動できないとき、このメッセージが表示されます。 |
| | [対処方法] | カーソル位置の名前の関数または変数が、プロジェクトに存在するか確認してください。 クロスリファレンス情報を出力してビルドされているか確認してください。(関数名が関数一覧に表示されている場合は通常、クロスリファレンス情報が出力されています) |

| | | |
|----------|---------|--|
| W2000003 | [メッセージ] | シンボルまたはアドレス xxx が見つかりません。 |
| | [説明] | シンボル, またはアドレスが見つからないために, シンボル, またはアドレスへの移動ができなかったときに表示されます。 |
| | [対処方法] | シンボルがプロジェクトに存在するか確認してください。 アドレスがエディタで表示可能なアドレスの範囲 (コード・セクションの範囲) であるか確認してください。 クロスリファレンス情報を出力してビルドされているか確認してください。(シンボルが関数一覧または変数一覧に表示されている場合は通常, クロスリファレンス情報が出力されています) |
| W2000004 | [メッセージ] | 関数または変数 xxx が見つかりません。 |
| | [説明] | 選択した関数または変数へ [関数または変数へジャンプ] で移動できないとき, このメッセージが表示されます。 |
| | [対処方法] | カーソル位置の名前の関数または変数が, プロジェクトに存在するか確認してください。 クロスリファレンス情報を出力してビルドされているか確認してください。(関数または変数名が関数一覧または変数一覧に表示されている場合は通常, クロスリファレンス情報が出力されています) |
| W2200001 | [メッセージ] | オプション名は不正なオプションです。無視します。 |
| | [説明] | 指定されたオプションをサポートしていません。 指定を無視して処理を続行します。 |
| W2200006 | [メッセージ] | ブロックを定義している情報ファイルが見つかりません。 |
| | [説明] | -iorblock オプションで指定されたファイルが見つからない場合に表示されます。 |
| | [対処方法] | ブロックを定義している情報ファイルが存在しているか確認してください。 |
| W2200007 | [メッセージ] | ブロックを定義している情報ファイルを読み込めませんでした (フォーマットが不正)。 |
| | [説明] | ブロックを定義している情報ファイルの読み込みに失敗しました。ブロックを定義している情報ファイルではないファイルが指定されました。 |
| | [対処方法] | ブロックを定義している情報ファイルを指定してください。 |
| W2200008 | [メッセージ] | 不正なブロックの定義情報です。無視します。 |
| | [説明] | ブロックを定義している情報ファイルにおいて, 1つのブロックの定義情報のフォーマットが不正な場合に出力します。 |
| | [対処方法] | ブロックを定義している情報ファイルが正規のファイルであることを確認してください。 |
| W2300001 | [メッセージ] | 排他制御漏れチェック用バッファが溢れたためチェックを途中で終了しました。 |
| | [説明] | 排他制御漏れチェック用バッファにソフトウェア・トレース命令が 10,000 個以上格納された場合に表示されます。 |
| | [対処方法] | 排他制御漏れチェックを行う範囲を狭めてください。 |
| W2441337 | [メッセージ] | (Warning) RAM のウェイト設定を一時的に変更してコマンドを実行しました。 |
| W2441338 | [メッセージ] | (Warning) ROM のウェイト設定を一時的に変更してコマンドを実行しました。 |
| W2500001 | [メッセージ] | RX/RH850/RL78 用スマート・コンフィグレータの exe ファイル (SmartConfigurator.exe) のパスが正しく設定されていません。プロパティページで設定してください。 |

改訂記録

| Rev. | 発行日 | 改定内容 | |
|------|------------|------|------|
| | | ページ | ポイント |
| 1.00 | 2024.06.01 | - | 初版発行 |

CS+ V8.12.00 ユーザーズマニュアル
メッセージ編

発行年月日 2024年 6月 1日 Rev.1.00

発行 ルネサス エレクトロニクス株式会社
〒135-0061 東京都江東区豊洲3-2-24 (豊洲フォレシア)

CS+ V8.12.00